

令和4年度

高知医療センター年報

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター

目次

I 病院の概要

1 高知医療センターの理念及び基本方針	
患者さんの権利章典	6
2 高知医療センターの概要	7
3 沿革	8
4 高知県・高知市病院企業団体制	11
5 職員数と診療体制	
(1) 職員・職種別現員表	12
(2) 診療体制	13
(3) 経営分析に関する調	14
6 施設基準	16
7 財務の状況	
(1) 損益状況	23
(2) 貸借対照表	24
(3) 収益費用明細書	25
(4) 資本的収支明細書	27
(5) 一般会計繰入金	28

II 各局資料

医療局	32
看護局	34
薬剤局	36
医療技術局	38
栄養局	40
事務局	42

III 各診療科資料

総合診療科	46
精神科	47
児童精神科	48
地域医療科	49
血液内科・輸血科	50
糖尿病・内分泌内科	51
放射線療法科	52
緩和ケア内科	53
腫瘍内科	54
ペインクリニック科	55
放射線科	56
病理診断科	57
脳神経外科	58
眼科	59
耳鼻咽喉科	60
歯科口腔外科	61
呼吸器内科	62
呼吸器外科	63
循環器内科	64
心臓血管外科	66
消化器内科	67
消化器外科・一般外科	68
泌尿器科	69
腎臓内科・膠原病科	70
移植外科	71
婦人科	72
産科	73
生殖医療科	74
小児科	75
小児外科	76
救命救急科	77
麻酔科・集中治療科	79
皮膚科	80
整形外科	81
形成外科	82
乳腺・甲状腺外科	83

IV 各委員会資料

医療安全管理委員会	86
院内急変対応部会	87
医療関連感染対策委員会	88
ICT（感染制御チーム）運営部会	89
AST（抗菌薬適正使用支援チーム）運営部会	90
職員の業務負担軽減委員会	91
診療情報管理委員会	92
DPC コーディング委員会	93
臨床研修管理委員会（医科）	94
臨床研修管理委員会（歯科）	95
医の倫理委員会	96
治験審査委員会	97
がんセンターボード運営部会	98
抗がん剤レジメン管理委員会	99
行動制限最小化委員会	100
褥瘡防止委員会	101
適正輸血療法推進委員会	102

V クリニカルインディケータ

1 退院患者数	
(1) 診療科別・性別退院患者数	104
(2) 診療科別・在院期間別・性別退院患者数	105
(3) 診療科別・性別・在院日数の平均	108
(4) 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数	109
(5) 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均	112
(6) 大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	115
(7) 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	118
(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均	139
2 外来患者数	173
3 疾病分類別統計	
全科疾病分類別上位頻度表	174
4 D P C 統計	
(1) MDC 別退院患者数	179
(2) 在院期間別退院患者数	180
(3) MDC 別・年齢別・性別退院患者数	181
(4) MDC 別退院患者・救急搬送数	182
(5) 科別診断群分類（D P C）上位頻度表	183
(6) 退院後の患者の動向	190
5 悪性新生物統計	
(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数	191
(2) 悪性新生物による死亡患者数	199
6 死亡患者統計	
(1) 科別死亡率	200
(2) 死亡患者数	201
(3) 死亡患者数の割合	202
(4) 年齢別死亡患者数	203
(5) 死亡患者疾病順位表〈性別・年齢別〉	204

2022年(令和4年)度の高知医療センター年報が完成いたしました。当院の活動状況、経営状況などについてまとめておりますので、ご参照いただければ幸いです。

当院は、平成17年3月に高知県立中央病院と高知市立市民病院を統合して開院以来、令和4年度で18年目を迎えました。特に、新型コロナウイルス感染症が流行して3年が経過するも収束の兆しが見えず、ウィズコロナの中で、病院をどう運営していくべきかを試行錯誤しながらの1年でありました。この感染症の流行により県民市民の皆さまも、本当にご苦労が多かったものと思います。当院を含む県内の医療・介護関係者の皆さまをはじめ、新型コロナウイルス感染症の対応にご尽力されたすべての方々に、敬意を表し感謝の意を述べたいと思います。

当院は、感染症指定医療機関(重症者対応医療機関)として、当初は軽症者から重症のすべての患者さん、途中からリスクの高い軽症者および中等症～重症の多くの新型コロナウイルス陽性患者さんの入院治療を中心に組みんでまいりました。皆さまのご協力により、高知県内で医療崩壊を起こすことなく多くの患者さんの療養に携わることができました。また通常の、がん、救命救急、総合周産期母子医療、こころのサポート等の診療に関しても、一部不急の入院・手術を遅らせるなど一時的な診療制限は行いましたが、大きな制限を続けることなく、早期治療の必要な患者さんに対する診療を継続できたかと思えます。ひとえに応援してくださった県民市民の皆さま、関連する医療・介護・福祉等の諸施設の方々のご協力ご支援によるものと厚くお礼申し上げます。

現在すでに、2023年度がスタートし、ようやく収束への兆しが見えてきた新型コロナウイルス感染症ではありますが、終息にはまだ時間がかかります。5類感染症に移行した5月8日後も、感染症に罹患した患者さんに対する加療には他医療機関とともに真摯に対応しております。そして新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症診療のみならず、がん、救命救急、総合周産期母子医療、こころのサポート等

の診療に関しても、職員一同協力して「チーム医療」の実践に努め、当院の役割を果たしてまいります。県内の医療機関、介護施設等の皆様方には、引き続き、そしてこれまで以上の、連携協力をいただきたくお願い申し上げます。

感染症指定医療機関としての役割以外にも、当院には地域医療連携を基本とする地域医療支援病院、および地域がん診療連携拠点病院として、県全体の高度急性期および急性期医療を行う中核病院としての機能を発揮し、安心して安全な質の高い医療を継続して提供する責務がございます。がん診療などの高度急性期医療に関しましては、昨年度(2022年)6月に遅ればせながら胸腹腔鏡下手術用ロボット(ダビンチ)を導入し、同年10月より複数の診療科にて同手術を開始いたしました。現在、導入後1年を経過し順調に滑り出しておりますので、この分野においても引き続き多職種連携による「チーム医療」を実践し続けてまいります。

さらに基幹災害拠点病院、へき地医療拠点病院、臨床研修指定病院としての役目も果たしながら、地域医療機関との密接な連携を深め、高知県の医療を守る中心的な医療機関でありたいと思います。

最後になりましたが、当院の理念は「医療の主人公は患者さん」です。県内の「少子・高齢化」が進む中、また「働き方改革」を進める中ではありますが、患者さんが安心して安全に高度な医療を受けていただくことができますよう、院内の6局6センターが相互に連携して努力を続け、当院が受持つ役割、病院機能をひとつずつ確実に果たしてまいります。その意味で、今回の年報では、6局のうち、医療局のみならず、各局(看護局、医療技術局、薬剤局、栄養局、事務局)の資料も追加しております。診療上生じた課題に対して、事務局も含めた病院全体での「多職種交えたカンファレンス、協働」「チーム医療」を推進してまいります。

県民市民の皆さま、関連する医療機関等の皆さまのご理解ご協力ご支援に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

I 病院の概要

高知医療センターの理念及び基本方針

【理 念】医療の主人公は患者さん

【基本方針】

1 患者さんから信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療を実践します

- 患者さんの人間性を尊重し、十分な説明を行うことで、患者さんの理解をもとにした診療を実践します。
- 患者さんのプライバシーを守り、安全で質の高い療養環境を提供します。
- チーム医療を推進し、患者さんの心と体の痛みを和らげるように努め、一日も早い日常生活への復帰を目指します。

2 地域医療連携を基本とした良質で高度な医療を提供します

- 医療や保健・福祉の向上のため、地域の病院や診療所、関係機関との連携を強化します。
- 高度な医療機器を備えて、高度で先進的な医療を提供します。
- 365日24時間体制で救急患者を受け入れます。

3 自治体病院としての使命を果たします

- 基幹災害拠点病院として、大地震などの災害時にも医療機能が発揮できる病院にします。
- 地域で不足する医療の確保に努めます。
- 医療福祉職、学生などの教育・研修に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます。

4 職員が誇りとやりがいを持ち、成長できる病院にします

- 高知医療センターに関わるすべての職員が、誇りと向上心を持ち、総力を挙げて患者さんの立場に立った医療を提供するための資質向上に取り組みます。
- 医学、看護学、薬学、栄養学などの臨床研究に力を入れ、職員のキャリア形成を支援します。

5 公正で開かれた病院運営と健全な経営を目指します

- モラルを守り、公正で開かれた病院を目指します。
- 効率的な病院運営に努め、健全な経営を実践します。

患者さんの権利章典

患者さんには「受ける権利」「選べる権利」「守られる権利」の3つの権利があります

1 「受ける権利」

- ①患者さんは、ご自身の病気について最善の医療を受ける権利があります。
- ②患者さんは、経済的・社会的地位、年齢、性別、病気の種類などにかかわらず、公平な医療を受ける権利があります。
- ③患者さんは、原則としてご自身の正確な病状や治療・経過を知る権利があります。
- ④患者さんは、病気に立ち向かうための支援を受ける権利があります。あらゆるご相談は、1階の[まごころ窓口]へお寄りください。
- ⑤患者さんは、病気に立ち向かうために自ら学ぶ機会を提供される権利があります。どなたでも病気についての知識を深めるため、2階の[なるほどライブラリ]をご利用いただけます。

2 「選べる権利」

- ①患者さんは、検査、治療法、病気の見通しなどについて、わかりやすい言葉で納得できるまで説明を受け、そのうえで自らの生き方に沿って治療方法などを選択する権利があります。
- ②患者さんは、病状や治療法などについて担当医以外の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めたうえで、治療方法などを選択する権利があります。
- ③患者さんは、正しい病名を告知される権利がありますが、一方、告知されない権利もあり、このいずれかを選ぶことができます。
- ④患者さんは、判断する能力が失われたような場合にそなえて、治療法などについて、あらかじめ明らかにしておく権利があります。
- ⑤患者さんは、法律が許す範囲で治療を拒絶する権利があります。またその場合には、医学的にどのような結果になるかを知る権利もあります。

3 「守られる権利」

- ①患者さんは、病気を克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重され、守られる権利があります。
- ②患者さんは、医療が実践されるあらゆる場面で、ご自身の個人情報第三者の目に触れることのないように配慮され、守られる権利があります。
- ③患者さんは、法令に基づく場合以外においては、本人の同意がなければ個人情報に関与する医療従事者以外に開示されないよう、守られる権利があります。
- ④患者さんは、医療に関係するすべての記録などが守秘されることを期待する権利があります。
- ⑤患者さんは、診断・治療データなどが研究・発表などに使われる際には、当院の定めるところによりプライバシーが守られる権利があります。

名 称	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
開 設 者	企業長 山本 治
病 院 長	小野 憲昭
住 所	〒781-8555 高知市池 2125 番地 1
連 絡 先	TEL : 088-837-3000 FAX : 088-837-6766
ホームページ	URL : http://www.khsc.or.jp
E - m a i l	khsc_info@khsc.or.jp
病 床 数	一般 548 床、結核 20 床、感染 8 床、精神 44 床 計 620 床 内 ICU 12 床、HCU 20 床、NICU 12 床、GCU 15 床、小児 32 床 産科 33 床、MFICU 3 床 (LDR 3 床)、開放病棟 10 床、SCU 18 床 特別室 19,800 円 (8 床) 9,900 円 (117 床)
特 殊 病 床	人工透析 9 床 (許可病床数に含まず)
施 設 概 況	敷地面積 約 56,000 m ² 延床面積 本 館 : 約 67,400 m ² 精神科病棟 : 約 2,800 m ² がんセンター棟 : 約 3,600 m ² ドクターヘリ棟 : 約 2,000 m ² 滞在施設やまもも : 約 1,100 m ² 構 造 本 館 : 鉄骨鉄筋コンクリート造(基礎免震工法) 精神科病棟、がんセンター棟 : 鉄筋コンクリート造 ドクターヘリ棟 : 鉄骨造 滞在施設やまもも : 鉄筋コンクリート造 階 数 本 館 : 地上 12 階 塔屋 1 階 精神科病棟 : 地上 2 階 塔屋 1 階 がんセンター棟 : 地上 4 階 ドクターヘリ棟 : 地上 3 階 滞在施設やまもも : 地上 1 階 高 さ 地上 58.5m 駐 車 場 約 560 台 (患者さん・見舞い客用) 身障者用 17 台、救命救急センター外来用 14 台
診療科目(40)	アレルギー科、移植外科、眼科、感染症内科、緩和ケア内科、救急科、形成外科、外科、血液内科、呼吸器外科、呼吸器内科、産科、婦人科 (生殖医療)、歯科口腔外科、腫瘍内科、耳鼻いんこう科、消化器外科、消化器内科、小児科、小児外科、神経内科、心臓血管外科、循環器内科、腎臓内科、心療内科、整形外科、児童精神科、精神科、内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、病理診断科、ペインクリニック内科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科
外来診療時間	8 時 30 分から 12 時、13 時から 16 時 30 分 受付 : 診療開始時間及び診療終了時間の 30 分前まで 休診 : 土・日・祝日・年末年始 (12/29~1/3)
職員数(別掲)	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 医療技術 事務 その他
そ の 他	臨床研修指定病院 救急告示病院 (平成 17 年 2 月 26 日指定) 総合周産期母子医療センター (平成 17 年 2 月 26 日指定) 救命救急センター (平成 17 年 3 月 25 日指定) 基幹災害拠点病院 第 1 種感染症指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

3 沿革

高知医療センターの前身は高知県立中央病院と高知市立市民病院です。高知県立中央病院は、昭和 23 年 5 月 1 日に開設、昭和 41 年に高知市桜井町に移転整備され、地域がん診療拠点病院、臨床研修拠点病院、救急病院などの機能を持ち、良質な医療を提供する病院として運営してきました。一方、高知市立市民病院は、明治 26 年に市立伝染病隔離病舎として開設、明治 31 年高知市西弘小路（現：丸の内一丁目）に移転し、市立伝染病院として開院、昭和 24 年高知市立厚生病院と改称、さらに昭和 25 年高知市立市民病院と改称し、昭和 44 年潮江市市民病院との統合を経て、オーダーリングシステムを有する救急病院、開放型病院として、県立中央病院と同じく良質な医療を提供してきました。

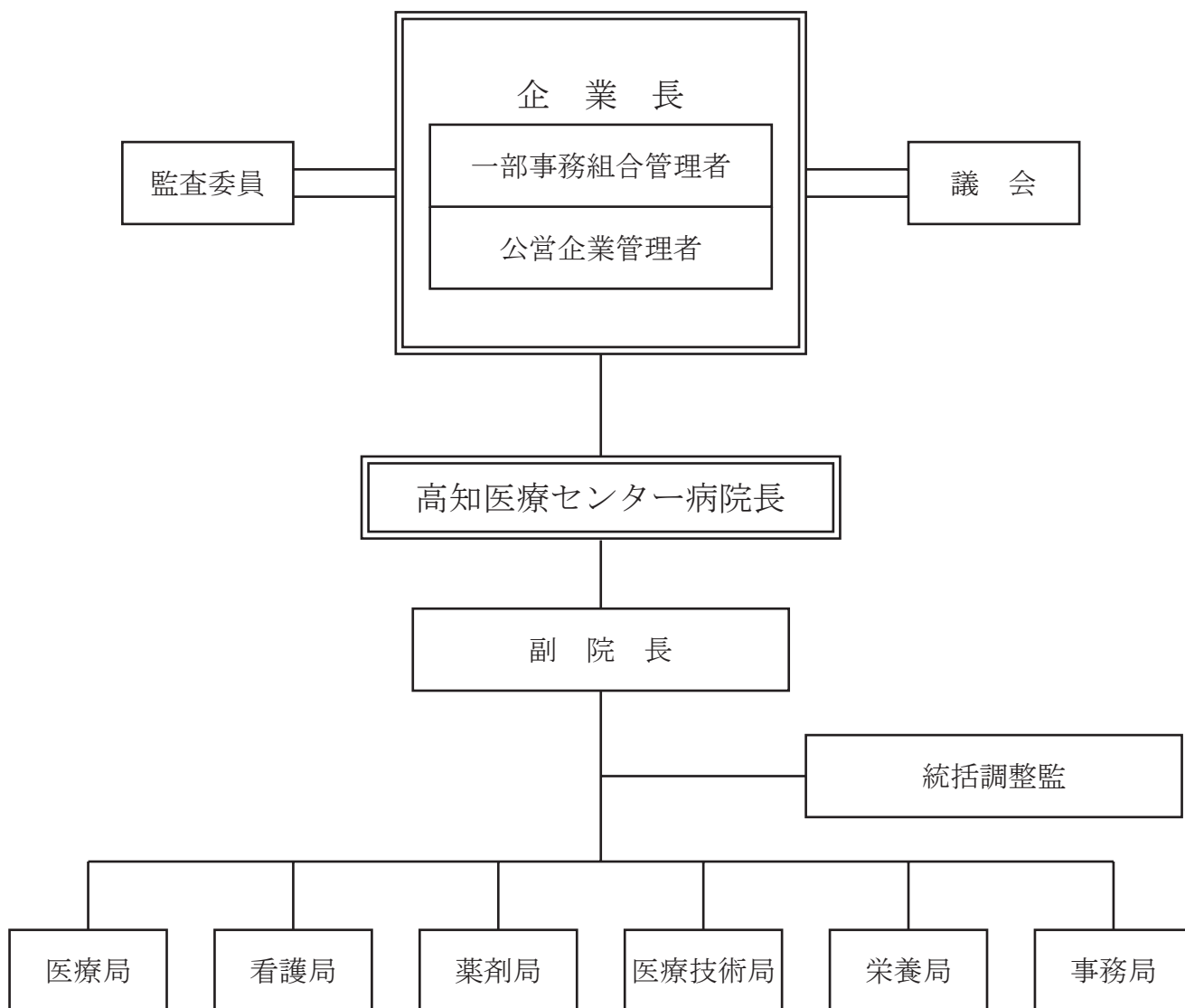
しかし、県民、市民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となりました。この問題を解決するため、高知市池に両病院を統合整備することにより、スケールメリットを生かして機能の充実を図り、医療資源を効率的に活用し、住民に高度医療を提供することとし、平成 17 年 3 月に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院しました。

平成 5 年	高知県立中央病院および高知市立市民病院統合協議開始
平成 10 年 4 月	高知県・高知市新病院整備推進室を設置
平成 10 年 11 月	高知県・高知市病院組合（一部事務組合）設立
平成 11 年 3 月	新病院整備基本計画策定
平成 13 年 2 月	新病院整備運営事業の PFI 法に基づく実施方針の策定・公表
平成 13 年 3 月	公募により名称を「高知医療センター」に決定
平成 13 年 5 月	「高知医療センターPFI 事業化検討委員会」設置、PFI 事業者の選定開始
平成 14 年 8 月	高知医療センターPFI 事業優先交渉権者選定
平成 14 年 10 月 24 日	PFI 基本協定の締結
平成 14 年 12 月 8 日	PFI 事業契約の締結 高知医療センター新築工事「起工式」
平成 16 年 12 月 11 日	統合情報システム（IIMS）総合リハーサル開始（5 回）
平成 17 年 2 月 13 日	高知医療センター開院式
平成 17 年 2 月 25 日	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち開所
平成 17 年 2 月 26 日	高知医療センター開院 高知中央病院、高知市民病院から高知医療センターへ患者移送 へき地医療拠点病院に指定される エイズ治療拠点病院に指定される 第 1 種感染症指定医療機関に指定される 総合周産期母子医療センターに指定される
平成 17 年 3 月 1 日	高知県・高知市病院企業団設立（地方公営企業法全部適用）、『高知県・高知市病院企業団立高知医療センター』として開院

		病床数 648床（一般590床、結核50床、感染症8床）
平成 17年	3月 25日	救命救急センターに指定される
平成 19年	4月 1日	病床見直しにより施設リハ訓練室、心臓リハ運用開始 許可病床数 632床
平成 19年	4月 25日	地域医療支援病院に指定される
平成 19年	7月 1日	DPC 準備病院に承認される
平成 20年	2月 8日	地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成 21年	2月 16日	日本医療機能評価機構による認定「病院機能評価（一般病院2）」
平成 21年	4月 1日	DPC 対象病院に指定される
平成 21年	12月 17日	高知医療センター整備運営事業（PFI 事業）契約解約合意に係る確認書を締結
平成 22年	3月 11日	高知医療センター整備運営事業契約解約合意書を締結
平成 22年	3月 31日	高知医療センター整備運営事業（PFI 事業）契約終了
平成 22年	8月 12日	欧州型ドクターカー（FMRC）の導入
平成 22年	11月 17日	高知女子大学（現高知県立大学）と包括的連携に関する協定締結
平成 23年	3月 12日	高知県ドクターヘリの導入
平成 23年	5月	「こころのサポートセンター（精神科病棟）」新築工事起工式
平成 24年	2月	統合情報システム（IIMS）更新
平成 24年	3月	「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始
平成 24年	4月	こころのサポートセンター（精神科病棟）新設（44床） 許可病床 676床 基幹災害拠点病院に指定される
平成 24年	5月	ドクターヘリ場外離着陸場設置
平成 24年	10月	病床再編により SCU 新設（3床）
平成 25年	1月	結核病床（30床：計20床）廃止 許可病床 646床
平成 26年	3月	日本医療機能評価機構による認定「病院機能評価付加機能認定証(救急医療機能)」
平成 26年	4月	NICU 増床（3床：計12床） 許可病床 649床 病床再編により SCU 増床（3床）、HCU 増床（12床）
平成 26年	7月	ハイブリッド手術室新設
平成 26年	10月	一般病床（周産期関係）増床（8床） 許可病床 657床
平成 27年	2月	GCU 増床（3床：計15床） 許可病床 660床
平成 27年	3月	病床再編により SCU 増床（4床：計10床）
平成 27年	5月	開院 10周年記念式典開催
平成 27年	11月	新がんセンター（仮称）新築工事起工式
平成 29年	3月	がんサポートセンター竣工
平成 29年	11月	患者支援センター新設
平成 31年	3月	ドナルド・マクドナルド・ハウスこうち閉所

沿革

令和 元年 7月	滞在施設「やまもも」開所
令和 2年 2月	一般病床（40床）廃止 許可病床 620床（一般 548床、結核 20床、精神 44床、感染症 8床） 新型コロナウイルス感染症指定医療機関に指定される 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ開始
令和 2年 4月	滞在施設「やまもも」一時休止（高知県に貸与） （高知県による滞在施設での新型コロナ感染症患者受け入れ開始）
令和 3年 10月	病床再編により ICU 12床、HCU 20床 病床再編により SCU 増床（8床：計 18床）
令和 4年 6月	低侵襲手術支援ロボット導入



- 6つのセンター機能
 - 「救命救急センター」
 - 「循環器病センター」
 - 「がんセンター」
 - 「総合周産期母子医療センター」
 - 「こころのサポートセンター」
 - 「地域医療センター」

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

5 職員数と診療体制

(1) 職員・職種別現員表

正職員数

所属	職種	令和3年4月1日		令和4年4月1日	
		人数	備考	人数	備考
医療局	医師	147		153	
	歯科医師	6		6	
看護局	看護師	711	助産師含む	694	助産師含む
薬剤局	薬剤師	29		33	
医療技術局	放射線技師	27		27	
	臨床検査技師	22		22	
	臨床工学技士	14		13	
	理学療法士	13		13	
	歯科衛生士	3		3	
	視能訓練士	2		2	
	言語聴覚士	5		5	
	臨床心理士	3		3	
	作業療法士	5		6	
栄養局	管理栄養士	11		11	
事務職	行政職	33		34	
	診療情報管理士	9		9	
	MSW	10		10	
	司書	1		1	
	電気	2		2	
	医療情報事務	2		2	
合 計		1,055		1,049	

(2) 診療体制

看護職員配置数(病棟看護師のみ)

令和4年4月1日現在

階	フロア	病床分類	許可病床数	有効病床数	看護師
2F	なごやか	精神	44	44	19
3F		ICU	12	12	46
		HCU	20	20	44
4F	すこやかA	NICU	12	12	31
		GCU	15	15	21
	すこやかB	一般	32	32	26
		MFICU	3	3	7
5F	ほがらかA	一般	48	48	34
	ほがらかB	一般	48	48	35
6F	にこやかA	一般	48	48	33
		SCU	18	18	21
7F	のびやかA	一般	48	48	34
	のびやかB	一般	48	48	33
8F	さわやかB	一般	48	48	34
9F	おだやかA	一般	48	48	34
	おだやかB	一般	40	40	0
10F	あたたかA	一般	30	30	22
		結核	20	20	
	あたたかB	一類感染症	2	2	
		二類感染症	6	6	
合 計			620	620	507

病床数

		令和3年4月1日～						令和4年4月1日～							
		許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)	許可 病床数	有効 病床数		一般病棟 病床数 (病床利用 率分母)	その他 病床数	施設基準 上の一般 病床数	一般 病床数 (運用病 床数)
2F	なごやか	精 神	44	44	44		44		44	44	44		44		
		児童・思春期													
3F		救命救急	20	20			20		20	20	20		20		20
		HCU			28						32				
		院内ICU	8	8		8		8	12	12		12		12	12
4F	すこやかA	NICU	12	12			12		12	12	12		12		12
		GCU	15	15	59		15		15	15	15		15		15
	すこやかB	小児入院	32	32		32		32	32	32		32			32
		一般	30	30	33	30		30	30	30	33	30		30	30
5F	ほがらかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
	ほがらかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
6F	にこやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
		HCU	12	12	12		12		12						
		SCU	10	10	10		10		18	18	18		18	18	
7F	のびやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
	のびやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
8F	さわやかA	一般	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	
	さわやかB	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
9F	おだやかA	一般	48	48	48	48		48	48	48	48		48	48	
	おだやかB	一般	40	40	40	40		40	40	40	40		40	40	
10F	あたたかA	一般	30	30	30	30		30	30	30	30		30	30	
		結核	20	20	20		20		20	20	20		20		
	あたたかB	感染症	8	8	8	6	2	6	8	8	8	6	2	6	
合 計			620	620	474	146	442	548	620	620	477	143	442	548	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

(3)経営分析に関する調 (決算統計検収調書より)

区 分			算 式	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	類似規模 全国平均 (R3年度)	
病 床	病床利用率 (%)	一 般	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	75.3	80.0	69.4	70.4	74.3	72.1	
		結 核	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	5.2	4.2	21.2	33.7	49.4	20.7	
		精 神	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	30.0	30.4	36.7	36.7	36.2	48.2	
		感 染	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$			1.8		0.0	26.6	
		計	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	69.3	69.3	64.6	65.9	66.7	70.4	
患 者 数	1日平均患者数 (人)	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{365 \text{日} \cdot 366 \text{日}}$	457.0	452.8	401.1	408.7	413.4	429.0	
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	806.0	806.6	699.4	743.9	757.9	1,061.0	
		計		1,263.0	1,259.4	1,100.5	1,152.6	1,171.3	1,490.0	
	外来入院比率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	117.9	116.7	116.1	120.7	122.1	166.9		
	医師1人1日 当たり患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.1	3.0	2.0	2.0	2.7	2.5	
外 来		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.7	3.5	2.3	2.5	3.3	4.2		
計			6.8	6.5	4.3	4.5	6.0	6.7		
収 入	職員1人1日当 たり診療収入 (円)	医 師	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延医師数}}$	328,028	326,514	231,718	240,035	255,535	278,053	
		看護職員	$\frac{\text{入院外来収益}}{\text{年延看護師数}}$	67,159	68,213	56,913	61,944	69,691	75,188	
	患者1人当 たり診療収入 (円)	入 院	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延入院患者数}}$	2,480	2,962	2,964	3,830	2,919	3,358
			処置・手術	$\frac{\text{処置手術収入}}{\text{年延入院患者数}}$	28,349	29,361	29,840	31,498	32,370	21,390
			検 査	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延入院患者数}}$	1,038	1,042	996	1,190	1,420	1,682
			放 射 線	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延入院患者数}}$	707	798	689	764	800	700
			そ の 他	$\frac{\text{その他入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	49,642	48,403	50,869	51,063	54,421	47,227
			計	$\frac{\text{入院収入}}{\text{年延入院患者数}}$	82,216	82,566	85,358	88,345	91,931	74,357
			外 来	投薬・注射料	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{年延外来患者数}}$	8,199	9,692	11,886	11,826	11,804
	検 査	$\frac{\text{検査収入}}{\text{年延外来患者数}}$		4,125	4,254	4,364	4,454	4,702	4,150	
	放 射 線	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{年延外来患者数}}$		3,763	3,975	3,999	3,985	4,014	2,873	
	そ の 他	$\frac{\text{その他外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$		3,633	3,725	3,751	3,864	3,239	4,793	
	計	$\frac{\text{外来収入}}{\text{年延外来患者数}}$		19,720	21,646	24,000	24,129	23,759	22,081	

※「病床利用率」欄の<>書きは、稼働病床における稼働病床利用率

区 分		算 式	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	類似規模 全国平均 (R3年度)	
費 用	患者1人1日当たり薬品費(円)	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	7,923	8,445	9,293	9,497	10,480	7,119	
	入院患者1人1日当たり給食材料費(円)	$\frac{\text{患者用給食材料費}}{\text{年延入院外来患者数}}$							
	薬品使用効率(%)	投 薬	$\frac{\text{投 薬 薬 品 収 入}}{\text{投薬用薬品払出金額}} \times 100$	52.2	59.1	70.1	77.7	73.0	113.7
		注 射	$\frac{\text{注 射 薬 品 収 入}}{\text{注射用薬品払出金額}} \times 100$	73.9	81.9	86.0	88.2	86.3	106.3
費 用 構 成	医業収益に対する割合(%)	職員給与費	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	53.1	53.7	57.8	55.5	55.7	54.0
		薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	15.4	16.0	16.6	16.8	16.4	16.3
		その他の材料費	$\frac{\text{そ の 他 医 療 材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	15.0	14.6	14.5	14.5	15.0	13.4
職 員 数	病床100床 当たり職員数	医 師	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	28.8	31.2	31.6	32.3	31.9	33.2
		看護部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	116.6	119.6	120.9	117.6	117.1	103.4
		薬剤部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.8	4.2	4.6	5.2	5.6	5.9
		事務部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	16.2	13.6	16.2	16.5	16.8	20.2
		給食部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	1.5	2.2	2.2	2.1	2.1	2.3
		放射線部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	4.7	4.5	4.5	4.4	4.5	5.5
		臨床検査部門	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	3.3	4.1	4.1	4.4	4.5	7.3
		そ の 他	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	12.7	11.6	12.0	12.9	12.9	15.1
		計	$\frac{\text{年度末(各種)職員数}}{\text{年度末病床数}} \times 100$	187.6	191.0	204.3	202.6	203.4	200.7
検 査 薬 品	診療収入に対する割合(%)	検 査 収 入	$\frac{\text{検 査 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	6.0	5.5	5.3	5.6	5.8	7.7
		放 射 線 収 入	$\frac{\text{放 射 線 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	4.9	5.0	4.7	4.7	4.7	4.9
		薬 品 収 入	$\frac{\text{薬 品 収 入}}{\text{入 院 外 来 収 益}} \times 100$	11.5	13.2	14.8	15.4	14.2	18.4
室 料 差 額	1人1日当たり 徴収額(円)	個 室	最高	19,440	19,800	19,800	19,800	19,800	
			最低	9,720	9,900	9,900	9,900	9,900	
		2人以上室	最高						
			最低						
室料差額対象病床数/総病床数(%)			18.9	20.1	20.1	20.1	20.1	17.3	

類似規模全国平均は地方公営企業年鑑 第2編 統計資料 6 病院事業 (12) 経営分析に関する調 イ 経営規模別 (ウ) 全事業 における 500床以上データから抜粋

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

	届出項目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年 4月
	歯科外来診療環境体制加算 2	平成20年 7月
	歯科診療特別対応連携加算	平成22年 4月
	急性期一般入院料 1	平成20年 7月
	A D L維持向上等体制加算	平成31年 1月
	結核病棟入院基本料	平成20年 7月
	精神病棟入院基本料	平成24年 3月
	急性期体制充実加算	令和 4年 4月
	精神科充実体制加算	令和 4年 4月
	救急医療管理加算	令和 2年 4月
	超急性期脳卒中加算	平成20年 4月
	診療録管理体制加算 1	平成17年 2月
	医師事務作業補助体制加算 1	平成21年 5月
	急性期看護補助体制加算	平成23年 2月
	看護職員夜間配置加算	平成28年 7月
	看護補助加算	平成24年 5月
	療養環境加算	平成20年 3月
	重症者等療養環境特別加算	平成19年 2月
	無菌治療室管理加算 1、2	平成24年 4月
	緩和ケア診療加算	平成23年 2月
	精神科応急入院施設管理加算	平成24年 4月
	精神病棟入院時医学管理加算	平成24年 4月
	精神科身体合併症管理加算	平成31年 3月
	摂食障害入院医療管理加算	令和 4年 4月
	精神科リエゾンチーム加算	令和 4年 6月
	栄養サポートチーム加算	平成22年 6月
	医療安全対策加算 1	平成20年 4月
	医療安全対策地域連携加算 1	平成20年 4月
	感染対策向上加算 1	平成22年 4月
	患者サポート体制充実加算	平成24年 4月
	重症患者初期支援充実加算	令和 4年 6月
	報告書管理体制加算	令和 4年 4月
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成19年 1月
	ハイリスク妊娠管理加算	平成20年 4月
ハイリスク分娩管理加算	平成20年 4月	
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	平成24年 5月	
術後疼痛管理チーム加算	令和 4年10月	
後発医薬品使用体制加算 1	令和 2年 9月	
病棟薬剤業務実施加算 1	令和 4年12月	
データ提出加算 2 及び 4	平成24年 4月	
入退院支援加算 1	平成28年10月	

	届 出 項 目	算定開始月
基本診療料の 施設基準に係る届出書	入退院支援加算 3	令和 2年 5月
	認知症ケア加算 1	平成28年 4月
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月
	精神疾患診療体制加算	平成28年 4月
	地域医療体制確保加算	令和 2年 4月
	地域歯科診療支援病院入院加算	平成20年 4月
	特定集中治療室管理料 2	令和 3年10月
	ハイケアユニット入院医療管理料 1	平成25年 6月
	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	平成24年12月
	新生児特定集中治療室管理料 1	令和 2年 4月
	新生児治療回復室入院医療管理料	平成22年 5月
	一類感染症患者入院医療管理料	平成17年 5月
	小児入院医療管理料 2	平成22年 4月
	看護職員処遇改善評価料	令和 4年10月
	特掲診療料の 施設基準に係る届出書	外来栄養食事指導の「注2」に規定する基準
外来栄養食事指導の「注3」に規定する基準		令和 4年 4月
遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料）		令和 2年 4月
糖尿病合併症管理料		平成20年 4月
がん性疼痛緩和指導管理料		平成22年 4月
がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ		平成26年 4月
外来緩和ケア管理料		平成24年 4月
移植後患者指導管理料イ、ロ		平成26年 4月
糖尿病透析予防指導管理料		平成24年 4月
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		平成30年 4月
婦人科特定疾患治療管理料		令和 2年 4月
一般不妊治療管理料		令和 4年 4月
生殖補助医療管理料 1		令和 4年 4月
二次性骨折予防継続管理料 1		令和 4年 4月
二次性骨折予防継続管理料 3		令和 4年 4月
下肢創傷処置管理料		令和 4年 9月
院内トリアージ実施料		平成25年 5月
外来放射線照射診療料		平成25年 6月
外来腫瘍化学療法診療料 1		令和 4年 4月
ニコチン依存症管理料		平成18年 4月
開放型病院共同指導料		平成17年 2月
がん治療連携計画策定料		平成22年 4月
こころの連携指導料（Ⅱ）		令和 4年 4月
薬剤管理指導料		平成17年 2月
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料		平成28年 6月
医療機器安全管理料 1		平成20年 4月
医療機器安全管理料 2		平成20年 4月

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	医療機器安全管理料（歯科）	平成20年 4月
	精神科退院時共同指導料	令和 2年 4月
	総合医療管理加算（歯科疾患管理料）	平成26年 4月
	救急搬送診療料「注4」重症患者搬送加算	令和 4年10月
	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	令和元年 6月
	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	平成26年 4月
	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	令和 4年 2月
	遺伝学的検査	平成30年 1月
	骨髄微小残存病変量測定	平成30年 4月
	B R C A 1 / 2 遺伝子検査	令和 2年 4月
	がんゲノムプロファイリング検査	令和 2年 4月
	先天性代謝異常症検査	令和 2年 4月
	抗H L A抗体（スクリーニング検査）及び抗H L A抗体（抗体特異性同定検査）	平成30年 4月
	H P V核酸検出及びH P V核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成22年 4月
	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和 2年 4月
	検体検査管理加算（Ⅰ）	平成20年 4月
	検体検査管理加算（Ⅱ）	平成22年 4月
	遺伝カウンセリング加算	平成30年10月
	遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和 2年 4月
	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成20年 4月
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成28年 4月
	胎児心エコー法	平成30年 4月
	ヘッドアップティルト試験	平成24年 4月
	コンタクトレンズ検査料1	平成18年 4月
	小児食物アレルギー負荷検査	平成26年 5月
	内服・点滴誘発試験	平成22年 4月
	画像診断管理加算2	平成30年 8月
	遠隔画像診断	平成17年 2月
	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影	平成29年 4月
	C T撮影及びMR I撮影	平成17年 2月
	冠動脈C T撮影加算	平成22年 4月
	心臓MR I撮影加算	平成20年 4月
	乳房MR I撮影加算	令和 3年 3月
	小児鎮静下MR I撮影加算	平成30年 8月
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月
	外来化学療法加算1	平成20年 4月
	連携充実加算	令和 3年 9月
	無菌製剤処理料	平成17年 2月
	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 4月

	届 出 項 目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	平成28年 4月
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成23年 5月
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成22年 7月
	歯科口腔リハビリテーション料2	平成26年 4月
	通院・在宅精神療法（児童思春期精神科専門管理加算）	平成28年 4月
	療養生活継続支援加算	令和 4年12月
	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	平成24年 4月
	医療保護入院等診療料	平成24年 4月
	処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	平成26年 4月
	静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	令和 2年 4月
	エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）	平成17年 3月
	人工腎臓1	平成30年 4月
	導入期加算1（人工腎臓）	平成30年 4月
	口腔粘膜処置	平成30年 5月
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成30年 4月
	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	令和 4年 4月
	う蝕歯無痛の窩洞形成加算	平成20年 4月
	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	令和 4年 4月
	皮膚悪性腫瘍切除術（センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）	平成30年 4月
	組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）	平成25年10月
	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	令和 4年 4月
	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	平成29年 4月
	椎間板内酵素注入療法	令和 2年 4月
	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	令和 4年 4月
	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成25年10月
	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）	令和 4年 9月
	角結膜悪性腫瘍切除術	令和 4年 4月
	緑内障手術 2 流出路再建 イ 眼内法	令和 4年 4月
	緑内障手術 7 濾過胞再建	令和 4年 4月
	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	令和 4年 4月
	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	令和 4年 4月
	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）	令和 4年 7月
	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	平成28年 4月
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）	平成30年 4月	
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）	平成17年 2月	
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	平成28年 4月	

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	平成25年10月
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 4 気管支形成を伴う肺切除	令和 4年 4月
	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	平成30年 4月
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	平成17年11月
	胸腔鏡下弁形成術、胸腔鏡下弁置換術	令和 3年12月
	経カテーテル大動脈弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術）	平成26年12月
	経皮的僧帽弁クリップ術	令和元年 5月
	不整脈手術（左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの））	令和 4年 4月
	不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの））	令和 3年 4月
	経皮的中隔心筋焼灼術	令和 2年 3月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成17年 2月
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレス ペースメーカー）	平成30年 4月
	両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室 ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）	平成17年 2月
	植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込 型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のも の）及び経静脈電極除去術	平成24年12月
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場 合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈 電極の場合）	平成24年 4月
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	平成26年 4月
	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	平成30年 4月
	腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）	令和 4年 4月
	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	平成26年 4月
	腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性 腫瘍手術	平成26年 4月
	内視鏡的逆流防止粘膜切除術	令和 4年 4月
	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を 用い る場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用 支援機器を用いるもの））	令和 5年 1月
	腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	令和 2年10月
	バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	平成30年 4月
	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	令和 4年 4月
	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴 うものに限る。）	平成28年 4月
	体外衝撃波胆石破砕術	平成24年12月
	腹腔鏡下肝切除術	平成24年 4月
	体外衝撃波膵石破砕術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	平成24年 4月
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成24年 4月	

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年 4月
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 5年 2月
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 4年 8月
	腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成23年 2月
	腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	平成23年 2月
	同種死体腎移植術	平成20年 4月
	生体腎移植術	平成20年 4月
	腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術	平成26年 4月
	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）	令和 4年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術	平成26年 4月
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成24年 4月
	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	平成26年 4月
	膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）	令和 4年 4月
	精巣内精子採取術	令和 4年 4月
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成31年 1月
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	令和 4年 8月
	腹腔鏡下仙骨隆固定術	令和 2年12月
	腹腔鏡下仙骨隆固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 5年 3月
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 4年12月
	腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	令和 4年 4月
	胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成30年 4月
	体外式膜型人工肺管理料	令和 4年 4月
	手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成26年 4月
	胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	平成26年 4月
	医科点数表第 2 章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対する乳房切除術に限る）	令和 3年 5月
	医科点数表第 2 章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	令和 4年 1月
	周術期栄養管理実施加算	令和 4年 6月
	輸血管理料 I	平成20年 8月
	輸血適正使用加算	令和 4年10月
	コーディネート体制充実加算	令和 4年 6月
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 4月
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成26年 4月
	歯周組織再生誘導手術	平成20年 4月
	手術時歯根面レーザー応用加算	平成22年 4月
	広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成25年11月
	口腔粘膜血管腫凝固術	平成30年 5月
レーザー機器加算	平成30年 5月	
麻酔管理料（I）	平成17年 2月	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

	届出項目	算定開始月
特掲診療料の 施設基準に係る届出書	麻酔管理料（Ⅱ）	平成22年 4月
	放射線治療専任加算	平成17年 2月
	外来放射線治療加算	平成20年 4月
	高エネルギー放射線治療	平成17年 2月
	1回線量増加加算	平成26年 4月
	強度変調放射線治療（IMRT）	平成29年11月
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成29年11月
	体外照射呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	定位放射線治療	平成17年 2月
	定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成29年11月
	保険医療機関間の連携による病理診断	令和元年11月
	病理診断管理加算	平成26年 4月
	悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年 4月
	口腔病理診断管理加算	平成26年 4月
	クラウン・ブリッジ維持管理料	平成17年 2月
保険外併用療養費	特別の療養環境の提供	平成17年 2月
	初診等の保険外併用療養費	平成17年 2月
	180日を超える入院	平成17年 2月
	齲蝕に罹患している患者の指導管理	平成17年 2月
	金属床による総義歯の提供	平成17年 2月
入院時食事療養の基準	入院時食事療養費(1)	平成17年 2月

7 財務の状況

(1) 損益状況 (30年度～4年度)

(単位：円，%)

区 分 年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
経常収益 (a)	22,624,820,651	22,995,529,469	24,728,626,441	25,103,327,346	25,462,352,314
うち医業収益 (b)	18,285,933,318	18,530,922,757	17,143,640,780	18,073,729,728	18,997,925,936
うち料金収入 (c)	17,600,340,625	17,876,687,198	16,577,112,371	17,522,519,296	18,467,494,356
うち他会計繰入金 (d)	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	2,414,735,000
経常費用 (e)	23,372,749,116	23,830,640,173	23,354,240,946	23,249,804,606	23,865,644,113
うち医業費用 (f)	21,804,275,635	22,378,082,187	21,948,511,158	21,791,285,122	22,185,610,748
うち職員給与費 (g)	9,991,969,210	10,242,788,108	10,275,084,558	10,349,885,723	10,622,625,170
うち材料費 (h)	5,676,444,527	5,811,740,379	5,506,765,275	5,814,389,616	5,963,917,155
うち支払利息 (i)	412,075,386	387,372,797	359,964,856	332,465,310	304,374,173
経常損益 (j)	△ 747,928,465	△ 835,110,704	1,374,385,495	1,853,522,740	1,596,708,201
特別損益 (k)	△ 5,739,896	△ 6,257,823	△ 568,314,322	△ 17,966,024	△ 214,166,576
純損益 (l)	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173	1,835,556,716	1,382,541,625
累積欠損金 (△) (m)	10,147,379,925	10,988,748,452	10,182,677,279	8,347,120,563	6,964,578,938
不良債務 (n)	—	—	—	—	—
経常収支比率 (a)/(e)	96.8%	96.5%	105.9%	108.0%	106.7%
医業収支比率 (b)/(f)	83.9%	82.8%	78.1%	82.9%	85.6%
職員給与比率 (g)/(b)	54.6%	55.3%	59.9%	57.3%	55.9%
材料費比率 (h)/(b)	31.0%	31.4%	32.1%	32.2%	31.4%
他会計繰入金比率 (d)/(b)	12.5%	12.9%	14.0%	13.5%	12.7%
不良債務比率 (n)/(b)	—	—	—	—	—

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

(2) 貸借対照表 (30年度～4年度)

(単位：円, %)

区 分	平成31年3月31日		令和2年3月31日		令和3年3月31日		令和4年3月31日		令和5年3月31日		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
資産の部	固定資産	29,009,589,202	69.9	27,290,617,575	73.7	25,221,172,946	68.4	23,771,969,418	63.9	23,283,801,711	60.6
	有形固定資産	26,785,945,541	64.6	25,467,337,153	68.8	23,814,818,213	64.6	22,787,548,834	61.3	22,619,370,444	58.9
	無形固定資産	1,780,433,503	4.3	1,453,938,624	3.9	1,110,881,295	3.0	762,815,506	2.1	516,694,549	1.3
	投資	443,210,158	1.1	369,341,798	1.0	295,473,438	0.8	221,605,078	0.6	147,736,718	0.4
	流動資産	12,472,955,217	30.1	9,751,008,730	26.3	11,644,499,955	31.6	13,425,797,891	36.1	15,114,650,603	39.4
	現金預金	6,199,653,030	14.9	4,032,852,446	10.9	4,544,662,082	12.3	5,149,718,308	13.8	5,427,292,385	14.1
	未収金	4,966,216,042	12.0	4,462,931,382	12.0	5,860,364,370	15.9	5,619,407,621	15.1	7,173,674,209	18.7
	貯蔵品	103,797,855	0.3	80,789,452	0.2	74,839,978	0.2	68,206,182	0.2	98,178,809	0.3
	前払金	2,152,290	0.0	1,781,450	0.0	1,792,525	0.0	1,887,780	0.0	2,235,200	0.0
	有価証券	1,201,136,000	2.9	1,172,654,000	3.2	1,162,841,000	3.2	2,586,578,000	7.0	2,413,270,000	6.3
資産合計	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	37,197,767,309	100.0	38,398,452,314	100.0	
負債の部	固定負債	27,673,800,928	66.7	26,139,375,131	70.6	24,444,483,007	66.3	22,777,196,003	61.2	22,016,812,371	57.3
	企業債	24,316,862,130	58.6	22,606,146,996	61.0	20,253,586,700	54.9	18,382,897,793	49.4	17,378,382,490	45.3
	長期借入金										
	引当金	3,356,938,798	8.1	3,533,228,135	9.5	4,190,896,307	11.4	4,394,298,210	11.8	4,638,429,881	12.1
	流動負債	7,271,993,109	17.5	4,845,756,152	13.1	5,485,723,493	14.9	5,182,079,999	13.9	5,150,897,598	13.4
	企業債	2,605,772,297	6.3	2,347,715,134	6.3	2,659,760,296	7.2	2,471,888,907	6.6	2,277,215,303	5.9
	長期借入金										
	未払金	4,034,653,894	9.7	1,807,141,562	4.9	2,110,531,912	5.7	2,013,391,348	5.4	2,154,713,178	5.6
	前受金					480,000	0.0	83,366	0.0	900,000	0.0
	賞与引当金	545,328,506	1.3	599,771,451	1.6	633,297,122	1.7	611,240,419	1.6	631,815,698	1.6
預り金	86,238,412	0.2	91,128,005	0.2	81,654,163	0.2	85,475,959	0.2	86,253,419	0.2	
繰延収益	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2	2,971,988,152	8.0	3,423,023,565	8.9	
長期前受金	2,526,219,589	6.1	2,738,739,756	7.4	2,659,759,962	7.2	2,971,988,152	8.0	3,423,023,565	8.9	
負債合計	37,472,013,626	90.3	33,723,871,039	91.0	32,589,966,462	88.4	30,931,264,154	83.2	30,590,733,534	79.7	
資本の部	資本金	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3	13,385,957,629	36.0	13,385,957,629	34.9
	自己資本金	13,385,957,629	32.3	13,385,957,629	36.1	13,385,957,629	36.3	13,385,957,629	36.0	13,385,957,629	34.9
	剰余金	△ 9,375,426,836	△ 22.6	△ 10,068,202,363	△ 27.2	△ 9,110,251,190	△ 24.7	△ 7,119,454,474	△ 19.1	△ 5,578,238,849	△ 14.5
	資本剰余金	771,953,089	1.9	920,546,089	2.5	1,072,426,089	2.9	1,227,666,089	3.3	1,386,340,089	3.6
	利益剰余金	△ 10,147,379,925	△ 24.5	△ 10,988,748,452	△ 29.7	△ 10,182,677,279	△ 27.6	△ 8,347,120,563	△ 22.4	△ 6,964,578,938	△ 18.1
資本合計	4,010,530,793	9.7	3,317,755,266	9.0	4,275,706,439	11.6	6,266,503,155	16.8	7,807,718,780	20.3	
負債資本合計	41,482,544,419	100.0	37,041,626,305	100.0	36,865,672,901	100.0	37,197,767,309	100.0	38,398,452,314	100.0	

(3) 収益費用明細書 (30年度～4年度)

①収益

(単位：円，%)

科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比	
						医業収益比	対前年比
事業収益	22,787,676,786	23,095,928,530	25,216,889,138	25,198,562,220	25,631,793,883	134.9	101.7
医業収益	18,285,933,318	18,530,922,757	17,143,640,780	18,073,729,728	18,997,925,936	100.0	105.1
入院収益	13,720,862,737	13,686,041,472	12,497,164,707	13,178,421,688	13,870,178,337	73.0	105.2
外来収益	3,879,477,888	4,190,645,726	4,079,947,664	4,344,097,608	4,597,316,019	24.2	105.8
その他医業収益	685,592,693	654,235,559	566,528,409	551,210,432	530,431,580	2.8	96.2
室料差額	258,876,001	259,180,807	218,930,116	196,943,152	200,780,840	1.1	101.9
公衆衛生	109,325,535	97,029,632	92,476,455	104,385,246	94,637,968	0.5	90.7
その他医業	317,391,157	298,025,120	255,121,838	249,882,034	235,012,772	1.2	94.0
医業外収益	4,338,887,333	4,464,606,712	7,584,985,661	7,029,597,618	6,464,426,378	34.0	92.0
受取利息配当金	15,152,612	15,153,043	15,078,246	15,030,516	22,530,516	0.1	149.9
預金利息	152,612	153,043	78,246	30,516	30,516	0.0	100.0
有価証券利息	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	22,500,000	0.1	150.0
補助金	383,056,564	406,302,560	3,574,456,363	3,247,118,548	2,919,013,120	15.4	89.9
国庫補助金	19,521,000	24,059,000	153,026,975	35,712,000	23,206,000	0.1	65.0
県補助金	356,599,000	375,124,200	3,414,422,000	3,205,069,000	2,888,982,528	15.2	90.1
高知市補助金	6,936,564	7,119,360	7,007,388	6,337,548	6,824,592	0.0	107.7
構成団体負担金	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	2,414,735,000	12.7	99.2
構成団体負担金	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	2,414,735,000	12.7	99.2
長期前受金戻入	1,269,598,920	1,412,191,188	1,399,650,060	1,111,745,980	880,695,042	4.6	79.2
長期前受金戻入	1,269,598,920	1,412,191,188	1,399,650,060	1,111,745,980	880,695,042	4.6	79.2
その他医業外	383,477,450	232,513,172	199,050,166	221,894,744	227,452,700	1.2	102.5
不用品売却	642,373	1,309,751	1,058,452	1,185,702	1,476,982	0.0	124.6
有価証券評価益	17,448,000						
その他医業外	365,387,077	231,203,421	197,991,714	220,709,042	225,975,718	1.2	102.4
特別利益	162,856,135	100,399,061	488,262,697	95,234,874	169,441,569	0.9	177.9

②費用

科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比	
						医業収益比	対前年比
事業費用	23,541,345,147	23,937,297,057	24,410,817,965	23,363,005,504	24,249,252,258	127.6	103.8
医業費用	21,804,275,635	22,378,082,187	21,948,511,158	21,791,285,122	22,185,610,748	116.8	101.8
給与費	9,991,969,210	10,242,788,108	10,275,084,558	10,349,885,723	10,622,625,170	55.9	102.6
医師給	872,725,500	896,052,358	1,055,808,484	1,078,905,969	1,093,472,295	5.8	101.4
看護師給	2,329,689,034	2,346,149,675	2,564,649,710	2,530,175,867	2,579,885,723	13.6	102.0
医療技術職員給	433,184,205	426,767,596	473,865,034	479,521,396	509,061,103	2.7	106.2
事務職員給	119,493,611	128,757,319	296,839,993	323,414,644	332,312,314	1.7	102.8
医師手当	1,770,699,826	1,801,680,368	1,835,663,688	1,852,479,553	1,855,837,475	9.8	100.2
看護師手当	1,278,748,936	1,245,789,936	1,243,665,555	1,253,197,089	1,304,427,510	6.9	104.1
医療技術職員手当	220,882,882	216,556,899	214,809,769	226,115,616	252,666,349	1.3	111.7
事務職員手当	75,138,914	75,045,291	104,774,291	105,889,023	117,342,336	0.6	110.8
賞与引当金繰入額	545,328,506	599,771,451	633,297,122	611,240,419	631,815,698	3.3	103.4
賃金	434,622,250	445,666,993					
報酬	268,987,045	275,931,056					
法定福利費	1,403,623,329	1,392,034,296	1,414,989,435	1,412,038,043	1,464,913,360	7.7	103.7
退職給与金	238,845,172	392,584,870	436,721,477	476,908,104	480,891,007	2.5	100.8
材料費	5,676,444,527	5,811,740,379	5,506,765,275	5,814,389,616	5,963,917,155	31.4	102.6
薬品費	3,420,854,234	3,508,092,301	3,382,737,499	3,566,684,115	3,511,180,815	18.5	98.4
診療材料費	2,214,995,584	2,265,867,592	2,087,465,679	2,199,198,953	2,409,103,085	12.7	109.5
医療消耗備品	40,594,709	37,780,486	36,562,097	48,506,548	43,633,255	0.2	90.0
経費	3,939,216,168	3,803,709,927	3,740,572,569	3,704,868,562	3,971,894,409	20.9	107.2
厚生福利費	21,955,704	21,823,540	22,433,066	22,102,508	31,673,558	0.2	143.3
報償費	123,812,224	143,504,895	112,580,171	101,030,541	86,565,588	0.5	85.7
旅費交通費	7,511,397	9,162,840	4,004,378	3,512,155	7,269,030	0.0	207.0
職員被服費	1,391,960	2,018,090	2,165,780	1,763,530	2,548,600	0.0	144.5
消耗品費	75,302,537	73,687,212	64,872,956	67,421,677	73,160,734	0.4	108.5
光熱水費	393,448,998	390,052,872	341,751,866	355,810,898	501,290,716	2.6	140.9
燃料費	2,611,549	2,578,528	2,431,427	2,535,391	2,558,568	0.0	100.9
食料費	52,664	78,521	21,433	8,722	15,699	0.0	180.0
印刷製本費	4,118,200	4,239,950	3,346,200	3,870,900	3,679,400	0.0	95.1
修繕費	242,250,131	163,292,404	162,790,982	147,893,020	218,560,839	1.2	147.8
特別修繕引当金			41,006,000	41,006,000	41,006,000	0.2	100.0
保険料	27,986,074	27,093,994	24,261,592	27,509,131	33,641,217	0.2	122.3
賃借料	127,385,407	126,507,393	122,130,680	129,973,967	127,317,395	0.7	98.0
通信運搬費	22,881,515	19,060,487	17,776,101	18,467,791	19,055,694	0.1	103.2
委託料	2,637,440,574	2,607,510,478	2,627,564,920	2,602,839,131	2,649,884,057	13.9	101.8
負担金諸会費	230,618,402	192,822,892	174,573,887	151,224,328	153,066,924	0.8	101.2
交際費	210,352	256,498		5,273	31,965	0.0	606.2
雑費	20,238,480	20,019,333	16,861,190	27,893,599	20,568,425	0.1	73.7
減価償却費	2,102,221,541	2,419,402,607	2,387,084,149	1,870,245,087	1,561,645,940	8.2	83.5
建物	1,182,632,607	1,187,576,879	1,201,921,587	781,571,986	580,944,462	3.1	74.3
構築物	31,504,854	31,504,854	31,649,027	11,379,559	11,379,559	0.1	100.0
器械備品	875,890,153	838,429,995	786,376,206	709,495,753	601,502,562	3.2	84.8
無形固定資産	12,193,927	361,890,879	367,137,329	367,797,789	367,819,357	1.9	100.0
資産減耗費	32,623,932	47,625,736	14,770,290	21,547,789	21,515,625	0.1	99.9
たな卸	11,472,048	10,224,206	8,722,200	7,018,754	8,324,724	0.0	118.6
固定資産除却費	21,151,884	37,401,530	6,048,090	14,529,035	13,190,901	0.1	90.8
研究研修費	61,800,257	52,815,430	24,234,317	30,348,345	44,012,449	0.2	145.0
謝金	945,991	508,402	482,243	1,909,538	653,351	0.0	34.2
旅費	33,490,411	27,169,772	825,634	1,471,090	9,130,348	0.0	620.7
研究雑費	27,363,855	25,137,256	22,926,440	26,967,717	34,228,750	0.2	126.9

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニックインディケタ

財務の状況

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比	
						医業収益比	
医業外費用	1,568,473,481	1,452,557,986	1,405,729,788	1,458,519,484	1,680,033,365	8.8	115.2
支払利息	412,075,386	387,372,797	359,964,856	332,465,310	304,374,173	1.6	91.6
企業債利息	410,313,608	387,083,251	359,825,218	332,192,036	303,795,671	1.6	91.5
長期借入金利息	571,500						
企業債手数料及び取扱諸費	1,190,278	289,546	139,638	273,274	578,502	0.0	211.7
長期前払消費税償却	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	73,868,360	0.4	100.0
議会費	1,284,765	1,341,798	1,333,606	1,330,040	1,325,192	0.0	99.6
報酬	953,000	979,988	953,000	954,248	953,000	0.0	99.9
旅費交通費	212,965	260,710	259,106	259,092	259,092	0.0	100.0
委託料	118,800	101,100	121,500	116,700	113,100	0.0	96.9
監査委員費	112,000	112,917	120,417	112,916	112,000	0.0	99.2
報酬	112,000	112,917	120,417	112,916	112,000	0.0	99.2
企業団管理費	2,242,914	4,634,302	3,094,147	4,555,981	5,453,511	0.0	119.7
報償費	678,483	931,639	703,703	1,333,415	1,220,230	0.0	91.5
消耗品費		42,812	17,500	9,350	39,684	0.0	424.4
賃借料	19,560	40,864					
通信運搬費	75,280	70,885	161,820	121,364			
委託料	141,000	913,175	100,050	354,175	831,060	0.0	234.6
負担金諸会費	42,130	1,148,910	1,220,910	1,080,455	1,799,273	0.0	166.5
雑費	1,286,461	1,486,017	890,164	1,657,222	1,563,264	0.0	94.3
その他雑損失	1,078,890,056	985,227,812	967,348,402	1,046,186,877	1,294,900,129	6.8	123.8
その他雑損失	150,763,582	77,345,737	34,423,101	43,472,731	39,352,106	0.2	90.5
3条控除対象外	298,566,331	321,072,346	349,641,945	354,347,905	384,659,468	2.0	108.6
4条 "	187,096,733	53,838,474	41,065,351	51,909,451	114,700,310	0.6	221.0
貯蔵品 "	442,463,410	504,489,255	532,405,005	564,206,667	582,880,245	3.1	103.3
有価証券評価損		28,482,000	9,813,000	32,250,123	173,308,000	0.9	537.4
有価証券売却損							
特別損失	168,596,031	106,656,884	1,056,577,019	113,200,898	383,608,145	2.0	338.9
過年度損益修正損	168,596,031	106,656,884	713,777,019	113,200,898	293,369,170	1.5	259.2
固定資産売却損							
その他特別損失			342,800,000		90,238,975	0.5	

科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	対前年比	
						医業収益比	
当年度純損益	△ 753,668,361	△ 841,368,527	806,071,173	1,835,556,716	1,382,541,625	7.3	75.3
累積欠損金	△ 10,147,379,925	△ 10,988,748,452	△ 10,182,677,279	△ 8,347,120,563	△ 6,964,578,938	△ 36.7	83.4

(4) 資本的収支明細書 (30年度～4年度)

(単位：円，%)

科 目	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
						対前年比
資本的収入	4,056,019,964	2,191,500,945	1,785,837,074	2,180,902,170	2,763,931,000	126.7
企業債	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	601,200,000	1,272,700,000	211.7
医療器械整備事業債	2,571,000,000	637,000,000	307,200,000	601,200,000	1,272,700,000	211.7
構成団体負担金	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	1,482,139,000	94.3
高知医療センター建設改良費負担金	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	1,482,139,000	94.3
固定資産売却代金						
固定資産売却代金						
補助金	8,055,000	2,230,800	66,954,900	7,854,000	9,092,000	115.8
国庫補助金			9,194,900	2,332,000		
県補助金	8,055,000	2,230,800	57,760,000	5,522,000	9,092,000	164.7
資本的支出	5,115,498,626	3,251,647,549	2,785,026,701	3,219,894,543	3,748,469,300	116.4
建設改良費	2,585,313,528	645,875,252	437,311,567	560,134,247	1,276,580,393	227.9
医療器械整備費	525,295,065	386,116,780	137,391,067	320,049,470	847,865,241	264.9
資産購入費	1,909,665,383	71,353,392	95,348,000	37,289,777	168,660,152	452.3
施設整備費	150,353,080	188,405,080	204,572,500	202,795,000	260,055,000	128.2
企業債等償還金	2,415,885,098	2,605,772,297	2,347,715,134	2,659,760,296	2,471,888,907	92.9
構成団体長期借入金償還金	114,300,000					
収 支 差 引	△ 1,059,478,662	△ 1,060,146,604	△ 999,189,627	△ 1,038,992,373	△ 984,538,300	94.8

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

(5) 一般会計繰入金

①繰入金内訳 (30年度～4年度)

(単位：円)

区 分	年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
収 益 的 収 入	企業債利息負担金	157,410,000	149,960,000	140,560,000	131,032,000	121,188,000
	割賦金利息負担金	99,089,000	91,402,000	83,583,000	75,631,000	67,543,000
	結核病棟運営費負担金	71,141,000	72,965,000	73,686,000	9,184,000	
	小児医療負担金	164,390,000	178,711,000	208,958,000	212,804,000	218,558,000
	周産期医療負担金	165,170,000	236,184,000	329,798,000	353,123,000	325,923,000
	救急医療確保負担金 ※1～※5 ①	379,008,000	398,144,000	490,569,000	474,642,000	534,311,000
	高度特殊医療等負担金	500,481,000	480,122,000	283,166,000	333,733,000	336,291,000
	リハビリテーション医療負担金	2,237,000	20,434,000	46,408,000	37,516,000	49,090,000
	院内保育所運営費負担金	19,411,000	22,390,000	23,347,000	22,603,000	13,755,000
	保健衛生行政事務負担金 ②	18,602,000	18,916,000	20,150,000	18,449,000	17,700,000
	医師等研究研修負担金	33,467,000	29,165,000	29,476,000	25,696,000	20,931,000
	地共済追加費用負担金	187,966,000	210,731,000	159,445,000	145,418,000	127,690,000
	医師確保対策費用負担金	5,740,000	5,861,000	6,013,000	11,524,000	7,425,000
	基礎年金拠出金負担金	232,873,000	228,242,000	229,202,000	251,481,000	245,616,000
	児童手当負担金	56,370,000	57,316,000	57,661,000	62,351,000	59,338,000
	企業団管理費負担金	9,037,000	7,130,000	14,259,000	14,717,000	14,086,000
	感染症病床運営費負担金	3,809,000	3,555,000	4,716,000	3,894,000	5,610,000
	精神科医療に要する負担金 ※6 ③	181,400,787	187,218,749	193,909,826	250,009,830	249,680,000
	滞在施設やまもも負担金 ※7 ④			1,844,000		
計 (A)	2,287,601,787	2,398,446,749	2,396,750,826	2,433,807,830	2,414,735,000	
資 本 的 収 入	企業債償還元金出資金	937,357,000	1,028,133,000	894,878,000	1,046,610,000	948,322,000
	〃 高度医療機器分	61,250,000	37,625,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000
	割賦金償還元金出資金	450,291,000	457,979,000	465,797,000	473,749,000	481,837,000
	施設整備出資金	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
	精神科医療に要する負担金 ※8 ⑤	23,498,964	23,900,145	24,308,174	24,723,170	25,145,000
	災害時における救急医療のために行う施設整備費	3,068,000	3,133,000	3,199,000	3,266,000	3,335,000
計 (B)	1,476,964,964	1,552,270,145	1,411,682,174	1,571,848,170	1,482,139,000	
繰入金合計	3,764,566,751	3,950,716,894	3,808,433,000	4,005,656,000	3,896,874,000	

県負担分	2,014,850,751	2,111,192,894	2,045,145,000	2,170,240,000	2,115,515,000	
医療セ グメント の 計算式	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2+①+②+③+④	1,264,618,787	1,323,107,749	1,327,148,826	1,371,953,830	1,361,873,000
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2+⑤	750,231,964	788,085,145	717,996,174	798,286,170	753,642,000
市負担分	1,749,716,000	1,839,524,000	1,763,288,000	1,835,416,000	1,781,359,000	
医療セ グメント の 計算式	収益的 ((A)-①-②-③-④)×1/2	1,022,983,000	1,075,339,000	1,069,602,000	1,061,854,000	1,052,862,000
	資本的 ((B)-⑤) ×1/2	726,733,000	764,185,000	693,686,000	773,562,000	728,497,000

- ※1 30年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,634,000円については県負担。
- ※2 31年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※3 2年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,633,000円については県負担。
- ※4 3年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,636,000円については県負担。
- ※5 4年度の救命救急に対する繰入のうち、補助金相当分41,622,000円については県負担。
- ※6～8 精神科医療に要する負担金および滞在施設やまももに要する負担金については県負担。

②繰入率・一床当り繰入額 (30年度～4年度)

(単位：円，%)

区 分	年 度	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度	
		金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
一般会計からの繰入金	収益的収入繰入 (a)	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9	2,433,807,830	101.5	2,414,735,000	99.2
	負 担 金	2,287,601,787	93.0	2,398,446,749	104.8	2,396,750,826	99.9	2,433,807,830	101.5	2,414,735,000	99.2
	資本的収入繰入 (b)	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9	1,571,848,170	111.3	1,482,139,000	94.3
	出 資 金	1,476,964,964	102.6	1,552,270,145	105.1	1,411,682,174	90.9	1,571,848,170	111.3	1,482,139,000	94.3
	繰 入 金 合 計 (c)	3,764,566,751	96.6	3,950,716,894	104.9	3,808,433,000	96.4	4,005,656,000	105.2	3,896,874,000	97.3
収 益 的 収 入 (d)		22,787,676,786	99.5	23,095,928,530	101.4	25,216,889,138	109.2	25,198,562,220	99.9	25,631,793,883	101.7
資 本 的 収 入 (e)		4,056,019,964	112.2	2,191,500,945	54.0	1,785,837,074	81.5	2,180,902,170	122.1	2,763,931,000	126.7
繰入率	収益的収入 $\frac{(a)}{(d)} \times 100$	10.0		10.4		9.5		9.7		9.4	
	資本的収入 $\frac{(b)}{(e)} \times 100$	36.4		70.8		79.0		72.1		53.6	
	収益的収入に対する繰入金計 $\frac{(c)}{(d)} \times 100$	16.5		17.1		15.1		15.9		15.2	
一床当り繰入金 (千円)	収益的収入繰入	3,466		3,868		3,866		3,925		3,895	
	資本的収入繰入	2,238		2,504		2,277		2,535		2,391	
	繰 入 金 合 計	5,704		6,372		6,143		6,461		6,285	

II 各局資料

医療局

1. 概要

高知医療センターの標榜診療科は 40 診療科(院内標榜診療科としては 44 診療科)あり、急性期医療におけるほぼ全領域の疾患に対応している。また、2022 年 4 月における医療局の構成は、正職医師 160 名、専修医 13 名、初期研修医 27 名(1 年目 12 名、2 年目 15 名)、招聘医師 43 名の合計 243 名である。常勤換算医師数は 206.1 名であり、この 2 年間ほぼ横這いである。

医師の所属医局は、岡山大学 48 名、高知大学 37 名、徳島大学 11 名、香川大学 3 名、その他大学 8 医局 9 名であり、大学医局に所属しない医師数は 52 名であった。

2022 年度の初期研修医の採用人数は 12 名で、前年度よりやや減少したが、新に臨床研修管理センター副センター長 2 名を配置、病院長による研修医ヒアリングなども実施し、研修医に選ばれる医療機関を目指して体制整備を進めている。

当院医療局は各大学からの医学生実習の受入れを行なっている。2022 年度は新型コロナウイルス感染症により大幅な制限があったが、高知大学 265 名、自治医科大学 6 名、岡山大学 4 名の学生を受入れた。(延べ人数)

2. 活動状況

【外来および入院患者動向】

2022 年度は入院患者数 12,573 名、外来患者数 15,348 名であり、前年度比はそれぞれ+142 名、+345 名であったが、コロナ禍以前の 2019 年度水準には回復していない。この変化においては人口減少、高齢化など様々な変化が関係しており、患

者数の動向に関しては今後慎重な分析が必要と思われる。

手術症例数は合計 5,145 例、うち全身麻酔 4,254 例であり、前年度(2021 年度)の合計 4,912 例より増加した。また、2022 年度は 4 診療科(消化器外科、婦人科、呼吸器外科、泌尿器科)においてロボット支援手術の導入が行われ、109 例のロボット支援手術が施行された。

コロナ波による手術制限等にもかかわらず前年度より手術件数が伸びた理由としては、ワーキンググループによる計画的なロボット支援手術導入や新型コロナウイルス感染拡大に負けない診療対応能力を徐々に身につけてきたことによると考えられる。

当院における 2022 年度のがん登録患者数は 1,736 名であった。2020 年度の登録患者数の落ち込みから回復しており、コロナ禍においてもがん診療連携拠点病院としての役割を維持できていると考えられる。

【コロナ診療】

当院は感染症指定医療機関であり、高知県の新型コロナウイルス感染症の診療において重要な役割を果たしてきた。2022 年度は 6 波から 8 波を向かえ、当院の新型コロナウイルス入院患者(陽性+疑陽性)受入数は合計 595 名であった。2020 年 2 月から 2023 年 3 月末までの累計入院患者受入れ数は 1,154 名に達した。

10 階南病棟をコロナ感染症専用病床として確保し、総合診療科を中心に主に軽症～中等症のコロナ感染症患者の診療を行った。コロナ波のピー

ク時には 10 階東病棟もコロナ病床として使用し入院患者数拡大に対応した。また、3 階 HCU にコロナ感染症専用部屋を設置し、集中治療科および救命救急科を中心に重症コロナ感染症患者への対応を行った。その他の診療科医師も 10 階病棟における軽症～中等症のコロナ感染症の診療サポートを持ち回り行う体制をとった。

【救急医療】

当院はドクターヘリ運用による高知県全域に対応できる救命救急医療体制をはじめとする救命救急センター機能を有している。2022 年度の救急搬送件数は 401 件／月であり、2020 年度（248 件／月）、2021 年度（311 件／月）より大幅に増加している。

しかし救命救急科医師は不足状態にあり、2022 年度も前年に引き続き休日・夜間のホットライン業務を他診療科医師でサポートする体制を維持した。短期ローテーションの専攻医確保などより若干のマンパワー改善はみられるものの根本的な解消には至っておらず、更なる救命救急医師の確保が課題である。

【地域医療連携】

地域医療センターの取り組みの一環である地域の連携医療機関への訪問にあたって現場医師が積極的に同行することで、より顔の見える関係づくりに努め、地域医療連携強化に向けた。2022 年度は新型コロナウイルス感染症による訪問制限が相次いだ。施設に現場医師が同行した。2023 年度は、診療科が独自に地域医療機関を訪問する形も

加えて、さらに地域医療機関との顔の見える関係作りを進める予定である。

【医師の働き方改革】

医師の長時間労働が常態化するなか、2024 年度からの時間外労働上限規制に向けて、時間外の管理体制整備とともに医師の働き方改革が進められた。

2022 年度の局の取り組みとして毎月の医療局協議会、不定期の医局会を通じて働き方改革の情報を共有するとともに、時間外労働時間のフィードバックを通じて意識改革を進めてきた。意識改革の実践は容易ではないが、業務の効率化とともにタスクシェア・シフトの考え方も少しずつ浸透してきている。2024 年度からの特定行為看護師導入に向けた 2023 年度研修の情報も発信を通じてタスクシフトの考え方も徐々に局内に浸透しつつある。

3. 今後の課題・目標

今後の課題および目標に関しては、前項目の中に示した。

高齢化、人口減少の波が押し寄せるなかで、国が掲げる地域医療構想のもと急性期医療の現場で働く医師には様々な業務転換を求められており大変な負担にもなっている。問題は山積しているが、それぞれの課題への取り組みを通じて働きがいのある安定した医療局を維持していきたい。

看護局

1. 概要

看護局の理念「いのちに寄り添い ところをつなぐ パートナースHIP」の実現をめざして様々な取り組みを展開している。

令和4年4月1日の正規看護職員数は695人(平均年齢38.4歳)、うち男性看護師71人(10.2%)、助産師55人(7.9%)であった。令和4年度の新規採用者は23人(うち新人看護師19人)であった。

感染症指定医療機関として、重症患者はHCUで対応し、コロナ対応病床50床(コロナ特例HCU)では、軽症～中等症Ⅱレベル、一部の重症患者、妊産婦、小児患者に対応した。感染症病棟は、看護局の職員一丸となりローテーション配置や応援体制にて対応し、配置した看護職員の面接を定期的に行うなど、職員にも寄り添いつつ看護体制を整えた。令和4年度の退職率は4.0%であり、コロナ対応が理由の退職はなかった。

2. 活動状況

1) 総務担当

①看護職員の人事、労務管理等

職員が健康で誇りとやりがいを持ち成長できる職場であること、仕事と生活を両立してキャリアを継続できる職場であることを目指し、ワークライフバランス推進に取り組んでいる。また、自分の生活を大切にしつつ、看護師としての専門性を磨き仕事を続けていけるよう、育児休業からの復職支援やメンタルヘルス支援に取り組んでいる。

②看護職員採用に向けた広報活動

看護学生を対象としたインターンシップを開催している。当院の概要や新人教育体制、福利厚生についての説明や、先輩看護師からの話を聴く機会を提供し看護のやりがいについて伝えている。

2) 業務担当

①看護師と看護補助者の業務量調査とナイトサポーターの導入

看護師業務量では「日常生活の援助」「記録」「診療・治療介助」に関する業務が減少し、「情報収集」

「職員健康管理」が増加した。看護補助者業務量では「入院時の世話」「定期の環境整備」が減少し、「身体清潔」「患者の移送」が増加した。令和4年10月よりナイトサポーターを導入し、看護補助者とナイトサポーターの業務を整理した。

②患者・家族が安心できる質の高い看護の提供

看護局対応の宝箱(患者さんからの声)の件数は14件(昨年度33件)、その内、対応・接遇に関する意見は3件あり、患者さんに寄り添った声掛けや配慮を行えるよう意見を共有している。療養環境に関する意見が9件、お褒めが2件あった。

3) 地域連携担当

①入退院支援の取り組み

患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養生活が送れるよう、施設間の連携を推進し入院早期より退院困難な要因を有する患者さんに、入退院支援することは重要である。令和4年度の入退院支援加算1の算定数は、2,770件、入院時支援加算1は545件、入院時支援加算2は116件であった。また、高知県立大学入退院支援事業に参加し、入院時から「地域・病院・多職種」で切れ目のない円滑な移行を目指した入退院支援体制づくりに取り組んでいる。

②効果的な病床管理

日々の病床管理を行い部署別月別に病床稼働状況を把握している。令和4年度の一般病床の稼働率は86.2%であった。

4) 教育担当

①新人看護師研修

4月～2月までの11ヶ月間のプログラムで集合研修とOJTを行っている。新人看護師1人に対し実地指導者2人、実地指導者グループをまとめる実地指導者リーダーを配置しており、新人看護師の1年以内の退職率は4年連続0.0%であった。

②継続教育

教育担当、CN、CNSらが中心となり卒後教育を企画・運営している。令和4年度は56研修(新人看護師研修・院外研修を除く)を実施した。

3. 看護チーム活動

チーム医療とは、医療に従事する多種多様なスタッフが、各々の高い専門性を前提に目的と情報を共有し、明確な役割分担の中で他者に説明できる成果を生み出す責任を持つ組織的な取り組みである。看護局では以下のチーム活動を行っている。

1) チーム楽楽

チーム楽楽は、紙屋克子氏が開発した「ナーシングバイオメカニクスに基づく自立のための生活支援技術」を部署内や看護局全体に定着させることをめざしている。患者にとって体位変換は自立につながる第一歩である。看護技術の中でも体位変換・移乗技術の普及・啓発に努めている。

2) 接遇マナー改善チーム

「患者さんに適切なサービスを提供することができる」「良好な人間関係を築くことができる」「職業人としてのマナーを身につけることができる」、この3つを目標とし、新人看護師や看護補助者を対象に研修を行い、部署では互いに身だしなみを良くする取り組みをしている。

3) コンチネンスケアチーム

NPO 日本コンチネンス協会の排泄ケア専門員教育課程を修了したメンバーを中心に活動している。各フロアの排泄に関するアセスメント力を高め、ケアの質を向上できるよう技術や知識を組み込んだ勉強会を行っている。

4) 感染管理リンクナース会

感染対策委員会や感染制御チームと部署スタッフをつなぐ重要な役割を担っている。そして率先して自部署での感染防止対策の改善に取り組んでいる。毎月の会において院内外の感染管理情報や自部署の環境や手指衛生の現状を報告し、ミニ研修会なども実施している。

5) 緩和ケアチームリンクナース会

各フロアにおける苦痛スクリーニングの実施や基本的緩和ケアの要として活動している。また、

専門的緩和ケアが必要な状態や家族により良い看護が提供できるよう、緩和ケアチームと所属フロアを繋ぐ役割も担っている。緩和ケアに関する知識や技術習得のほか、院内の緩和ケア体制の構築に向け話し合いを行っている。

6) 摂食・嚥下チームリンクナース会

チームに所属する言語聴覚士・歯科衛生士等の各職種や摂食・嚥下障害看護認定看護師から、嚥下訓練や食形態に関するレクチャーを受けている。リンクナース会で学んだ内容をもとに、知識・技術を部署に広めたり、嚥下障害を持つ患者に必要な看護診断を行い、ケアが提供されているかを確認する等の活動を行っている。

7) 褥瘡防止委員会リンクナース会

各部署のリンクナースと皮膚・排泄ケア認定看護師で構成され、褥瘡やスキントラブルの発生予防、早期治癒に向けてのケアが実践できるように、知識・技術の向上に取り組んでいる。

8) せん妄・認知症ケアリンクナース会

入院することによって環境が変化することや治療の影響により高齢者や認知症の方、手術を受けた方は意識の混乱を起こしやすくなる。リンクナース会では、せん妄・認知症を理解するための研修や情報の共有を行い、リンクナースが各フロアで患者アセスメント・環境調整などの看護ケアをスタッフと共に実践する役割を担っている。

4. 今後の課題・目標

教育目標の一つに急性期病院として高度な医療に対応できる看護師の育成を挙げている。専門職者として個人・組織の目指す目標に向かって自ら成長できる組織、看護の質を担保するとともに働き続けることのできる組織をめざして、今後も様々な取り組みを続けていく。

薬剤局

1. 概要

理念：「臨床薬剤師」として、人に社会に貢献出来る薬学ケアサービスを実践する」

1) 医薬品管理部

- 調剤科
- 製剤科
- 医薬品情報科

2) 臨床薬剤部

- 薬剤管理指導科
- 救急医療支援科

業務スタッフ（令和5年3月31日現在）

常勤薬剤師	33人
会計年度薬剤師	2人
会計年度事務	6人
SPD	11人

勤務形態：24時間体制（夜勤：変則2交代制）

専門・認定薬剤師

専門・認定薬剤師	人数
日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師	2
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	1
日本医療薬学会 薬物療法指導薬剤師	1
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師	1
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	1
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	2
日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師	8
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	4
日本臨床栄養代謝学会 NST専門薬剤師	3
日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師	2
薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師	6
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師	1
日本DMAT隊員	5
日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療養士	3

2. 業務実績

外来稼働日数：242日（令和3年、4年共通）

入院稼働日数：365日

調剤業務		令和3年度	令和4年度
外来院外処方箋枚数 (枚)	1ヶ月平均	6,419.7	6,670.9
	1日平均	318.3	303.2
院外処方箋発行率		94.9%	94.2%
外来注射処方件数 (件)	1ヶ月平均	543.5	539.5
	1日平均	27.0	26.8
外来院内処方箋枚数(枚)	1ヶ月平均	342.0	412.9
	1日平均	11.2	13.6
入院処方箋枚数(枚)	1ヶ月平均	6,260.9	6,161.3
	1日平均	205.8	202.6
入院注射処方件数(件)	1ヶ月平均	29,350.2	28,747.1
	1日平均	964.9	945.1
麻薬処方箋枚数(枚)	1ヶ月平均	89.8	109.4
	1日平均	3.0	3.6
麻薬注射処方件数(件)	1ヶ月平均	1,150.2	1,109.1
	1日平均	37.8	36.5

製剤業務	1ヶ月平均	令和3年度	令和4年度
院内製剤調製件数		40.2	34.3
TPN無菌調製件数		90.6	34.8
無菌製剤処理料1(イ)		55.7	40.9
無菌製剤処理料1(ロ)		788.7	786

抗がん剤調製業務		令和3年度	令和4年度
外来	患者数(人)	1ヶ月平均 539.1	581.8
	調製件数(件)	1日平均 26.7	28.9
入院	患者数(人)	1ヶ月平均 928.5	963.3
	調製件数(件)	1日平均 46.0	47.8
入院	患者数(人)	1ヶ月平均 349.5	350.8
	調製件数(件)	1日平均 11.5	11.5
入院	患者数(人)	1ヶ月平均 537.2	517.1
	調製件数(件)	1日平均 17.7	17.0

外来患者指導業務	1ヶ月平均件数(件)	令和4年度
がん患者指導管理料(ハ)		7.8
バイオ後続品初期導入加算 *1		3.9
連携充実加算		317.5

*1 令和4年8月から算定開始

入院支援センター業務	1ヶ月平均 (人)	令和3年度	令和4年度
初回化学療法予定入院患者数		20.8	17.8
全身麻酔手術予定入院患者数		234.4	247.8

病棟薬剤管理指導業務	1ヶ月平均	令和3年度	令和4年度
指導実施患者数(人)		519.7	808.8
指導実施件数(件)		597.7	953.9
指導算定患者数(人)		500.9	773.4
指導算定件数(件)		591.2	916.7
麻薬指導加算件数(件)		3.2	4.7
退院時指導件数(件)		1.6	8.6
薬物血中濃度解析(TDM)件数(件)		59.4	49.5

* 病棟薬剤業務実施加算1: 令和4年12月から算定開始

DI室業務	1ヶ月平均	令和3年度	令和4年度
院外処方疑義照会回答件数(件)		3212	1791.8
処方内容等(DI担当)(件)		971.2	1019.1
保険関係等(医療事務担当)(件)		2240.8	772.7
疑義照会率(%)		50.6	26.7
処方内容 変更率(%)		93.5	96.3
トレーシングレポート(件)		14	27.6
医薬品情報 質疑応答件数(件)		338.6	322.8
DI情報Web掲載件数(件)		7.4	11.2

採用薬品情報 (令和5年3月31日現在)

採用医薬品総数: 1,417 品目

処方薬: 849 品目

注射薬: 568 品目

後発医薬品数: 354 品目

後発医薬品使用率(数量ベース): 90.6%

3. 研修等受け入れ

研修施設認定

日本病院薬剤師会

がん薬物療法認定薬剤師 研修施設

日本医療薬学会

医療薬学専門薬剤師 研修施設

がん専門薬剤師 研修施設

薬物療法専門薬剤師 研修施設

地域薬学ケア専門薬剤師 研修施設

令和4年度 薬学部 長期実務実習受入実績

IV期 2名 (神戸薬科大学)

4. 今後の課題・目標

- 1) 病棟薬剤業務における薬剤師配置の整備を行い、病棟薬剤業務実施加算2の算定を目指す。
- 2) がん患者指導、患者支援センター業務など外来薬剤指導業務の充実と外来持参薬鑑別・管理の強化。
- 3) 医薬品の標準使用のための院内フォーミュラリー(医薬品の使用指針)の作成。

医療技術局

1. 概要

医療技術局は、検査・画像診断・リハビリテーション・手術など、診断や治療に関する技術を提供し、医師の診断や治療を支える多職種集団です。臨床検査技術部・放射線技術部・臨床工学技術部・リハビリテーション技術部の4部よりなり、また職種も臨床検査技師・診療放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・歯科技工士・視能訓練士・准看護師・事務職員の11職種の4部12科107名（2022.4.1）で構成されています。常にその専門分野のレベル・スキルを向上し、患者さんに必要とされる医療技術を提供することを使命と考えています。

2. 活動状況

【臨床検査技術部】

生理検査・病理検査・血液管理業務や採血・生殖医療にも参画しています。生理検査では、認定心電検査技師・認定心電図専門士、脳波検査・神経検査の専門技術士、超音波検査士（体表・循環器・消化器）等の認定取得技師が検査に対応しております。眼科で勤務している視能訓練士も生理検査に属しています。病理検査には、細胞検査士3名、血液管理室には、認定輸血検査技師1名が在籍しており、また、生殖補助医療胚培養士の資格取得者が生殖医療に携わっています。

(件)

臨床検査技術部		2021年度	2022年度
生理	心機能	15,824	16,975
	肺機能検査	4,398	4,493
	脳波検査	721	837
病理	組織検査	15,031	15,831
	細胞診検査	4,365	4,091
血液管理	輸血準備	9,164	8,989
画像検査	画像検査	8,168	8,220
学会発表			2題
実習生受け入れ		6名	13名

【放射線技術部】

大きく分けて検査部門と治療部門があります。

検査部門はX線撮影やマンモグラフィ検査、血管内に造影剤を注入し血管内の詳細観察を行う検査や治療も行っています。また2022年度末には、脳外科領域の血管造影装置を更新しました。

画像検査のCT・MRIには専従の技師をそれぞれに配置し、放射線科医や看護師との協働のもと、検査を行っております。

心臓や脳などの様々な臓器の血流状態や機能状態を検査するために、RIと呼ばれる微量の放射線を放出する薬剤を体内に注入し、その後の薬剤の体内分布をガンマカメラとSPECT-CTと呼ばれる装置で画像として見る検査も行っています。がん細胞が増殖のために、より多くのブドウ糖を取り込むという性質を利用したPET-CT検査とともに、がん診断の重要な部分を担っています。

また、CT・MRI・SPECT-CTの検査は、他の医療機関から地域連携の一環として共同利用での検査も受けています。

治療の部門では、放射線治療専門放射線技師を配置し、放射線治療医とともに治療計画を策定し、より安全で正確な照射ができるように努めています。患者さんや職員の線量被ばくの管理も行っています。

放射線技術部		2021年度	2022年度
一般	総件数	49,193	50,021
	ポータブル	17,168	18,212
	アンギオ	2,944	2,830
断層	CT	21,526	23,276
	MRI	7,304	7,763
核医学	SPECT-CT	633	482
	PET-CT	948	895
治療	総件数	5,522	5,739
学会発表			4題
実習生受け入れ		0名	8名

医療技術局

【臨床工学技術部】

生命維持管理装置の操作や多種にわたる医療機器の保守点検・一元管理等医療機器の管理と操作を行っています。手術部門・カテーテル室部門・救急/集中治療部門・血液浄化部門・医療機器管理部門等、業務は多岐にわたりますが、各々スペシャリストとして活躍しています。

手術部門では手術室で使用される大小様々な機器の操作や点検を行っています。

特に心臓の手術時には心臓をとめるための装置や手術の間、心臓や肺の代わりに担う人工心肺装置等患者さんの命に直結する高度な医療機器の操作や管理・保守点検を行っています。

脳神経外科や整形外科のナビゲーション業務や神経モニタリング・眼科手術の機器類の対応もしています。2022年度より当院にもロボット支援手術が導入され、前日の準備から当日のドレーピング・術中トラブル・術後の機材洗浄等にも対応しております。心臓カテーテル部門では、カテーテル検査や治療時、医師の補助的業務や生命維持管理装置の操作を担っております。

臨床工学技術部	2021年度	2022年度
心臓血管外科手術件数	222	221
手術室支援		466
補助循環	39	50
循環器内科対応	2,028	1,761
血液浄化	2,252	2,100
学会発表		8題
実習生受け入れ	7名	5名

【リハビリテーション技術部】

大きく分けて、リハビリ部門と口腔衛生部門に分かれます。リハビリ部門では、理学・作業・言語療法士がそれぞれの専門性を持って連携を取りながら総合的なリハビリテーションを提供しています。

術後、早期の離床は、患者さんの術後回復に大きな影響を与え、当院でも2023年2月からはICU

病棟において多職種でチームを構成し、「早期離床リハビリテーション加算」も算定しております。運動器・脳リハ・心リハ・救命・ADLとチームに分かれて対応し、重症患者には土日祝日も極力介入できる体制作りをしています。

口腔衛生部門では、歯科衛生士を歯科口腔外科の診察介助ばかりではなく、患者支援センターや病棟にも配置し、周術期の口腔ケア等口腔内からの感染リスクの軽減に貢献しています。

リハビリテーション技術部	2021年度	2022年度
PT・OT・ST実施単位数	54,452	55,421
歯科衛生士（外来/病棟介入）	2,063	2,272
学会発表		10題
実習生受け入れ	3名	2名

3. 今後の課題・目標

職種が多すぎるデメリットの一つに、横の繋がりが乏しい点があります。対策の一つとして、局内の他職種を理解することを目標に「医療技術局合同勉強会」を開催しています。

また、2021年度から「医療技術のスキルアップ・レベルアップ」を目標に認定資格の取得など各科で具体的な目標を定め、各職種のレベルアップに向け精進しています。

学会発表も大きな目標の一つです。

2020年度からのコロナ禍により学会自体が中止となったり、リモート開催となったりと発表の機会を失っていましたが、2023年度より通常開催される学会が多くなり、学会での発表や参加が急増しております。まずは、コロナ前の学会発表数に追いつき、追い越せです。技師本人の自己研鑽はもとより、部内で共有・職種毎で切磋琢磨し、より質の高い医療技術の提供を目標に日々研鑽を積んでいます。

多職種で構成されている医療技術局の横の繋がりを強化し、より迅速で正確な診断・治療に貢献できる医療技術を提供できるよう努めていきます。

栄養局

1. 概要

【理念】

県民・市民の健康づくりのために、患者さんに喜ばれる食事提供とチーム医療による栄養サポートなど、栄養ケアサービスを実践する。

【目標】

- ①患者さんに喜ばれる食事の提供に努める。
- ②患者さんの栄養状態を把握し、栄養改善のサポートを行う。
- ③管理栄養士養成など、臨地実習病院として研修・教育を行う。
- ④県・市行政や栄養士会などの職能団体、また、他局との協力体制を整えて、栄養分野における調査研究を行う。
- ⑤保健・医療・福祉の分野における地域医療連携を図り、予防医学や健康増進活動に努める。
- ⑥生産者の顔が見える食材を積極的に利用し、地産地消をすすめる。

【組織】

1. 臨床栄養部門

各フロアに管理栄養士を配置し、医師、看護師、薬剤師など多職種との話し合いのもと、患者さん一人ひとりにあった食事提供、栄養管理を行っている。

1) 栄養食事指導

- ・外来・入院：個人指導（糖尿病、高血圧、腎臓病、脂質異常症、肥満、がんなど）
- ・入院：集団指導（糖尿病教室、心臓リハビリテーション、マタニティ教室）

2) 多職種連携

- ・栄養サポートチーム(NST)
- ・緩和ケアチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・摂食嚥下チーム
- ・心不全チーム

2. フードサービス部門

入院生活を少しでも快適に過ごしていただくため、四季折々のメニューを取り入れ、美味しい病院食の提供に努めている。

1) 行事食

お正月、節分、雛祭り、クリスマス等、季節の行事に合わせたメニューを提供。

2) 出産祝い膳

出産された方を対象にお祝カードを添えて洋食メニューを提供。

3) 選択食（おこのみ食オーダーシステム）

一般食および一部の治療食を対象にした選択食（標準食・減塩食・定番食・スペシャルメニュー）を実施。

4) その他の取り組み

①えいようだより

毎月、栄養関連の情報発信として発行。旬の食材や栄養学のお知らせをするとともに管理栄養士によるレシピも紹介。

②がん治療中の食欲低下に対応した食事（ぼちり食・リード食）

がん治療の患者さんを対象に食欲低下時に嗜好や食欲に合わせた対応を行っている。メニューは、アンケート結果をもとに作成。

2. 活動状況

【主な栄養局関連項目】

①栄養食事指導：実施件数

	2021 年度	2022 年度
外来 個別	2,753	1,810
外来 個別（がん）*	—	981
入院 個別・集団	3,331	2,192
計	6,084	4,983

*2022 年 4 月～開始

②早期栄養介入管理加算：算定件数

	2021年度	2022年度
ICU	146	763
HCU*	—	1,379
SCU*	—	875
計	146	3,017

*2022年度～新規算定要件追加

③周術期栄養管理実施加算：算定件数

2022年度 1,590件 *2022年度～新規算定要件追加

④学会発表等

学会発表 2021年度 14名、2022年度 5名

⑤臨地実習生受け入れ

	2021年度	2022年度
高知県立大学 健康栄養学部 4回生	21名	27名
高知県立大学 健康栄養学部 3回生	26名	25名
高知学園大学健康科学学 部管理栄養学科 3回生*	—	22名

*2022年度～高知学園大学の受け入れ開始

3. 栄養管理（NST）運営委員会

1. 目的

高知医療センターに、病院フードサービスおよび栄養の改善、向上を図るため栄養管理（NST）運営委員会を設置する。

2. 開催・審議事項

- 1) 定期開催：四半期ごと 第3月曜日
- 2) 審議事項
 - ①患者さんの栄養管理に関すること
 - ②栄養食事指導に関すること
 - ③フードサービスに関すること
 - ④システム運用に関すること
 - ⑤給食施設の整備に関すること
 - ⑥食品衛生管理に関すること
 - ⑦NSTに関すること
 - ⑧その他委員会が必要と認める事項

組織：委員長（栄養局長）	1名		
副委員長（医師）	1名		
医療局	2名	看護局	3名
薬剤局	3名	医療技術局	2名
事務局	1名	栄養局	2名
病院食委託	2名		

下部組織として

NST（栄養サポートチーム）運営部会

メンバー：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士

対象・活動日：全フロア・毎週水曜日

介入件数：2021年度 633件

2022年度 513件

4. 高知医療センター・高知県立大学包括的連携による健康栄養連携部会事業

高知県立大学健康栄養学部の学生、教員と連携し共同で様々な事業を行っている。

<事業内容>

- ・高知県立大学健康栄養学部の学生臨地実習。
- ・カレンダー作成、「慢性疾患食事療法パンフレット」の作成と料理教室の開催、「あいうえお塩分表」・「減塩生活ガイドブック」の作成等。
- ・勉強会・研修会・共同研究・災害訓練等。

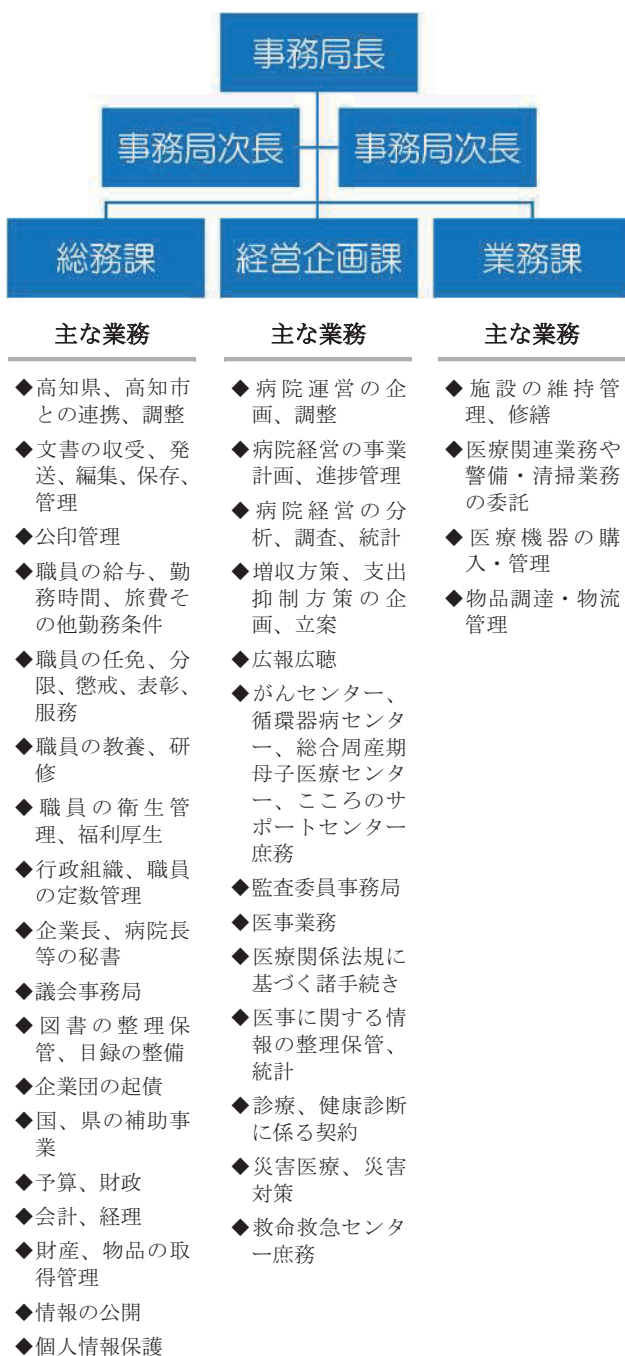
5. 今後の課題・目標

1. 栄養指導算定件数 5,900件以上
(うちがん専門管理栄養士による 1,000件以上)
2. 早期栄養介入管理加算 算定率の増加
3. 周術期栄養介入管理加算 算定率の増加
4. 患者満足度に繋げる取り組み
5. 自己研鑽（学会発表、新規・更新認定取得、論文等）
6. その他 宝箱（患者さんからの声）
クレーム件数 9件以下
お褒めの言葉 100件以上

事務局

1. 概要

高知医療センター事務局には「総務課」「経営企画課」「業務課」の3つの課があり、病院経営の効率化をすすめ、県民・市民の皆さんに良質な医療が提供できる環境づくりに努めている。



2. 活動状況

<総務課>

28名の職員（うち、会計年度任用職員13名、派遣職員1名）で構成。

○主な活動内容は以下のとおり。

- ・例規改正作業
- ・職員の人事、給与、福利厚生、衛生管理等の各種手続
- ・初期研修医プログラム及び新専門医制度の手続
- ・障害者雇用の推進（3名増）
- ・職員定年延長の制度設計
- ・医師の働き方改革の推進
- ・職員採用試験の実施（通常募集1～8、特別募集1～3）
- ・組織改正及び定数管理
- ・企業団議会の開催（2回）
- ・企業団議会議員協議会の開催（3回）
- ・なるほどライブラリ所蔵図書の整理保管等
- ・起債及び国、県、市補助事業の申請手続
- ・予算編成作業及び財務会計処理
- ・個人情報保護に関する法律改正に伴う制度変更

<経営企画課>

12名の事務職員（うち、会計年度任用職員3名）、43名の医療秘書（会計年度任用職員）、3名の院内交番（会計年度任用職員）、2名のがん相談員（会計年度任用職員）で構成。

経営計画の策定・進捗管理、病院経営に関わる分析・統計・調査、医事業務の委託契約及び管理、医療関連法規に基づく諸手続き、広報に関する業務等、病院運営の企画・調整に係る業務を多く担っている。

令和4年度は重要課題として以下のことに取り組んだ。

1. 経営計画の進捗管理

- ・アクションプランの進捗管理

第1四半期で振り返りを実施し、年度替わりにおける施策の進捗状況を確認した。その後、半期における中間評価の実施、年度末には年度評価の実施及び令和5年度アクションプラン策定を行い、それぞれ企業団運営会議で報告した。令和4年度の取り組みについては概ね計画通りに実施できた。

- ・人材育成（管理職の意識醸成）に関する取り組み
職員の成長実現に向けて、「職員の育成強化」、
「職員の意識醸成」の視点から、まずは職種横
断的に管理職を対象としたマネジメント研修を
実施した。また、病院幹部で当院が求める「人材
ビジョン」、「クラス別期待役割」の検討を行い、
それに伴う「クラス別の能力開発体系」の検討
も行った。

2. 医事業務委託プロポーザル

- ・令和5年度から5年間の医事業務委託契約に向
けてプロポーザル形式で業者選定、委託契約を
締結した。

3. 医療マネジメント学会 高知県支部学術集会 の開催

- ・当院が開催病院であったものの、新型コロナウ
イルス感染症拡大により2年間開催できていな
かったことから、高知県支部役員会において
Web形式による開催を提案、承認された。関係
者や院内各部門の協力の元、無事開催するこ
とができた。（演題数49題、参加数171名）

4. 病院機能評価更新受審準備

- ・病院機能評価の認定有効期限が令和6年度2月
であることから、3月、機能評価受審委員会
の組織検討を行い、当院の様々な質評価を担
うTQM委員会に機能評価受審委員会の機能
を持たせることとした。評価内容のバージョ
ンアップが決定していることから、更新受審
に向けた勉強会を実施した。また、新冠
型コロナウイルス感染症拡大により、医療
機能評価機構の審査遅れが発生しており、
当院の受審は令和6年8月と決定した。

<業務課>

11名の職員（うち、会計年度任用職員4名）で構成。

業務課は、業務担当と施設担当で構成している。

業務担当は、医療機器、診療材料、医薬品等、院内の物品購入及び管理、また、業務に関する委託契約及び管理を担当している。

施設担当は、建物・設備の維持管理、各種工事の調整、警備や清掃等の契約・管理を担当している。

これらの業務に取り組むことにより、患者さんやご家族の皆さん、職員を含めた全ての方がより利用しやすい施設となるよう努めている。

また、経営計画に基づいた、委託費の削減及び材料費の財務管理強化を進めていくため、2業務について新たな契約を締結した。

【寝具類等供給管理業務】

洗濯業務、寝具類の供給業務等、リネン業務は、各業務、単年度契約を締結していたが、令和5年度から業務を包括的に一本化し複数年契約とし、経費削減を進めるためにプロポーザルによる業者選定を実施した。これにより、長期的に安定した業務ができ、経費削減、契約事務の軽減を図る。

【診療材料等調達支援業務】

診療材料等の調達・価格交渉は、これまで、業務課職員が行っていたが、専門知識や市場価格情報等を活用した価格交渉を行うなど調達支援業務の相手方をプロポーザルにより選定した。これにより、診療材料等の財務管理強化の目標に向けた取り組みを進める。

3. 今後の課題・目標

令和4年度の経営状況は、経常利益15億9千万円余り、特別損益を加えた純損益も13億8千万円余りと、大きな黒字を計上することができた（決算見込）。しかしながら、これは新型コロナウイルスに関する補助金収入によるところが大きく、医業収益も対前年9億2千万円あまり増加しているが、まだまだ回復途上であり、今後より一層の経営努力が求められる。

事務局としては経営の改善を第一目標に、以下の点について取り組みを進めていく。

1. 経営の安定化

①経営強化プランの策定

- ・5年度中に策定を求められている公立病院経営強化プランについて、経営の安定化に資するべく策定を進める。

②経費節減への取り組み

- ・医薬品、診療材料費の節減に向けて、全国的な共同購入の仕組みを利用するほか、委託費などについても適正な価格の維持に努める。

2. 施設・設備の適正な管理

- ・開院後、20年近く経過している施設や設備について、患者さんの安全を第一に、職員の安心にもつながる適正管理に努める。

また、機械設備の計画的な更新にも努める。

III 各診療科資料

総合診療科

1. 概要

総合診療科では、初診外来および日勤帯の救急外来において、臓器別ではなく疾患に偏りが無い幅広い領域にわたる疾患や訴えを持つ患者さんへの診療を行っている。特に日常よく遭遇する **common disease** をはじめ、診断困難症例への対応や地域医療機関からのセカンドオピニオン、紹介状を持参せず来院された患者さんで、どの診療科にかかったら良いか分からない方、複数の健康問題に対する包括的なケア、根拠に基づく医療 (EBM)、臨床推論、入院・外来患者さんの外来フォロー (再診診療) などを行っている。また病棟 (入院) では、高齢者 (特に虚弱高齢者) や複数の病態を抱える患者さんへのケア、必要に応じて他の専門診療科との連携、心理・社会・倫理的複雑事例への対応、癌・非癌患者さんへの緩和ケア、退院支援と地域医療連携機能の提供、在宅患者さんの緊急入院対応などの役割も同時に担っている。当科では、特に救命救急センターや精神科 (身体合併症)、神経内科とコラボレーションして、複数の診療科に渡る幅広い症例を豊富に診療している。本来であれば二次病院レベルで入院治療が可能な症例も、夜間や時間外に救命救急センターへ救急搬送されてくることから、救急専門医と一緒にこれらの救急患者さんを急性期病棟で診療、治療している。また、COVID-19 の流行に伴い、中等症以上の入院患者についても当科を主体として治療を行っている。

2. スタッフ活動状況

澤田 努 (部長、臨床研修管理センター長)
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
石井 隆之 (科長)
日本脳神経外科学会専門医
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

吉村 彰人 (地域医療科長)

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

矢野 博子 (医長)

日本救急医学会専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

池田 達也 (副医長)

日本内科学会認定内科医

日本老年医学会認定老年科専門医

田邊 義貴 (副医長)

山本 直 (内科専攻医)

3. 診療実績

現在、月曜日～金曜日まで午前・午後と 3～4 診の外来枠で外来診療を行っている。初期臨床研修医をはじめ、高知大学医学部学生さんらの臨床実習受け入れも行っている。一般病棟は約 15～20 床前後で運用しており、10 階の感染症病棟で COVID-19 の診療を行っている。その他、地域医療分野における地域包括ケア、在宅医療などの業務として、黒潮町国保拳ノ川診療所、宿毛市沖の島へき地診療所、四万十町国保大正診療所、仁淀川町国保大崎診療所等へ毎週医師を派遣している。

4. 今後の課題・目標

JCEP による指導の中で、臨床研修における外来診療の位置づけが大きいことが分かり、医療面接やコミュニケーションに重きをおいた教育体制の充実を目指していく。また、救命救急センターや精神科、神経内科とのコラボレーションはより深化したものとし、内科・総合診療専門医の教育拠点としても努力していく所存である。

精神科

1. 概要

令和4年度は、成人精神科病棟を再開して5年目であった。新型コロナウイルス対策で翻弄させられた部分はあったものの、当院身体科や高知県内の身体科病院の求めに従って、リエゾン精神科連携を行い、他の精神科病院や精神保健行政からの依頼である対応困難症例への対応や司法からの要請に従い、精神鑑定などを着実にを行った。

2. スタッフ活動状況

令和4年度の成人精神科を担当する医師数は、常勤医師が4名、非常勤医師が1名であった。成人精神科30床と児童思春期病棟14床を合わせて44床の病棟を看護師20名、言語聴覚士1名、作業療法士1名、理学療法士1名、心理技術員1名、薬剤師1名（兼務）、管理栄養士1名（兼務）で診療を行った。

3. 診療実績

令和4年度の成人精神科の診療実績は、下記のとおりである。（）内は令和3年度の実績。

成人精神科

・延入院患者数	4,450 (4,439) 人
・全入院患者数	105 (113) 人
・延べ外来患者数	1,228 (1,188) 人
・外来新患患者数	306 (290) 人
・医療保護入院数	95 (94) 人
・任意入院数	13 (11) 人
・措置入院数	5 (3) 人
・応急入院数	0 (3) 人
・起訴前鑑定入院数	1 (1) 人
・医療観察法鑑定入院	2 (1) 人
・輪番での入院数	8 (16) 人

4. 問題点・今後の課題・目標

精神科は、30床の成人精神科病棟で入院診療を行い、外来診療には制限をかけている。成人精神科は、他科からの依頼による精神疾患へのアプローチを行うリエゾン活動とともに、身体合併症を有する精神疾患患者の入院を受け入れている。自傷他害の恐れのある措置入院患者5名、刑事責任能力を判定する起訴前精神鑑定1名、医療観察法の精神鑑定の患者2名を受け入れた。救急医療に関して、高知県の精神科救急輪番制度には月に3回参加し22名の外来患者の診察と8名の入院患者を受け入れた。また、高知県下で行われる措置診察や医療観察法の審判にも精神科医師を派遣した。精神保健福祉行政への関与として、退院請求の事前審査の面接や他院の实地指導へ医師を送っている。

令和4年度は、50%以上の稼働率で運営するという目標を持ち、精神科医療を充実させていく予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の問題が目標達成に影響を落とし、50%以上の稼働があったのは数日ということになった。病棟運営に関して、感染制御、危機管理、適切な人員配置などを行い、対応能力を高める努力をしていく必要がある。徐々に規制が緩和していく傾向にあるが、先行きが予期できぬ感染症であり、今後も精神科医療における制限に関しても難しい局面が続くと考えられる。

スタッフが少しずつ増えてきていることと技術力の高まりなどにより、高知県の精神科医療と高知医療センターの中で、当科は徐々にプレゼンスを示すことができるようになってきた。さらなる機能強化を行い、高知県の医療に貢献をしていきたいと考えている。

児童精神科

1. 概要

当科は、児童思春期の精神疾患に対する専門的医療の提供を目的に平成 24 年に開設され、14 床の児童思春期精神科病棟を有している。

2. スタッフ活動状況

令和 4 年度の医師数は、常勤医師が 2 人、非常勤医師が 1 人であった。

3. 診療実績

令和 4 年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・ 延入院患者数 …… 1,321 人
- ・ 退院患者数 …… 30 人
- ・ 延べ外来患者数 …… 2,365 人
- ・ 外来新規患者数 …… 85 人
- ・ 医療保護入院数 …… 27 人
- ・ 任意入院数 …… 1 人
- ・ 措置入院数 …… 0 人

4. 問題点・今後の課題・目標

近年、心の健康に何らかの問題を抱える子どもたちの支援ニーズが高まっている。児童精神科領域においては、神経発達症、児童虐待、アタッチメントの問題、複雑性 PTSD、不登校など、さまざまなキーワードが取り上げられ、子どもの生育や成長に関して精神科的介入を求められている。自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症に代表される神経発達症は社会全体の関心事であり、これらの特性をもつ人たちは幼児期からさまざまな社会場面で適応できず精神疾患を抱えるおそれもあるため、支援体制の確立が不可欠である。こころのサポートセンター児童精神科はこのような子どもたちとその家族を支援する重要な役

割を担っており、より一層、診療体制を充実させる必要がある。

多くの子どもたちのこころ専門医療機関が抱える問題として、患児の初診までの待機が長期間になることが挙げられる。当院は県下で唯一の児童精神科専門病棟を持つ医療機関であり、入院が必要な相談ケースには可能な限り早急な対応を心がけている。入院病床があることで、治療のバリエーションを増やし、多様なニーズに応えることが可能となっている。

文部科学省の 2021 年度の不登校調査では県内の小中学校の不登校（年間 30 日以上欠席）の児童生徒は 1,508 人で、前年度から 270 人増え過去最多であった。1,000 人当たり小学校では 14.8 人、中学校では 61.2 人となり、中学校は 2 年連続全国で最多と報道されたことは記憶に新しい。不登校は、子どものメンタルヘルスにおける非常に重要な課題のひとつであるが、近年の臨床像は、神経発達症や他の精神疾患の併存、家庭の機能不全がみられる場合など、複雑な背景を抱えるケースも目立っている。このような中、児童精神科医療機関の主な役割を 2 つ挙げると、不登校をアセスメントすること、および教育機関や地域と連携することである。アセスメントの際には、前思春期から思春期にかけての心理発達の過程において、生物学的な面、心理社会的な面、精神医学的な面、子どもを取り巻く環境が相互に作用していることを十分に把握しなければならない。また、教育機関や地域との連携により、不登校に陥った子どもや保護者の孤立を防ぎ、支援者とのつながりを確保する必要がある。こうしたことを念頭に置き、今後も関連機関と協力して、地域の子どもの心への問題への支援に貢献できるよう努めたい。

地域医療科

1. 概要

高知医療センターは、へき地医療拠点病院として指定を受け、無医地区巡回診療やへき地診療所への代診医派遣、へき地医療情報ネットワーク等を活用した遠隔画像伝送を主たる業務として担っている。また、臨床研修医や高知大学医学部の学外実習、地域医療夏期実習などで医学生に対する教育にも携わっている。

2. スタッフ活動状況

地域医療科医師（科長は高知県へき地医療支援機構専任担当官を兼務）が中心となって無医地区巡回診療やへき地診療所への医師派遣、代診医派遣調整などを行っている。また、総合診療科医師とも連携して業務を行っている。各医師が週1回程度派遣され活動している状況である。

3. 診療実績

・無医地区巡回診療（長岡郡大豊町久寿軒・北川地区）

医師・看護師、薬剤師、事務職員で巡回診療班を構成し、毎月第3火曜日に巡回診療を行っている。

・へき地診療所への代診医派遣

令和4年度の代診医派遣実績は381日（実日数）であり、その内訳は、

仁淀川町国保大崎診療所	90日
黒潮町国保拳ノ川診療所	87日
宿毛市立沖の島へき地診療所	79日（遠隔含む）
四万十町国保大正診療所	56日
津野町国保杉ノ川診療所	35日
四万十町国保十和診療所	33日
馬路村立馬路診療所	1日であった。

・へき地医療情報ネットワークの活用

県内で33ヶ所の地域医療機関（へき地診療所を含む）がネットワークで繋がっており、画像コン

サルトなどで活用されている。遠隔画像伝送により院内の各専門医に直接コンサルトすることが可能となっている。宿毛市沖の島へき地診療所では、天候不良などで地域医療科医師が島に渡ることができない場合に、Web会議システム等を利用して遠隔診療を行うこともある。また、コロナウイルス感染症流行により代診医が派遣できなかった期間にも、ネットワークを活用したへき地診療支援が可能であった。

・医学教育

平成16年4月から始まった新医師臨床研修制度では、「地域保健・医療」が研修必修項目の中に挙げられており、中小自治体病院や診療所およびそれに関連する社会福祉施設、介護老人保健施設、へき地・離島にある医療機関や保健所等の地域保健・医療の現場を経験することが研修目標に明記されている。当院では地域医療科が中心となり、へき地医療機関を研修協力施設とする高知県内共通のプログラムに従って、プライマリ・ケア研修を学ぶことができる教育体制をとっている。

4. 今後の課題・目標

総合診療科との連携によって、ここ数年で当科としての活動範囲が経年的に広がってきた。しかし高知県は県内に26ヶ所の無医地区（R元年10月現在）を抱えており、65歳以上の高齢者人口比率は36.1%で全国第2位（令和4年版高齢社会白書）の高齢県となっている。このような状況下では、当院の地域医療科単独で担うことのできる業務は限られている。しかし、今後も引き続き県内のへき地医療拠点病院間で連携を図ることで、更なる地域医療への貢献が可能と考えている。

また、災禍時（自然災害や感染症流行等）の地域医療支援への備えも今後の重要な課題である。

血液内科・輸血科

1. 概要

日本血液内科学会研修認定施設（県内で2施設のみ）、非血縁者間骨髄採取・移植認定施設（認定カテゴリー1は県内で当科のみ）として、血液内科の全ての領域の疾患の外来・入院診療と自家および同種造血幹細胞移植を行った。新規紹介患者数、移植症例数ともに前年とほぼ同程度を推移している。LTFU（移植後長期フォローアップ外来）も順調に進行している。

2. スタッフ活動状況

現在、岡山大学第二内科からの医師5名が派遣されており、常勤医師6名と後期研修医1名で診療を行っている。スタッフは週に1から2回の専門外来診療を行っている。また、幡多けんみん病院への月に3回の診療支援（岡医師が月に2回、今井・町田医師が月に1回）を継続中である。

3. 診療実績

（外来）

平日の午前中に2名の医師が専門外来を行っている。基本的には、全ての紹介患者の受け入れを行っており、紹介患者数は、2018年308名、2019年339名、2020年293名、2021年287名、2022年281名であった。

（入院）

入院患者数は例年通り50名から60名と安定した患者数が維持できている。

造血幹細胞移植件数は、2018年25件、2019年42件、2020年30件、2021年34件、2022年29件、造血幹細胞採取件数は2018年23件、2019年35件、2020年23件、2021年27件、2022年28件と推移している。

新規患者数は、悪性リンパ腫は2018年88名、2019年94名、2020年86名、2021年102名、2022年90名、多発性骨髄腫は2018年32名、2019年26名、2020年26名、2021年24名、

2022年28名、急性白血病は2018年38名、2019年31名、2020年27名、2021年34名、2022年32名、骨髄異形成症候群2018年31名、2019年45名、2020年45名、2021年45名、2022年40名と推移を示している。過去3年の新規造血器腫瘍全体の患者数は、2020年212名、2021年237名、2022年212名と推移している。

4. 今後の課題・目標

高知県内の血液内科基幹病院の事情もあり、当科に紹介していただく患者数は非常に多く、造血幹細胞移植件数も四国で1、2番目に多い症例数となっている。また、2017年からは、新たな造血幹細胞移植として臍帯血移植とHLA半合致移植も施行しており、ほぼ全ての移植法が当科にて対応可能となり、現時点では県外の高度専門施設への紹介はほぼなくなった。しかし、県内の血液専門医の不足、医師の高齢化が進んできており、数年後の県内の診療には非常に不安を抱えている。当科においても若手医師を含む安定した医師数確保が重要である。また、患者数増加に伴い病床数（特に個室）の不足が生じている。2022年10月に大部屋無菌室を1室改修するも、病床管理は引き続き困難な状況が続いている。

造血幹細胞移植患者や高齢患者の管理は非常に難しく、治療や全身管理に困難を極めることが多々ある。そのため、今後も学会参加などで研鑽などを積み、さらに良質な医療の提供を目標としたい。移植医療は多職種によるチーム医療が必須であり、多くの人材と時間が必要である。現在HCTC（造血細胞移植コーディネーター）の育成に努めている。今後も安定した人員確保とスタッフの教育、研鑽が必要と考える。

数少ない専門医で高知県内の血液疾患の診療を担っている状況であり、今後も他の専門病院との診療連携、協力なども行っていきたい。

糖尿病・内分泌内科

1. 概要

基幹病院として、糖尿病・内分泌疾患の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

令和4年度は、常勤3名体制である。

3. 診療実績

令和4年度の外来患者さんの延べ人数は5,743人、入院患者さんの延べ人数は953人であった。

4. 今後の課題・目標

院内における糖尿病管理を継続する。

糖尿病患者さんは増加しており、また高齢化も進んでいるため、糖尿病の早期発見・治療に努め、合併症の進展を抑制したい。かかりつけ医との連携した対策を行い、逆紹介の増加に努める。

救急科をはじめ他科と連携し糖尿病や内分泌疾患の診療レベルを維持したい。

若手医師育成に関しては、当院は、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設であり専門医の育成に努める。また、他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

放射線療法科

1. 概要

放射線治療に関して、日本医学放射線学会／日本放射線腫瘍学会の修練施設としての幅広い診療を行っている。がんサポートセンターのオープンから足かけ7年が経過し、現在、強度変調放射線治療(IMRT／VMAT)や定位放射線治療(SRS, SRT)といった高精度放射線治療から癌の骨転移による疼痛緩和のための放射線治療まで、様々な疾患や症状に対する放射線治療を実施しており、さらなる症例数の増加を目指している。

2. スタッフ活動状況

放射線治療は、いずれも放射線治療専門医である2名の常勤医師と、高知大学放射線治療科から派遣していただいている2名の非常勤医師で行なっている。平成29年7月からは、がんサポートセンターの1階に設置した2台の高精度放射線治療装置を用いて、前述のように、頭頸部癌や前立腺癌等に対する強度変調放射線治療、脳腫瘍や肺腫瘍に対する定位放射線治療といった高精度放射線治療も実施している。コロナ禍で減少した患者数にも復調の兆しが見えており、乳房温存手術後の全乳房照射や前立腺癌の根治照射などを中心に、外来通院による治療例も増えてきている。以前からの当院の傾向として、骨髄移植や造血幹細胞移植等の移植の前処置としての全身照射の実施数が多いことがあげられるが、これも安定して提供している。また、今年度は、骨転移による疼痛を緩和する目的での放射線治療が、前年度比で1.4倍に増加しており、今年度の特徴であった。さらなる迅速な対応に努めて症例数の増加を計りたい。

3. 2022年度診療実績(2021年度件数)

放射線治療総件数：	307件(225件)
・頭頸部	40件(33件)
・食道	31件(26件)
・肺	55件(48件)
・乳房	51件(45件)
・消化器(肝胆膵含む)	49件(32件)
・前立腺	25件(25件)
・造血器・リンパ系	38件(30件)
・骨転移	77件(54件)
・全身照射	11件(16件)
・強度変調放射線治療	115件(92件)
・定位放射線治療	8件(7件)

4. 今後の課題・目標

前述の如く、さらなる症例数の増加を目指して、院内各部署および他の医療機関への放射線治療に関する情報提供、啓蒙活動を促進する。

高知大学放射線治療科とも協力してマンパワーの充実を計る。

緩和ケア内科

1. 緩和ケア内科とチームの概要

治療の早期の段階から専門的緩和ケアを提供し、全人的苦痛を取り除くように MSW やがん専門看護師などと共働している。治療継続が困難な患者さんには最適な療養環境を整えることも行う。緩和ケアチームでは、介入依頼のあった患者さんの治療や療養場所についてなどを主治医チーム、病棟看護師、緩和ケアチーム看護師、薬剤師、MSW、管理栄養士、理学療法士などの多職種でカンファレンスを行い、診療支援に努めている。

2. スタッフ活動状況

緩和ケア内科は、専従医師 1 名。

緩和ケアチームは、医師（専従 1 名、専任 2 名）、がん専門看護師（専従 1 名、専任 1 名）、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、MSW 2 名で活動を行なっている。

PEACE 緩和ケア研修会を開催、また院内では病棟リンクナースの勉強会を行なっている。

高知県がん連携連絡協議会の緩和ケア部会緩和ケアチーム委員会において、副部長兼副委員長として研修会の計画や座長などをつとめた。

医学部学生、看護学大学院生などへの緩和ケアに関する講義、研修医や地域の臨床医の研修、医学部学生、看護学大学院生等の実習受け入れも行なっている。

平成 29 年 4 月から、がんサポートセンター緩和ケアセンター、がん相談支援センターを開設。がん相談支援センターでは相談員 2 名が、対面あるいは電話やメールでの相談に応じている。

3. 診療実績

緩和ケア内科の外来診療は、月曜日～金曜日の午前中に行なっている。基本的には当院に通院中の紹介患者さんが対象である。全人的な苦痛を取り除くことを目的にして治療を行ない、治療継続が困難となった患者さんには最適な療養環境を整

えるように MSW やがん専門看護師と協力し、他院の外来に紹介するなどの地域連携を行なっている。

令和 4 年度の外来診療件数は、812 件であった。課題と考えていた外来緩和ケア管理料を、要件を満たせば算定することができるようになった。

緩和ケアチームは、火曜日と金曜日に定期チーム回診、カンファレンスを行うほか、随時、診療支援を行っている。

令和 4 年度のチーム介入依頼件数は、214 件であり、退院のうち、在宅ケア導入が 12 件、緩和ケア病棟転院が 29 件、その他の転院が 12 件、死亡退院が 22 件であった。ほとんどががんの患者であるが、非がん（心疾患、呼吸器疾患 COVID-19 関連患者の症状コントロールも含む）は 8 件あった。なお、緩和ケア診療加算件数は、626 件であり、加算算定の要件にかかわらず、ニーズにあわせて介入している。

4. 今後の課題・目標

外来緩和ケア管理料の算定をはじめたように外来でも質の高い専門的緩和ケアの提供を実施したいと考えている。

外来常駐看護師、医療秘書の不在、緩和ケアセンター事務も不在である。また医師や看護師が勉強会や講演会の企画運営事務や会場準備まで担当する厳しい状態である。がん診療連携拠点病院の施設基準は改定を重ねる毎に厳しくなっている。医師や看護師、MSW、医療秘書、また、緩和ケアセンターとして活動するための事務担当者、ゼネラルマネージャーの確保も必要。緩和ケアセンターの積極的な運用、提供する緩和ケアの質向上のために、人的資源の充実を目標とする。

他診療科・他部署との連携、地域連携、緩和ケアの啓発も重要であり、継続課題である。

併せて、がん相談支援センターの活用の充実も目標とする。

腫瘍内科

1. 概要

消化器がんを中心とした固形がんの抗がん剤治療を担当し、2017年4月開院のがんサポートセンター3階、外来ケアルームを主たる診療場所としている。

術前・術後化学療法、再発・転移例に対する化学療法を実施、治験・臨床試験も積極的に導入している。

診療初期より多職種のかかわりによる全人的医療を実践しており、病状進行期には、近隣の緩和ケア専門医療機関や在宅診療機関との連携を密に図っている。

また、高知県立大学と共同で、がん専門看護師、がん化学療法認定看護師の育成にあたっており、県下のみならず、全国的なメディカル・スタッフ育成にも寄与している。

2. スタッフ活動状況

腫瘍内科を主たる業務とする常勤医は科長の根来医師1名である。非常勤医師として島田前院長（週2回）および香川大学より2名を交代制で招聘し、外来診療を依頼している。また消化器外科、消化器内科各々より、腫瘍内科枠での外来業務を担って貰っている。

3. 診療実績

外来のべ患者数は令和2年度4,519名、令和3年度4,948名、令和4年度5,119名であり、昨年度は5,000名超にまで増多している。

新型コロナウイルス感染症の影響が払拭されたことに加え、各癌種における治療ラインの拡充に伴って治療期間が延びる傾向にあることや、毎週診察を要するレジメン対象者が多くなっていることなどが、のべ患者数の増多に影響してきているものと推察する。

対象癌腫は、胃癌、大腸癌、膵癌、胆道癌を主とした消化器がんを中心に、一部の原発不明癌も担当している。標準治療を第一に実施し、臨床試験や治験の適格条件を満たす場合には患者さんに説明し参加を依頼している。また、薬剤師や栄養士も交えた定期多職種カンファレンスを設けているほか、必要に応じキャンサーボードにおいて複数科・多職種で協議し、より良い経過を得るべく個々の症例の検討を行っている。

がん遺伝子プロファイリングも適宜利用している。しかしながら疾患領域的に実際の治療に結び付くことは稀である。

4. 今後の課題・目標

- 1) 腫瘍内科医の確保は大きな懸案事項である。
腫瘍内科医の必要性が増す一方で、安定した供給体制がないのが実情である。現在のところ腫瘍内科を目指す若手医師は大都市圏のがんセンターに集中する傾向があり、地方都市への招聘は極めて困難である。今後の高知県のがん診療を担う人材輩出のためにも、当センターにおいて消化器内科、外科と連携を図り若手がん診療医の育成をしていく。院外からの研修も受け容れており、今後とも積極的に外来化学療法実践の場を提供していく。
- 2) JCOG 他の研究者主導臨床研究や治験に積極的に症例登録を行い、当センターの立場をアピールしていく。
- 3) 抗がん剤、支持療法の高騰化を適正化するために、新規薬剤の適応、導入について十分な検討を行い、医療経済的視点を持って抗がん剤治療提供にあたる。
- 4) がんサポートセンター外来ケアルームの安定した運用のため、看護師をはじめとしたメディカル・スタッフの育成を継続する。

ペインクリニック科

1. 概要

外来診療を中心として、患者さんへの治療を行った。主に神経ブロック治療や、キシロカイン、アルプロスタジルアルファデクスの点滴治療や内服薬による治療、ボトックス注射、脊髄刺激電極による治療、高周波パルス療法などを実施した。

2. スタッフ活動状況

令和4年度の医師数は、常勤医師が2名（うち1名は令和5年1月から勤務）、非常勤医師が2名（1名は麻酔科との兼任）であった。

3. 診療実績

令和4年度の診療実績は、下記のとおりである。

- ・延入院患者数 20人
- ・退院患者数 20人
- ・外来患者数 4,712人

4. 今後の課題・目標

令和4年度は、令和5年1月より、常勤医師2名、非常勤医師2名体勢（うち1名は令和4年度いっぱいまで退職）に変更となった。外来患者数は前年度比較で706名増加し、当日の受診希望に添えない状況が発生している。

予約診療の厳格化や、逆紹介患者を増やしていくことが今後の課題である。

インターベンショナル治療が適応となる患者も一定数いるものの、新型コロナウイルス感染流行のための手術制限により希望に添えない状況も続いている。

放射線科

1. 概要

各種画像診断(CT、MRI、核医学検査、PET-CT)、IVR など日本医学放射線学会の総合修練施設および新専門医制度における高知大学、岡山大学のプログラム修練協力機関として幅広い診療を行っている。

今年度画像検査機器の更新はなかった。

がんサポートセンターのオープンから足かけ7年が経過し、PET-CTの安定した提供も行われており、さらなる症例増加を目指している。

2. スタッフ活動状況

読影・レポート作成業務は非常勤読影医師の協力のもと放射線診断専門医2名、放射線診断専門医兼IVR専門医1名で実施しており、画像診断管理加算Ⅱの請求を継続している。

IVRは2名のIVR専門医と2名の専攻医で実施しており、令和4年度の実施件数は全国のIVR学会登録429施設中15位と、例年通り全国有数の症例数を維持している。また、オンコール体勢にて365日24時間緊急IVR対応を継続している。

これまでIVRの習得を目指す救急医の研修を受け入れてきた。令和4年度には2名の救急医が研修しており、うち1名がIVR専門医を取得した。

1名の専攻医は放射線診断専門医の取得に向け修練している。

3. 2022年度診療実績(2021年度件数)

画像検査

・CT	23,276件(21,526)
・MRI	7,763件(7,304)
・核医学	482件(633)
・PET-CT	895件(948)

血管造影・IVR: 1,363件(1,700)

・CVカテ、PICC、リザーバー留置	655件(487)
・動脈塞栓術(頭頸部・胸腹部・他)	101件(92)
・ドレナージ(腹胸部・他)	95件(145)
・生検(頭頸部、胸腹部・他)	77件(20)
・血管形成術(PTA、下肢、シャント)	55件(57)
・ステントグラフト(胸部・腹部)	46件(39)
など	

病理診断科

1. 概要

各臨床科の外来診療・入院診療の一翼を担い、種々の検体を対象とした病理診断（組織診・細胞診・病理解剖）を行った。日本病理学会の認定施設、および日本臨床細胞学会の認定施設・教育研修施設の資格も維持している。

2. スタッフ活動状況

常勤病理医が前年より1名増え、計3名となった。いずれも日本病理学会認定病理専門医であり、うち2名は病理専門医研修指導医である。病理医1人あたりの業務量がやや多めであるが、業務の遂行に大きな支障は生じていない。

なお、医師に加え、医療技術局に属する6名の臨床検査技師（常勤職員5名、臨時職員1名、前者のうち3名は細胞検査士）、および事務局に属する医療秘書1名が業務をともにしている。臨床検査技師の数は前々年に1名減となり、その状態が続いた（ただし今年度になって1名増員され元の数に戻った）。

3. 診療実績

組織診は6,035件（うち迅速組織診444件）、細胞診は3,950件（うち迅速細胞診0件）、病理解剖は9件であった。組織診と病理解剖は前年とほぼ同数、細胞診はやや減少した。

組織診と細胞診においては、臨床科の幅広さを反映して、多領域・多臓器にわたる検体が提出されている。特に組織診では、手術検体の比率が高く（生検検体と手術検体の数に大差がない）、件数の割には作製ブロック数・標本数が多いという特

徴がある。コンパニオン診断を含め、診断や治療に際して有用な情報を提供しうる免疫染色の標本数も多いが、ブロック数・標本数は前年より多少とも減少した。

組織診ブロック数	42,353→37,514
組織診標本数	59,995→55,188
組織診免疫染色	8,806→8,769
細胞診標本数	6,699→5,686

病理解剖は内科系からの依頼が主で、特に血液内科が多い。全例において初期臨床研修医が臨床医の一員として関与し、また、全例において臨床病理検討会（CPC）を行っている。

4. 今後の課題・目標

病理検体の数が近い将来において大幅に変化する可能性は低いと思われるが、臨床科から求められる情報の量や質は高まる一方であり、それに従って業務量も増え続けている。よって、現時点では確保できている病理医のマンパワーを、将来にわたって維持してゆくための体制づくりが重要である。

日本病理学会認定病理専門医の研修については、当院は高知大学医学部附属病院を基幹施設としたプログラムの連携施設の一つとなっている。今後の人的要素の安定のためにも、高知大学医学部附属病院、および他の連携施設との関係を密にしてゆく所存である。

一方、標本作製等に携わる技師への配慮も必要であり、人員減の状態が今年度に改善されたのは喜ばしい。

脳神経外科

1. 概要

脳神経外科学会専門医研修プログラムの連携・関連施設、脳神経血管内治療学会研修施設、脳卒中学会認定研修教育病院として、脳神経外科領域の外来診療や手術治療（カテーテルによる神経放射線治療を含む）を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは7名（うち脳神経外科専門医5名）。脳卒中学会専門医2名、脳血管治療指導医1名、脳血管内治療3名の体制で、外科治療を主目的にご紹介いただいた外来受診患者さんのみならず、脳卒中や頭部外傷などの急性期の神経疾患で救急受診した患者さんを幅広く診療した。

3. 診療実績

診療実績は、外来、入院、救急、手術などの実績はコロナ禍の影響からは徐々に脱し、入院患者数、手術症例数はコロナ前の実績に戻りつつある。

（外来）延べ人数 2,554 人

週3日の外来診療体制で行った。そのほか緊急患者さんを診療する人員を常に確保し、24時間県内全域からの新たな患者さんを受け入れる体制を維持した。

専門外来は設けてはいないが、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医が各曜日に診療を担当している。

（入院）延べ人数 9,672 人

SCU病棟の9床など、急性期脳卒中はSCU病棟の9床で治療を行ない、そのほか、一般入院加療は06A病棟、特に重篤な急性疾患に関しては03救命救急病棟、入院患者の術後は03集中治療病棟で加療を行った。

平均在院日数は13.2日であった。

（手術）

令和4年度の脳神経外科の手術総数は213例であった。直達手術113例、脳血管内治療は110例であった。

4. 今後の課題・目標

令和4年度はコロナ禍の影響を脱しきれていないが改善傾向を認めた。当科においては科の特性上、救急患者搬送の減少が大きく、外来、入院、救急、手術すべてにおいて診療実績に影響することとなる。そのため、院内救急患者受け入れ体制の見直し等を行い救急の確保に努めている。

高知県では他県よりも顕著に高齢化が進行している。高齢者に対する外科治療としては、低侵襲性を重視した脳血管内治療の適応が拡大している。

当科の診療体制の強みは、大半が脳神経外科専門医であること、脳神経血管内治療学会研修施設として中心的な役割を果たしていること、複数の脳卒中学会専門医および神経内視鏡専門医が在籍すること、医師以外のさまざまな職種が治療に能動的に関与していることである。したがって、当科の診療の特徴は、急性期脳卒中に対する集中的な治療である。

今後の問題点としては、県人口の全体的な減少や同様の診療体制を喧伝する競合施設の出現による症例分散に伴う症例数の減少である。また救急部への過度の負担も無視できない。つまり、現在の急性期脳卒中診療を中心とした診療体制のみでは、限界が近いことが予想される。

したがって、今後も日常診療における治療成績を向上させることは当然だが、各症例での収益率を高めること、脳神経外科を志す若手医師を養成すること、当院の協力施設を増やすこと、急性期脳卒中以外の高齢者の対象疾患を拡大することが重要である。具体的には、入院期間の短縮化、専門医制度の充実、紹介医への丁寧な報告書の提供と逆紹介等を推進していきたい。

コロナ禍がまだまだ拡大する中、症例数に関しては厳しい状況が続くと予想されるが、到達すべき目標としてDPCII超率20%（令和2→3年度退院患者数：30.3%→30.2%、入院延べ数：23.0%→17.7%）を手術治療250例、緊急症例6割、逆紹介率500%を目指し努力したい。

現在の診療体制は近隣より高い評価をいただいているため、その迅速かつ信頼される診療体制を今後も守りつつも、より幅広い専門的疾患に対応できるような体制に移行していきたい。

眼科

1. 概要

眼科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤医師 3 名で診療を行った。視能訓練士 2 名により眼科諸検査を行った。

3. 診療実績

(外来)

週 5 日の外来診療を常勤医師 3 名で行った。主に視能訓練士による屈折検査、視力検査、眼圧検査、眼底カメラ撮影、OCT（眼底三次元断層撮影）などの検査後に、医師が細隙灯顕微鏡検査、眼底検査などにより診察を行った。また、術前検査として超音波検査、角膜内皮測定、涙管通水検査を行った。さらに、緑内障や脳外科疾患などの患者には視野検査、眼球運動検査などを視能訓練士が行った。斜視患者には眼位検査、両眼視機能検査などを行った。糖尿病網膜症や網膜血管閉塞症には蛍光眼底造影などの検査を行い、必要に応じて網膜光凝固術を施行した。毎週水曜日には NICU での未熟児診療を行った。

(入院)

入院患者の延数は、129 名であった。多くは手術症例であった。手術症例以外でも重症例では入院管理の下に治療を要する例もあった。

(手術)

令和 4 年度の眼科での手術総数は 203 例であった。内訳は、白内障 87 例、眼瞼手術 24 例、斜視手術 27 例、網膜光凝固術 8 例、虹彩光凝固術 5 例、抗 VEGF 硝子体注射 44 例、その他 8 例であった。

4. 今後の課題・目標

新型コロナウイルス感染が続く中、眼科診療においても引き続き対策を行った。患者診察ごとに手指の洗浄や消毒を行った。使用した眼科診療機器やパソコンのキーボードも診察毎に消毒した。診察室の換気をこまめに行い感染予防を徹底した。

新型コロナウイルス感染拡大により入院・手術にも影響が及んだ。入院時には感染を疑う症状の有無がないかチェックし、家族や学校等での感染状況について確認した。必要なら入院時に LAMP 検査を施行し、院内感染予防に努めた。感染状況により入院や手術の制限が必要な時期もあった。手術が延期となった例では、患者に状況を説明し手術日程を組み直した。2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症は第 5 類感染症となったが、感染は依然として続いている。新型コロナウイルス感染予防に細心の注意を払いつつ、確実に安全な医療を提供していく必要がある。

耳鼻咽喉科

1. 概要

地域の基幹病院として、手術と入院を中心に診療を行った。救急部と協力して耳鼻咽喉科救急疾患に対応した。時間外呼出しにも応需した。新型コロナウイルス感染症対策を行った。

2. スタッフ活動状況

耳鼻咽喉科学会認定専門医の常勤医 4 名で診療を行っている。

3. 診療実績

週 3 回（月水金）の外來診療を医師 3 名で行なった。令和 4 年度の外來患者数は 9,431 人で前年度の 8,656 人から大幅に増加した。休診日でも緊急性を認めたときにはできる限り対応した。

当院での精査治療終了後は、速やかに紹介元に逆紹介を行った。

（入院）

令和 4 年度入院患者の延べ数は 357 例であった。内訳は手術症例が 206 例、めまいや突発性難聴などの感覚器障害が 27 例であった。入院患者のうち、がん患者は延べ 109 例で、うち手術を施行したのは 43 例、放射線治療および化学療法を施行したのは 56 例であった。

合併症がある患者も多く、必要に応じて関連他科と連携して診療を行なった。

（手術）

令和 4 年度の手術症例数は 368 例であった。鼓室形成術等の耳科手術は 52 例、内視鏡下鼻副鼻腔手術は 104 例、口腔・咽喉頭手術は 146 例、耳下腺などの唾液腺手術は 14 例、頸部手術は 7 例であった。気管切開その他 30 例であった。

頭頸部進行がんなどの再建を要する手術については、形成外科、歯科口腔外科、消化器外科および内科、放射線療法科など他科と協力して治療を行なった。耳科手術は完全内視鏡手術が多数を占め

つつある。

（検査）

一般開業医では施行できない検査を中心に行った。めまいの精密検査として VEMP 検査、vHIT を導入している。電気眼振図は 43 例、重心動揺検査は 161 件。頭頸部腫瘍に対して超音波（エコー）検査 219 例、エコーガイド下穿刺吸引細胞診 76 例。組織診は 156 例施行している。耳管機能検査、電気味覚検査を行っている。

4. 今後の課題・目標

① 転院先の確保

すぐに自宅退院できない患者やリハビリが必要な患者の受入れ先、逆紹介先の確保。限られた医療資源を有効に活用するため、当院での急性期医療、耳鼻科集学的治療を終えた患者さんの受入れ先を充実させる。

② 医療機器の更新

高知医療センター開院時から年月がたち耳鼻咽喉科診療機器の老朽化が著しい。特に最新の光学画像検査器機は診断医療レベルを落とさないためにも早期の更新が必要である。予算は限られているが医療安全の観点からも医療機器欠品状態は避けたい。

③ 耳鼻咽喉科救急への対応、救急部集中治療部との協力

高知医療センター耳鼻咽喉科に求められる診療範囲は広く、外來紹介患者診療、手術、入院管理、特殊検査など多岐にわたる。特に救急時間外対応は医師の過重労働へとつながるため業務役割分担を行う。

（注）手術件数は、日本耳鼻咽喉科学会算定方法によった。このため入院症例数に対して、手術症例数が見かけ上多くなっている。

歯科口腔外科

1. 概要

日本口腔外科学会、日本有病者歯科医療学会、日本障害者歯科医療学会の認定施設として、口腔顎顔面領域の外来診療や入院手術治療、および周術期口腔機能管理を行った。

2. スタッフ活動状況

令和4年度は常勤医6名（歯科口腔外科担当4名、小児歯科および障害者歯科担当1名、周術期口腔機能管理担当1名）が在籍し、4名は日本口腔外科学会専門医（うち3名は指導医）、1名は日本小児歯科学会認定医、日本障害者歯科学会認定医として専門的な診療を行った。救急対応を含む外来・入院・手術・周術期口腔機能管理への対応、地域貢献活動として歯科医師会での講演などを行った。非常勤医師は2名で昨年度から変化はない。チーム医療としては周術期口腔機能管理、摂食・嚥下チームおよびNSTに関与・協力している。

3. 診療実績

（外来）

常勤医6名を中心に院内・外の紹介患者受け入れを行い、外来患者数は、新患数3,099人（昨年度3,307人）、再初診では延べ15,134人（昨年度16,306人）、外来1日平均患者数は62.3人であった。新型コロナウイルス影響下での患者数は昨年度からほぼ横ばいであった。紹介率については、昨年度より上昇し62.6%（昨年度50.2%）であった。逆紹介は患者さんや紹介先との診療上の繋がりを重要視してほぼ院外からの紹介では全例で行っているが、診療情報提供書算定要件が厳しく統計上の逆紹介率は40.7%となっている。なお令和4年度、周術期口腔機能管理の新規歯科受診件数は対象疾患を再整理した結果、590件（昨年度1,145件）と減少した。

（入院）

入院患者延べ数は、1,379人（昨年度1,327人）であった。ここ数年の傾向として、高齢化に伴う疾患割合の変化、具体的には薬剤関連顎骨壊死や糖尿病など合併症を有する難治性菌性感染症や後期高齢者以上の口腔癌治療症例が増加傾向にある。

（手術）

手術室での年間執刀症例は92件であり、内訳は、難抜歯、嚢胞、消炎、外傷、良性腫瘍、悪性腫瘍および顎矯正手術などであった。日本口腔外科学会認定施設としてあまり偏りのない症例が確保できている。

4. 今後の課題・目標

当科における診療は、一般歯科診療以外の口腔顎顔面領域の疾患に対する専門的治療、および有病者・障害者に対する外来診療、入院手術治療、周術期口腔機能管理（院内・院外連携）であり、高齢化に伴って地域歯科医療の後方支援としての役割もより一層期待されるものと考えている。新規紹介患者受け入れ体制を充実させるために専門性を持った歯科医師、歯科衛生士の人員確保と維持が必要である。また開院以来18年を経過し、歯科用チェアユニットなど様々な医療機器の更新も順次必要となってきている。患者支援センターにおける周術期口腔機能管理の介入率はまだ改善の余地があり、引き続き課題として挙げられる。目標としては、①地域医療連携をベースとした高知県内では数少ない口腔顎顔面疾患に特化する診療科として、専門医による診断、処置や手術の提供が常に一定レベルで行えるような体制を維持する。②周術期口腔機能管理の介入率のアップと（40～50%台を目標）、それに関連して口腔ケアに熟知し、病院歯科で活躍できる「歯科衛生士」の養成と獲得（県内養成機関である高知学園短大との包括連携協定の具体化）が挙げられる。

呼吸器内科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患の内科的診断、治療全般を行っており胸部異常陰影に対する気管支鏡、胸腔鏡など精査や、肺癌に対する化学療法、放射線治療など集学的治療、急性呼吸不全や慢性呼吸不全の増悪などの急性期疾患、難治性肺炎、間質性肺炎の治療を行える病院として高知県全域からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

2名の呼吸器内科専門医および高知大学呼吸器内科学教室より1名の後期研修医の派遣をしていただき3名の常勤スタッフで診療を行っている。

3. 診療実績

週5日の外来診療を、常勤医2名、非常勤2名で診察を行っている。表1に令和4年度の呼吸器系患者の入院、外来数の延べ人数を示した。延べ入院患者4,124人、外来患者数は4,065人である。

入院患者の内訳は肺癌が6割をしめる。肺癌の化学療法は93人に施行されており、免疫チェックポイント阻害剤(39人導入)、や分子標的治療薬を積極的に使用している。肺癌の化学療法については入院での治療導入後は外来化学療法が主体となっており、患者さんのQOLの維持を目的として緩和ケアチームと連携を取りながら治療に当たっている。

呼吸器内科の人員の減少により、通常の肺炎などは総合診療科や救命救急科で治療していただき、難治性肺炎や間質性肺炎など特殊な疾患については呼吸器内科での加療となる体制となっている。

気管支鏡検査は年間166例施行しており1泊2日のパスを使用している。末梢肺の小型病変に対してはEBUS-GSやバーチャル気管支ナビゲーション

を使用し診断率向上に努めている。縦隔リンパ節病変の精査に対してはEBUS-TBNAを施行。原因不明の胸水の精査および膿胸の加療目的に局所麻酔下胸腔鏡を施行している。なお結核病棟がCOVID-19病棟として運用しており、現在は感染性のある肺結核患者さんの受け入れは中止とさせていただいている。

表1 入院・外来実績

入院・外来患者数		
	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器内科	4,124人	4,065人

表2 疾患別退院患者数(376人)

疾患名	退院患者数(人)
肺炎	60
肺癌	215
気管支喘息	4
間質性肺炎	34
気胸	0
肺結核	1
COVID-19	4
その他	58

表3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数1カント)
呼吸器内科	99人	662回

4. 今後の課題・目標

肺炎などについては総合診療科や救命救急科の協力のもと加療を行い、肺癌など悪性疾患については呼吸器外科と連携のもと診断、治療を行っているが今後もスタッフの充実が望まれる。

呼吸器外科

1. 概要

当科は、呼吸器疾患を中心に外科的治療（手術）を主に行う科で、「肺がん、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療」を基本理念としている。高知県全域および県外からも患者さんを受け入れており、各地域の医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。

2. スタッフ活動状況

令和4年度より1名増員の3名の常勤スタッフでのより充実した診療となった。

3. 診療実績

週2日の外来診療を、常勤医3名で行った。表1に呼吸器系患者さんの入院、外来数の延べ人数を示した。入院、外来とも呼吸器外科患者数はそれぞれ約3,000~3,400人であった。

表2に手術実績を示した。令和3年度は182例、令和4年度は227例の手術を施行し、手術数は増加傾向にある。

<https://www2.khsc.or.jp/shinryouka-bumon/shinryouka/kokyuukigeka/#jisseki>

令和4年度の内訳では、原発性肺癌が118例で最多であるが、当院の特徴として他の疾患からの転移（転移性肺腫瘍）の診断・治療（手術）が多いのも特徴である。胸腔鏡下手術（VATS）が中心であるが、1月からロボット支援下手術も開始となっている。令和4年度も年間を通して手術関連死亡（術死、在院死）を認めなかった。気管支鏡検査は、呼吸器内科、呼吸器外科合わせて199件で、呼吸器内科を中心に施行している。

表1 入院・外来実績（令和4年）

	延べ入院患者数	延べ外来患者数
呼吸器外科	3,001人	3,379人
呼吸器内科	4,124人	4,065人

表2 手術実績

手術実績	令和3年	令和4年
肺癌	93	118
転移性肺腫瘍	27	39
縦隔腫瘍	10	12
気胸	18	19
膿胸	7	3
外傷	1	4
その他	26	39
合計	182	227

※肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸で重複計上あり

表3 化学療法実績

	患者数	レジメン適用回数 (患者・回数1カウント)	レジメン適用回数 (患者・回数複数カウント)
呼吸器外科	35人	48回	208回
呼吸器内科	99人	161回	662回

表3に化学療法の実績を示し、呼吸器内科、呼吸器外科ともに多くの化学療法を行っている。1患者さんあたり2種類以上のレジメンが施行されている。肺癌病期IA期でも、2cm以上の大きさでは術後化学療法が推奨される。また大多数の切除不能肺癌・進行肺癌・再発肺癌の領域でのレジメン数は増加し、適応症例や適応回数も増加しうると思われる。DPC資料からも地域での肺悪性腫瘍の診療実績が上位にあり、基幹病院としての役割を果たしている。

4. 今後の課題・目標

今後発展し続ける内視鏡手術の適応継続と保険収載となったロボット支援下の手術手技・システムの充実、保持、適切な更新とともに、肺癌化学療法の分野の著しい進歩に合わせた呼吸器内科・呼吸器外科の連携、スタッフの充実、教育、がん診療連携拠点病院の機能保持が望まれる。

循環器内科

1. 概要

『紹介患者さんを断らない』をモットーに、迅速な患者さん受け入れ直後より専門医師による救急医療を提供する。救急外来での診断、緊急カテーテル治療、CCU・一般病棟管理、早期からの心臓リハビリテーション（心リハ）、病診連携による外来フォローと、切れ目のない循環器診療を実践している。

虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈インターベンション（PCI）、不整脈に対するカテーテルアブレーション（RFCA）、各種デバイス移植術（ペースメーカーやICD）、経皮的リード抜去、大動脈弁疾患に対する経皮的大動脈弁置換術（TAVI）／形成術（BAV）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（マイトラクリップ）、末梢血管疾患に対するカテーテル治療（EVT）等、最先端の低侵襲治療を積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 5 名で診療を行っている（表 1、2）。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本不整脈心電学会専門医、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会指導医、日本超音波医学会指導医の資格を持つ専属スタッフにより、質の高い医療を実践している。

3. 診療実績

令和 4 年度の診療実績を表 3 に示す。

令和 4 年度の外来患者数は延べ 5,227 人、入院患者数は延べ 9,398 人であり、平均入院日数は 7.5 日であった。

当科での治療であるが PCI については、ロータブレーター、エキシマレーザー、方向性粥腫切除術（DCA）の認定施設であり、複雑冠動脈病変への PCI を積極的かつ安全に行っている。

また心臓弁膜症へのカテーテル治療に関しては、重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI、僧帽弁閉鎖不全症に対するマイトラクリップの施行施設である。重症心不全症例に対する補助循環装置であるインペラの実施施設であり、高知県の心不全治療の最先端を担っている。また心不全治療に関しては心不全療養指導士が当院でも活動を開始しており、入院から退院、外来での心不全患者に対するケアの充実を図っている。

不整脈に対するカテーテルアブレーションの症例数が減少しているのが今後の課題である。

当院は日本循環器学会専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本内科学会認定教育施設、日本超音波専門医研修施設であり、種々認定医・専門医の教育を行っている。

4. 今後の課題・目標

多くの患者さんを県内の医療機関からご紹介いただけるよう、地域連携の強化及び救急医療のレベルアップを図る。

また、迅速な緊急患者さんの受け入れのため、急性期を脱し病状が安定すれば、迅速な退院・転院が可能となるよう密な病診・病病連携を継続し地域医療を更に推し進める。

高知県で世界標準の循環器医療が受けられるようソフト面・ハード面ともに充実させ、地域完結型の循環器診療を目指したい。

(表 1)

名前	役職	専門分野
山本 克人	副院長	不整脈
尾原 義和	科長	虚血／弁膜症
福岡 陽子	医長	心エコー
吉村 由紀	医長	弁膜症／不整脈
竹内 雅音	副医長	虚血／弁膜症

(表 2)

曜日	午前・午後	名前
月曜	午前	尾原 吉村 山本（不整脈）
	午後	尾原
火曜	午前	竹内
水曜	午前	山本
	午後	ペースメーカー外来
木曜	午前	福岡
金曜	午後	ペースメーカー外来

(表 3)

		件数
虚血性心疾患	冠動脈造影	713
	PCI	304
	ロータブレーター	34
不整脈	EPS	23
	RFCA	8
ペースメーカー	新規	73
	電池交換	30
大動脈弁	TAVI	46
	BAV	16
僧帽弁	MitraClip	14
	WATCHMAN	17
	リード抜去	15
補助デバイス	インペラ	10

心臓血管外科

1. 概要

心臓血管外科専門医機構の基幹施設として、心臓血管外科領域の外来診療・入院診療を行っている。入院診療は手術治療を中心とし、手術対象は心臓・大血管・末梢血管である。

2. スタッフ活動状況

現在常勤スタッフ4名の体制で診療を行っている。医師数に余裕ができ、予定手術を含めた日々の診療への対応はもちろん、終日自由に行動できるスタッフをおくことができるため、ICU・病棟での処置対応や急変対応、および救急外来における緊急対応までもを万全に行える体制となっている。既に手術中である場合、または、麻酔科・手術室体制として受け入れ不可能な場合を除いて全ての緊急症例を受け入れる体制で診療している。

3. 診療実績

(外来診療)

月・火・金曜日に外来診療を行っており、各々が特殊外来を兼任する形で行っている。一般的な心臓血管外科外来およびその他の特殊領域の外来；静脈瘤、末梢血管、ステントグラフト；などを対象として、外来診療を受診しやすく、紹介しやすくして対応している。

当科では手術をした患者さんに関しては基本的に術後終生診させていただくことを原則とし、術後状態についても責任を持って行くべく診療体制をとっている。

また、救急救命センターとの連携において、通常の急患はもちろん、術後状態変化のあった患者さんに関しても可及的早期に受診できる様になっている。

(入院診療)

当院9階フロアを循環器病センターとし、循環器内科と心臓血管外科を同一病棟に配置して、術前後の連携を図っている。心臓・大血管術後急性期は当院3階のICUにて、集中治療科医との連携のもと、必要な期間治療している。

(手術治療)

週4日の手術日にて手術治療を、また、半日のカテ治療日にカテ治療を行っている。また人工心肺装置は2台となり開心術も並列で施行可能な体制が整い緊急手術への対応力も向上している。2022年の手術総数は273例で、弁膜症33例、虚血性心疾患13例、胸部大動脈瘤38例、腹部大動脈瘤34例、などであった。僧帽弁逆流は基本的に形成術を施行し、症例に応じてMICS(正中切開を伴わない小開胸での手術)も5例行い、胸部、腹部の大動脈瘤はステントグラフト治療も症例に応じて行っている。カテーテル治療も積極的に行っており、ステントグラフト治療はTEVARとEVARを併せて47例、TAVI治療は28例に施行した。両治療ともに緊急・準緊急症例に対しても積極的に行っている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化・高齢化した手術症例が増加する傾向はますます進行しているが、院内他科、特に麻酔科・集中治療科・救命救急科との協力が充分に行われており、良好な成績を得ている。最新の手術動向を取り入れつつも、高知で最も早く開心術を行ったチームから引き継がれた歴史と伝統を活かしつつ治療を行っており、しっかりした礎に建てられた最新の快適な家のように、病気に冒された患者さんに少しでも快適を提供できるように努力していきたいと考えている。

消化器内科

1. 概要

当診療科は消化器内科領域、特に消化管、胆膵疾患の診断・治療を担当し、外来および入院診療を行った。なかでも内視鏡診断・治療を中心として、救急治療、専門的な精査、治療を行った。また研修医および院外からの研修医師を受け入れ、診療および内視鏡研修の指導を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフは計 9 名、他非常勤医師 9 名が水曜午後の外来及び内視鏡検査を担当している。

3. 診療実績

外来業務

週 5 日午前、月・火・木は 2 診、水・金は 1 診での常勤スタッフによる診察、水曜午後に非常勤医師による診察を行った。また救命救急科を主として各科と連携しつつ救急外来の対応を行った。基本的には早期の転医を推進し、再診患者数の削減を目指している。

入院業務

検査、予定治療入院、緊急入院診療を行い、地域医療連携、退転院調整、離床促進やリハビリを早期より積極的に利用し、在院日数の短縮を図っている。

内視鏡実績以外には急性膵炎、炎症性腸疾患が主たる疾患で入院期間も長期になりやすい。

内視鏡実績：2022 年度の消化器内科での内視鏡実績は以下の通りであった。

上部消化管内視鏡検査

通常検査	2,234
止血術	186
食道 ESD	22
胃 ESD	75
胃ポリペクトミー・EMR	18

十二指腸ポリペクトミー・EMR	3
静脈瘤硬化療法	7
静脈瘤結紮術	8
異物除去	35
胃瘻造設術	76
消化管拡張術：食道 114	胃十二指腸 6
ステント留置：食道 10	胃十二指腸 3
内視鏡下胃管挿入	24
胆膵 EUS 40	FNA・ドレナージ 19
迅速ウレアーゼテスト	75

下部消化管内視鏡検査

通常検査	804
止血術	64
大腸ポリペクトミー・EMR	407
大腸 ESD	13
消化管拡張術 小腸・大腸	4
ダブルバルーン小腸内視鏡検査	13
ERCP	
通常検査	62
結石除去	292
ステント留置	172

4. 今後の課題・目標

主な業務となる消化器救命救急、がん診療に対する院内外からの要望がより高まる中、年々減少するスタッフの数が絶対的に足りていないのが現状である。また数年来肝疾患専門常勤スタッフ不在で、週 1 回非常勤医師の外来のみの対応となっている。これらは当科の指導システムや新しい人材の確保、施設認定等においても影響する課題といえる。

スタッフの確保と、いかに安全性を保ちつつ診療体制の維持・進歩をはかっていくかが最大の課題・目標である。

消化器外科・一般外科

1. 概要

高知県の消化器外科の基幹病院として、手術治療を主とした入院診療、外来診療および救急医療を行った。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ 12 人+専攻医 3 人の体制で活動した。

3. 診療実績

(外来)

外来診療においては、平日午前、午後それぞれ 2-3 診察室の体制で、外来患者数 12,690 人（新患者数 634 人）を診察した。外来患者数および新患者数ともに過去最高人数の診療となった。本年度より遺伝子外来と骨盤機能外来を開設し、より専門性の高い診療が行えている。今後再診患者診療の効率化と共に、さらなる新患者の紹介増加を図る工夫を行いたい。

(入院)

新規入院患者数は月平均 137.3 人、1 日平均入院患者数は 58.8 人であり、入院患者総数は 1,647 人と昨年よりも減少した。コロナ禍で手術制限が行なわれた期間があったことが影響していると考えられる。平均在院日数は 11.6 日であり、前年度とほぼ同等であった。

(手術)

令和 4 年度の消化器外科手術総数は 1,115 件であった。令和 3 年度の手術総数は 1,173 件であり、前年と比べて減少した。コロナ禍で手術制限があったことが大きな理由である。主な疾患別では、食道疾患 30 件、胃疾患 127 件、大腸疾患 297 件、肝胆膵腫瘍手術は 170 件であった。また、胆嚢摘出術 151 件、ヘルニア 96 件であった。腹腔鏡下手術は総数 655 件であり、全症例の約 56%を占め

ていた。令和 4 年 10 月から下部消化管手術、令和 5 年 1 月から上部消化管手術に、ロボット支援下手術（ダビンチ手術）が導入された。下半期だけでダビンチ手術を 50 例以上施行しており、新しい術式を安全に行えている。

4. 今後の課題・目標

以前同様に常勤スタッフ数に対し、消化器外科専攻医が少ない状況が続いているが、近年県外から当院での研修および研修後の就職の問い合わせ、相談件数が増えている。全国の基幹病院と引けをとらない豊富な手術症例数、上級医からの教育体制が評価されつつあるのかもしれない。今後は県内外の研修医に向けて積極的にアピールを行い、岡山大学との連携も図り専攻医の更なる増加を実現したい。また、女性医師も就任し、女性医師が安心して働ける消化器外科を目指して環境整備を進めている。

高知県内では唯一、内視鏡外科専門医や肝胆膵外科高度技能専門医を定期的に輩出している。高知県内での臨床外科医育成の拠点となっている。

平成 30 年度から実施している消化器外科内での臓器別グループ化も定着してきた。各グループ毎のカンファレンスも行なわれており、専門性のより高い診療が提供できるように努力をしている。各領域における臨床試験、治験等への取り組みもさらに充実できればと考えている。学会発表・論文業績においてもこれまで岡山大学関連病院の中で有数を保持しており、今後も業績を維持・向上させるべく、各スタッフの努力が望まれる。

患者さんにとって最善の治療を追求し、「断らない」「諦めない」「待たせない」をモットーに地域の医療機関と連携をとり、診療を行なっていきたい。

泌尿器科

1. 概要

泌尿器科領域の外来診療や手術治療を主とする入院診療を行った。当院は地域がん診療連携拠点病院であるため、泌尿器悪性腫瘍の患者さんが中心となるが、尿路結石の治療や、前立腺肥大症など排尿障害の手術なども積極的に行っている。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ4名と、専修医2名の6名体制で診療を行った。常勤スタッフ4名は日本泌尿器科学会の専門医、3名は指導医であり、うち2名は泌尿器腹腔鏡技術認定医である。

診療時間外についても1名のオンコール体制により緊急対応も行っている。

3. 診療実績

(外来)

令和4年度の外来患者総数は5,100人、月平均425人であり、新型コロナウイルスの影響が大きかった前年度よりは増加している。

週4日（水曜以外）の外来診療は各日午前中2-3診察室の体制で行った。初診患者さんの紹介状は地域医療連携室へ事前にFAXで送っていただき、初診時にできるだけ効率よく検査ができるようにしている。

(入院)

入院患者さんの延べ数は4,122人で、こちらも前年度よりは増加していた。

入院目的となる大半の疾患に対してはクリニカルパスを使用し入院期間の短縮に努めている。パス適応の手術・検査は、腹腔鏡下副腎摘除術、腎摘除術、腎尿管全摘除術、TUL、尿管ステント留置術、TUR-BT、前立腺全摘除術、HoLEP、精巣摘除術、前立腺生検である。

(手術)

令和4年の総手術件数は470例（前立腺生検も含む）であった。前年度に比べやや増加している。

主な手術内容としては泌尿器腫瘍に対する手術が多く、副腎腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術を5例、腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術を14例、鏡視下腎部分切除術を10例行った。上部尿路腫瘍に対して後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を5例行い、膀胱腫瘍に対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術を3例（尿路変向はすべて回腸導管）、経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）を59例（初発28例）行った。前立腺癌に対しては腹腔鏡下前立腺全摘除術を14例、ロボット支援下前立腺全摘除術を3例、去勢術を9例行った。精巣腫瘍に対する高位精巣摘除術は3例であった。

腫瘍以外については、前立腺肥大症に対する経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を75例行い、結石治療として経尿道的結石破碎術（TUL）62例、経尿道的膀胱碎石術14例行った。尿管ステント留置・交換は70例、前立腺生検は85例（前立腺癌検出は55例）であった。

4. 今後の課題・目標

泌尿器科悪性腫瘍の手術においては、ほぼすべての術式でロボット支援下手術が保険適応となっており、こちらが今や標準的治療となりつつある。今年度より当院へ待望の手術支援ロボット（ダビンチXi）が導入された。現在のところ前立腺全摘除術のみを行っているが、順次適応術式の拡大も検討している。ロボット支援下手術の開始により、より安定した手術経過が期待される。

また、ホルミウムレーザーを使用した前立腺肥大症手術や結石手術の症例も多く、今後も積極的に行っていく方針である。

腎臓内科・膠原病科

1. 概要

腎臓疾患の基幹病院として、腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、膠原病、血管炎の外来診療、入院診療を中心に行った。

2. スタッフ活動状況

平成 27 年 4 月から常勤スタッフ 3 名であったが、平成 28 年 8 月に 1 名退職し、常勤 2 名体制になった。令和 3 年度より、西村誠明先生に週 1 回外来担当いただき（火曜日午後、隔週）、佐田憲映先生に週 1 回膠原病院内対診担当いただき（水曜日午後、隔週）、計 4 名体制で診療した。

3. 診療実績

外来患者さんの延べ数は、3,950 人（令和元年度）、3,715 人（令和 2 年度）、3,793 人（令和 3 年度）、3,748 人（令和 4 年度）、前年比 98.8%と減少した。新患は可能な範囲で受入れた。

入院患者さんの延べ数は、2,886 人（令和元年度）、2,250 人（令和 2 年度）、1,846 人（令和 3 年度）、1,863 人（令和 4 年度）、前年比 100.9%に増加した。

要因として、COVID-19 が一因と考えられる。

腎炎・ネフローゼ症候群、膠原病、血管炎の診断、診療を中心に継続した。血液浄化療法に関しては、①急性腎不全、慢性腎不全急性増悪時に対する血液透析、血液透析導入、②他院にて血液透析中の合併症に対する治療（手術、内視鏡治療、循環器内科的治療、化学療法等）、③腎移植前後の管理（血漿交換、血液透析）、④消化器疾患（GCAP、血漿交換等）、⑤特殊な疾患に対する血漿交換療法（血栓性血小板減少性紫斑病など）を行った。

日本透析学会 2021 年末統計調査報告は、当院新規導入 19 名（平均 66.4 歳、21～89 歳、男性 12 名、女性 7 名）、原疾患①腎硬化症 47.4%、②糖尿病性腎症 31.6%、③慢性糸球体腎炎 5.3%と報告し

た。

他科入院中に合併する腎不全は、頻度が多く早期対応が望ましいと考え、対診枠は月～金、従来どおり継続した。時間外の急性腎不全、急性血液浄化、特殊な疾患に対する血漿交換療法に関しては、麻酔科、救命救急科と連携し対応した。定期的血液透析は休日も同様に継続し、周術期に関連した血液浄化は、ICU と連携し、時間外の臨時（緊急）透析に対応した。COVID-19 合併透析患者さんの入院中の血液透析（10A 病棟）を行った。

4. 今後の課題・目標

院内発症の腎不全管理、腎代替療法の選択・導入、維持透析中の合併症治療における血液透析管理を継続する。

腎炎・ネフローゼ症候群、血管炎が増加しており、また高齢化も進んでおり、早期発見・治療に努め、末期腎不全への進展を抑制したい。

当院の新規血液透析導入の傾向は、平均年齢が上昇（全国平均 70.9 歳）、本年度は、腎硬化症が増加する傾向が認められた。かかりつけ医との連携した慢性腎臓病（CKD）対策、特に早期発見・治療、その後の逆紹介アップに努める。

若手医師育成に関しては、当院は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会教育関連施設であり、腎臓専門医、透析専門医の育成に努める。学生実習は可能な範囲で受入れた。腎臓疾患は、全身と密接に関連しており、全身疾患によって腎障害は惹起され、また、腎障害は全身に影響を与える。原疾患と腎疾患の関連を常に考えながら診断、治療を行う generalist の意識を育成する。平成 28 年 8 月透析専門医が 1 名退職したため、日本透析医学会認定施設の条件が満たされなくなり、平成 29 年度より教育関連施設に変更した。他の内科系診療科と協力し、総合内科専門医育成に努める。

移植外科

1. 概要

県内唯一の腎臓移植施設として生体腎臓移植手術・献腎移植手術を行い、現在までの多数の腎移植患者さん（他院で腎移植を施行した方も含む）のフォローアップを外来で行っている。また、総合的な腎不全治療として、内シャント設置術、シャントトラブルの対応を行い、入院中の維持血液透析患者さんの診療を腎臓膠原病内科と協力して行っている。

2. スタッフ活動状況

現在、澁谷祐一医師と堀見孔星医師にて、外来診療・入院診療を行っている。また、日本移植学会認定レシピエント移植コーディネーターである三谷と米本は入院外来患者さんへの生活指導やその他の様々な相談に対応しており、その他各方面のメンバーでチーム医療を展開する事でより多角的できめ細やかな腎移植後フォローを行っている。

また、学会活動も積極的に行っており、移植関連の各種地方学会や全国学会で発表を行った。

3. 診療実績

令和4年度は生体腎移植13例、腹腔鏡下移植用腎採取術13例、シャント関連手術68例を行った。献腎移植は、本年度はなかった。

近年は透析導入することなく腎移植を行う先行的腎移植が増加している。透析による動脈硬化の進行や手術リスクの増加を考慮すると先行的腎移植はより良い成績が報告されており、当科でも積極的に取り組んでいる。また、手術手技の確立や薬剤の飛躍的な発達により、腎移植自体の適応も広がっており、高齢者や合併症を多く持つ方の腎移植も増えてきている。

4. 今後の課題・目標

腎臓移植は患者の生活の質や生存率を向上させるだけではなく、医療費（移植医療は腎臓提供者も含め公費負担がほとんど）の面でも透析療法に比べ安価となるため、そのメリットは非常に大きいと考えられる。腎不全患者さんだけでなく一般の方へ腎臓移植医療の情報をきちんと提供し、腎移植を考える方・腎提供を考える方を増やしたいと考えている。

婦人科

1. 概要

産婦人科は婦人科腫瘍、産科周産期医療、生殖医療とその他疾患に専門が更に分かれてきている。

婦人科は婦人科腫瘍とその他疾患を取り扱っている。

2. スタッフ活動状況

婦人科は他の産科、生殖医療科の医師も兼任している。

3. 診療実績

週5日の外来診療を行っている。

令和4年度の初診患者さんは490例（紹介患者さんは433例）であり、逆紹介患者さんは181例であった。

令和4年の手術総数は338例であり、そのうち腹腔鏡・ロボット支援下手術が148例、子宮鏡手術が28例であった。

婦人科悪性腫瘍治療数（初回治療症例のみ）は、子宮悪性腫瘍17例、卵巣がん・境界悪性腫瘍が25例であった。

令和4年10月よりロボット手術を導入した。

4. 今後の課題・目標

初診患者さんの受け入れを遅滞なく行うため、逆紹介患者さんを増やし、再診患者数の削減が必要である。産科周産期症例が増加している中、婦人科疾患の救急対応に対して他施設との連携が必要である。

産科

1. 概要

産婦人科は令和4年度末現在、専攻医1名を含む合計12名で診療にあたっている。

外来受診妊婦の約半数は妊娠初期リスクスコア2点以下の一般産科症例であり、残りの半数が妊娠初期リスクスコア3点以上のハイリスク妊娠である。ローリスクからハイリスク妊娠まで、幅広く対応している。近年では生殖補助医療（ART）による妊娠や35歳以上の高齢妊娠の増加に伴い、妊娠高血圧症候群（HDP）、妊娠糖尿病（GDM）、胎盤位置異常、癒着胎盤などのハイリスク症例が増えてきている。さらに、高齢妊娠の増加を背景に出生前診断を希望される妊婦も多いため、特殊外来を受診していただき、カウンセリングを含めて検査などの対応をしている。また、新型コロナウイルス感染症に関わる妊婦の対応なども高知県や他院と連携してその役割を果たしている。

当院は高知県唯一の総合周産期母子医療センターであり、MFICU3床、NICU12床、GCU15床を有し、小児科、小児循環器科（非常勤）、小児外科の協力を得て、高知県全域からハイリスク妊娠や胎児疾患症例を受け入れている。胎児疾患症例の紹介も多く、診断から治療を含めた管理に関しては、他県の高次施設とも連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

外来診療、入院診療および定時手術に加え、緊急手術や母体搬送などに対応している。

学術活動としては、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本超音波医学会をはじめ、周産期医療関連の学会に積極的に参加して、演題発表を行い、得られた最先端の情報を臨床現場に反映させている。各学会指導医のもとで、専門医の取得も可能である。

また、シミュレーション教育にも力を入れている。看護スタッフとともにALSO、J-CIMELS（日本母体救命システム普及協議会）などチーム医療や産科救急に関する研修会に積極的に参加している。定期的で開催している病棟内での様々なシミュレーションを通して、診療技術の向上に加え、チーム医療のあり方を学んでいる。その他、高知県周産期医療関係者研修事業の委託を受けて、周

産期医療関係者研修会、症例検討会を開催することで、周産期に関わる人材育成や情報共有を進めている。

3. 診療実績

産科外来患者数	延べ 8,212 名
産科入院患者数	延べ 6,093 名
分娩件数（22週以降）	614 件
多胎 双胎	14 組
品胎	0 組
出生児総数	628 人
	（22～27週：9人、28～33週：23人、 34～36週：34人、37～41週：562人）
帝王切開	268 件
母体搬送受け入れ件数	28 件
	（搬送断り：18件、他院へ転院搬送：3件）

高知県下の出生数は年々減少してきているが、当院の分娩件数は令和3年度と比較して50件程増加した。分娩を取り扱わないが妊婦健診のみを実施している施設とセミオープンシステムで連携したことによると考える。一方で帝王切開率は例年50%を超えていたが、43.6%と低下した。また、新型コロナウイルス感染症に関わる妊婦の対応やNICUの空床状況、手術室の運用状況等により、搬送受入れ困難な場合があった。院内の関連部署だけでなく、他院とも周産期医療体制における情報共有を密に行っている。

4. 今後の課題・目標

高知県の出生数は年々減少しているが、ハイリスク妊娠率の増加により、一つひとつの症例にかかる負担が大きくなっている印象である。また、分娩取り扱い施設の減少に伴い、妊婦健診のみを実施する施設が増加している。これにより、当該施設で管理されている妊婦の夜間・休日における診療のサポート体制を強化する必要がある。早産防止対策や胎児発育不全に対する管理、妊産褥婦のメンタルヘルスケアについては引き続き、積極的に取り組んでいく予定である。

母児の健康を確保するために質の高い医療（安心・安全）を提供しつつ、産科を志し、高知県の産科医療を担う医師の育成に今後も力を入れていく。

生殖医療科

1. 概要

生殖医療専門医制度の認定研修施設として、日本産科婦人科学会規約を遵守し一般不妊治療から高度生殖医療に至る幅広い診療を行っている。

2022年4月より保険適用されたことに伴い、症例数が漸増傾向にある

2. スタッフ活動状況

生殖医療専門医2名を含む医師4名、胚培養士3名による高度生殖医療として体外受精、顕微受精（精巣内精子回収法を含む）、凍結融解胚移植を行っている。また、AYA（思春期・若年成人）世代の悪性腫瘍患者の妊孕性温存希望者に対して精子、未受精卵子および胚の凍結保存を行っている。更に、不妊症看護認定看護師2名による外来カウンセリングを適宜実施している。

3. 診療実績

外来診療として不妊症検査スクリーニング、timing指導、高度生殖医療を実施している。高度生殖医療の2022年1月～12月の実施件数および成績を示す。

採卵周期 159例（体外受精 99周期、顕微受精 60周期）、凍結融解胚移植 174周期

胚移植あたりの妊娠率 35.6%

胚移植あたりの妊娠継続率 28.2%

採卵周期はほぼ全例全胚凍結とし、胚移植日を増やしたため凍結融解胚移植周期数は年々増加している。

悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存のための精子凍結保存3例、未受精卵子凍結2例（合計5例）。

4. 今後の課題・目標

2022年4月よりタイミング療法、人工授精といった一般不妊治療、および体外受精、顕微受精、凍結融解胚移植などの生殖医療が保険適用され、より身近な治療法となった。症例数増加に伴う医療安全面でのリスク増加に対しても配慮を怠ってはならない。

小児科

1. 概要

当科は、主に小児の内科的疾患を対象とし、高知県全域から患者さんを受け入れており、各地域の開業医院、病院の先生方と連携を保ちながら診療を行っている。また、外科的治療を要する児に関しても、小児外科および他の外科系診療科との連携を図りながら、患者さん全身の診療を行っている。小児病棟では院内学級も併設、院内保育士も配備されており、長期入院児の学業面および生活面のサポートを行っている。

総合周産期母子医療センターを有しており、県内の新生児疾患全般に関して診療を行っており、先天性心疾患および希少な重複外科疾患の一部は県外の専門施設と連携しながら対応している。

2. スタッフ活動状況

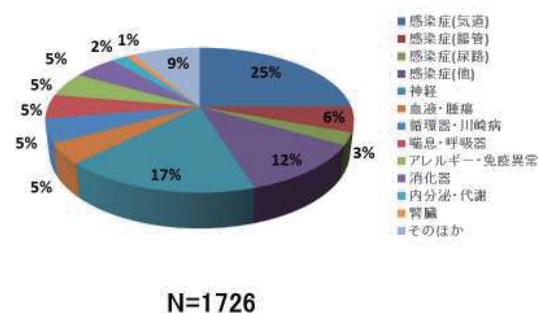
スタッフ 8 名(うち小児科専門医 8 名)、後期研修医 3 名である。外来診察室は感染症 2 室、非感染症 4 室(小児外科含む)と分けて診療を行い、院内感染に配慮している。一般外来は、午前・午後行っている。専門外来では、小児循環器、小児神経、小児血液・腫瘍、内分泌・腎臓、慢性疾患、NICU 卒業児の発達フォローアップなどを行っている。

3. 診療実績

(入院：小児科病棟 図 1)

一般病棟への入院数は、2020 年度 449 人、2021 年度 632 人、2022 年度 645 人であった。2020 年度は、過去数年と比較すると激減している。新型コロナウイルス感染症の流行により、例年流行する RS ウイルス、インフルエンザ感染症での入院の減少が主たる原因である。2021 年度以降は増加傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の入院例や、RS ウイルスの流行がめだつた。3 年間の入院数は 1,726 人であり、感染症は約 46%と半数弱であった。感染症以外では、神経疾患が約 17%と最も多かった。

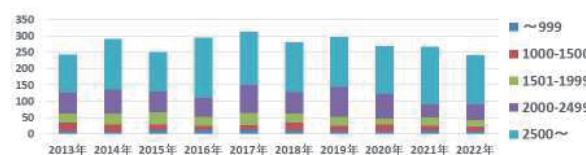
図1 2020～2022年度の疾患別入院割合(NICUを除く)



(入院：NICU 図 2)

NICU は過去 10 年間で 2,722 人の入院があった。低出生体重児が全体 4 割ほどで、近年減少傾向にある。10 年間の全死亡例は 25 例で、救命率は平均 99.1%であった。

図2 年別NICU入院数



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
総入院数	243	292	251	295	313	281	297	270	267	242	2722
死亡数	5	1	1	3	2	2	5	2	2	2	25
救命率(%)	97.9	99.799	99.6	99.0	99.4	99.3	98.3	99.3	99.3	99.2	99.1

(外来)

2022 年度の外来患者数は 13,857 名、予防接種件数 5,092 回(複数接種含む)、乳児健診 819 名であった。例年通りの患者数であるが、長期的には、分娩件数の減少に伴い、外来患者数・乳児健診数は減少傾向になると予測される。

4. 今後の課題・目標

今後も現状と同様、地域の医療機関と連携して診療を継続していく予定である。

小児外科

1. 概要

日本小児外科学会認定施設として、小児外科・小児泌尿器科領域の外来・入院診療を行った。

2. スタッフ活動状況

昨年増員されていた外科医は他院へ移動となり、日本小児外科学会専門医1名が一人医長として勤務する体制に戻った。手術・病棟業務は主に小児領域を研修している初期臨床研修医と行っている。

緊急手術や高難度の予定手術は、他診療科の協力を得ながら、症例によっては岡山大学より学会認定指導医や専門医の応援を得て施行している。小児泌尿器科領域も小児外科領域と同様に泌尿器科の協力を得ている。

当院小児科が日本小児血液・がん学会研修施設であることから、若手小児科医の修練を外科的な立場でサポートしている。また日本周産期・新生児学会も修練施設であり、同様に新生児外科的疾患に関する若手小児科医の修練をサポートしている。

3. 診療実績

(外来)

従来と同様に、月曜日と水曜日に外来診療を行っている。受診患者数が多く患者さん達からの希望もあり、金曜日にも外来診療を枠外で行っている。外来検査は火曜日の午後と金曜日に行っているが、月曜日の午前中も必要に応じて行っている。多くの画像検査で小児の場合鎮静が必要となり、鎮静を行う場合は小児外科医が鎮静を行い、その後もすべての検査に立ち会っている。

(入院)

少子化影響で、小児患者数自体が少なくなっており、外科的疾患症例も減少している。手術症例数は135例とコロナ以前の症例数よりもかなり減少したままで推移している。

鏡視下手術は19、新生児手術は8例、泌尿器科関連手術は12例であった。

4. 今後の課題・目標

当院の病院機能として小児外科的・小児泌尿器科的疾患に対して救急対応を行っている現状を考えると小児外科専門医がもう一名常勤医として赴任することが必要と考えられる。研修目的で外科医1名の増員がはかられたが、1年で退院へ移動となり短期的な派遣であった。長期間高知で診療を行える人材を全国的に求めていく必要がある。

日本小児外科学会は発足当初より日本の山々・津々浦々で等しく小児外科医療を行うべく専門医制度（以前は認定医制度）を1980年代から行ってきたが、近年の少子化による症例確保の問題もあり、複数県での集約化を行うべきではないかとその考え方を変えようとしている。

高知県における出生数が年々減少している現状を踏まえて、高知県における小児外科の必要性をどのように考えるか、他施設との集約化をどのように図るか、当院の施設認定を含め、行政とも十分に議論を行い、病院としての長期的なビジョンを示す必要がある。そのビジョンに沿うように人的資源の確保に努めたい。

目標は、専門医取得前の若手外科医の確保とその若手外科医が、十分に経験ができると思われる手術症例数200例を確保したい。

救命救急科

1. 概要

救命救急センターとして、突然発症した重症な病気や外傷の患者さんに対し救急専門医を中心に各科の専門医と連携を密にとりながら、早期診断と集学的治療において『救急医療は医の原点』である理念を実践し、患者さんが安心して受けられる高度救急医療を提供している。

2. スタッフ活動状況

常勤医 7 名、うち救急専門医 3 名でドクターヘリ事業を中心とした病院前診療、救急外来診療、及び救命救急センターの入院診療を行っている。診療以外ではメディカルコントロールの一環として事後検証会（県内各地で月 1 回開催）へ出席し、更に年間を通じた救急救命士病院研修では看護師の協力を得て静脈路確保や脳卒中をはじめとする症状の観察指導を実施している。Off-the-Job Training でも学会認定の蘇生コース、チーム診療、外傷診療・災害対応・集中治療・終末期医療等の標準化コース開催や、インストラクターとして県内外への参加を積極的に行っている。

3. 診療実績

（病院前診療）

高知市内の救命救急センターから遠い地域でも救急専門医を早期に傷病者に接触させるシステムとして高知県ドクターヘリ事業があり、当院はその基地病院として重要な役割を担っている。また、病院に比較的近い地域においては欧州型ドクターカー（通称：FMRC）を出動させている。2022 年度の FMRC 要請 122 件中、出動は 93 件であり運転手の確保が課題である。

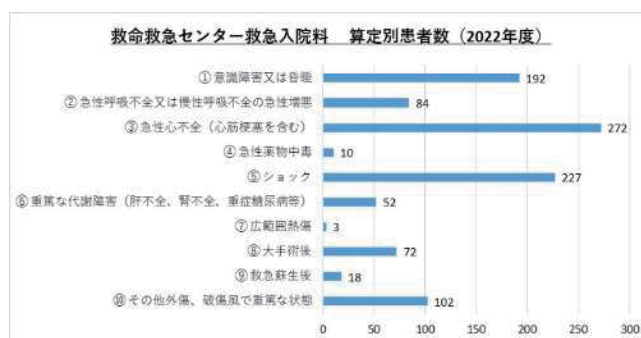
（救急外来）

救急隊や病院前診療に出動した医師との情報共有として ICT を駆使し、救急隊活動や病院前診療を支援している。診療では各科と連携し、外傷や脳卒中、急性冠症候群の対応など、直ちに必要な処置が実施できる体制を確保している。CPAOA は 121 件、t-PA 投与症例は 63 件であった。



（入院）

専任の薬剤師、栄養士、リハビリスタッフを ICU に配置している。毎朝の他職種カンファレンスで治療内容が検討され、各診療科と連携しつつ遅滞なく治療を進めている。



4. 今後の課題・目標

①教育

引き続き救急領域の講習会への参加を奨励し、学会発表、論文作成を支援する。高知県の事情に即した高齢者医療を理解しつつ、救命センターとして求められる救急対応能力の向上を各スタッフが図っていく。また各部門において研修医教育の充実を図り、後進の育成を強化する。

②診療

(病院前診療)

活動の検証を行ない安全、迅速な活動を保証する。24時間ドクターカー対応が可能な体制を構築することが課題である。

(救急外来)

重症多発外傷に対する診療体制を更に充実させる。昨今の感染症対策に関するニーズに応えられるようレイアウトを変更する。救命救急科医師が24時間ホットラインを保持できる様に教育・体制整備を進める。

(集中治療)

他科を含めたチーム医療を実践する。またリハビリテーションを強化し、早期の機能回復と集中治療室からの退室が可能な状況を目指す。

③安全

チーム医療を実践する。医師によるインシデントレポートの積極的な提出を行う。情報の見える化と共有を推進する。倫理的課題に対して多職種カンファレンスを効率的に実施する。

④人員

休暇を確保しつつ、働き方改革を意識した業務の効率化や委譲を引き続き進める。次年度の病院救命士の雇用にむけて整備を進める。

麻酔科・集中治療科

1. 概要

当院は急性期病院として多くの手術件数をこなしている。心臓血管外科手術や移植医療といった難度の高い手術も多く、また合併症を多く持つハイリスク患者さんや超高齢者の手術症例にも対応している。

集中治療室において、ハイリスク症例の術後管理を麻酔科・集中治療科が担当しており、術中～術後まで一貫した周術期管理を行っている。

2. スタッフ活動状況

現在、常勤、非常勤、専修医の計 19 名で運営しており、麻酔科専門医・指導医 13 名を擁する。2017 年に日本集中治療医学会専門医研修施設として認定を受け、集中治療専門医 3 名を擁する。また、心臓血管麻酔認定施設として心臓血管麻酔専門医 4 名を擁する。

スタッフ各自が麻酔専門医を土台とし、さらに上位の専門医取得に努めている。

3. 診療実績

手術室は 11 室あり、うち 1 室はハイブリッド手術室である。平成 27 年より稼動したハイブリッド手術室では、経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI)、経皮的僧帽弁クリップ術 (MitraClip) を実施しており、一昨年度から経皮的左心耳閉鎖術 (Watchman) も始まり、症例数は年々増加している。COVID-19 の影響もあり全体の手術件数は若干減少したが、局所麻酔や腕神経叢ブロックのみで行う手術以外のすべての麻酔管理 (カテ室も含む) を麻酔科が担当している。

手術件数 (うち、ハイブリッド手術室の手術件数)

令和 2 年度	4,545 件 (211 件)
令和 3 年度	4,912 件 (257 件)
令和 4 年度	5,145 件 (309 件)

術後鎮痛は、以前は硬膜外麻酔が主流であったが、抗凝固薬や抗血小板薬投与を受けている患者さんが増加しており、硬膜外麻酔が実施できないケースが増加している。このような患者さんに対して、近年急速に進歩している超音波ガイド下末梢神経ブロックを積極的に行っている。

集中治療室は 12 床で、外科の術後症例、内科の病棟急変症例、救急外来からの重症例を受け入れており、重症 COVID-19 患者の治療も担当している。

4. 今後の課題・目標

手術室での麻酔管理のみならず、集中治療、ペインクリニックの充実のため、教育システムの質をさらに向上させ、多くの麻酔科専修医を獲得し、さらなる人員の拡充、育成に努めたい。

専修医の先生方には、麻酔科専門医はもちろん、それを土台として集中治療専門医、心臓血管麻酔専門医、ペインクリニック専門医などの subspeciality 習得への道を開いている。

皮膚科

1. 概要

日本皮膚科学会認定専門医研修施設として、皮膚科領域の外来診療や入院診療（自科、他科問わず）を行った。

2. スタッフ活動状況

これまで常勤スタッフ2名が、平日午前2診体制で外来診療をおこない、緊急時の対応も速やかに行えるようにした。他科からの対診依頼にも時間的に可能な範囲で対応した。

また、医療秘書も診療補助につき診療業務を円滑に行うために不可欠となっている。

さらに、不定期ではあるが、1ヶ月単位での初期研修医の皮膚科研修で、人手のいる処置などでも非常に助かっている。

3. 診療実績

外来患者数	4,925人(累計)
入院患者数	585人(累計)
平均在院日数	20.8日
局所麻酔下年間手術数(生検含む)	147例
全身麻酔下年間手術数	4例
	(いずれも全身熱傷や形成手術応援)
☆皮膚科への対診数	715件(院内で2番目)
外来対診	291件
入院対診	424件

(外来)

従来のように、平日週5日の外来診療を常勤医師2名で、毎日2診体制で行った。開業医師からの紹介も多く、個々の症例に対する細やかな診療・治療を心がけてきた。院内他科からの当日紹介も多くあった。

鶏眼処置、疣贅冷凍凝固、紫外線治療、皮膚生検、小手術、乾癬患者やアトピー性皮膚炎患者に

対する生物学製剤の使用など可能な限り行っている。

皮膚悪性腫瘍の場合には、皮膚生検の結果や手術の侵襲の程度等に応じ、形成外科等へ紹介している。美容・レーザー治療などは他院へ紹介している。

毎月院外にて大学、勤務医、開業医と皮膚科の病診連携につながる勉強会・研究会等に参加し、スキルアップにつなげている。今年度は新型コロナ感染の影響で休会も多くあった。

(入院)

蜂窩織炎、帯状疱疹、自己免疫性水疱症、中毒疹、薬疹、紅皮症、難治性下腿潰瘍、アトピー性皮膚炎の急性増悪等で入院治療を行ってきた。褥瘡に関しては褥瘡防止委員会の一員としてWOCナースや他のコメディカルと連携をとりながら、褥瘡回診を行っている。

他科入院中患者に関しては、一般病床、ICU、NICU、救急外来、手術室などありとあらゆる部署への往診を含め診察治療を行い、経過をフォローしている。

4. 今後の課題・目標

様々な合併疾患を有し、複雑化、高齢化した患者の皮膚疾患も目立ってきている。

当科だけでは対応できない皮膚悪性腫瘍の手術症例、全身と皮膚との関連を思わせるデルマドローム、病院全体として取り組む褥瘡治療、予防などのチーム医療も欠かせない状況である。

今後、新専門医制度の導入にあたり、施設認定の維持、研修システムへの参加などが必要不可欠である。十分今後も検討していく予定である。

整形外科

1. 概要

日本整形外科学会が認定する専門医研修施設として外傷、脊椎、関節、腫瘍を軸に手術加療をメインに診療を行った。

2. スタッフ活動状況

2021年3月31日をもって内藤先生が退職され4月1日より宇川先生が赴任された。また7月31日をもって釜付先生が退職され8月1日より政田先生が赴任された。

3. 診療実績

外来延べ患者数 8,667人

入院延べ患者数 15,219人

関連病院 2022年(1/1~12/31)の各種手術件数(件)

総手術件数		1,215	
外傷	骨折手術	186	
	上肢	186	
	下肢	354	
	骨盤	23	
	偽関節手術	2	
その他	0		
関節	鏡視下 ACL 再建	4	
	鏡視下半月板手術	23	
	鏡視下肩手術	0	
	鏡視下手術その他	10	
	骨盤骨切り	0	
	下肢骨切り	2	
	人工関節	THA	32
		TKA (UKA 含む)	41
		TEA	0
その他(肩・手関節・指)		0	
その他	0		

脊椎 脊髄	頰椎	61	
	胸椎	47	
	腰椎	190	
	脊椎・脊髄腫瘍	9	
	その他	2	
小児	大腿骨頭すべり症	1	
腫瘍	生検	2	
	骨腫瘍	良性	8
		悪性	3
	軟部腫瘍	良性	29
悪性		10	
手	絞扼性神経障害	2	
	ばね指	1	
	腱	7	
	先天奇形	0	
	その他	2	
足関節 足	足関節固定(鏡視下含む)	0	
	外反母趾	0	
	足趾形成術	0	
	その他	1	
切断	上肢	1	
	下肢	4	
感染	切開排膿	0	
	搔爬+α	11	
抜釘・その他		147	

4. 今後の課題・目標

開院以来はじめて手術件数が 1,200 件を超え COVID-19 陽性患者の手術も多数行った。今後もさらに手術件数を増やしていきたいと考えている。

形成外科

1. 概要

日本形成外科学会の認定施設として形成外科領域の外来診療、入院診療、手術治療をおこなった。

2. スタッフ活動状況

形成外科では常勤スタッフとして3名が在籍している。これまでの入院診療は手術が主な目的であったが、近年の創傷管理に対する意識の高まりやデバイスの進歩に伴って、当科でも創傷管理自体が目的の入院診療、さらに他科からの創傷管理の依頼が増えてきている。これには時間と人手が必要であり、今後さらに同様のケースが増え続けるなら人員増員も視野に入れた対策が必要かもしれない。

3. 診療実績

(外来)

基本的には外来は毎日行っている。少ない人数で回しているため病棟回診などと掛け持ちすることが多い。本来なら院外施設と連携して経過観察などを依頼すべきだが、高知県には形成外科専門医が少なく地域の病院に丸投げできないのが現状である。救急外来については切断指など、超緊急を要する場合は対応できないことがある。他科も含めマイクロサージャンの育成が待たれる。

(入院)

前述の通り、近年創傷管理に対する意識、技術、デバイスなどの進歩は目を見張るものがある。当院でも形成外科が創傷管理のスペシャリストとして認識されてきた。令和4年度の入院延べ人数は2,181人で対前年比103.7%であった。これに加えて同数もしくはそれ以上の他科入院中の患者さんの創傷処置を行っている。当科での平均在院日数は11.4日と前年より1.5日短い結果となっている。

(手術)

令和4年の形成外科単独手術、他科との共同手術含め手術は総数813件であった。総数は数年来変わらないが、内容は年々変化している印象がある。創傷管理と同様に手術の分野でも新しい機器、設備が導入され、より安全、正確におこなわれるようになった。顔面骨折はほぼ全例ハイブリッド手術室で行うことで、リアルタイムで整復の正確性が検証できている。

4. 今後の課題・目標

これまで同様、形成外科領域の疾患に対しての診療を行うことに加えて、更に他科に信頼されるよう連携をすすめたい。そのためには地域の病院との連携や創傷に関する理解が絶対条件となるので、できる限りのアピールや啓発活動も行っていきたい。

乳腺・甲状腺外科

1. 概要

日本内分泌外科学会認定施設、日本甲状腺学会認定専門医施設、日本乳癌学会認定施設として甲状腺癌、乳癌を中心とした甲状腺・乳腺疾患の内科的治療、手術、薬物療法、遺伝カウンセリング、緩和治療などを行っている。またセカンドオピニオンにも対応している。

2. スタッフ活動状況

常勤スタッフ2名、甲状腺疾患は大石、乳腺疾患は吉岡が担当し、適宜ローテーション研修医、修練医が加わる。学外活動としては全国学会、地方会ともに演題発表には積極的に取り組んでおり、論文執筆も行っている。癌診療拠点病院に関連した講演活動なども行っている。各種教育セミナーや研究会にも参加し、知識、技術のアップデートに努めている。また、多発性内分泌腫瘍や遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとした遺伝性腫瘍に対するカウンセリング、サーベイランスにも力をいれている。さらにはがんゲノムプロファイリング検査に関するセカンドオピニオンにも対応している。

3. 診療実績

以下に過去4年間の手術症例数を示す。

甲状腺手術症例数は順調に増えており、進行癌症例や再発症例に対する手術の他、バセドウ病や副甲状腺疾患に対する手術も積極的に行っている。術後出血等の合併症に対しても早急に対処できるよう安全対策の徹底をおこなっている。特に切除不能甲状腺癌に対してはがんゲノム医療を導入し、

安全に新規薬剤の導入を行っている。乳癌についてはエキスパンダーインプラント実施施設の認定を取得し、インプラントによる人工物での乳房再建のみならず、広背筋皮弁等の自家組織での再建も可能である。また、遺伝性乳癌卵巣癌患者に対するリスク低減乳房切除も対応可能である。

(外来)

2名の常勤スタッフで週2回終日の外来を行っており、一日あたり最大50人程度の患者さんの診療を行っている。紹介率も年々増加傾向にある。可能な限り待ち時間を短縮すべく迅速かつ丁寧な診察に努めている。また外来診療日以外の日でも緊急を要する場合は適宜対応可能な体制を取っている。セカンドオピニオン、遺伝カウンセリングなどは時間的余裕をもって対応できるよう外来受診日以外に日程を別途もうけるようにしている。紹介医には詳細な経過報告を遅滞なく行う事に留意している。

(入院)

手術については甲状腺、乳腺ともに最大1週間の入院で可能な限り早期退院を目指している。術後リハビリ、リンパ浮腫指導なども病棟スタッフが中心となり、患者満足度を上げるべく努力している。化学療法については患者さん教育、副作用観察、服薬指導などを目的に初回のみ数日の入院で行うようにしている。終末期の患者さんについては当院の機能上、長期入院が不可能なため、原則、近隣の緩和病床への紹介を行っている。合併症発症時に総合病院のメリットを活かすべく関連科への迅速なコンサルトを心がけている。

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
乳腺 手術件数	84 例	70 例	98 例	64 例

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
甲状腺 手術件数	87 例	109 例	109 例	115 例

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
副甲状腺 手術件数	5 例	10 例	15 例	15 例

4. 今後の課題・目標

2名のスタッフで診療に当たっているが症例数の増加に伴いマンパワー不足を感じる場面も多くなってきたため後進の育成もかねて当科への勧誘、アピールも積極的に行っていきたい。

乳癌症例については外来治療が長期にわたることも多く、特に再発症例では終末期までを視野に入れた外来、入院間の途切れのない連携をいかに構築するかが今後の大きな課題である。

認定看護師などを仲介とした医師、コメディカル間の情報共有がこれらの解決策として期待される。

甲状腺手術に関しては県内唯一の内分泌外科専門医が在籍していることから紹介数も増えているが、安全性を追求した手術を目指す努力を続けている。

地域の中核病院として地元信頼され都会の専門病院にひけをとらない診療体制の構築が我々に課せられた義務であり、症例数のみを追求するのではなく診療の質を落とさないよう個々の患者さんに対し真摯に向きあえるようなチーム医療体制の確立が今後の目標である。

IV 各委員会資料

医療安全管理委員会

1. 目的

委員会の目的は院内の医療安全管理対策の検討及び推進を行い、医療安全に関わる協議決定を行う事。定期開催日は毎月第2月曜日。委員は病院長が任命した各局の責任ある職員を含む26名。委員会の検討結果については、定期的に委員長が病院長に報告するとともに、各局協議会、セイフティマネジメント部会を通じて各部署の全職員に周知徹底する。

2. 開催回数

12回/年

3. 1年間の活動要約

(1)毎月のインシデントレポート統計の件数と表題別(7項目)の詳細分析と対策の報告、重要事案に関する報告を行った。さらに、医薬品安全管理に関する情報提供、医療機器安全管理に関する情報提供、医療放射線安全管理に関する情報提供、研修や点検実績の報告。統計報告は、毎月院内Webにて全職員が共有できるようにしている。

(2)各局から医療安全に関する報告や提案を受けた。患者からの医療安全に関する相談は、まごころ窓口で対応するとともに医療安全管理センターからも窓口での患者相談がスムーズに進展するよう連携し対応事例への情報提供を相互に行なった。

(3)報告書確認対策チームからの報告を行った。CT、MRI、PET/CTの画像診断レポート、病理検査結果レポート、超音波検査レポートの未読に起因する有害事象をゼロにする取り組みを行なっ

た。結果、未読レポートによる有害事象の発生はなかった。

(4)院内急変対応部会(RRS)からの報告を行った。マニュアルの周知、RRS起動基準カードの配布、症例の振り返りを行い、RRSの起動件数を増やし、予期せぬ心肺停止を減らすための取り組みを行った。

(5)年間計画に基づく医療安全管理Web研修会の実施報告。アンケートによる職員の反応や研修内容の評価、各局別に参加状況等を報告し、年2回の必須研修に参加していない職員に対する啓発を継続的に実施した。その結果、委託業者も含めた全職員の受講率は100%となった。

(6)インシデント重要事案、医療問題検証委員会の報告を行い、方針、結論を確定した。

(7)医療安全管理マニュアルの改定、行事の企画運営等についての提案や報告を行った。

4. 今後の活動目標

(1)医療安全管理体制の再検討・整備。

(2)eラーニングによる研修を企画し全職員100%参加が継続されることを目指す。

(3)患者の高齢化を背景とした転倒・転落防止にむけた取り組みを検討する。

(4)インシデント分析と、再発防止策の周知徹底。ラウンドで評価を行い、再発防止に努めるとともに、多職種で事故を未然に防ぐ方策を検討する。

院内急変対応部会

1. 目的

急性期充実体制加算（令和4年度新設）の要件となる「院内迅速対応チーム」の運用開始に伴い必要な検討・報告を行った。

2. 開催日・審議事項等

6回開催（6月、7月、8月、9月、11月、2月）

3. 1年間の活動要約

「院内迅速対応チーム」の運用開始に伴い、以下の体制整備を行った。

①院内迅速対応チームの発足

医療安全管理委員会の下部組織として院内急変対応部会を設置し、当部会メンバーを「院内迅速対応チーム」メンバーとみなして運用を開始した。

②24時間対応できる体制の構築

時間内：救命救急科医師（救急外来ホットライン担当または病棟担当）

時間外：原則、救急外来ホットライン担当医師。ホットライン医師が対応できない場合は管理当直医師（HCU 医師）

③チーム員の研修受講

チーム内の看護師2名が所定研修を修了した。

④RRS 対応マニュアルの作成

令和4年10月策定、掲示板掲示した。

⑤「院内迅速対応チーム」体制の院内周知

院内講習会の実施（年2回）

ア) 全職員向けに eラーニング研修を実施

イ) 各診療科向けに追加講習を実施

4. 今後の活動目標

令和4年度は「院内迅速対応チーム」運用初年度ということもあり、運用に大卒の整備を実施した。次年度以降は、運用の詳細部分の検討および「院内迅速対応チーム」の稼働数増を目指して、以下の取り組みを行う。

①所定研修の受講について

毎年1～2名の研修修了を目指す。

②マニュアルの見直し、更新について

部会内で課題の共有を図り、適宜見直しを行う。

③実績記録内容の検討

全国的な RRS レジストリ項目に合わせた入力項目を検討する。

④事後検証方法の検討

予期せぬ ICU 入室、コードブルーとなった事例について医師・看護師を交えた事後検証を行う。

⑤院内講習会の充実

医療関連感染対策委員会

1. 目的

病院長の諮問機関として、医療関連感染防止ための必要事項について審議することを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催 1回/月（第2月曜日）

開催回数：12回/年

（内10回は新型コロナウイルス感染症対策としてメール会議開催）

2) 臨時開催必要時

新型コロナウイルス感染症対策本部会議

開催回数：39回/年

3. 1年間の活動要約

1) 毎月の報告・検討事項

- (1) ICT・AST 運営部会、感染管理リンクナース会活動報告
- (2) 抗菌薬抗真菌薬使用状況報告
- (3) 院内感染対策レポート(血液培養/耐性菌等)
- (4) 医療系廃棄物不法投棄状況件数報告
- (5) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露発生状況報告
- (6) 栄養部門便等培養検査結果報告
- (7) 各局・各部門での取り組み等報告
- (8) 感染対策研修会参加状況報告
- (9) 感染対策向上加算地域連携に関する報告
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策 など

2) 検討および審議事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策
- (2) 針刺し切創・皮膚粘膜曝露対策
- (3) 医療系廃棄物不法投棄対策
- (4) 滅菌室品質管理対策
- (5) マニュアルの改訂・承認

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

3) その他

新型コロナウイルスワクチン・インフルエンザワクチン集団接種

4. 今後の活動目標

委員会決定事項の職員への周知徹底を図る。

ICT（感染制御チーム）運営部会

<ICTメンバー：18名>

医師	3名
看護師	3名
薬剤師	5名
臨床検査技師	5名
事務	2名

1. 目的

医療関連感染対策を円滑に運営することを目的とする。そのための具体的な活動を行う。

2. 開催日・審議事項等

1) 定期開催：1回/週（水曜日）

ICT運営部会開催 50回/年

2) 院内ラウンド：1回/週（水曜日）

ICTチームラウンド実施 50回/年

3. 1年間の活動要約

1) 院内ラウンド

ICTチームラウンド（多職種ラウンド）

1回/週定期実施：50回/年

2) 感染対策研修会

eラーニングで実施し、企業団・協力企業とも

100%受講完了

3) マニュアル作成・改訂など

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

4) アウトブレイク対応

新型コロナウイルス感染症クラスター対応

5) 加算2医療機関との合同カンファレンス

対象 11施設と 4回/年実施

6) 加算1医療機関との相互評価

訪問 1回、受審 1回

7) 厚生労働省サーベイランスデータ提出

検査部門

手術部位感染

新生児集中治療室（NICU）部門

8) ICTニュース発行

No1～2号

9) 新型コロナウイルス感染症対策

院内外の感染防止対策実施

患者・職員・家族対応

4. 今後の活動目標

ICT・感染管理リンクナース会・各部門部署との連携を強化し、迅速な感染防止対策を実践する。

AST（抗菌薬適正使用支援チーム）運営部会

<ASTメンバー：16名>

医師	3名
看護師	3名
薬剤師	5名
臨床検査技師	3名
事務	2名

1. 目的

抗菌薬の適正な使用の推進を目的とする。

2. 開催日・審議事項等

1) AST 運営部会

定期開催：1回/週開催

開催 46回/年

2) AST カンファレンス

原則平日毎日開催

3. 1年間の活動要約

1) AST カンファレンス

(1)血液培養・耐性菌カンファレンス

(原則平日毎日開催)

(2)週報カンファレンス（1回/週）

(3)抗菌薬・抗真菌薬長期使用カンファレンス

(1回/週)

(4)(1)～(3)合計カンファレンス件数：1,607件

2) 院内ラウンド

50回/年実施

3) AST 研修会

1回/年

4) 施設内アンチバイオグラム作成フィードバック

1回/年

5) 院内・他施設からのコンサルテーション対応

随時対応

4. 今後の活動目標

抗菌薬適正使用に関わる体制を強化する。

各診療科への情報提供およびコンサルテーション依頼に対して迅速な対応をする。

職員の業務負担軽減委員会

1. 目的

高知医療センター全職員の業務負担軽減を図るため。

2. 開催日・審議事項等

(1) 令和4年9月26日(月)

- ・高知医療センターにおける医療従事者の負担軽減および処遇の改善に資する体制づくり計画等について 他

3. 1年間の活動要約

当委員会はこれまでの「医師の勤務負担軽減委員会」「ワークライフバランス委員会」をまとめて平成30年度に新設された委員会で、医師に限定せず広く職員の勤務負担軽減を検討するものである。

病院長指針を基に負担軽減計画を策定し、取組内容とそれに対応する評価尺度を設けた。計画は達成状況を確認しながら、常に見直しを行い、改善へと繋げていくものである。

4. 今後の活動目標

上記計画に基づき、年度ごとに評価を行うこととし、取組内容の見直し等を行うことで負担軽減と業務効率の上昇をはかる。

診療情報管理委員会

1. 目的

診療録の電子保存、電子媒体や紙媒体記録の精度管理、適正な診療記録の記載に関する啓蒙・教育・研修・広報、診療録等帳票の様式およびフォーマット、診療録の開示等診療情報の提供、その他診療録管理業務に関し必要と認める事項等の審議を行う。

2. 開催日・審議事項等

毎月1回 第3木曜日に開催

3. 1年間の活動要約

- (1) 退院サマリ作成状況および受取点検の詳細については、退院2週間以内での担当医によるサマリ記載と診療科長の承認を、毎月96～99%で維持できた。また看護サマリについても、同様に作成・承認状況を確認し、各フロア科長へ督促を行い、承認率向上を図った。
- (2) 未承認委譲者オーダーについては、未承認オーダーが残っている医師に対し、督促を行った。更に一定期間経過しても未承認オーダーが残る場合は、その医師の所属科長に対しても督促を行い、委譲者オーダーの承認期間短縮を図った。

(3) 手術レポートの作成状況については、医事請求業務委託事業者より状況を報告してもらい、手術記録の記載や点検、管理の強化を図った。

(4) 入院診療計画書7日以内の説明交付率については、交付抜かりが無いよう運用の周知徹底を図った。

(5) 説明同意書様式の管理と承認を当委員会で行うこととした。標準化した説明文書と統一した同意書様式を作成し、現行様式の改定作業を進めている。

4. 今後の活動目標

引き続き、医師退院サマリの退院2週間以内の承認率90%以上の維持と未承認委譲者オーダーの早期承認のため、医師への記載・承認依頼、さらに督促の強化を図っていききたい。

手術レポート作成状況については、手術手技料算定の根拠となるため、記載依頼など未作成が無いよう取り組みを継続していく。

入院診療計画書については、関係部署と連携を図りながら、7日以内に抜かりなく交付できるよう連携を図っていく。

DPC コーディング委員会

1. 目的

適切な診断群分類の決定を促進することを目的とする。適切な DPC コーディング、「はずれ値」の評価、提出データの精度管理等の事項に関し、関係する部署および他の委員会等と連携しながら検討を行い、当院の DPC コーディングの質向上を目指す。

2. 開催日・審議事項等

2ヶ月に1回開催

2022年 5/30・7/20・9/21・11/24

2023年 1/18・3/15

(1) 実績報告・コーディング検討

- ・DPC 退院患者月別集計
- ・DPC 入院期間月別集計(入院期間Ⅲ超え症例)
- ・DPC 出来高差額上位 10 症例
- ・コード変更実績(医療情報センター・フロア)

(2) その他

- ・DPC 請求項目 医師承認率
- ・留意すべき ICD コード(詳細不詳病名)の月別使用割合
- ・未コード化傷病名の月別使用割合

3. 1年間の活動要約

実績報告については、各資料に入院の経過やそれぞれの理由等記載し、委員会メンバーによるコーディングの妥当性について協議を行った。

また、実績報告資料のうち特に検討が必要な症例や、診療情報管理士が日々の点検業務でコーディングに疑問を感じた症例等を 2~3 症例ピックアップし、退院サマリや医療資源投入量の資料を基にコーディングの妥当性について協議を行った。

その他について、医師の DPC 承認率、留意すべき ICD コード、未コード化傷病名の使用割合について問題がないことを確認した。

4. 今後の活動目標

より一層、適切な診断群分類による診療報酬請求と精緻なデータ提出ができるよう、医事請求担当と協力していくと共に、DPC 制度等について、医師をはじめとする院内職員に広報や情報提供を行い、周知を図っていきたい。

臨床研修管理委員会（医科）

1. 目的

医科初期研修医が、円滑かつ充実した臨床研修生活を遂行できることを目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第1回：令和4年4月22日（金）

- ・臨床研修病院としての理念及び基本方針の確認
- ・令和4年度採用研修医の紹介
- ・令和3年度及び令和4年度採用研修医研修ローテーション表
- ・令和5年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・医学生向け説明会開催日程
- ・令和5年度採用研修医マッチングスケジュールなど
- ・令和4年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第2回：令和4年9月16日（金）

- ・令和5年度採用研修医マッチング試験結果
- ・令和3年度及び令和4年度採用研修医研修状況
- ・令和4年度採用研修医フィードバック
- ・令和4年度臨床研修管理委員会開催予定 他

第3回：令和5年3月17日（金）

- ・令和3年度採用研修医初期臨床研修プログラム修了等
- ・令和4年度及び令和5年度採用研修医研修予定
- ・令和5年度採用研修医初期臨床研修プログラム
- ・令和4年度医師臨床研修費補助金
- ・令和6年度採用研修医試験日程 他

3. 1年間の活動要約

委員会として、病院長以下院内の指導医、初期研修医、事務職員、院外の連携施設の先生方（委任状提出）とともに研修場の問題点や課題について討論。

また、臨床研修管理センターを常時設置し、研修ローテーションや出向研修の管理、院外からの研修医受け入れなどに、円滑に対応できるようにしている。

<主な議題>

研修プログラムについての確認

- 概要、スケジュール、評価方法など
- 問題点・改善点など

採用試験についての確認

- 試験日の調整、試験結果の報告など
- マッチングの結果報告
- 医学部の学生へのアプローチなど

4. 今後の活動目標

来年度も年3回の開催を予定している。当院の良さを活かした研修プログラムを提供できるよう、指導医や臨床研修管理センターで万全の体制を整え、初期研修医を指導する。

臨床研修管理委員会（歯科）

1. 目的

歯科初期臨床研修医（管理型 2・1 年コース、管理型 3・2 年コース）や後期研修医に対し円滑かつ充実した研修生活が当院にて遂行できる事を目的として開催する。

2. 開催日・審議事項等

第 1 回：令和 4 年 11 月 1 日（火）

- ・ 令和 4 年度採用研修医 研修状況について
- ・ 令和 5 年度採用研修医 採用試験について
- ・ 令和 5 年度採用研修医（2 年目コース）募集について
- ・ 令和 5 年度歯科臨床研修プログラムについて

第 2 回：令和 5 年 3 月 16 日（木）

- ・ 令和 4 年度採用歯科臨床研修プログラム（管理型 2）研修医修了認定について
- ・ 令和 5 年度歯科臨床研修プログラムについて
- ・ 令和 5 年度採用研修医 採用試験日程

3. 1 年間の活動要約

研修プログラムの問題点や改善点の確認
研修医募集期間および採用試験日の調整、採用試験に関する結果報告
マッチングの結果報告
歯科初期研修指導医、院外の管理型研修施設の指導医（委任状提出）、病院長以下院内の研修管理委員会のメンバーの先生での研修上の問題点や今後の研修のあり方などを討論
臨床研修補助金配分の詳細を毎年報告する

4. 今後の活動目標

来年度も少なくとも年 2 回以上の開催を原則とし、初期研修医や後期研修医がより良い環境下で研修を行えるようにサポートしていく。

医の倫理委員会

1. 目的

当院での診療や研究において、倫理的配慮を要する事例について外部委員を含む多職種での審議を行い、倫理的及び法的規範に即して実施されるよう病院としての統一見解を出す。

2. 開催日・審議事項等

令和4年度 医の倫理委員会は開催なし

(下部組織の「終末期の対応に関するワーキンググループ」において、「高知医療センター DNARに関する指針」の改訂を協議した。)

3. 今後の活動目標

- ・倫理問題に現場で対応できるチーム作りを目指し、倫理に関する研修を実施する。
- ・倫理的配慮を要する研究について、適否の判定を行う。
- ・下部組織として設置した臨床倫理委員会においては、臨床現場で日常的に遭遇する倫理的に価値判断が困難な事案に対する相談・支援を行う。

治験審査委員会

1. 目的

治験を依頼した製薬会社や治験を実施する医師等とは独立した第三者的な機関として設置されている。治験を計画通りに実施することができるか、参加される患者さんの治療に不利益にならないか等を事前に取り決めた手順書に従って、治験を開始する前に確認している。また、治験実施中に、治験が正しく実施されているか確認したり、安全性に問題がないかを評価し、治験を継続すべきか判断したりしている。

2. 開催日・審議事項等

令和4年 4月25日

令和4年 5月23日

令和4年 6月27日

令和4年 7月25日

令和4年 8月22日

令和4年 9月26日

令和4年 10月24日

令和4年 11月28日

令和4年 12月26日

令和5年 1月23日

令和5年 2月27日

令和5年 3月27日

院内実施中治験の安全性報告、治験に関する変更、新規案件実施の可否等審査している。

3. 1年間の活動要約と今後の目標

月1回の開催を行い、院内の実施試験を患者さんの人権保護と安全確保の観点から公正に審議していく。

がんサードボード運営部会

1. 目的

がん患者の病態に応じた適切ながん医療の提供、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的としたカンファレンスを運営する。

上記カンファレンスの開催は、がん診療連携拠点病院の認定要件である。

2. 開催日・審議事項等

開催は毎週火曜日の17:30とする。提示される事例がなければ招集されない。

以下のカンファレンスを開催する。

- ・手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異にする医師等による、骨転移・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器横断的ながん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンス
- ・臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職種によるカンファレンス

3. 1年間の活動要約

令和4年度の開催は25回、検討事例件数は48例であった。参集メンバーは、病理医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、消化器外科医、消化器内科医、乳腺外科医、整形外科医、耳鼻咽喉科医、呼吸器外科医、泌尿器科医、総合診療科医、緩和ケア医など症例に関連する診療科医、ならびに薬剤師、看護師、放射線技師、栄養士、理学療法士、MSW、医療秘書などである。

治療方針が決定した際には、必要な対診日程なども決定し、速やかに治療が開始できるように調整を行う。

またがんゲノム医療におけるがん遺伝子プロファイリング出検の妥当性について検討を行っており、提出については検体の確認や家族歴の聴取など、多職種での情報共有を行っている。

4. 今後の活動目標

臨床倫理的、社会的な問題について、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした事例の提示を促進していく。

院内の関係者が参集できるよう、広く開催案内を行うことに努める。

抗がん剤レジメン管理委員会

1. 目的

注射用抗がん剤はレジメンオーダーによってのみ施行できるものとしており、抗がん剤レジメンオーダーの運用を円滑に行い、抗がん剤の適正使用を推進する。

2. 開催日・審議事項等

(1) 第 50 回 令和 4 年 8 月 31 日

新規申請のレジメン承認 19 件

レジメンの整理（耳鼻咽喉科での
ショートカット導入）

irAE に関する検査項目について

レジメン稼動状況、登録数、適用率

抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数

レジメンの整理、当日発生について

B 型肝炎対策

(2) 第 51 回 令和 5 年 3 月 2 日

新規申請のレジメン承認 14 件

中等度催吐リスクレジメンにおけるパロノ

セトロンの取り扱いについて

レジメン稼動状況、登録数、適用率

抗がん剤調製数、抗がん剤調製患者数

レジメンの整理、当日発生について

B 型肝炎対策

3. 1 年間の活動要約

レジメンの登録については、申請があれば、その都度、院内メール等を利用して審議し、33 件のレジメンを承認した。レジメンのショートカット導入、不使用レジメンの整理等について審議した。

4. 今後の活動目標

レジメンの稼動率や運用状況を確認し、使用していない登録レジメンは削除し整理を行うなど、継続してレジメンの妥当性を評価し、抗がん剤の適正使用を推進していく。

行動制限最小化委員会

1. 目的

精神科病棟における患者の基本的人権を尊重するため、医療及び保護に不可欠な必要最低限の行動制限基準を定め、適切な運用を図ることを目的とする。

2. 開催日・審議事項等

毎月第4水曜日に開催する。

3. 1年間の活動要約

行動制限が長期化した症例がなかったかに注意を払った。

医療保護入院から任意入院への変更ができないかを検討した。

また、任意入院の任意性は確保できているかを検討した。

精神科職員に精神保健福祉法の研修を行った。

4. 今後の活動目標

対象事例が発生した場合には委員会を開催して審議する。行動制限を少なくするように検討していく。

褥瘡防止委員会

1. 目的

当院は、救命救急センターをはじめ、循環器病センター、がんセンター、総合周産期母子医療センターなど不安定な呼吸・循環動態、高侵襲の治療、脆弱な皮膚など褥瘡発生リスクの高い患者さんが多い。当院ではリスクアセスメントを行い、多職種が連携をし、褥瘡発生予防、褥瘡の治癒、褥瘡悪化予防など褥瘡対策に取り組むことを目的としている。

2. 開催日・審議事項等

原則毎月第2金曜日開催

褥瘡発生状況の報告を毎回実施。褥瘡対策に関する内容については医療局、看護局、薬剤局、栄養局、医療技術局、事務局で協議し、チーム医療を推進している。

3. 1年間の活動要約

- (1) 褥瘡保有者の状況報告を毎回実施し、重要な案件に対しては、防止策の検討を行い、周知徹底を目指した。
- (2) 院内発生の褥瘡は、インシデントレポートで報告している。
- (3) 体圧分散寝具が効果的に使用できているか、定期的なラウンドと整備を実施した。
- (4) 褥瘡防止委員会リンクナース会を毎月開催し、より実践的なケアにつながる知識、技術の向上に取り組んだ。
- (5) 「じょくそう NEWS」を発行し、褥瘡などの創傷に関連する情報を発信した。
- (6) 院内研修の実施

4. 今後の活動目標

今後も、褥瘡防止委員会を引き続き1回/月の開催とし、各専門職の専門技能を集結かつ有効に発揮できる場の提供に努める。

また、病院機能に必要な物品等の充足、褥瘡防止等に向けた職員への啓発活動の継続、さらに地域と連携を図り、チーム医療のより一層の充実を図りたい。

適正輸血療法推進委員会

1. 目的

高知医療センターにおける輸血療法の適正化を図る。

2. 開催日

6回／年 隔月第3火曜日開催

3. 1年間の活動要約

1) 月次報告

毎月以下の統計をとり、委員会で検証している。

- ・日赤血購入額
- ・使用単位数内訳（RBC、FFP、PC）
- ・製剤廃棄額
- ・廃棄製剤内訳（RBC、FFP、PC）
- ・Alb/RBC比、FFP/RBC比
- ・科別使用単位数
- ・血液製剤大量使用例
- ・心臓血管外科血液製剤使用例
- ・超緊急対応
- ・副作用報告（発生件数、払出票回収率、終了実施入力率、副作用入力率）
- ・返却PC（理由、転用の有無）
- ・遡及調査
- ・不規則抗体検査実施率
- ・輸血後感染症（輸血後感染症疑いの有無）

2) COVID-19 陽性患者の手術用血液製剤の搬送

従来の手術用血液製剤の搬送方法では、一旦病棟へ製剤を払出しており、当該患者の場合血液製剤が汚染される可能性があった。汚染防止のため、手術中に製剤が必要になった時点で血液管理科が手術室へ直接搬送する運用を開始した。

3) 輸血関連インシデントの共有

再発防止と注意喚起のため、情報共有を行った。

4. 今後の活動目標

院内における輸血に関する問題点を多職種で審議し、より一層輸血療法の適正化を図りたい。

V クリニカルインディケーター

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません

1 退院患者数

(1) 診療科別・性別退院患者数

(単位：人)

診療科	性別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合診療科	男	140	260	255
	女	154	268	311
精神科	男	30	51	49
	女	39	63	49
血液内科・輸血科	男	483	464	502
	女	306	352	391
糖尿病・内分泌内科	男	40	64	52
	女	72	93	61
放射線療法科	男	1	0	0
	女	0	2	0
感染症科	男	91	2	0
	女	68	7	0
腫瘍内科	男	14	1	2
	女	9	0	1
ペインクリニック科	男	6	3	7
	女	4	8	4
脳神経外科	男	272	325	353
	女	212	232	298
眼 科	男	61	73	57
	女	54	51	70
耳鼻咽喉科	男	206	247	233
	女	101	142	117
歯科口腔外科	男	47	83	67
	女	77	67	66
呼吸器内科	男	244	205	244
	女	150	107	132
呼吸器外科	男	157	187	192
	女	78	96	121
循環器内科	男	702	753	703
	女	336	389	365
心臓血管外科	男	201	196	217
	女	109	92	96
乳腺・甲状腺外科	男	37	33	42
	女	221	259	187
消化器内科	男	410	475	661
	女	275	333	434
消化器外科・一般外科	男	939	1,096	1,026
	女	550	636	645
泌尿器科	男	434	394	404
	女	99	122	130
腎臓内科・膠原病科	男	56	67	55
	女	53	52	40
婦 人 科	男	0	0	0
	女	455	514	552
生殖医療科	男	0	0	0
	女	6	4	2
移植外科	男	66	72	60
	女	39	56	49
救命救急科	男	138	63	154
	女	131	40	121
小 児 科	男	414	489	505
	女	301	390	389
小児外科	男	89	102	85
	女	39	50	43
産 科	男	0	0	2
	女	712	717	731
皮 膚 科	男	14	11	14
	女	23	16	9
整形外科	男	656	591	595
	女	596	528	615
形成外科	男	85	83	86
	女	48	66	86
緩和ケア内科	男	0	1	0
	女	0	0	0
児童精神科	男	15	10	13
	女	19	20	14
合計	男	6,048	6,401	6,635
	女	5,336	5,772	6,129

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

(2) - 1 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5	37	52	17	11	17	6				
			女	154	14.4	55	59	25	6	6	2		1		
精神科	69	0.6%	男	30	56.8		2	1	1	13	11	2			
			女	39	48.7	3	5	2	6	12	7	3	1		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8	90	115	136	52	58	16	15		1	
			女	306	22.9	34	79	117	30	31	7	7	1		
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9	13	18	6	2	1					
			女	72	9.3	33	32	4	2	1					
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0	1									
			女	0	-										
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4	49	27	8	4	3					
			女	68	8.4	35	25	5	3						
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4	5	2	5	2						
			女	9	21.7	2	2	3		1	1				
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5	5									
			女	4	16.0	1	1		2						
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	76	89	66	22	14	3	2			
			女	212	18.5	50	63	47	21	27	1	2	1		
眼科	115	1.0%	男	61	5.0	55	4	2							
			女	54	5.6	45	6	2	1						
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	113	59	4	8	10	11		1		
			女	101	8.5	58	40	1		2					
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2	30	10	5	2						
			女	77	10.9	38	25	7	5	1		1			
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8	146	38	29	17	13		1			
			女	150	12.0	81	33	14	8	13	1				
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3	105	36	7	6	3					
			女	78	9.2	42	30	4	1	1					
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5	555	69	29	22	21	3	3			
			女	336	9.0	221	60	29	12	13		1			
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6	48	40	53	22	18	13	7			
			女	109	23.7	28	18	24	9	26	2	2			
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6	32	5								
			女	221	7.5	148	53	13	3	4					
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2	272	100	19	12	7					
			女	275	9.3	171	69	18	6	10		1			
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8	349	320	123	63	67	12	4	1		
			女	550	14.8	176	222	68	35	38	8	3			
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2	283	87	36	15	10	1	2			
			女	99	8.7	68	16	7	5	2	1				
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3	15	10	7	6	13	4	1			
			女	53	17.2	30	4	4	4	7	4				
婦人科	455	4.0%	男	0	-										
			女	455	6.8	378	59	9	1	8					
生殖医療科	6	0.1%	男	0	-										
			女	6	3.8	6									
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9	31	18	3	2	9	1	2			
			女	39	12.9	17	15	1	1	5					
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	112	9	5	2	8	1	1			
			女	131	4.7	111	11	7	1						
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	286	50	17	15	29	10	6	1		
			女	301	12.6	212	43	9	11	17	4	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	80	2	5	1			1			
			女	39	4.7	36	2			1					
産科	712	6.3%	男	0	-										
			女	712	9.9	554	70	32	20	25	9	2			
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9	7	6	1							
			女	23	13.9	11	7	1	2	1	1				
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8	290	126	157	49	27	5	1	1		
			女	596	13.0	222	141	159	49	20	5				
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	48	15	7	8	5		2			
			女	48	11.0	26	10	8	1	3					
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3		3	2		8		2			
			女	19	58.5	5	3	1		3	3	3	1		
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	3,133	1,312	751	344	354	97	52	4	1	
			女	5,336	12.3	2,897	1,203	621	245	278	56	28	8	0	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

(2) - 2 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間									
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~	
総合診療科	528	4.3%	男	260	15.7	81	96	33	21	24	3	2			
			女	268	14.4	73	129	27	19	15	3	2			
精神科	114	0.9%	男	51	50.2	5	6	4	7	18	4	5	2		
			女	63	38.9	8	10	6	11	17	5	5	1		
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464	22.7	110	95	118	60	60	10	8	3		
			女	352	23.3	80	74	81	43	52	15	6	1		
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64	11.9	26	24	9	2	2	1				
			女	93	11.2	48	32	8	1	2	2				
放射線療法科	2	0.0%	男	0	-										
			女	2	2.0	2									
感染症科	9	0.1%	男	2	10.5		2								
			女	7	14.9	1	3	2		1					
腫瘍内科	1	0.0%	男	1	25.0				1						
			女	0	-										
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3	17.7	1	1			1					
			女	8	8.9	5	3								
脳神経外科	557	4.6%	男	325	14.4	110	115	47	26	22	4	1			
			女	232	15.9	65	69	55	25	13	4	1			
眼科	124	1.0%	男	73	5.1	66	5	1		1					
			女	51	4.5	47	4								
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	12.1	163	43	10	9	12	8	2			
			女	142	10.0	104	25	3	1	6	2	1			
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	10.1	58	14	6	1		4				
			女	67	7.7	43	17	4	3						
呼吸器内科	312	2.6%	男	205	12.9	115	39	16	12	19	3	1			
			女	107	9.1	73	13	7	7	7					
呼吸器外科	283	2.3%	男	187	11.9	112	48	12	3	9	1	1	1		
			女	96	8.6	59	30	5	2	2					
循環器内科	1,142	9.4%	男	753	7.6	584	94	34	19	15	4	2	1		
			女	389	11.3	221	81	32	25	25	5				
心臓血管外科	288	2.4%	男	196	19.6	46	53	40	28	21	6	1	1		
			女	92	17.4	25	25	18	10	12	1	1			
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33	13.7	25	4	1	1	1			1		
			女	259	6.8	197	45	9	5	3					
消化器内科	808	6.6%	男	475	9.4	298	112	33	12	15	5				
			女	333	10.2	211	59	36	11	11	4	1			
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096	13.0	448	399	111	67	58	10	2	1		
			女	636	12.8	254	241	70	41	23	5	1	1		
泌尿器科	516	4.2%	男	394	8.0	268	93	15	9	5	4				
			女	122	7.6	86	23	8	3	2					
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67	14.2	38	10	3	5	10	1				
			女	52	20.3	24	8	5	1	8	6				
婦人科	514	4.2%	男	0	-										
			女	514	6.1	444	63	5	1	1					
生殖医療科	4	0.0%	男	0	-										
			女	4	4.5	3	1								
移植外科	128	1.1%	男	72	11.2	45	14	2	3	7	1				
			女	56	14.0	25	13	6	3	8	1				
救命救急科	103	0.8%	男	63	3.3	58	1	2		2					
			女	40	2.5	37	3								
小児科	879	7.2%	男	489	10.7	362	65	8	12	29	6	7			
			女	390	10.0	291	50	13	9	15	9	2	1		
小児外科	152	1.2%	男	102	6.6	95	4			2			1		
			女	50	4.5	44	4	2							
産科	717	5.9%	男	0	-										
			女	717	9.4	571	72	24	16	27	5	2			
皮膚科	27	0.2%	男	11	41.6	4	4	1	1				1		
			女	16	59.3	8	2	2	3					1	
整形外科	1,119	9.2%	男	591	11.5	278	136	111	39	24	3				
			女	528	12.8	189	157	137	25	14	6				
形成外科	149	1.2%	男	83	17.6	46	11	5	6	10	3	2			
			女	66	12.1	38	16	2	3	7					
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1	3.0	1									
			女	0	-										
児童精神科	30	0.2%	男	10	42.9	1	2		1	3	3				
			女	20	52.6	3	3	1	3	2	5	2	1		
合計	12,173	100.0%	男	6,401	12.6	3,444	1,490	622	345	370	84	34	12	0	
			女	5,772	12.0	3,279	1,275	568	269	273	78	24	5	1	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

(2) - 3 診療科別・在院期間別・性別退院患者数

令和4年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	在院期間								
						1 ~8	9 ~15	16 ~22	23 ~1M	1M ~2M	2M ~3M	3M ~6M	6M ~1Y	1Y~
総合診療科	566	4.4%	男	255	16.0	69	100	40	14	28	4			
			女	311	12.2	131	111	38	14	12	4	1		
精神科	98	0.8%	男	49	48.5	2	6	2	12	13	7	7		
			女	49	36.5	3	7	6	6	21	5	1		
血液内科・輸血科	893	7.0%	男	502	22.8	149	91	109	63	62	11	11	6	
			女	391	17.8	137	63	94	51	34	8	4		
糖尿病・内分泌内科	113	0.9%	男	52	10.8	24	26	1				1		
			女	61	8.2	39	19	1	1	1				
腫瘍内科	3	0.0%	男	2	9.0	1	1							
			女	1	3.0	1								
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	7.3	5	2							
			女	4	3.5	4								
脳神経外科	651	5.1%	男	353	13.6	127	110	67	24	23	2			
			女	298	15.3	91	98	64	18	20	7			
眼科	127	1.0%	男	57	4.5	56	1							
			女	70	5.0	63	6	1						
耳鼻咽喉科	350	2.7%	男	233	14.0	128	59	8	6	20	12			
			女	117	10.5	65	41	1	2	7	1			
歯科口腔外科	133	1.0%	男	67	10.7	45	12	5		2	3			
			女	66	9.8	37	21	4	2	2				
呼吸器内科	376	2.9%	男	244	11.4	129	52	27	19	16	1			
			女	132	9.6	74	34	10	8	6				
呼吸器外科	313	2.5%	男	192	9.5	127	42	9	5	8	1			
			女	121	9.0	83	25	9	2	1	1			
循環器内科	1,068	8.4%	男	703	7.6	543	87	30	12	23	7	1		
			女	365	10.6	214	75	36	18	19	3			
心臓血管外科	313	2.5%	男	217	21.2	54	81	38	17	13	8	4	1	1
			女	96	21.9	27	22	10	14	17	5	1		
乳腺・甲状腺外科	229	1.8%	男	42	5.2	40	2							
			女	187	6.3	155	26	1	3	2				
消化器内科	1,095	8.6%	男	661	9.0	451	118	38	27	26		1		
			女	434	9.3	267	102	34	20	11				
消化器外科・一般外科	1,671	13.1%	男	1,026	13.4	456	303	120	64	71	7	5		
			女	645	12.2	267	242	69	33	31	2	1		
泌尿器科	534	4.2%	男	404	7.3	290	83	19	8	3	1			
			女	130	9.1	92	19	9	5	5				
腎臓内科・膠原病科	95	0.7%	男	55	17.2	26	10	6	5	6	1		1	
			女	40	18.3	19	7	4	2	5	2	1		
婦人科	552	4.3%	男	0	-									
			女	552	5.8	490	53	4	2	3				
生殖医療科	2	0.0%	男	0	-									
			女	2	4.0	2								
移植外科	109	0.9%	男	60	13.7	28	13	5	8	6				
			女	49	12.5	23	14	4	2	6				
救命救急科	275	2.2%	男	154	4.2	131	11	5	5	2				
			女	121	4.5	109	7	1	1	2		1		
小児科	894	7.0%	男	505	9.5	386	65	12	14	15	6	7		
			女	389	12.4	279	47	19	17	15	6	5		1
小児外科	128	1.0%	男	85	5.0	75	6	2	1	1				
			女	43	4.2	39	2	2						
産科	733	5.7%	男	2	2.0	2								
			女	731	8.5	604	72	23	11	15	5	1		
皮膚科	23	0.2%	男	14	24.1	3	4	2	3	1		1		
			女	9	20.4	3	2	1	1	2				
整形外科	1,210	9.5%	男	595	12.3	230	196	106	38	20	4	1		
			女	615	12.8	211	212	128	41	21	1	1		
形成外科	172	1.3%	男	86	17.4	43	12	5	9	15	1	1		
			女	86	10.8	61	9	4	2	10				
児童精神科	27	0.2%	男	13	56.6		4	1	3		1	4		
			女	14	47.9	2	2	1		4	4	1		
合計	12,764	100.0%	男	6,635	12.4	3,620	1,497	657	357	374	77	44	8	1
			女	6,129	11.2	3,592	1,338	578	276	272	54	18	0	1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

(3) 診療科別・性別・在院日数の平均

(単位：日)

診療科	性別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合診療科	男	18.5	15.7	16.0
	女	14.4	14.4	12.2
精神科	男	56.8	50.2	48.5
	女	48.7	38.9	36.5
血液内科・輸血科	男	23.8	22.7	22.8
	女	22.9	23.3	17.8
糖尿病・内分泌内科	男	11.9	11.9	10.8
	女	9.3	11.2	8.2
放射線療法科	男	7.0	-	-
	女	-	2.0	-
感染症科	男	9.4	10.5	-
	女	8.4	14.9	-
腫瘍内科	男	13.4	25.0	9.0
	女	21.7	-	3.0
ペインクリニック科	男	7.5	17.7	7.3
	女	16.0	8.9	3.5
脳神経外科	男	15.6	14.4	13.6
	女	18.5	15.9	15.3
眼科	男	5.0	5.1	4.5
	女	5.6	4.5	5.0
耳鼻咽喉科	男	14.7	12.1	14.0
	女	8.5	10.0	10.5
歯科口腔外科	男	8.2	10.1	10.7
	女	10.9	7.7	9.8
呼吸器内科	男	10.8	12.9	11.4
	女	12.0	9.1	9.6
呼吸器外科	男	8.3	11.9	9.5
	女	9.2	8.6	9.0
循環器内科	男	7.5	7.6	7.6
	女	9.0	11.3	10.6
心臓血管外科	男	23.6	19.6	21.2
	女	23.7	17.4	21.9
乳腺・甲状腺外科	男	5.6	13.7	5.2
	女	7.5	6.8	6.3
消化器内科	男	8.2	9.4	9.0
	女	9.3	10.2	9.3
消化器外科・一般外科	男	14.8	13.0	13.4
	女	14.8	12.8	12.2
泌尿器科	男	9.2	8.0	7.3
	女	8.7	7.6	9.1
腎臓内科・膠原病科	男	25.3	14.2	17.2
	女	17.2	20.3	18.3
婦人科	男	-	-	-
	女	6.8	6.1	5.8
生殖医療科	男	-	-	-
	女	3.8	4.5	4.0
移植外科	男	16.9	11.2	13.7
	女	12.9	14.0	12.5
救命救急科	男	7.5	3.3	4.2
	女	4.7	2.5	4.5
小児科	男	12.9	10.7	9.5
	女	12.6	10.0	12.4
小児外科	男	5.2	6.6	5.0
	女	4.7	4.5	4.2
産科	男	-	-	2.0
	女	9.9	9.4	8.5
皮膚科	男	9.9	41.6	24.1
	女	13.9	59.3	20.4
整形外科	男	12.8	11.5	12.3
	女	13.0	12.8	12.8
形成外科	男	14.4	17.6	17.4
	女	11.0	12.1	10.8
緩和ケア内科	男	-	3.0	-
	女	-	-	-
児童精神科	男	49.3	42.9	56.6
	女	58.5	52.6	47.9
合計	男	13.3	12.6	12.4
	女	12.3	12.0	11.2

(4) - 1 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140				7	17	32	47	37
			女	154				14	25	27	28	60
精神科	69	0.6%	男	30			2	2	5	8	12	1
			女	39		1	4	11	10	13		
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483				5	32	37	298	111
			女	306					11	41	193	61
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40				2	4	8	20	6
			女	72					25	18	20	9
放射線療法科	1	0.0%	男	1							1	
			女	0								
感染症科	159	1.4%	男	91					16	31	32	12
			女	68				1	9	13	20	25
腫瘍内科	23	0.2%	男	14						1	13	
			女	9						1	8	
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6						2	4	
			女	4					1		2	1
脳神経外科	484	4.3%	男	272	3		2	2	8	46	129	82
			女	212			4		5	20	88	95
眼科	115	1.0%	男	61		5	10	1	3	6	28	8
			女	54	1	2	18	1	1	2	14	15
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	1	4	14	6	28	34	105	14
			女	101	2		10	4	13	30	27	15
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47			5	1	8	4	27	2
			女	77			3	4	7	12	21	30
呼吸器内科	394	3.5%	男	244					1	49	149	45
			女	150					3	25	90	32
呼吸器外科	235	2.1%	男	157				4	6	25	96	26
			女	78		1	1	5	15	44	12	
循環器内科	1,038	9.1%	男	702					6	95	371	230
			女	336					4	14	136	182
心臓血管外科	310	2.7%	男	201					4	18	121	58
			女	109					1	5	59	44
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37					5	14	16	2
			女	221					15	77	97	32
消化器内科	685	6.0%	男	410					3	52	223	132
			女	275				5	7	31	124	108
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939			2	2	25	149	611	150
			女	550				6	33	89	275	147
泌尿器科	533	4.7%	男	434				3	16	38	262	115
			女	99					1	26	41	31
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56				2	2	7	29	16
			女	53					16	10	13	14
婦人科	455	4.0%	男	0				3	106	213	118	15
			女	455								
生殖医療科	6	0.1%	男	0								
			女	6					5	1		
移植外科	105	0.9%	男	66					8	29	28	1
			女	39					5	16	14	4
救命救急科	269	2.4%	男	138	2		2	2	15	19	56	42
			女	131			2	5	9	13	31	71
小児科	715	6.3%	男	414	276	54	77	7				
			女	301	212	30	49	5	2	3		
小児外科	128	1.1%	男	89	51	20	18					
			女	39	17	9	13					
産科	712	6.3%	男	0								
			女	712				12	641	59		
皮膚科	37	0.3%	男	14				1	3		8	2
			女	23			1	1	1	4	10	6
整形外科	1,252	11.0%	男	656		3	22	7	69	174	290	91
			女	596			16	11	26	101	260	182
形成外科	133	1.2%	男	85	7	1	4	4	8	21	27	13
			女	48	5		2	2	9	19	8	3
児童精神科	34	0.3%	男	15			15					
			女	19			19					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	340	87	173	58	292	899	3,003	1,196
			女	5,336	237	41	139	79	997	895	1,754	1,194

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

(4) - 2 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	528	4.3%	男	260			2	3	27	57	95	76
			女	268				13	50	37	53	115
精神科	114	0.9%	男	51				2	13	14	17	5
			女	63			2	5	13	19	17	7
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464				6	24	70	267	97
			女	352				1	17	36	220	78
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64				1	5	16	30	12
			女	93					38	21	18	16
放射線療法科	2	0.0%	男	0								
			女	2								2
感染症科	9	0.1%	男	2				1		1		
			女	7				1	2	1	1	2
腫瘍内科	1	0.0%	男	1								1
			女	0								
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3						1		2
			女	8					1	1	4	2
脳神経外科	557	4.6%	男	325	1	1	4	2	10	54	154	99
			女	232	3		4		9	39	78	99
眼科	124	1.0%	男	73		4	13	2	2	2	36	14
			女	51		6	10	3	1	3	21	7
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	2	4	8	5	35	48	113	32
			女	142		4	8	5	12	51	45	17
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	1	1	9	2	20	16	23	11
			女	67		1	3	2	10	13	18	20
呼吸器内科	312	2.6%	男	205					4	19	126	56
			女	107					4	17	60	26
呼吸器外科	283	2.3%	男	187				2	7	21	134	23
			女	96				1	2	15	57	21
循環器内科	1,142	9.4%	男	753				1	7	99	399	247
			女	389					6	22	142	219
心臓血管外科	288	2.4%	男	196					2	28	110	56
			女	92					1	6	43	42
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33				1	4	7	16	5
			女	259				2	24	109	101	23
消化器内科	808	6.6%	男	475				1	11	76	280	107
			女	333			1	4	8	34	148	138
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096			1	5	22	175	697	196
			女	636			1	3	25	85	327	195
泌尿器科	516	4.2%	男	394					9	35	263	87
			女	122					3	30	55	34
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67				3	12	10	34	8
			女	52					12	11	21	8
婦人科	514	4.2%	男	0								
			女	514			1	1	114	230	157	11
生殖医療科	4	0.0%	男	0								
			女	4					3	1		
移植外科	128	1.1%	男	72					5	26	33	8
			女	56					7	21	18	10
救命救急科	103	0.8%	男	63	1		1	1	2	12	25	21
			女	40				1	2	2	12	23
小児科	879	7.2%	男	489	316	75	82	8	8			
			女	390	305	30	50	1	3	1		
小児外科	152	1.2%	男	102	58	18	26					
			女	50	21	10	18	1				
産科	717	5.9%	男	0								
			女	717			1	12	657	47		
皮膚科	27	0.2%	男	11					3	1	5	2
			女	16					1	4	9	2
整形外科	1,119	9.2%	男	591		6	24	17	50	160	243	91
			女	528		4	7	4	28	89	220	176
形成外科	149	1.2%	男	83	4	1	13	4	4	16	35	6
			女	66	3	2	6	3	9	19	15	9
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1								1
			女	0								
児童精神科	30	0.2%	男	10			10					
			女	20			20					
合計	12,173	100.0%	男	6,401	383	110	193	67	286	964	3,137	1,261
			女	5,772	332	57	132	64	1,061	964	1,862	1,300

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

(4) - 3 診療科別・年齢階層別・性別退院患者数

令和4年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	年齢階層							
					0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	566	4.4%	男	255				6	16	36	97	100
			女	311			2	12	71	43	57	126
精神科	98	0.8%	男	49				2	7	18	14	8
			女	49		3	2	14	19	7	4	
血液内科・輸血科	893	7.0%	男	502				8	23	77	275	119
			女	391				1	25	39	241	85
糖尿病・内分泌内科	113	0.9%	男	52				5	1	17	25	4
			女	61				1	16	20	21	3
腫瘍内科	3	0.0%	男	2						1	1	
			女	1							1	
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7						2	2	3
			女	4					3	1		
脳神経外科	651	5.1%	男	353			10	3	7	53	158	122
			女	298			1		9	40	105	143
眼科	127	1.0%	男	57	1	5	13	1	1	3	23	10
			女	70		11	13		1	5	29	11
耳鼻咽喉科	350	2.7%	男	233	4	7	10	7	28	62	94	21
			女	117	2	6	5	7	18	29	36	14
歯科口腔外科	133	1.0%	男	67		2	8	2	6	19	14	16
			女	66			5	1	11	9	23	17
呼吸器内科	376	2.9%	男	244						26	157	61
			女	132						23	72	37
呼吸器外科	313	2.5%	男	192				4	9	33	112	34
			女	121				1	7	18	67	28
循環器内科	1,068	8.4%	男	703					9	99	375	220
			女	365					2	29	114	220
心臓血管外科	313	2.5%	男	217					3	27	126	61
			女	96						4	40	52
乳腺・甲状腺外科	229	1.8%	男	42					2	9	19	12
			女	187					11	68	93	15
消化器内科	1,095	8.6%	男	661				1	12	137	338	173
			女	434			1	2	17	54	164	196
消化器外科・一般外科	1,671	13.1%	男	1,026			3	3	37	141	660	182
			女	645			2	3	22	113	310	195
泌尿器科	534	4.2%	男	404				1	5	40	252	106
			女	130					4	26	56	44
腎臓内科・膠原病科	95	0.7%	男	55				2	8	13	23	9
			女	40					2	15	20	3
婦人科	552	4.3%	男	0								
			女	552			2	2	130	217	167	34
生殖医療科	2	0.0%	男	0								
			女	2					2			
移植外科	109	0.9%	男	60					4	24	23	9
			女	49					4	20	21	4
救命救急科	275	2.2%	男	154	1	1	3	1	9	28	61	50
			女	121	1			3	14	13	37	53
小児科	894	7.0%	男	505	332	66	102	2	3			
			女	389	268	48	65	5	2	1		
小児外科	128	1.0%	男	85	38	27	19	1				
			女	43	14	19	10					
産科	733	5.7%	男	2	2							
			女	731				1	669	61		
皮膚科	23	0.2%	男	14	1					3	6	4
			女	9					1		5	3
整形外科	1,210	9.5%	男	595		8	22	11	46	141	263	104
			女	615		2	13	5	29	88	200	278
形成外科	172	1.3%	男	86	3	4	10	2	9	18	31	9
			女	86	8	4	9	2	6	34	17	6
児童精神科	27	0.2%	男	13			13					
			女	14			14					
合計	12,764	100.0%	男	6,635	382	120	213	62	245	1,027	3,149	1,437
			女	6,129	293	90	145	48	1,090	989	1,903	1,571

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

(5) - 1 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和2年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	294	2.6%	男	140	18.5				13.4	15.8	13.3	19.2	24.1
			女	154	14.4			6.1	9.1	13.3	19.7	16.4	
精神科	69	0.6%	男	30	56.8			53.0	55.0	53.4	64.8	54.1	54.0
			女	39	48.7			31.0	20.3	53.7	39.9	61.5	
血液内科・輸血科	789	6.9%	男	483	23.8				51.8	37.8	22.3	22.9	21.4
			女	306	22.9					29.2	22.7	24.0	18.2
糖尿病・内分泌内科	112	1.0%	男	40	11.9				9.5	11.8	8.9	11.8	17.0
			女	72	9.3					9.0	6.8	10.5	12.3
放射線療法科	1	0.0%	男	1	7.0							7.0	
			女	0	-								
感染症科	159	1.4%	男	91	9.4					4.5	7.1	11.4	16.7
			女	68	8.4				8.0	6.4	6.5	8.4	10.0
腫瘍内科	23	0.2%	男	14	13.4						6.0	14.0	
			女	9	21.7						13.0	22.8	
ペインクリニック科	10	0.1%	男	6	7.5						11.0	5.8	
			女	4	16.0					24.0		19.0	2.0
脳神経外科	484	4.3%	男	272	15.6	8.0		5.0	11.0	17.0	18.6	14.3	16.4
			女	212	18.5			19.0		14.0	17.4	19.7	17.8
眼科	115	1.0%	男	61	5.0		3.0	3.0	3.0	6.0	8.3	5.5	4.4
			女	54	5.6	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	4.5	5.3	10.2
耳鼻咽喉科	307	2.7%	男	206	14.7	12.0	9.5	8.9	7.3	8.1	13.0	18.2	16.4
			女	101	8.5	10.0		7.8	8.5	7.7	10.3	7.4	7.9
歯科口腔外科	124	1.1%	男	47	8.2			4.8	3.0	6.8	10.3	9.1	9.0
			女	77	10.9			8.0	3.3	2.6	6.3	8.3	17.7
呼吸器内科	394	3.5%	男	244	10.8					2.0	7.9	10.1	16.2
			女	150	12.0					15.3	10.8	10.7	16.3
呼吸器外科	235	2.1%	男	157	8.3				5.3	8.0	7.8	8.6	8.1
			女	78	9.2			5.0	8.0	6.6	7.0	10.4	9.4
循環器内科	1,038	9.1%	男	702	7.5					9.2	7.0	6.9	8.8
			女	336	9.0					5.3	7.7	6.8	10.9
心臓血管外科	310	2.7%	男	201	23.6					10.8	24.9	22.4	26.8
			女	109	23.7					5.0	19.2	28.4	18.4
乳腺・甲状腺外科	258	2.3%	男	37	5.6					5.2	5.2	5.8	8.0
			女	221	7.5					5.3	7.1	7.6	9.4
消化器内科	685	6.0%	男	410	8.2					3.7	7.5	7.8	9.2
			女	275	9.3				5.6	4.6	5.1	8.0	12.4
消化器外科・一般外科	1,489	13.1%	男	939	14.8			6.5	6.0	10.2	12.1	15.5	15.4
			女	550	14.8				11.7	8.6	10.4	15.4	18.0
泌尿器科	533	4.7%	男	434	9.2				5.7	9.3	9.6	8.8	10.0
			女	99	8.7					4.0	5.8	11.1	8.2
腎臓内科・膠原病科	109	1.0%	男	56	25.3				4.0	11.0	17.3	26.8	30.6
			女	53	17.2					3.1	7.4	18.0	39.6
婦人科	455	4.0%	男	0	-								
			女	455	6.8				6.0	5.0	6.5	8.3	11.2
生殖医療科	6	0.1%	男	0	-								
			女	6	3.8					4.0	3.0		
移植外科	105	0.9%	男	66	16.9					10.6	12.4	23.4	13.0
			女	39	12.9					12.2	17.8	9.6	6.0
救命救急科	269	2.4%	男	138	7.5	1.5		1.5	2.0	4.3	3.1	10.1	8.1
			女	131	4.7			1.5	2.4	3.4	11.4	4.0	4.1
小児科	715	6.3%	男	414	12.9	14.4	7.7	10.9	14.7				
			女	301	12.6	13.7	13.7	4.7	6.0	105.5	2.7		
小児外科	128	1.1%	男	89	5.2	5.6	4.3	5.2					
			女	39	4.7	5.6	3.0	4.6					
産科	712	6.3%	男	0	-								
			女	712	9.9				11.9	9.9	9.0		
皮膚科	37	0.3%	男	14	9.9				4.0	9.3		10.3	12.0
			女	23	13.9			4.0	8.0	7.0	6.0	8.3	32.3
整形外科	1,252	11.0%	男	656	12.8		2.7	5.8	9.4	11.2	10.9	13.8	16.6
			女	596	13.0			6.6	5.5	9.3	10.4	13.1	15.8
形成外科	133	1.2%	男	85	14.4	3.4	3.0	2.8	5.8	9.8	14.4	20.1	18.5
			女	48	11.0	5.8		3.0	7.0	8.2	12.7	14.8	15.0
児童精神科	34	0.3%	男	15	49.3			49.3					
			女	19	58.5			58.5					
合計	11,384	100.0%	男	6,048	13.3	12.7	6.5	12.2	14.0	13.5	11.7	13.7	14.3
			女	5,336	12.3	12.9	10.8	12.9	7.8	9.8	9.8	13.8	14.3

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

(5) - 2 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和3年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層							
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~
総合診療科	528	4.3%	男	260	15.7			3.5	8.0	10.0	11.7	18.9	17.4
			女	268	14.4				4.4	9.3	13.4	19.7	15.7
精神科	114	0.9%	男	51	50.2				21.5	37.7	46.2	67.6	46.2
			女	63	38.9			25.0	29.0	35.8	39.3	45.8	37.7
血液内科・輸血科	816	6.7%	男	464	22.7				17.5	31.3	21.5	24.8	15.9
			女	352	23.3				77.0	12.5	31.8	23.4	20.5
糖尿病・内分泌内科	157	1.3%	男	64	11.9				20.0	5.4	10.3	13.9	11.3
			女	93	11.2					8.7	10.9	9.8	19.5
放射線療法科	2	0.0%	男	0	-								
			女	2	2.0							2.0	
感染症科	9	0.1%	男	2	10.5				10.0		11.0		
			女	7	14.9				9.0	9.0	6.0	17.0	27.0
腫瘍内科	1	0.0%	男	1	25.0							25.0	
			女	0	-								
ペインクリニック科	11	0.1%	男	3	17.7						36.0		8.5
			女	8	8.9					6.0	6.0	10.0	9.5
脳神経外科	557	4.6%	男	325	14.4	2.0	4.0	7.3	11.5	7.8	11.1	15.4	15.8
			女	232	15.9	12.0		31.3		12.1	14.3	15.6	16.5
眼科	124	1.0%	男	73	5.1		3.0	3.4	3.0	3.0	7.0	6.3	4.5
			女	51	4.5		3.0	3.0	2.7	3.0	5.0	5.6	5.9
耳鼻咽喉科	389	3.2%	男	247	12.1	12.5	8.3	6.1	5.8	6.6	9.4	14.2	18.0
			女	142	10.0		8.3	4.6	8.0	8.7	8.2	10.0	20.0
歯科口腔外科	150	1.2%	男	83	10.1	3.0	3.0	3.9	4.5	6.2	6.3	16.9	16.3
			女	67	7.7		3.0	3.3	6.5	6.0	5.4	8.6	10.4
呼吸器内科	312	2.6%	男	205	12.9					20.8	10.1	11.7	15.9
			女	107	9.1					5.8	10.0	8.6	10.5
呼吸器外科	283	2.3%	男	187	11.9				4.5	9.6	10.5	12.7	10.4
			女	96	8.6				8.0	14.0	6.7	7.7	12.0
循環器内科	1,142	9.4%	男	753	7.6				4.0	4.9	6.2	7.2	8.8
			女	389	11.3					4.7	7.1	9.8	12.9
心臓血管外科	288	2.4%	男	196	19.6					19.5	21.7	18.5	20.9
			女	92	17.4					21.0	16.3	15.6	19.4
乳腺・甲状腺外科	292	2.4%	男	33	13.7				5.0	5.3	5.0	10.4	44.8
			女	259	6.8				6.0	5.6	6.8	7.2	6.8
消化器内科	808	6.6%	男	475	9.4				2.0	4.6	8.9	9.2	10.9
			女	333	10.2			4.0	12.5	8.6	5.8	10.1	11.4
消化器外科・一般外科	1,732	14.2%	男	1,096	13.0			5.0	10.8	8.4	11.3	13.2	14.3
			女	636	12.8			2.0	2.3	6.9	8.9	13.5	14.4
泌尿器科	516	4.2%	男	394	8.0					12.3	8.2	7.6	8.6
			女	122	7.6					5.0	5.0	8.0	9.4
腎臓内科・膠原病科	119	1.0%	男	67	14.2				3.0	4.0	17.5	14.4	28.6
			女	52	20.3					3.3	21.6	22.1	39.1
婦人科	514	4.2%	男	0	-								
			女	514	6.1			6.0	6.0	5.2	6.3	6.2	7.5
生殖医療科	4	0.0%	男	0	-								
			女	4	4.5					3.0	9.0		
移植外科	128	1.1%	男	72	11.2					5.4	15.3	10.6	4.5
			女	56	14.0					15.6	14.2	13.0	14.2
救命救急科	103	0.8%	男	63	3.3	1.0		2.0	3.0	1.5	4.8	4.0	1.9
			女	40	2.5				2.0	3.5	1.5	3.5	2.0
小児科	879	7.2%	男	489	10.7	11.8	8.3	7.3	13.8	18.4			
			女	390	10.0	10.7	9.7	6.1	10.0	8.3	4.0		
小児外科	152	1.2%	男	102	6.6	8.9	3.8	3.6					
			女	50	4.5	3.4	3.4	6.4	4.0				
産科	717	5.9%	男	0	-								
			女	717	9.4			4.0	10.2	9.6	6.9		
皮膚科	27	0.2%	男	11	41.6					7.0	12.0	79.2	14.5
			女	16	59.3				7.0		8.8	96.7	18.0
整形外科	1,119	9.2%	男	591	11.5		2.3	3.1	10.2	11.3	9.9	11.4	17.7
			女	528	12.8		3.5	9.7	15.5	8.4	10.4	12.8	15.0
形成外科	149	1.2%	男	83	17.6	3.8	3.0	4.5	4.0	4.8	26.6	21.2	30.0
			女	66	12.1	4.3	4.0	3.3	6.7	13.6	13.4	14.9	15.1
緩和ケア内科	1	0.0%	男	1	3.0							3.0	
			女	0	-								
児童精神科	30	0.2%	男	10	42.9			42.9					
			女	20	52.6			52.6					
合計	12,173	100.0%	男	6,401	12.6	11.2	6.9	7.4	9.8	11.9	11.9	13.2	13.6
			女	5,772	12.0	10.2	7.0	13.9	10.3	9.1	10.0	13.4	14.4

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

(5) - 3 診療科別・年齢階層別・性別在院日数の平均

令和4年度

診療科	患者総数 (人)	患者数 比率	性別	総数 (人)	在院日数 の平均 (日)	年齢階層								
						0~2 才	3~5 才	6~15 才	16~20 才	21~40 才	41~60 才	61~79 才	80才~	
総合診療科	566	4.4%	男	255	16.0				5.5	8.8	12.1	17.8	17.6	
			女	311	12.2			4.5	6.3	6.4	7.3	16.5	15.8	
精神科	98	0.8%	男	49	48.5				29.0	47.7	65.2	33.2	43.4	
			女	49	36.5			64.0	51.5	26.6	41.3	38.1	17.0	
血液内科・輸血科	893	7.0%	男	502	22.8				28.3	30.7	23.8	24.7	16.0	
			女	391	17.8				2.0	22.9	14.4	19.1	14.4	
糖尿病・内分泌内科	113	0.9%	男	52	10.8				5.8	14.0	9.0	8.2	40.0	
			女	61	8.2				7.0	7.3	6.5	10.5	9.0	
腫瘍内科	3	0.0%	男	2	9.0						8.0	10.0		
			女	1	3.0								3.0	
ペインクリニック科	11	0.1%	男	7	7.3						5.0	5.0	10.3	
			女	4	3.5						2.7	6.0		
脳神経外科	651	5.1%	男	353	13.6			7.5	3.0	11.7	11.3	14.2	14.7	
			女	298	15.3					5.0	10.3	17.3	13.5	16.4
眼科	127	1.0%	男	57	4.5	3.0	2.8	3.2	8.0	3.0	7.0	4.7	5.7	
			女	70	5.0		3.0	3.1		3.0	9.8	5.4	6.1	
耳鼻咽喉科	350	2.7%	男	233	14.0	7.8	9.7	5.9	6.6	6.6	12.3	20.2	10.0	
			女	117	10.5	5.5	8.0	6.0	7.3	7.8	12.5	11.3	12.8	
歯科口腔外科	133	1.0%	男	67	10.7		3.0	3.4	6.0	7.8	9.6	14.7	14.9	
			女	66	9.8			5.4	10.0	7.9	11.0	9.4	12.2	
呼吸器内科	376	2.9%	男	244	11.4						8.2	10.8	14.3	
			女	132	9.6							8.0	8.8	12.4
呼吸器外科	313	2.5%	男	192	9.5				4.0	17.7	9.2	8.0	13.2	
			女	121	9.0				4.0	5.7	5.9	8.3	13.4	
循環器内科	1,068	8.4%	男	703	7.6					6.0	5.9	6.3	10.6	
			女	365	10.6						6.5	5.9	9.2	12.0
心臓血管外科	313	2.5%	男	217	21.2					16.3	19.1	23.6	17.5	
			女	96	21.9							7.5	25.6	20.2
乳腺・甲状腺外科	229	1.8%	男	42	5.2					7.5	4.9	5.3	4.8	
			女	187	6.3						5.3	6.2	6.4	7.1
消化器内科	1,095	8.6%	男	661	9.0				4.0	9.8	7.8	8.6	10.6	
			女	434	9.3				6.0	7.5	6.7	7.0	7.0	12.1
消化器外科・一般外科	1,671	13.1%	男	1,026	13.4			5.0	22.7	8.2	12.4	12.9	16.7	
			女	645	12.2			4.0	5.3	14.8	10.0	11.5	14.3	
泌尿器科	534	4.2%	男	404	7.3				4.0	3.4	6.2	7.4	7.6	
			女	130	9.1						6.3	5.8	9.1	11.4
腎臓内科・膠原病科	95	0.7%	男	55	17.2				9.0	6.0	11.0	24.3	20.0	
			女	40	18.3						3.0	8.8	22.8	46.3
婦人科	552	4.3%	男	0	-									
			女	552	5.8			3.5	5.0	4.7	5.7	6.4	7.9	
生殖医療科	2	0.0%	男	0	-									
			女	2	4.0						4.0			
移植外科	109	0.9%	男	60	13.7						8.3	17.0	14.0	6.4
			女	49	12.5						4.3	13.4	13.4	11.8
救命救急科	275	2.2%	男	154	4.2	8.0	2.0	3.0	16.0	6.0	4.3	3.1	4.8	
			女	121	4.5	2.0			4.0	2.8	6.7	6.6	3.0	
小児科	894	7.0%	男	505	9.5	10.8	6.7	7.0	4.5	8.0				
			女	389	12.4	11.5	6.5	20.8	5.6	5.0	38.0			
小児外科	128	1.0%	男	85	5.0	5.7	4.5	4.4	3.0					
			女	43	4.2	5.9	3.4	3.3						
産科	733	5.7%	男	2	2.0	2.0								
			女	731	8.5				10.0	8.2	11.0			
皮膚科	23	0.2%	男	14	24.1	10.0						13.7	16.8	46.5
			女	9	20.4						9.0		23.8	18.7
整形外科	1,210	9.5%	男	595	12.3		2.5	3.5	6.1	10.2	11.4	13.4	15.0	
			女	615	12.8		3.0	5.7	10.2	9.3	9.3	12.8	14.8	
形成外科	172	1.3%	男	86	17.4	4.3	3.5	6.6	16.0	7.4	17.6	25.3	22.4	
			女	86	10.8	3.3	4.0	3.3	6.5	9.0	9.6	17.8	26.7	
児童精神科	27	0.2%	男	13	56.6				56.6					
			女	14	47.9				47.9					
合計	12,764	100.0%	男	6,635	12.4	10.2	5.7	8.9	10.6	11.9	12.2	12.9	13.5	
			女	6,129	11.2	11.0	5.4	17.1	8.5	8.2	9.3	11.7	13.6	

病院の概要

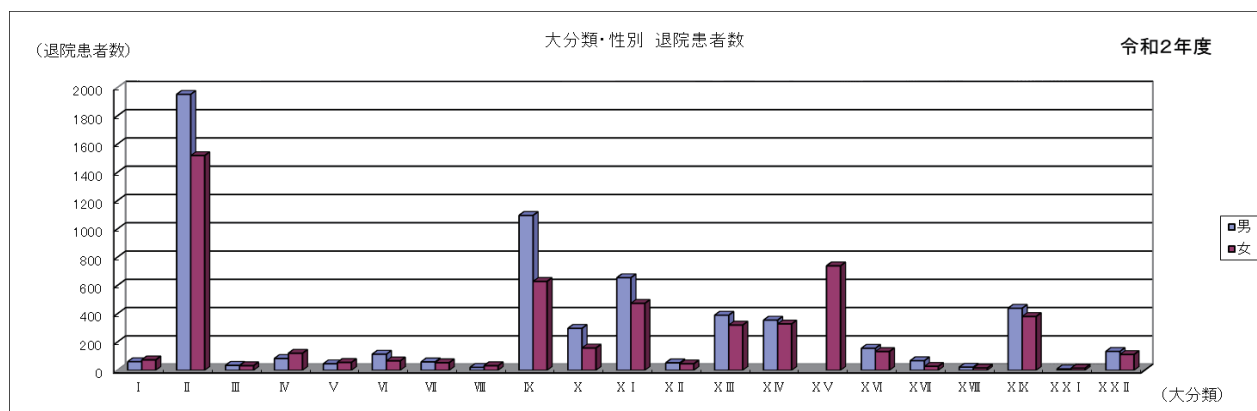
各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

(6) - 1 【令和2年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和2年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	135	1.2%	男	61	48.0	15.9
				女	74	49.4	10.7
II	新生物<腫瘍>	3,471	30.5%	男	1,952	68.6	16.0
				女	1,519	65.4	13.4
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	68	0.6%	男	35	58.2	16.4
				女	33	40.4	20.2
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	205	1.8%	男	84	60.1	9.2
				女	121	59.6	7.2
V	精神及び行動の障害	102	0.9%	男	46	36.3	53.0
				女	56	35.1	53.6
VI	神経系の疾患	181	1.6%	男	114	39.4	10.9
				女	67	51.0	10.6
VII	眼及び付属器の疾患	114	1.0%	男	60	53.3	5.2
				女	54	48.5	5.6
VIII	耳及び乳様突起の疾患	54	0.5%	男	21	45.0	6.5
				女	33	57.9	6.0
IX	循環器系の疾患	1,725	15.2%	男	1,096	71.9	11.2
				女	629	77.9	13.7
X	呼吸器系の疾患	455	4.0%	男	297	54.5	13.0
				女	158	52.1	10.9
X I	消化器系の疾患	1,129	9.9%	男	655	64.4	9.2
				女	474	62.8	9.2
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	99	0.9%	男	53	50.1	16.3
				女	46	56.0	16.1
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	710	6.2%	男	390	64.3	14.3
				女	320	66.4	13.9
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	683	6.0%	男	355	60.4	10.1
				女	328	55.8	8.7
X V	妊娠、分娩及び産褥	739	6.5%	男	0	-	-
				女	739	33.1	9.8
X VI	周産期に発生した病態	289	2.5%	男	156	0.0	19.1
				女	133	0.0	15.1
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	96	0.8%	男	68	5.1	9.7
				女	28	21.9	21.7
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38	0.3%	男	22	29.2	4.2
				女	16	35.9	7.4
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	820	7.2%	男	439	56.6	12.3
				女	381	67.9	12.8
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	25	0.2%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
X X II	その他	246	2.2%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

病院の概要

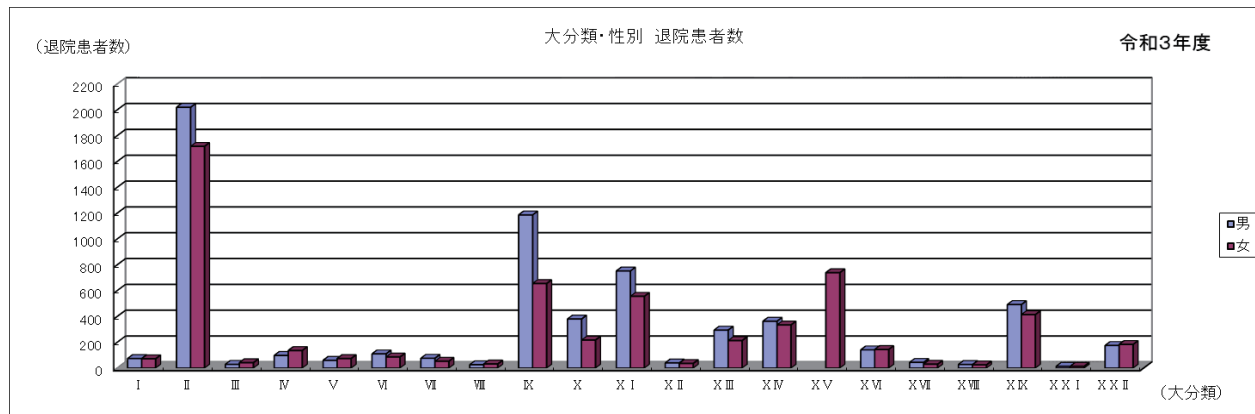
各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

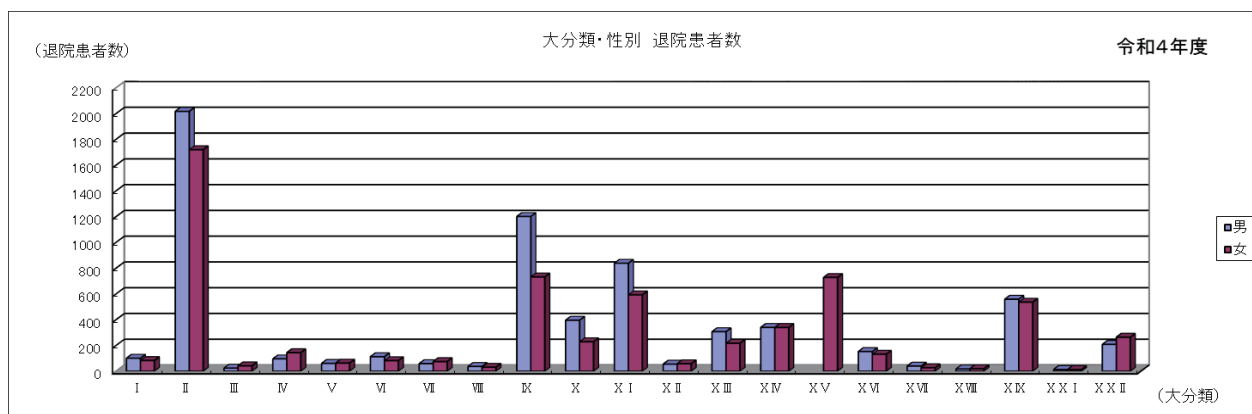
(6) - 2 【令和3年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和3年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	146	1.2%	男	74	45.8	13.0
				女	72	52.3	11.6
II	新生物<腫瘍>	3,736	30.7%	男	2,019	69.6	15.0
				女	1,717	64.4	12.5
III	血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の傷害	71	0.6%	男	29	55.9	20.5
				女	42	52.5	13.5
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	234	1.9%	男	98	57.5	10.8
				女	136	57.2	7.9
V	精神及び行動の障害	134	1.1%	男	60	45.4	48.1
				女	74	38.4	44.7
VI	神経系の疾患	196	1.6%	男	110	40.2	8.6
				女	86	40.8	10.7
VII	眼及び付属器の疾患	129	1.1%	男	76	55.7	5.1
				女	53	50.1	4.8
VIII	耳及び乳様突起の疾患	58	0.5%	男	26	49.1	4.7
				女	32	53.1	6.1
IX	循環器系の疾患	1,841	15.1%	男	1,186	72.2	10.0
				女	655	78.0	13.0
X	呼吸器系の疾患	597	4.9%	男	380	43.6	11.5
				女	217	40.0	9.3
X I	消化器系の疾患	1,308	10.7%	男	752	62.0	9.2
				女	556	63.9	9.1
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	76	0.6%	男	40	48.3	30.3
				女	36	57.6	34.9
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	507	4.2%	男	294	62.5	12.1
				女	213	65.8	13.5
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	697	5.7%	男	363	59.4	9.7
				女	334	58.3	10.1
X V	妊娠、分娩及び産褥	739	6.1%	男	0	-	-
				女	739	33.1	9.4
X VI	周産期に発生した病態	285	2.3%	男	141	0.0	20.9
				女	144	0.3	15.8
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	74	0.6%	男	44	6.3	7.8
				女	30	20.0	6.6
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53	0.4%	男	28	16.9	5.4
				女	25	12.0	5.0
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	906	7.4%	男	492	56.6	11.9
				女	414	67.9	12.6
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	28	0.2%	男	14	45.4	9.9
				女	14	51.7	8.6
X X II	その他	358	2.9%	男	175	57.4	15.1
				女	183	58.5	13.7
合計		12,173	100.0%	男	6,401	61.5	12.6
				女	5,772	57.3	12.0

(6) - 3 【令和4年度】大分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均



令和4年度

大分類		患者総数 (人)	患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I	感染症及び寄生虫症	184	1.4%	男	101	44.3	10.9
				女	83	43.5	8.0
II	新生物<腫瘍>	3,737	29.3%	男	2,017	69.9	14.7
				女	1,720	64.5	11.7
III	血液及び造血系の疾患ならびに免疫機構の傷害	66	0.5%	男	24	44.2	10.0
				女	42	59.5	17.4
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	240	1.9%	男	96	58.7	9.9
				女	144	62.2	7.4
V	精神及び行動の障害	124	1.0%	男	61	43.9	48.3
				女	63	37.4	36.9
VI	神経系の疾患	195	1.5%	男	113	40.6	10.6
				女	82	43.3	11.0
VII	眼及び付属器の疾患	134	1.0%	男	59	50.8	4.8
				女	75	50.5	5.2
VIII	耳及び乳様突起の疾患	68	0.5%	男	37	40.8	4.7
				女	31	55.3	6.6
IX	循環器系の疾患	1,933	15.1%	男	1,201	72.4	10.7
				女	732	78.2	13.0
X	呼吸器系の疾患	625	4.9%	男	396	50.1	12.2
				女	229	44.6	9.7
X I	消化器系の疾患	1,431	11.2%	男	838	64.2	8.4
				女	593	66.4	9.3
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	113	0.9%	男	55	51.3	20.5
				女	58	59.1	17.9
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	524	4.1%	男	307	62.4	12.9
				女	217	67.6	13.3
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	680	5.3%	男	340	62.8	10.4
				女	340	59.8	8.7
X V	妊娠, 分娩及び産褥	728	5.7%	男	0	-	-
				女	728	32.9	8.4
X VI	周産期に発生した病態	285	2.2%	男	153	0.0	17.3
				女	132	0.0	15.6
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	67	0.5%	男	40	8.8	5.1
				女	27	9.8	7.9
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37	0.3%	男	17	46.5	5.2
				女	20	46.5	6.9
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,095	8.6%	男	559	56.6	12.3
				女	536	70.9	12.2
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	26	0.2%	男	13	49.1	5.5
				女	13	55.6	8.2
X X II	その他	472	3.7%	男	208	53.3	13.3
				女	264	54.0	10.6
合計		12,764	100.0%	男	6,635	62.1	12.4
				女	6,129	58.9	11.2

(7) - 1 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和2年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
	腸管感染症	49	36.3%	男	22	36.5	6.6
				女	27	36.3	7.2
	結核	1	0.7%	男	1	81.0	2.0
				女			
	その他の細菌性疾患	34	25.2%	男	16	70.4	32.5
				女	18	77.3	16.7
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.7%	男	1	26.0	6.0
				女	1	26.0	14.0
	リケッチア症	1	0.7%	男			
				女			
	中枢神経系のウイルス感染症	9	6.7%	男	3	41.3	16.7
				女	6	43.7	6.5
	節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	3	2.2%	男	2	72.0	13.0
				女	1	67.0	17.0
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	15	11.1%	男	6	53.0	11.8
				女	9	45.9	10.8
	ウイルス性肝炎	1	0.7%	男			
				女	1	90.0	13.0
	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病	1	0.7%	男	1	48.0	75.0
				女			
	その他のウイルス性疾患	16	11.9%	男	7	21.7	9.4
				女	9	30.1	7.7
	真菌症	2	1.5%	男	2	52.0	2.0
				女			
	原虫疾患	2	1.5%	男			
				女	2	79.0	29.5
II 新生物<腫瘍>							
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	87	2.5%	男	73	67.8	20.7
				女	14	70.7	21.0
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	989	28.5%	男	654	70.1	15.8
				女	335	73.4	16.6
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	396	11.4%	男	257	68.5	9.6
				女	139	68.0	9.8
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	4	0.1%	男	3	63.0	17.7
				女	1	94.0	21.0
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	18	0.5%	男	14	77.1	11.3
				女	4	70.5	10.5
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	42	1.2%	男	16	58.6	19.6
				女	26	60.8	12.7
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男	1	72.0	9.0
				女	139	61.8	8.6
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	196	5.6%	男			
				女	196	61.6	8.0
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	140	4.0%	男	140	70.9	8.9
				女			
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	142	4.1%	男	120	71.0	13.3
				女	22	75.9	14.7
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	5	0.1%	男	2	42.5	7.0
				女	3	13.7	32.7
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	43	1.2%	男	14	60.1	8.2
				女	29	63.7	6.8
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	164	4.7%	男	92	68.7	11.8
				女	72	67.9	12.7
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	597	17.2%	男	366	66.3	27.5
				女	231	68.4	26.2
	上皮内新生物<腫瘍>	19	0.5%	男	2	78.0	8.0
				女	17	45.9	4.2
	良性新生物<腫瘍>	231	6.7%	男	58	61.1	7.5
				女	173	50.6	7.2
	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	258	7.4%	男	140	68.7	13.6
				女	118	67.2	8.8

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	5	7.4%	男	2	58.5	13.0
				女	3	76.3	6.7
	溶血性貧血	4	5.9%	男	3	85.0	17.3
				女	1	76.0	74.0
	無形成性貧血及びその他の貧血	12	17.6%	男	11	80.5	9.6
				女	1	72.0	130.0
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	35	51.5%	男	14	36.9	17.4
				女	21	29.9	17.1
	血液及び造血器のその他の疾患	9	13.2%	男	3	54.3	21.3
				女	6	40.8	11.3
	免疫機構の障害	3	4.4%	男	2	50.5	41.5
				女	1	84.0	16.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	72	35.1%	男	22	58.0	5.0
				女	50	60.5	5.7
	糖尿病	47	22.9%	男	30	58.3	12.1
				女	17	64.9	11.4
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	3	1.5%	男	2	27.0	2.5
				女	1	65.0	2.0
	その他の内分泌腺障害	37	18.0%	男	8	67.8	7.1
				女	29	53.5	4.6
	栄養失調（症）	4	2.0%	男	3	29.0	4.3
				女	1	0.0	5.0
	その他の栄養欠乏症	2	1.0%	男	1	65.0	15.0
				女	1	49.0	22.0
	肥満（症）及びその他の過栄養<過剰摂食>	2	1.0%	男	1	39.0	43.0
				女	1	46.0	29.0
	代謝障害	38	18.5%	男	17	72.9	9.9
				女	21	65.5	9.7
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	3	2.9%	男	1	71.0	90.0
				女	2	72.5	50.5
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	5.9%	男	4	65.5	53.3
				女	2	30.5	28.0
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	20	19.6%	男	10	46.8	62.5
				女	10	49.9	81.2
	気分〔感情〕障害	27	26.5%	男	9	57.8	46.3
				女	18	42.3	55.2
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	22	21.6%	男	6	26.0	46.8
				女	16	23.8	41.0
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4	3.9%	男			
				女	4	13.0	57.8
	成人の人格及び行動の障害	1	1.0%	男			
				女	1	22.0	54.0
	知的障害<精神遅滞>	3	2.9%	男	2	15.5	43.5
				女	1	15.0	31.0
	心理的発達の障害	7	6.9%	男	5	13.4	57.8
				女	2	14.5	34.0
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	9	8.8%	男	9	10.3	48.4
				女			
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	10	5.5%	男	8	51.9	36.4
				女	2	40.0	31.0
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	15	8.3%	男	8	40.0	6.0
				女	7	64.6	8.6
	錐体外路障害及び異常行動	4	2.2%	男	4	52.8	22.0
				女			
	中枢神経系の脱髄疾患	1	0.6%	男			
				女	1	55.0	4.0
	挿間性及び発作性障害	98	54.1%	男	66	33.1	8.6
				女	32	44.4	8.5
	神経、神経根及び神経叢の障害	19	10.5%	男	9	54.1	7.9
				女	10	73.5	11.1

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	多発（性）ニューロパチ<シ>ー及びその他の末梢神経系の障害	8	4.4%	男	5	71.0	8.2
				女	3	55.7	7.3
	神経筋接合部及び筋の疾患	2	1.1%	男	2	35.5	2.0
				女			
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	1.1%	男	2	0.0	9.0
				女			
	神経系のその他の障害	22	12.2%	男	10	44.5	11.2
				女	12	42.2	14.9
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼，涙器及び眼窩の障害	16	14.0%	男	7	23.7	5.4
				女	9	8.2	3.0
	結膜の障害	3	2.6%	男	2	80.5	6.0
				女	1	58.0	4.0
	強膜，角膜，虹彩及び毛様体の障害	2	1.8%	男	1	80.0	26.0
				女	1	71.0	3.0
	水晶体の障害	60	52.6%	男	35	70.5	5.0
				女	25	79.9	6.6
	脈絡膜及び網膜の障害	3	2.6%	男	2	75.5	9.5
				女	1	63.0	3.0
	緑内障	1	0.9%	男			
				女	1	65.0	16.0
	硝子体及び眼球の障害	1	0.9%	男			
				女	1	81.0	24.0
	視神経及び視（覚）路の障害	1	0.9%	男	1	67.0	6.0
				女			
	眼筋，眼球運動，調節及び屈折の障害	25	21.9%	男	11	7.7	3.0
				女	14	8.6	2.9
	眼及び付属器のその他の障害	2	1.8%	男	1	23.0	3.0
				女	1	88.0	22.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.9%	男	1	61.0	11.0
				女			
	中耳及び乳様突起の疾患	21	38.9%	男	14	30.1	5.1
				女	7	31.0	4.7
	内耳疾患	27	50.0%	男	4	76.3	7.3
				女	23	64.2	6.0
	耳のその他の障害	5	9.3%	男	2	79.5	12.5
				女	3	72.0	9.3
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	32	1.9%	男	11	72.8	19.7
				女	21	78.7	26.9
	高血圧性疾患	7	0.4%	男	5	72.2	10.6
				女	2	80.5	8.0
	虚血性心疾患	585	33.9%	男	461	71.1	5.4
				女	124	77.0	5.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	6	0.3%	男	3	79.7	16.7
				女	3	77.7	22.3
	その他の型の心疾患	455	26.4%	男	228	73.6	15.4
				女	227	80.3	11.5
	脳血管疾患	346	20.1%	男	189	70.6	15.9
				女	157	76.3	20.7
	動脈，細動脈及び毛細血管の疾患	271	15.7%	男	188	74.1	15.4
				女	83	77.0	16.2
	静脈，リンパ管及びリンパ節の疾患，他に分類されないもの	20	1.2%	男	10	55.5	7.3
				女	10	66.3	8.2
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	3	0.2%	男	1	65.0	13.0
				女	2	56.0	3.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	29	6.4%	男	19	11.1	3.6
				女	10	17.4	4.9
	インフルエンザ及び肺炎	93	20.4%	男	65	69.6	14.5
				女	28	68.0	10.9
	その他の急性下気道感染症	40	8.8%	男	24	1.9	4.1
				女	16	2.1	4.1

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	上気道のその他の疾患	76	16.7%	男	47	45.6	7.9
	女			29	48.2	8.1	
	慢性下気道疾患	36	7.9%	男	17	26.1	5.8
	女			19	26.8	6.4	
	外的因子による肺疾患	87	19.1%	男	59	76.6	24.5
	女			28	80.2	17.7	
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	43	9.5%	男	30	75.5	10.8
	女			13	69.0	17.1	
下気道の化膿性及び壊死性病態	10	2.2%	男	8	70.9	20.4	
女			2	81.0	26.5		
胸膜のその他の疾患	30	6.6%	男	21	49.9	9.9	
女			9	67.1	15.2		
呼吸器系のその他の疾患	11	2.4%	男	7	60.0	20.3	
女			4	75.0	9.3		
X I 消化器系の疾患							
	口腔, 唾液腺及び顎の疾患	90	8.0%	男	37	54.1	6.5
				女	53	61.9	6.9
	食道, 胃及び十二指腸の疾患	73	6.5%	男	38	67.6	8.7
				女	35	71.1	8.3
	虫垂の疾患	49	4.3%	男	25	47.5	7.5
				女	24	46.3	9.0
	ヘルニア	121	10.7%	男	70	46.7	4.8
				女	51	33.2	5.5
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	22	1.9%	男	14	44.4	7.4
				女	8	16.9	6.6
	腸のその他の疾患	223	19.8%	男	127	67.5	12.6
				女	96	67.1	12.6
	腹膜の疾患	20	1.8%	男	11	70.0	25.9
				女	9	86.2	18.4
	肝疾患	29	2.6%	男	20	68.0	20.3
				女	9	63.1	12.0
	胆嚢, 胆管及び膵の障害	387	34.3%	男	230	69.0	9.2
				女	157	71.8	8.9
	消化器系のその他の疾患	115	10.2%	男	83	72.2	7.9
				女	32	61.8	8.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	53	53.5%	男	27	47.0	16.2
				女	26	54.0	10.9
	水疱症	4	4.0%	男	2	77.0	15.0
				女	2	88.0	14.5
	皮膚炎及び湿疹	2	2.0%	男	2	45.5	8.0
				女			
	蕁麻疹及び紅斑	3	3.0%	男	1	76.0	15.0
				女	2	20.0	5.5
	皮膚及び皮下組織放射線（非電離及び電離）に関する障害	2	2.0%	男	1	79.0	11.0
				女	1	70.0	38.0
	皮膚付属器の障害	7	7.1%	男	4	34.5	6.5
				女	3	42.0	5.3
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	28	28.3%	男	16	53.1	20.7
				女	12	63.3	30.3
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	7	1.0%	男	5	53.2	12.2
				女	2	87.5	23.0
	炎症性多発性関節障害	8	1.1%	男	2	79.0	4.5
				女	6	87.5	12.5
	関節症	54	7.6%	男	15	72.9	18.2
				女	39	76.2	17.0
	その他の関節障害	10	1.4%	男	8	47.9	10.6
				女	2	14.5	13.0
	全身性結合組織障害	35	4.9%	男	15	37.0	32.1
				女	20	45.3	18.5
	変形性脊柱障害	88	12.4%	男	30	66.4	9.9
				女	58	71.8	12.9
	脊椎障害	359	50.6%	男	236	68.8	14.1
				女	123	71.7	14.1
	その他の脊柱障害	100	14.1%	男	58	49.8	7.9
				女	42	43.9	7.7

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	筋障害	5	0.7%	男 女	2 3	88.0 80.7	8.5 26.7
	滑膜及び腱の障害	7	1.0%	男 女	7	70.9	5.7
	その他の軟部組織障害	5	0.7%	男 女	3 2	78.3 57.5	18.3 14.0
	骨の密度及び構造の障害	7	1.0%	男 女	4 3	57.5 77.7	16.5 31.0
	その他の骨障害	20	2.8%	男 女	8 12	73.6 53.4	42.5 15.7
	軟骨障害	1	0.1%	男 女	1	59.0	15.0
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.6%	男 女	3 1	67.0 95.0	27.0 31.0
	XIV 腎尿路生殖器系の疾患						
	糸球体疾患	72	10.5%	男 女	30 42	45.9 45.4	16.0 11.2
	腎尿細管間質性疾患	138	20.2%	男 女	54 84	58.1 63.7	7.6 7.0
	腎不全	125	18.3%	男 女	87 38	64.7 70.6	16.8 19.9
	尿路結石症	38	5.6%	男 女	21 17	65.2 73.5	5.7 6.5
	腎及び尿管のその他の障害	6	0.9%	男 女	5 1	67.2 48.0	5.8 5.0
	尿路系のその他の疾患	54	7.9%	男 女	24 30	55.6 66.5	11.9 11.5
	男性生殖器の疾患	134	19.6%	男 女	134	61.5	5.9
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	7	1.0%	男 女	7	49.1	8.9
	女性生殖器の非炎症性障害	109	16.0%	男 女	109	43.4	4.8
	XV 妊娠、分娩及び産褥						
	流産に終わった妊娠	12	1.6%	男 女	12	34.3	3.0
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	33	4.5%	男 女	33	35.6	13.5
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	44	6.0%	男 女	44	34.2	9.0
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	248	33.6%	男 女	248	34.2	8.2
	分娩の合併症	204	27.6%	男 女	204	32.1	15.7
	分娩	190	25.7%	男 女	190	32.1	5.7
	主として産褥に関連する合併症	3	0.4%	男 女	3	30.0	3.7
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	5	0.7%	男 女	5	33.2	7.8
	XVI 周産期に発生した病態						
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	100	34.6%	男 女	58 42	0.0 0.0	39.7 35.1
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	103	35.6%	男 女	59 44	0.0 0.0	7.2 7.0
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	61	21.1%	男 女	29 32	0.0 0.0	5.5 4.9
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	13	4.5%	男 女	5 8	0.0 0.0	9.6 5.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	2	0.7%	男 女	1 1	0.0 0.0	3.0 3.0
	周産期に発生したその他の障害	10	3.5%	男 女	4 6	0.0 0.0	10.5 4.7

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	3	3.1%	男	2	5.0	11.5
				女	1	11.0	6.0
	眼, 耳, 顔面及び頸部の先天奇形	5	5.2%	男	2	5.5	3.0
				女	3	32.0	4.7
	循環器系の先天奇形	16	16.7%	男	10	17.6	9.8
				女	6	38.0	9.0
	唇裂及び口蓋裂	5	5.2%	男	5	0.0	4.2
				女			
	消化器系のその他の先天奇形	15	15.6%	男	7	0.0	29.6
				女	8	20.6	21.9
	生殖器の先天奇形	31	32.3%	男	28	2.3	4.8
				女	3	15.0	6.7
	腎尿路系の先天奇形	2	2.1%	男	2	26.0	8.5
				女			
	筋骨格系の先天奇形及び変形	5	5.2%	男	3	4.0	8.0
				女	2	0.0	4.5
	その他の先天奇形	7	7.3%	男	4	2.8	5.3
				女	3	22.7	87.0
	染色体異常, 他に分類されないもの	7	7.3%	男	5	2.2	21.2
				女	2	0.0	34.5
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	9	23.7%	男	5	70.6	7.4
				女	4	80.3	4.0
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	3	7.9%	男	2	10.0	3.5
				女	1	17.0	4.0
	皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	2	5.3%	男	2	24.5	2.5
				女			
	神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男	1	81.0	2.0
				女			
	腎尿路系に関する症状及び徴候	1	2.6%	男			
				女	1	81.0	33.0
	全身症状及び徴候	21	55.3%	男	12	11.6	3.4
				女	9	10.9	6.6
	血液検査の異常所見, 診断名の記載がないもの	1	2.6%	男			
				女	1	58.0	6.0
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	104	12.7%	男	66	64.9	12.1
				女	38	66.8	11.1
	頸部損傷	44	5.4%	男	34	67.4	17.1
				女	10	69.9	18.6
	胸部<郭>損傷	44	5.4%	男	22	63.4	12.8
				女	22	73.0	16.0
	腹部, 下背部, 腰椎及び骨盤部の損傷	92	11.2%	男	46	57.4	14.5
				女	46	68.6	16.8
	肩及び上腕の損傷	67	8.2%	男	42	47.9	7.3
				女	25	67.4	9.8
	肘及び前腕の損傷	58	7.1%	男	29	42.7	9.1
				女	29	60.1	8.2
	手首及び手の損傷	18	2.2%	男	14	52.7	7.1
				女	4	74.5	8.8
	股関節部及び大腿の損傷	117	14.3%	男	33	70.9	13.6
				女	84	82.8	13.9
	膝及び下腿の損傷	69	8.4%	男	35	48.5	14.8
				女	34	51.1	14.4
	足首及び足の損傷	20	2.4%	男	14	37.9	10.3
				女	6	71.0	13.2
	多部位の損傷	22	2.7%	男	13	59.6	23.9
				女	9	71.0	18.0
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	2	0.2%	男	2	35.5	23.0
				女			
	自然開口部からの異物侵入の作用	18	2.2%	男	11	32.5	3.4
				女	7	37.6	3.9
	熱傷及び腐食	11	1.3%	男	8	66.4	31.3
				女	3	25.3	11.0
	薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	10	1.2%	男	4	38.5	2.0
				女	6	32.5	2.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	薬用を主としない物質の毒作用	9	1.1%	男	7	59.1	2.3
				女	2	52.5	28.5
	外因のその他及び詳細不明の作用	31	3.8%	男	16	35.0	3.2
				女	15	62.6	4.3
	外傷の早期合併症	3	0.4%	男	1	87.0	8.0
				女	2	60.0	3.5
	外科的及び内科的ケアの合併症, 他に分類されないもの	81	9.9%	男	42	65.3	13.1
				女	39	68.8	13.4
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	25	100.0%	男	10	44.8	8.3
				女	15	54.1	9.7
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	246	100.0%	男	134	53.9	11.0
				女	112	59.6	10.2
合計		11,384	100.0%	男	6,048	61.9	13.3
				女	5,336	58.0	12.3

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

(7) - 2 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

退院患者数

令和3年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
	腸管感染症	67	45.9%	男	37	33.6	8.0
				女	30	23.6	4.6
	結核	2	1.4%	男			
				女	2	84.5	10.0
	人畜共通細菌性疾患	2	1.4%	男			
				女	2	43.0	12.5
	その他の細菌性疾患	44	30.1%	男	22	68.0	22.9
				女	22	83.0	16.0
	主として性的伝播様式をとる感染症	1	0.7%	男			
				女	1	34.0	6.0
	リケッチア症	1	0.7%	男			
				女	1	63.0	19.0
	中枢神経系のウイルス感染症	2	1.4%	男	1	1.0	9.0
				女	1	84.0	115.0
	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	18	12.3%	男	10	50.4	12.8
				女	8	60.4	9.9
	ウイルス性肝炎	2	1.4%	男			
				女	2	65.5	15.0
	その他のウイルス性疾患	4	2.7%	男	3	36.0	6.3
				女	1	85.0	41.0
	真菌症	2	1.4%	男	1	38.0	7.0
				女	1	64.0	2.0
	蠕虫症	1	0.7%	男			
				女	1	37.0	8.0
II 新生物<腫瘍>							
	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	101	2.7%	男	83	69.6	22.6
				女	18	75.8	23.9
	消化器の悪性新生物<腫瘍>	1,153	30.9%	男	763	70.3	13.9
				女	390	73.3	14.4
	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	396	10.6%	男	263	72.1	11.4
				女	133	68.5	7.8
	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>	10	0.3%	男	9	54.9	8.4
				女	1	28.0	2.0
	皮膚の悪性新生物<腫瘍>	14	0.4%	男	8	73.1	7.6
				女	6	77.5	9.0
	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	106	2.8%	男	34	65.8	9.7
				女	72	56.6	8.8
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	172	4.6%	男			
				女	172	59.0	7.2
	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	204	5.5%	男			
				女	204	58.3	6.3
	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	134	3.6%	男	134	74.0	7.1
				女			
	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	127	3.4%	男	94	73.2	10.8
				女	33	72.5	12.8
	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>	9	0.2%	男	8	29.9	43.9
				女	1	42.0	18.0
	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	55	1.5%	男	18	62.9	20.6
				女	37	58.8	6.4
	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	149	4.0%	男	83	68.3	12.2
				女	66	69.6	12.2
	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	655	17.5%	男	354	67.4	24.2
				女	301	69.6	23.8
	上皮内新生物<腫瘍>	40	1.1%	男	3	73.7	11.0
				女	37	44.4	4.0
	良性新生物<腫瘍>	218	5.8%	男	59	54.9	6.1
				女	159	49.8	7.3
	性状不詳または不明の新生物<腫瘍>	193	5.2%	男	106	71.3	15.5
				女	87	60.2	13.8
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
	栄養性貧血	4	5.6%	男	1	76.0	8.0
				女	3	80.3	11.0

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	溶血性貧血	1	1.4%	男	1	30.0	14.0
	無形成性貧血及びその他の貧血	15	21.1%	女	8	54.1	35.3
				男	7	51.0	26.6
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	39	54.9%	男	16	55.8	17.0
				女	23	48.5	12.4
	血液及び造血器のその他の疾患	5	7.0%	男	2	61.0	6.5
女				3	6.3	6.7	
免疫機構の障害	7	9.9%	男	1	68.0	6.0	
			女	6	79.0	7.2	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
甲状腺障害		61	26.1%	男	12	55.8	5.5
				女	49	51.4	5.8
糖尿病		60	25.6%	男	31	57.3	10.6
				女	29	58.0	11.1
その他のグルコース調節及び隣内分泌障害		3	1.3%	男			
その他の内分泌腺障害		48	20.5%	男	18	54.3	9.5
				女	30	55.0	4.5
栄養失調(症)		5	2.1%	男	4	50.0	8.0
				女	1	73.0	12.0
その他の栄養欠乏症		1	0.4%	男			
肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>		5	2.1%	男	3	46.0	24.3
				女	2	52.5	15.5
代謝障害		51	21.8%	男	30	62.3	13.1
				女	21	73.7	13.1
V 精神及び行動の障害							
症状性を含む器質性精神障害		21	15.7%	男	11	67.3	65.4
				女	10	75.2	64.6
精神作用物質使用による精神及び行動の障害		5	3.7%	男	5	57.2	18.0
				女			
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		23	17.2%	男	12	49.0	75.1
				女	11	56.5	53.8
気分[感情]障害		27	20.1%	男	11	54.5	47.6
				女	16	37.6	29.2
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		28	20.9%	男	11	33.6	28.4
				女	17	32.9	35.5
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群		8	6.0%	男	1	8.0	2.0
				女	7	17.7	76.6
知的障害<精神遅滞>		5	3.7%	男			
心理的発達障害		7	5.2%	女	5	18.0	31.6
				男	4	19.0	39.5
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害		10	7.5%	女	3	12.0	37.0
				男	5	11.0	36.0
女	5	11.8	39.6				
VI 神経系の疾患							
中枢神経系の炎症性疾患		8	4.1%	男	6	22.0	13.3
				女	2	35.5	12.5
主に中枢神経系を障害する系統萎縮症		12	6.1%	男	8	29.3	6.3
				女	4	45.8	18.8
錐体外路障害及び異常行動		5	2.6%	男	3	76.3	18.0
				女	2	79.0	7.5
神経系のその他の変性疾患		3	1.5%	男	2	80.5	18.5
				女	1	65.0	38.0
挿間性及び発作性障害		112	57.1%	男	70	37.5	6.3
				女	42	37.7	8.6
神経、神経根及び神経叢の障害		21	10.7%	男	7	56.3	11.1
				女	14	67.6	8.2
多発(性)ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害		4	2.0%	男	3	46.0	23.0
				女	1	61.0	15.0
神経筋接合部及び筋の疾患		9	4.6%	男	4	43.5	7.5
				女	5	2.0	6.4
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群		2	1.0%	男			
				女	2	4.5	9.0
神経系のその他の障害		20	10.2%	男	7	47.7	15.9
				女	13	32.5	17.5

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	25	19.4%	男	19	37.5	3.6
				女	6	31.2	3.7
	結膜の障害	1	0.8%	男	1	77.0	2.0
				女			
	水晶体の障害	68	52.7%	男	41	72.3	6.6
				女	27	74.6	6.1
	脈絡膜及び網膜の障害	6	4.7%	男	3	87.7	2.3
				女	3	68.0	6.0
	緑内障	1	0.8%	男			
				女	1	85.0	4.0
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	28	21.7%	男	12	18.2	3.6
				女	16	10.3	3.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	中耳及び乳様突起の疾患	28	48.3%	男	16	41.4	4.8
				女	12	26.8	3.9
	内耳疾患	24	41.4%	男	10	61.3	4.7
				女	14	69.3	6.6
	耳のその他の障害	6	10.3%	男			
				女	6	68.0	9.5
IX 循環器系の疾患							
	慢性リウマチ性心疾患	24	1.3%	男	15	69.5	20.7
				女	9	77.3	21.0
	高血圧性疾患	17	0.9%	男	11	80.6	10.4
				女	6	91.0	10.0
	虚血性心疾患	633	34.4%	男	491	71.0	5.8
				女	142	74.9	8.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	11	0.6%	男	6	73.8	13.5
				女	5	65.8	5.2
	その他の型の心疾患	488	26.5%	男	262	75.5	10.9
				女	226	82.6	12.5
	脳血管疾患	378	20.5%	男	213	71.7	14.5
				女	165	75.2	16.8
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	261	14.2%	男	168	72.6	13.9
				女	93	78.1	14.9
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	21	1.1%	男	13	52.2	11.8
				女	8	61.0	7.9
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	8	0.4%	男	7	72.3	13.0
				女	1	73.0	19.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	39	6.5%	男	31	24.2	4.9
				女	8	14.0	4.5
	インフルエンザ及び肺炎	90	15.1%	男	53	61.1	12.2
				女	37	57.1	11.9
	その他の急性下気道感染症	137	22.9%	男	75	2.1	5.3
				女	62	1.2	4.8
	上気道のその他の疾患	100	16.8%	男	60	44.0	6.0
				女	40	51.8	7.5
	慢性下気道疾患	38	6.4%	男	22	22.6	5.1
				女	16	19.9	6.2
	外的因子による肺疾患	92	15.4%	男	66	66.8	20.1
				女	26	79.9	14.7
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	49	8.2%	男	34	70.4	18.3
				女	15	70.1	20.3
	下気道の化膿性及び壊死性病態	14	2.3%	男	12	71.2	31.8
				女	2	83.0	16.0
	胸膜のその他の疾患	26	4.4%	男	19	59.0	14.8
				女	7	51.7	10.6
	呼吸器系のその他の疾患	12	2.0%	男	8	64.4	9.8
				女	4	84.5	13.0

退院患者数

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	107	8.2%	男	55	47.2	7.1
				女	52	56.0	7.2
	食道、胃及び十二指腸の疾患	72	5.5%	男	45	69.1	8.8
				女	27	72.2	11.0
	虫垂の疾患	59	4.5%	男	27	37.3	6.7
				女	32	40.0	6.1
	ヘルニア	155	11.9%	男	86	48.8	4.8
				女	69	42.6	5.5
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	34	2.6%	男	24	35.8	15.1
				女	10	35.0	14.2
	腸のその他の疾患	242	18.5%	男	123	68.4	11.4
				女	119	70.2	10.7
	腹膜の疾患	31	2.4%	男	26	64.3	27.3
				女	5	71.6	17.6
	肝疾患	49	3.7%	男	30	66.2	14.9
				女	19	65.1	12.4
	胆嚢、胆管及び膵の障害	400	30.6%	男	232	67.4	8.5
				女	168	73.8	9.4
	消化器系のその他の疾患	159	12.2%	男	104	68.7	6.2
				女	55	67.9	8.8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	34	44.7%	男	15	42.5	11.8
				女	19	56.1	11.2
	水疱症	2	2.6%	男	2	74.5	177.0
				女			
	皮膚炎及び湿疹	3	3.9%	男	1	33.0	10.0
				女	2	58.5	13.5
	丘疹落屑<鱗屑>性障害	2	2.6%	男	2	71.0	9.5
				女			
	蕁麻疹及び紅斑	5	6.6%	男	2	67.0	9.5
				女	3	57.3	20.3
	皮膚付属器の障害	6	7.9%	男	3	16.3	4.0
				女	3	56.0	4.3
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	24	31.6%	男	15	52.5	41.4
				女	9	61.2	105.0
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	4	0.8%	男	1	42.0	2.0
				女	3	71.3	47.7
	炎症性多発性関節障害	10	2.0%	男	4	39.0	17.0
				女	6	77.8	16.2
	関節症	64	12.6%	男	12	71.2	18.8
				女	52	71.6	18.0
	その他の関節障害	10	2.0%	男	4	29.8	13.5
				女	6	57.8	9.7
	全身性結合組織障害	29	5.7%	男	15	18.6	11.2
				女	14	20.9	13.6
	変形性脊柱障害	18	3.6%	男	10	70.1	9.6
				女	8	70.4	7.9
	脊椎障害	244	48.1%	男	171	68.9	10.1
				女	73	72.1	10.9
	その他の脊柱障害	48	9.5%	男	26	52.4	6.8
				女	22	51.6	7.1
	筋障害	11	2.2%	男	8	59.1	10.0
				女	3	80.0	19.7
	滑膜及び腱の障害	14	2.8%	男	7	44.9	4.7
				女	7	50.7	5.7
	その他の軟部組織障害	8	1.6%	男	6	65.7	54.3
				女	2	79.5	30.0
	骨の密度及び構造の障害	11	2.2%	男	8	68.3	12.3
				女	3	84.0	21.3
	その他の骨障害	25	4.9%	男	16	59.3	23.1
				女	9	73.3	14.8
	軟骨障害	3	0.6%	男	2	50.0	5.5
				女	1	3.0	8.0
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	8	1.6%	男	4	78.5	31.8
				女	4	87.0	17.8

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	85	12.2%	男	52	43.9	11.6
				女	33	47.4	13.0
	腎尿細管間質性疾患	121	17.4%	男	46	66.4	10.4
				女	75	64.6	7.4
	腎不全	147	21.1%	男	86	67.2	14.4
				女	61	67.9	22.2
	尿路結石症	50	7.2%	男	26	64.1	7.0
				女	24	71.9	6.7
	腎及び尿管のその他の障害	5	0.7%	男	5	71.4	14.0
				女			
	尿路系のその他の疾患	53	7.6%	男	36	60.0	8.6
				女	17	62.0	10.2
	男性生殖器の疾患	111	15.9%	男	111	55.8	5.8
				女			
	乳房の障害	1	0.1%	男			
				女	1	25.0	3.0
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	11	1.6%	男			
				女	11	44.8	9.9
	女性生殖器の非炎症性障害	112	16.1%	男			
				女	112	50.2	5.2
	腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.1%	男	1	76.0	7.0
				女			
XV 妊娠, 分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	17	2.3%	男			
				女	17	35.2	4.2
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	23	3.1%	男			
				女	23	32.4	8.7
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	56	7.6%	男			
				女	56	32.7	11.5
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	263	35.6%	男			
				女	263	34.0	8.1
	分娩の合併症	198	26.8%	男			
				女	198	33.2	14.6
	分娩	175	23.7%	男			
				女	175	31.7	5.7
	主として産褥に関連する合併症	5	0.7%	男			
				女	5	30.6	6.0
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	0.3%	男			
				女	2	32.5	8.5
XVI 周産期に発生した病態							
	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	4	1.4%	男	2	0.0	7.0
				女	2	0.0	9.5
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	82	28.8%	男	45	0.0	52.4
				女	37	0.0	43.4
	出産外傷	2	0.7%	男	2	0.0	12.5
				女			
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	120	42.1%	男	59	0.0	6.9
				女	61	0.0	7.6
	周産期に特異的な感染症	2	0.7%	男	2	0.0	3.0
				女			
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	54	18.9%	男	21	0.0	4.0
				女	33	0.0	4.0
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	5	1.8%	男	4	0.0	5.5
				女	1	0.0	3.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	7	2.5%	男	2	0.0	7.0
				女	5	8.8	2.6
	周産期に発生したその他の障害	9	3.2%	男	4	0.0	5.3
				女	5	0.0	7.0
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	神経系の先天奇形	7	9.5%	男	2	9.0	4.0
				女	5	5.8	12.2
	眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	7	9.5%	男	3	21.0	3.0
				女	4	26.0	3.3

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	循環器系の先天奇形	8	10.8%	男	5	7.0	6.4
	女			3	18.3	3.3	
	呼吸器系の先天奇形	1	1.4%	男	1	0.0	2.0
	唇裂及び口蓋裂	5	6.8%	男	4	3.8	6.0
				女	1	0.0	8.0
	消化器系のその他の先天奇形	13	17.6%	男	6	11.0	10.7
				女	7	32.7	7.3
	生殖器の先天奇形	19	25.7%	男	17	3.3	3.0
				女	2	0.0	9.5
	腎尿路系の先天奇形	2	2.7%	男	2	6.5	17.0
女							
筋骨格系の先天奇形及び変形	6	8.1%	男	3	4.3	18.0	
			女	3	9.3	3.0	
その他の先天奇形	4	5.4%	男				
			女	4	39.0	5.0	
染色体異常、他に分類されないもの	2	2.7%	男	1	0.0	63.0	
			女	1	0.0	6.0	
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	8	15.1%	男	6	55.0	6.2	
			女	2	70.0	7.0	
消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	7.5%	男	2	14.5	8.0	
			女	2	14.5	2.5	
言語及び音声に関する症状及び徴候	1	1.9%	男	1	73.0	15.0	
			女				
全身症状及び徴候	40	75.5%	男	19	2.2	4.4	
			女	21	6.2	5.1	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響							
頭部損傷	113	12.5%	男	82	62.0	11.6	
			女	31	62.0	13.9	
頸部損傷	38	4.2%	男	28	62.2	16.8	
			女	10	73.3	16.8	
胸部<郭>損傷	50	5.5%	男	28	68.0	16.3	
			女	22	76.4	12.2	
腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	81	8.9%	男	41	59.2	12.5	
			女	40	74.5	16.7	
肩及び上腕の損傷	83	9.2%	男	44	42.1	6.9	
			女	39	63.2	8.6	
肘及び前腕の損傷	53	5.8%	男	24	39.1	6.0	
			女	29	64.2	5.0	
手首及び手の損傷	19	2.1%	男	15	47.1	7.3	
			女	4	67.0	6.8	
股関節部及び大腿の損傷	150	16.6%	男	46	77.6	14.2	
			女	104	80.5	14.9	
膝及び下腿の損傷	97	10.7%	男	51	48.5	14.0	
			女	46	56.2	14.9	
足首及び足の損傷	22	2.4%	男	15	49.8	14.4	
			女	7	72.9	8.7	
多部位の損傷	15	1.7%	男	9	66.6	30.9	
			女	6	73.5	17.2	
部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	7	0.8%	男	5	30.0	6.6	
			女	2	40.0	3.5	
自然開口部からの異物侵入の作用	9	1.0%	男	5	46.6	6.6	
			女	4	24.3	4.0	
熱傷及び腐食	8	0.9%	男	4	66.3	23.8	
			女	4	52.8	25.5	
薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	15	1.7%	男	5	40.4	8.8	
			女	10	34.3	2.2	
薬用を主としない物質の毒作用	14	1.5%	男	10	54.8	5.3	
			女	4	61.0	3.3	
外因のその他及び詳細不明の作用	36	4.0%	男	23	22.9	3.3	
			女	13	42.5	4.4	
外傷の早期合併症	5	0.6%	男	4	73.3	10.8	
			女	1	21.0	13.0	
外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	90	9.9%	男	53	67.8	12.2	
			女	37	72.3	14.2	
損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	0.1%	男				
			女	1	62.0	2.0	

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	27	3.0%	男	13	48.6	8.4
				女	14	51.7	8.6
	家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	1	3.6%	男	1	4.0	29.0
				女			
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	358	100.0%	男	175	57.4	15.1
				女	183	58.5	13.7
合計		12,173	100.0%	男	6,401	61.5	12.6
				女	5,772	57.3	12.0

(7) - 3 中分類別・性別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和4年度

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
I 感染症及び寄生虫症							
腸管感染症		86	46.7%	男	41	25.5	7.0
				女	45	36.7	5.8
結核		2	1.1%	男	2	57.0	2.0
				女			
その他の細菌性疾患		49	26.6%	男	32	67.1	16.1
				女	17	78.4	8.7
リケッチア症		2	1.1%	男	2	80.5	15.5
				女			
中枢神経系のウイルス感染症		2	1.1%	男			
				女	2	39.5	33.5
節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱		3	1.6%	男	1	60.0	2.0
				女	2	72.5	29.5
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症		21	11.4%	男	11	40.0	8.8
				女	10	18.4	6.5
ウイルス性肝炎		2	1.1%	男	1	2.0	6.0
				女	1	0.0	19.0
その他のウイルス性疾患		11	6.0%	男	7	32.0	10.9
				女	4	15.3	7.3
真菌症		6	3.3%	男	4	69.8	21.0
				女	2	76.5	9.5
II 新生物<腫瘍>							
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>		105	2.8%	男	79	69.7	23.4
				女	26	67.0	24.0
消化器の悪性新生物<腫瘍>		1,119	29.9%	男	723	70.6	14.1
				女	396	72.8	13.2
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>		425	11.4%	男	277	70.4	10.1
				女	148	69.7	8.3
骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>		7	0.2%	男	6	51.2	15.3
				女	1	55.0	9.0
皮膚の悪性新生物<腫瘍>		16	0.4%	男	11	76.3	17.6
				女	5	73.6	15.6
中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>		39	1.0%	男	15	72.7	8.5
				女	24	50.1	7.1
乳房の悪性新生物<腫瘍>		97	2.6%	男			
				女	97	62.0	8.0
女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		215	5.8%	男			
				女	215	64.4	6.3
男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>		129	3.5%	男	129	73.6	5.2
				女			
腎尿路の悪性新生物<腫瘍>		147	3.9%	男	108	72.2	9.9
				女	39	73.1	13.4
眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>		7	0.2%	男	3	56.7	26.7
				女	4	67.0	30.0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>		53	1.4%	男	24	68.2	6.0
				女	29	61.9	5.0
部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>		166	4.4%	男	97	71.3	13.3
				女	69	68.1	9.9
リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>		720	19.3%	男	388	68.1	24.0
				女	332	68.0	20.5
上皮内新生物<腫瘍>		48	1.3%	男			
				女	48	42.4	3.8
良性新生物<腫瘍>		232	6.2%	男	53	57.2	6.3
				女	179	45.8	6.7
性状不詳または不明の新生物<腫瘍>		212	5.7%	男	104	68.7	14.8
				女	108	56.2	8.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害							
栄養性貧血		11	16.7%	男	4	76.3	9.8
				女	7	67.0	11.4
溶血性貧血		4	6.1%	男	1	4.0	8.0
				女	3	73.7	35.7
無形成性貧血及びその他の貧血		11	16.7%	男	5	31.4	12.0
				女	6	52.8	16.2

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	24	36.4%	男	7	47.6	12.9
	女			17	63.8	17.2	
	血液及び造血管のその他の疾患	10	15.2%	男	5	41.2	7.8
	免疫機構の障害	6	9.1%	女	5	26.8	24.4
				男	2	28.0	2.5
				女	4	68.0	8.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患							
	甲状腺障害	69	28.8%	男	13	63.1	4.6
				女	56	61.3	4.9
	糖尿病	63	26.3%	男	34	60.9	11.4
				女	29	67.2	9.2
	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	8	3.3%	男	4	58.5	3.5
				女	4	41.0	13.0
	その他の内分泌腺障害	48	20.0%	男	19	57.4	4.8
				女	29	58.1	4.3
	栄養失調(症)	3	1.3%	男	1	69.0	19.0
				女	2	91.5	7.5
	その他の栄養欠乏症	2	0.8%	男	2	32.5	10.5
				女			
	肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>	13	5.4%	男	8	50.0	18.1
				女	5	40.0	13.8
	代謝障害	34	14.2%	男	15	59.1	14.0
				女	19	70.7	13.7
V 精神及び行動の障害							
	症状性を含む器質性精神障害	17	13.7%	男	12	64.9	50.6
				女	5	57.4	13.0
	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7	5.6%	男	6	49.0	26.7
				女	1	67.0	24.0
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	35	28.2%	男	19	53.6	47.5
				女	16	50.7	42.2
	気分[感情]障害	25	20.2%	男	7	50.3	55.3
				女	18	24.4	38.6
	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	12.1%	男	4	14.0	19.0
				女	11	35.7	29.8
	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	6	4.8%	男	2	30.5	105.5
				女	4	37.3	50.5
	成人の人格及び行動の障害	5	4.0%	男	4	12.0	17.5
				女	1	13.0	38.0
	知的障害<精神遅滞>	1	0.8%	男			
				女	1	42.0	60.0
	心理的発達の障害	5	4.0%	男	2	12.5	95.5
				女	3	38.3	55.7
	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	8	6.5%	男	5	9.2	68.8
				女	3	13.0	24.3
VI 神経系の疾患							
	中枢神経系の炎症性疾患	5	2.6%	男	4	70.5	23.0
				女	1	0.0	24.0
	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	10	5.1%	男	9	33.3	15.0
				女	1	45.0	38.0
	錐体外路障害及び異常行動	3	1.5%	男	3	77.0	4.0
				女			
	神経系のその他の変性疾患	1	0.5%	男			
				女	1	108.0	8.0
	中枢神経系の脱髄疾患	2	1.0%	男			
				女	2	11.0	13.5
	挿間性及び発作性障害	113	57.9%	男	69	34.4	8.5
				女	44	38.5	9.8
	神経、神経根及び神経叢の障害	22	11.3%	男	12	59.1	8.5
				女	10	61.5	8.3
	多発(性)ニューロパチ<シ>-及びその他の末梢神経系の障害	7	3.6%	男	2	68.5	16.5
				女	5	46.6	12.0
	神経筋接合部及び筋の疾患	3	1.5%	男	3	49.7	10.0
				女			
	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1	0.5%	男			
				女	1	61.0	7.0
	神経系のその他の障害	28	14.4%	男	11	37.0	18.7
				女	17	45.4	13.2

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
VII 眼及び付属器の疾患							
	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	26	19.4%	男 女	10 16	16.3 33.4	4.0 4.4
	結膜の障害	2	1.5%	男 女	2 0	36.0 -	2.5 -
	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	1	0.7%	男 女	1 0	75.0 -	3.0 -
	水晶体の障害	70	52.2%	男 女	30 40	73.9 74.8	5.4 5.9
	脈絡膜及び網膜の障害	4	3.0%	男 女	3 1	76.0 58.0	2.7 15.0
	緑内障	1	0.7%	男 女	1 0	78.0 -	3.0 -
	視機能障害及び盲<失明>	1	0.7%	男 女	1 0	11.0 -	4.0 -
	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	29	21.6%	男 女	12 17	13.6 11.4	5.1 3.6
VIII 耳及び乳様突起の疾患							
	外耳疾患	1	1.5%	男 女	1 0	50.0 -	3.0 -
	中耳及び乳様突起の疾患	30	44.1%	男 女	21 9	24.8 28.2	4.0 5.6
	内耳疾患	26	38.2%	男 女	11 15	67.5 69.9	4.9 6.1
	耳のその他の障害	11	16.2%	男 女	4 7	49.3 59.0	8.0 9.1
IX 循環器系の疾患							
	急性リウマチ熱	1	0.1%	男 女	1 0	11.0 -	14.0 -
	慢性リウマチ性心疾患	15	0.8%	男 女	5 10	74.6 78.3	35.8 49.5
	高血圧性疾患	6	0.3%	男 女	2 4	62.5 76.5	10.0 6.5
	虚血性心疾患	590	30.5%	男 女	462 128	71.0 75.9	5.8 6.4
	肺性心疾患及び肺循環疾患	21	1.1%	男 女	9 12	78.7 25.8	9.9 17.9
	その他の型の心疾患	572	29.6%	男 女	283 289	75.1 82.7	10.3 12.0
	脳血管疾患	454	23.5%	男 女	243 211	73.1 77.6	14.8 15.5
	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	233	12.1%	男 女	169 64	71.9 79.7	18.4 15.1
	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	32	1.7%	男 女	22 10	68.1 61.9	6.6 19.5
	循環器系のその他及び詳細不明の障害	9	0.5%	男 女	6 3	52.8 46.7	17.0 11.0
X 呼吸器系の疾患							
	急性上気道感染症	33	5.3%	男 女	15 18	15.9 16.1	7.4 5.7
	インフルエンザ及び肺炎	139	22.2%	男 女	98 41	58.7 59.1	12.6 11.3
	その他の急性下気道感染症	79	12.6%	男 女	42 37	1.6 4.8	5.7 6.7
	上気道のその他の疾患	90	14.4%	男 女	60 30	40.8 40.4	7.2 7.1
	慢性下気道疾患	66	10.6%	男 女	42 24	29.3 11.8	7.7 5.4
	外的因子による肺疾患	122	19.5%	男 女	77 45	76.6 77.6	21.3 14.0
	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	40	6.4%	男 女	20 20	73.5 74.6	10.5 9.9
	下気道の化膿性及び壊死性病態	10	1.6%	男 女	8 2	83.6 86.0	24.5 26.0

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	胸膜のその他の疾患	35	5.6%	男	29	58.9	13.1
	女			6	38.3	7.3	
	呼吸器系のその他の疾患	11	1.8%	男	5	67.2	9.4
	女			6	76.3	24.8	
X I 消化器系の疾患							
	口腔、唾液腺及び顎の疾患	78	5.5%	男	38	46.6	6.6
				女	40	58.7	8.1
	食道、胃及び十二指腸の疾患	103	7.2%	男	51	67.5	8.6
				女	52	73.1	9.8
	虫垂の疾患	64	4.5%	男	32	38.8	7.3
				女	32	56.7	7.1
	ヘルニア	170	11.9%	男	108	59.7	4.4
				女	62	39.9	5.3
	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	23	1.6%	男	13	40.2	12.1
				女	10	33.9	14.8
	腸のその他の疾患	279	19.5%	男	147	68.6	10.8
				女	132	70.1	10.3
	腹膜の疾患	37	2.6%	男	17	67.4	20.2
				女	20	75.0	24.2
	肝疾患	59	4.1%	男	37	67.4	17.1
				女	22	67.1	13.6
	胆嚢、胆管及び膵の障害	482	33.7%	男	305	67.4	7.5
				女	177	73.7	8.4
	消化器系のその他の疾患	136	9.5%	男	90	68.0	7.0
				女	46	72.4	7.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患							
	皮膚及び皮下組織の感染症	42	37.2%	男	22	44.6	15.3
				女	20	69.9	18.3
	水疱症	5	4.4%	男	2	85.5	79.0
				女	3	66.3	36.7
	皮膚炎及び湿疹	3	2.7%	男	1	1.0	5.0
				女	2	53.5	12.0
	蕁麻疹及び紅斑	7	6.2%	男	3	38.0	10.3
				女	4	20.8	6.8
	皮膚及び皮下組織放射線(非電離及び電離)に関する障害	1	0.9%	男	1	86.0	8.0
				女			
	皮膚付属器の障害	8	7.1%	男	2	32.0	6.5
				女	6	34.0	6.5
	皮膚及び皮下組織のその他の障害	47	41.6%	男	24	58.6	24.0
				女	23	62.4	20.6
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患							
	感染性関節障害	7	1.3%	男	4	68.5	18.8
				女	3	84.7	24.3
	炎症性多発性関節障害	7	1.3%	男	3	53.0	9.3
				女	4	68.8	9.5
	関節症	61	11.6%	男	18	74.4	15.1
				女	43	75.6	15.4
	その他の関節障害	4	0.8%	男	1	58.0	5.0
				女	3	52.3	11.3
	全身性結合組織障害	35	6.7%	男	22	18.2	17.6
				女	13	28.5	15.9
	変形性脊柱障害	29	5.5%	男	5	65.2	16.6
				女	24	73.8	11.9
	脊椎障害	244	46.6%	男	170	69.1	11.2
				女	74	72.5	13.1
	その他の脊柱障害	69	13.2%	男	46	54.6	9.7
				女	23	48.4	7.4
	筋障害	5	1.0%	男	3	76.7	13.7
				女	2	85.0	14.0
	滑膜及び腱の障害	12	2.3%	男	4	50.0	10.5
				女	8	63.9	4.0
	その他の軟部組織障害	13	2.5%	男	11	66.9	22.6
				女	2	34.5	17.5
	骨の密度及び構造の障害	7	1.3%	男	3	71.0	19.7
				女	4	76.3	14.8
	その他の骨障害	22	4.2%	男	12	56.6	24.3
				女	10	69.4	22.2

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	軟骨障害	2	0.4%	男 女	2	36.0	13.5
	筋骨格系及び結合組織のその他の障害	7	1.3%	男 女	3 4	72.3 88.8	11.7 16.5
XIV 腎尿路生殖器系の疾患							
	糸球体疾患	42	6.2%	男	30	49.2	9.9
				女	12	54.0	5.1
	腎尿細管間質性疾患	119	17.5%	男	51	64.1	8.0
				女	68	61.7	7.1
	腎不全	141	20.7%	男	79	67.5	19.1
				女	62	68.8	18.7
	尿路結石症	71	10.4%	男	33	67.3	5.6
				女	38	69.8	7.7
	腎及び尿管のその他の障害	5	0.7%	男	3	75.7	16.0
				女	2	63.0	8.0
	尿路系のその他の疾患	61	9.0%	男	31	73.0	13.2
				女	30	67.6	9.8
	男性生殖器の疾患	113	16.6%	男	113	57.9	6.1
				女			
	乳房の障害	2	0.3%	男			
				女	2	41.5	7.5
	女性骨盤臓器の炎症性疾患	13	1.9%	男			
				女	13	51.1	8.2
	女性生殖器の非炎症性障害	112	16.5%	男			
				女	112	49.9	4.7
	腎尿路生殖器系のその他の障害	1	0.1%	男			
				女	1	70.0	6.0
XV 妊娠、分娩及び産褥							
	流産に終わった妊娠	14	1.9%	男			
				女	14	33.5	4.0
	妊娠、分娩及び産褥における浮腫、蛋白尿及び高血圧性障害	38	5.2%	男			
				女	38	34.0	8.6
	主として妊娠に関連するその他の母体障害	27	3.7%	男			
				女	27	34.3	10.6
	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	238	32.7%	男			
				女	238	33.4	8.7
	分娩の合併症	180	24.7%	男			
				女	180	33.3	11.7
	分娩	224	30.8%	男			
				女	224	31.9	5.6
	主として産褥に関連する合併症	6	0.8%	男			
				女	6	29.5	4.0
	その他の産科的病態、他に分類されないもの	1	0.1%	男			
				女	1	27.0	8.0
XVI 周産期に発生した病態							
	母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	15	5.3%	男	6	0.0	9.2
				女	9	0.0	8.6
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	66	23.2%	男	35	0.0	50.1
				女	31	0.0	42.7
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	127	44.6%	男	64	0.0	8.7
				女	63	0.0	7.8
	周産期に特異的な感染症	7	2.5%	男	4	0.0	9.8
				女	3	0.0	7.7
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	46	16.1%	男	30	0.0	4.8
				女	16	0.0	5.6
	胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	6	2.1%	男	4	0.0	5.0
				女	2	0.0	9.0
	胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態	3	1.1%	男	1	0.0	19.0
				女	2	0.0	5.0
	周産期に発生したその他の障害	15	5.3%	男	9	0.0	5.6
				女	6	0.0	4.3

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常							
	眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	17	25.4%	男 女	6 11	30.3 11.8	3.8 4.3
	循環器系の先天奇形	2	3.0%	男 女	1 1	57.0 1.0	2.0 18.0
	唇裂及び口蓋裂	2	3.0%	男 女	2 0	0.0	13.0
	消化器系のその他の先天奇形	11	16.4%	男 女	4 7	2.0 9.7	10.5 8.9
	生殖器の先天奇形	19	28.4%	男 女	19 0	3.1	3.7
	腎尿路系の先天奇形	5	7.5%	男 女	5 0	6.6	6.0
	筋骨格系の先天奇形及び変形	4	6.0%	男 女	2 2	7.0 12.0	4.0 3.5
	その他の先天奇形	3	4.5%	男 女	3 0	13.7	3.3
	染色体異常、他に分類されないもの	4	6.0%	男 女	1 3	0.0 0.3	3.0 23.0
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの							
	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	8	21.6%	男 女	4 4	78.8 84.5	5.8 8.0
	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	8	21.6%	男 女	4 4	44.0 77.8	6.3 14.8
	認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	4	10.8%	男 女	2 2	39.5 64.0	2.0 4.0
	全身症状及び徴候	15	40.5%	男 女	6 9	26.8 12.3	5.5 3.7
	血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	2	5.4%	男 女	1 1	60.0 42.0	3.0 5.0
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響							
	頭部損傷	134	12.2%	男 女	86 48	57.4 69.0	9.5 13.0
	頸部損傷	46	4.2%	男 女	34 12	64.7 71.4	17.9 16.9
	胸部<郭>損傷	51	4.7%	男 女	29 22	67.2 77.8	13.0 16.4
	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	91	8.3%	男 女	52 39	61.2 76.4	18.4 12.5
	肩及び上腕の損傷	110	10.0%	男 女	57 53	42.7 64.5	6.7 8.2
	肘及び前腕の損傷	54	4.9%	男 女	26 28	36.7 66.3	6.7 6.9
	手首及び手の損傷	13	1.2%	男 女	9 4	46.0 57.8	7.7 13.5
	股関節部及び大腿の損傷	214	19.5%	男 女	48 166	76.7 85.0	14.8 14.8
	膝及び下腿の損傷	117	10.7%	男 女	63 54	53.4 61.9	13.9 12.4
	足首及び足の損傷	16	1.5%	男 女	11 5	58.9 62.2	11.9 9.6
	多部位の損傷	22	2.0%	男 女	8 14	49.5 62.9	36.8 18.9
	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	3	0.3%	男 女	3 0	46.0	8.7
	自然開口部からの異物侵入の作用	13	1.2%	男 女	8 5	44.8 43.4	3.8 3.0
	熱傷及び腐食	17	1.6%	男 女	13 4	52.3 65.8	15.6 29.3
	薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	29	2.6%	男 女	6 23	61.5 40.8	4.7 5.0
	薬用を主としない物質の毒作用	12	1.1%	男 女	9 3	53.8 50.3	3.7 5.3
	外因のその他及び詳細不明の作用	42	3.8%	男 女	31 11	36.3 26.3	4.3 2.2
	外傷の早期合併症	2	0.2%	男 女	1 1	77.0 89.0	4.0 5.0

退院患者数

大分類	中分類	患者総数 (人)	大分類内 患者数 比率	性別	件数	平均年齢 (才)	在院日数 の平均 (日)
	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	107	9.8%	男	63	65.4	15.9
	女			44	69.4	10.8	
	損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	2	0.2%	男	2	53.5	5.0
	女						
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用							
	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	26	100.0%	男	13	49.1	5.5
				女	13	55.6	8.2
XX II その他							
	原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	472	100.0%	男	208	53.3	13.3
				女	264	54.0	10.6
合計		12,764	100.0%	男	6,635	62.1	12.4
				女	6,129	58.9	11.2

(8) 小分類別・手術の有無・年齢階層別退院患者数・平均年齢・在院日数の平均

令和4年度

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
A020	サルモネラ胃腸炎	無	4	22.5	4.5	1		2				1	
A020	サルモネラ腸炎	無	1	84.0	12.0								1
A040	病原性大腸菌感染症	無	1	1.0	3.0	1							
A045	カンピロバクター腸炎	無	2	59.5	8.5					1			1
A046	エルシニア腸炎	無	1	6.0	6.0			1					
A047	偽膜性大腸炎	無	1	34.0	15.0					1			
A049	細菌性胃腸炎	無	2	10.5	6.0			2					
A049	細菌性腸炎	無	3	49.0	9.7			1				2	
A081	ノロウイルス性胃腸炎	無	15	1.4	3.3	12	3						
A084	ウイルス性胃腸炎	無	4	6.5	4.3	1	1	2					
A084	ウイルス性胃腸炎に伴う痙攣	無	3	1.7	2.7	2	1						
A090	感染性胃腸炎	無	14	33.0	5.4	1	1	3	1	4	1	1	2
A090	感染性下痢症	有	1	40.0	10.0					1			
A090	感染性大腸炎	有	1	47.0	11.0						1		
A090	感染性大腸炎	無	4	45.3	10.3			1			2	1	
A090	感染性腸炎	有	1	55.0	30.0						1		
A090	感染性腸炎	無	22	49.4	6.4	2	1	1	1	3	3	7	4
A099	急性胃腸炎	無	2	6.5	3.0		1	1					
A099	急性大腸炎	無	1	66.0	12.0							1	
A099	急性腸炎	有	2	86.5	16.0							1	1
A099	急性腸炎	無	1	22.0	6.0					1			
A151	肺結核・培養のみ確認あり	無	1	51.0	2.0						1		
A162	肺結核の疑い	無	1	63.0	2.0							1	
A310	肺非結核性抗酸菌症	有	2	72.5	6.0							2	
A310	肺非結核性抗酸菌症の疑い	無	3	65.3	2.0						1	1	1
A35	破傷風	有	1	92.0	28.0								1
A370	百日咳菌による百日咳	無	1	0.0	5.0	1							
A408	G群連鎖球菌敗血症	無	1	91.0	18.0								1
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	有	1	80.0	32.0								1
A410	黄色ぶどう球菌敗血症	無	2	87.0	28.5								2
A411	MRCNS敗血症	無	2	73.5	27.5						1		1
A415	グラム陰性菌敗血症	無	1	64.0	39.0							1	
A415	グラム陰性桿菌敗血症	有	8	80.5	15.1							4	4
A415	グラム陰性桿菌敗血症	無	5	71.4	15.0						1	2	2
A418	グラム陽性菌敗血症	無	2	56.0	9.0					1		1	
A418	腎盂腎炎性敗血症	有	1	83.0	14.0								1
A418	腎盂腎炎性敗血症	無	2	94.0	7.0								2
A419	敗血症	有	1	73.0	3.0							1	
A419	敗血症	無	3	51.3	7.3						3		
A419	敗血症性ショック	有	4	70.8	4.3						1	2	1
A419	敗血症性ショック	無	3	91.0	6.7							1	2
A46	大腿丹毒	無	1	66.0	10.0							1	
A490	MRSA感染症	有	1	35.0	13.0					1			
A490	MSSA菌血症	無	1	65.0	28.0							1	
A499	菌血症	無	2	78.0	26.0							1	1
A499	菌血症の疑い	無	1	1.0	2.0	1							
A778a	日本紅斑熱	無	1	86.0	16.0								1
A799	リケッチア感染症	無	1	75.0	15.0							1	
A812	進行性多巣性白質脳症	有	1	68.0	56.0							1	
A86	ウイルス性髄膜炎	無	1	11.0	11.0			1					
A938	重症熱性血小板減少症候群	有	1	83.0	34.0								1
A938	重症熱性血小板減少症候群の疑い	無	1	60.0	2.0						1		
B002	ヘルペスウイルス性咽頭炎	有	1	47.0	16.0						1		
B004	ヘルペス脳炎	無	2	65.5	10.5						1		1
B021	帯状疱疹性髄膜炎	無	2	51.5	17.0						2		
B022	三叉神経帯状疱疹	無	2	71.5	11.0							1	1
B027	汎発性帯状疱疹	無	2	80.0	7.5							1	1
B029	軀幹帯状疱疹	無	2	11.5	5.0			2					
B082	突発性発疹症	無	8	1.5	4.8	7	1						
B084	手足口病	無	1	4.0	3.0			1					
B085	ヘルパンギーナ	無	1	1.0	3.0	1							
B179	急性ウイルス性肝炎	無	2	1.0	12.5	2							
B251	サイトメガロウイルス性肝炎	無	1	0.0	8.0	1							
B258	サイトメガロウイルス腸炎	有	1	71.0	11.0							1	
B270	EBウイルス伝染性単核症	無	1	9.0	14.0			1					
B279	伝染性単核症	無	3	20.0	8.7				2	1			
B338	EBウイルス感染症	無	2	48.0	16.0						2		
B338	EBウイルス感染症の疑い	無	1	1.0	3.0	1							
B348	RSウイルス感染症	無	1	0.0	3.0	1							
B349	ウイルス感染症	無	1	48.0	8.0						1		
B378	食道カンジダ症	有	1	92.0	11.0								1
B450	急性肺クリプトコッカス症	有	1	72.0	7.0							1	
B451	クリプトコッカス性髄膜炎	無	1	85.0	64.0								1
B457	播種性クリプトコッカス症	有	1	81.0	12.0								1
B487	深在性真菌症	有	1	57.0	8.0						1		
B49	肺真菌症	無	1	45.0	1.0						1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
C01	舌根部癌	有	4	79.8	13.8							1	3	
		無	2	73.5	26.5							1	1	
C021	舌縁癌	有	8	63.1	23.8						3	4	1	
		無	5	65.8	22.2						2	2	1	
C029	舌癌	有	5	58.0	20.8						3	2		
		無	1	79.0	4.0							1		
C030	上顎歯肉癌	有	1	88.0	19.0								1	
		無	3	92.0	6.0								3	
C031	下顎歯肉癌	有	6	74.0	23.3						1	2	3	
		無	1	69.0	65.0							1		
C039	下顎歯肉癌	有	1	94.0	7.0								1	
C039	歯肉癌	有	1	88.0	26.0								1	
C051	軟口蓋癌	有	4	69.0	14.5							4		
C051	軟口蓋軟口蓋癌	無	1	69.0	4.0							1		
C060	頬粘膜癌	有	2	75.5	20.5							1	1	
C061	下顎歯肉頬移行部癌	有	1	57.0	49.0						1			
C061	口腔前庭癌	有	1	68.0	37.0							1		
C080	顎下腺癌	有	3	78.7	17.7							1	2	
		無	1	71.0	3.0							1		
C102	中咽頭側壁癌	有	10	61.7	55.1						5	5		
		無	8	50.3	12.8						7	1		
C103	中咽頭後壁癌	有	3	72.3	28.7						1	1	1	
C108	中咽頭上壁癌	有	2	71.5	36.5							2		
		無	1	68.0	46.0							1		
C109	中咽頭癌	有	1	83.0	6.0								1	
C109	中咽頭癌の術後	有	1	68.0	68.0							1		
C12	梨状陥凹癌	有	5	67.8	39.6						1	4		
		無	6	69.0	7.5							6		
C130	輪状後部癌	有	3	76.3	26.0							2	1	
		無	5	67.6	18.6							5		
C131	下咽頭披裂喉頭蓋ひだ癌	有	1	55.0	10.0						1			
C132	下咽頭後部癌	有	4	75.0	10.3							3	1	
		無	4	79.8	8.8							2	2	
C150	頸部食道癌	有	11	73.9	40.4							9	2	
		無	10	72.4	8.0							8	2	
C151	胸部下部食道癌	有	18	69.9	21.6						4	10	4	
		無	15	69.5	11.2						2	12	1	
C151	胸部上部食道癌	有	14	64.4	27.3						5	9		
		無	22	66.3	11.0						7	14	1	
C151	胸部食道悪性黒色腫	有	1	65.0	21.0							1		
C151	胸部食道癌	有	15	71.6	21.7						1	12	2	
		無	20	68.8	9.6						2	17	1	
C151	胸部中部食道癌	有	40	67.8	18.4					2	3	30	5	
		無	47	66.0	11.0					4	4	37	2	
C152	腹部食道癌	無	1	56.0	11.0						1			
C154	中部食道癌	有	2	75.0	39.0							1	1	
		無	2	82.5	9.0							1	1	
C155	下部食道癌	有	1	74.0	9.0							1		
C158	食道胃接合部癌	有	13	73.7	21.3						2	5	6	
		無	4	63.0	20.3						2	2		
C160	噴門癌	有	13	78.2	20.6							8	5	
		無	4	76.3	7.3							2	2	
C160	噴門食道接合部癌	有	1	88.0	14.0								1	
		無	4	68.8	8.8							3	1	
C161	胃底部癌	有	1	62.0	7.0							1		
C162	胃体部癌	有	108	72.8	10.9						3	14	57	34
		無	13	70.2	7.3						1	1	8	3
C163	胃前庭部癌	有	35	77.4	11.9						2	18	15	
		無	5	56.8	6.2						4		1	
C163	幽門前庭部癌	有	3	77.0	28.0							1	2	
C164	胃幽門部癌	有	4	81.8	18.5							2	2	
C165	胃小弯部癌	有	2	71.5	9.0							2		
C166	胃大弯部癌	有	1	69.0	8.0							1		
C169	胃癌	有	1	93.0	7.0									1
C169	胃消化管間質腫瘍	有	2	84.0	9.0									2
C169	胃神経内分泌細胞癌	無	3	67.0	5.0								3	
C169	早期胃癌の疑い	有	1	44.0	3.0						1			
C169	穹隆部胃癌	無	3	88.0	7.0									3
C170	十二指腸癌	有	6	69.5	31.8							2	2	2
		無	1	67.0	6.0								1	
C170	十二指腸癌の疑い	無	1	47.0	2.0						1			
C170	十二指腸消化管間質腫瘍	有	1	90.0	11.0									1
C170	十二指腸神経内分泌癌	有	1	81.0	11.0									1
C171	空腸GIST(悪性)	有	1	61.0	9.0								1	
C171	空腸癌	有	2	65.0	21.0								2	
C171	空腸消化管間質腫瘍	有	1	69.0	11.0								1	
C180	回盲部癌	有	1	90.0	25.0									1
C180	盲腸癌	有	17	73.9	14.1							1	13	3
		無	3	65.3	12.7							1	2	
C181	悪性虫垂粘液癌	有	1	49.0	12.0							1		
C181	虫垂癌	有	1	76.0	11.0								1	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C182	上行結腸癌	有	46	77.8	14.7						4	20	22
C182	上行結腸癌の疑い	無	7	72.0	10.1						1	4	2
C184	横行結腸癌	有	22	69.7	15.7					2	3	11	6
C184	横行結腸癌	無	6	69.8	12.7						1	4	1
C186	下行結腸癌	有	13	76.8	13.6						1	6	6
C187	S状結腸癌	有	33	71.2	13.8						3	27	3
C187	S状結腸癌	無	1	68.0	2.0							1	
C19	直腸S状部癌	有	44	68.6	15.3						9	27	8
C19	直腸S状部結腸癌	無	4	73.3	15.0							4	
C19	直腸S状部結腸癌	有	2	63.5	8.5						1	1	
C20	直腸カルチノイド	有	3	70.7	7.0							3	
C20	直腸悪性黒色腫	有	1	75.0	17.0							1	
C20	直腸癌	有	128	68.6	14.9					1	30	80	17
C20	直腸癌	無	7	69.9	18.4						2	5	
C20	直腸癌術後再発	有	2	68.5	24.0							2	
C20	直腸神経内分泌腫瘍	有	3	41.3	5.7					2	1		
C20	直腸神経内分泌腫瘍	無	1	68.0	38.0							1	
C211	肛門管癌	有	1	83.0	54.0								1
C211	肛門管癌	無	1	83.0	54.0								1
C220	肝癌	有	3	71.3	7.7							3	
C220	肝細胞癌	有	57	76.0	6.4						2	36	19
C220	肝細胞癌	無	5	79.4	17.4							3	2
C221	肝内胆管癌	有	5	70.0	17.0						1	2	2
C221	肝内胆管癌	無	6	65.5	7.8						3	2	1
C223	肝血管肉腫	有	1	82.0	19.0								1
C227	肝のう胞腺癌	有	1	69.0	12.0							1	
C23	胆のう癌	有	15	75.7	12.5							13	2
C23	胆のう癌	無	4	70.5	6.0						1	2	1
C23	胆のう癌の疑い	無	2	57.5	2.0						1	1	
C23	胆嚢癌	有	1	68.0	28.0							1	
C240	遠位胆管癌	有	13	77.0	30.1							8	5
C240	下部胆管癌	有	5	73.8	24.2							4	1
C240	下部胆管癌の疑い	有	2	69.0	4.0							2	
C240	下部胆管癌の疑い	無	2	71.5	3.0							2	
C240	肝外胆管癌	有	3	74.3	10.0							3	
C240	近位胆管癌	有	4	61.0	13.5							4	
C240	胆のう管癌	有	9	64.7	8.4						5	4	
C240	胆のう管癌	無	1	70.0	3.0							1	
C240	胆管癌	有	2	93.0	11.0								2
C241	十二指腸乳頭部癌	有	3	71.0	40.0							2	1
C241	十二指腸乳頭部癌	無	1	60.0	2.0						1		
C248	肝門部胆管癌	有	15	73.9	13.1						1	9	5
C248	肝門部胆管癌	無	1	80.0	8.0								1
C250	膵頭部癌	有	91	71.4	11.2						11	65	15
C250	膵頭部癌	無	8	71.1	5.5							7	1
C250	膵鉤部膵頭部癌	有	1	79.0	14.0							1	
C251	膵体部癌	有	17	75.2	16.7							14	3
C251	膵体部癌	無	3	71.0	3.0						1	1	1
C251	膵体部癌の疑い	無	2	72.5	2.0							1	1
C252	膵尾部癌	有	7	78.4	19.4							5	2
C252	膵尾部癌	無	6	73.5	5.5							4	2
C252	膵尾部癌の疑い	無	3	62.0	2.0						2	1	
C253	膵管内管状腺癌の疑い	無	2	69.5	2.0							2	
C253	膵管内乳頭粘液性腺癌	有	6	75.8	35.2							3	3
C253	膵管内乳頭粘液性腺癌	無	2	66.0	2.0							2	
C258	膵体尾部癌	有	2	66.5	17.5						1		1
C258	膵体尾部癌	無	4	68.8	7.0						2	1	1
C259	膵癌の疑い	無	2	73.5	2.0							2	
C300	鼻腔悪性黒色腫	無	3	73.0	14.0							3	
C300	鼻腔癌	有	2	40.0	15.5					1	1		
C310	上顎癌	有	1	69.0	13.0							1	
C310	上顎癌	無	2	71.0	24.5							2	
C310	上顎洞癌	有	1	68.0	75.0							1	
C320	声門癌	有	5	68.0	28.2						1	3	1
C320	声門癌	無	2	71.0	12.0						1		1
C321	声門上癌	有	3	56.3	44.7						2	1	
C321	声門上癌	無	2	73.0	21.5							2	
C33	気管癌	有	1	70.0	51.0							1	
C33	気管癌	無	2	70.0	2.0							2	
C340	肺門部小細胞癌	有	1	67.0	30.0							1	
C340	肺門部小細胞癌	無	3	67.0	6.3							3	
C340	肺門部肺癌	無	4	73.8	11.5							4	
C341	パンコースト腫瘍(肺尖部浸潤肺癌)	有	1	59.0	9.0						1		
C341	パンコースト腫瘍(肺尖部浸潤肺癌)	無	1	59.0	2.0						1		
C341	上葉小細胞肺癌	有	8	80.3	11.1							3	5
C341	上葉小細胞肺癌	無	11	78.1	5.7							6	5
C341	上葉小細胞肺癌術後再発	無	2	67.0	8.0							2	
C341	上葉肺癌	有	57	69.9	10.7					1	9	38	9
C341	上葉肺癌	無	60	69.5	8.3						13	37	10
C341	上葉肺癌の疑い	無	33	70.3	2.1						6	20	7

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C341	上葉肺腺癌	有	4	72.8	13.0							3	1
		無	1	78.0	26.0							1	
C341	上葉肺扁平上皮癌	有	2	67.5	12.0						1	1	
		無	2	70.0	13.0						1		1
C341	上葉非小細胞肺癌	有	2	59.0	25.0						1	1	
		無	13	71.9	10.5						1	10	2
C341	上葉非小細胞肺癌の疑い	無	1	75.0	2.0							1	
C341	肺上葉腺癌	無	1	65.0	27.0							1	
C342	中葉肺癌	有	9	72.2	8.3						2	4	3
		無	4	72.5	8.8							3	1
C342	中葉肺癌の疑い	無	2	77.0	2.0							1	1
C343	下葉小細胞肺癌	無	7	75.1	9.0							7	
C343	下葉肺癌	有	44	71.6	9.9					1	2	33	8
		無	51	71.4	7.7					1	7	32	11
C343	下葉肺癌の疑い	無	29	72.8	2.1						3	19	7
C343	下葉肺癌の再発	無	1	75.0	44.0							1	
C343	下葉肺腺癌	有	1	65.0	24.0							1	
		無	4	60.8	11.0						2	2	
C343	下葉肺扁平上皮癌	無	1	88.0	7.0								1
C343	下葉非小細胞肺癌	有	8	63.4	23.6						4	3	1
		無	13	64.9	7.9						3	10	
C349	肺癌の疑い	無	2	69.0	2.0								2
C37	胸腺癌	有	2	48.5	16.5					1	1		
		無	6	57.8	10.0					1	3	2	
C37	胸腺癌の疑い	無	1	75.0	2.0							1	
C37	浸潤型胸腺腫	有	4	71.5	7.3							4	
C383	悪性縦隔腫瘍	有	4	61.5	4.8						2	1	1
C383	縦隔癌の疑い	無	1	68.0	2.0							1	
C411	下顎骨悪性腫瘍	有	1	57.0	66.0						1		
C413	肋骨軟骨肉腫	有	1	55.0	9.0						1		
C414	坐骨悪性腫瘍	無	5	50.0	5.2						5		
C433	鼻中隔鼻部悪性黒色腫	有	1	74.0	31.0							1	
C437	足部悪性黒色腫	有	2	81.0	22.0								2
C441	外眼角皮膚癌	有	1	51.0	10.0						1		
C442	外耳道癌	有	1	81.0	52.0								1
C442	再発耳介有棘細胞癌	有	1	87.0	30.0								1
C442	耳介有棘細胞癌	有	3	83.7	13.3								3
C443	顔面有棘細胞癌	有	1	80.0	9.0								1
C443	鼻部基底細胞癌	有	1	70.0	6.0							1	
C443	鼻翼基底細胞癌	有	2	79.0	7.0							2	
C443	頬部メルケル細胞癌	有	1	81.0	10.0								1
C445	腹部隆起性皮膚線維肉腫	有	1	37.0	10.0					1			
C447	下腿有棘細胞癌	有	1	75.0	15.0							1	
C450	悪性胸膜中皮腫	無	3	73.0	5.7							3	
C450	悪性胸膜中皮腫の疑い	無	1	88.0	2.0								1
C480	後腹膜悪性腫瘍	有	1	67.0	9.0							1	
C480	後腹膜脂肪肉腫	有	2	68.0	9.5						1	1	
C482	腹膜癌	無	1	52.0	4.0						1		
C490	頭部軟部組織悪性腫瘍	無	8	47.0	2.0						8		
C490	頬部横紋筋肉腫	有	2	53.0	3.0						2		
		無	1	53.0	3.0						1		
C491	上腕悪性軟部腫瘍	有	1	81.0	36.0								1
C491	前腕悪性軟部腫瘍	有	1	85.0	4.0								1
C492	下腿悪性軟部腫瘍	有	1	92.0	7.0								1
C492	足部悪性軟部腫瘍	無	1	74.0	7.0							1	
C492	大腿悪性軟部腫瘍	有	3	64.7	17.7						1	1	1
C492	大腿部脂肪肉腫	有	2	59.5	14.5						1	1	
C492	膝部悪性軟部腫瘍	無	1	55.0	10.0						1		
C494	腹部悪性軟部腫瘍	無	2	61.0	3.0							2	
C495	骨盤部悪性軟部腫瘍	無	1	63.0	2.0							1	
C495	殿部悪性軟部腫瘍	有	1	77.0	16.0							1	
C495	鼠径部悪性軟部腫瘍	有	4	39.0	9.3					4			
		無	2	39.0	8.0					2			
C501	乳房中央部乳癌	有	6	65.5	10.0						2	4	
		無	3	63.0	14.3							3	
C502	乳房上内側部乳癌	有	12	58.8	7.4						8	4	
		無	6	60.2	10.3						3	3	
C503	乳房下内側部乳癌	有	4	44.3	8.3					1	3		
		無	1	82.0	5.0								1
C504	乳房上外側部乳癌	有	35	63.0	7.4					2	10	21	2
		無	7	60.6	9.4						3	4	
C505	乳房下外側部乳癌	有	18	61.4	7.2					1	9	6	2
		無	2	67.5	3.0							2	
C509	乳癌	無	3	78.3	8.7							2	1
C519	外陰癌	無	5	80.4	5.0								5
C530	子宮頸管癌	有	1	50.0	3.0						1		
C531	子宮腔部癌	有	5	57.6	7.8					2		3	
		無	6	54.7	7.0					3		3	
C539	子宮頸部腺癌	有	3	62.3	7.0						2		1
		無	1	53.0	1.0						1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C541	再発子宮内膜癌	無	1	65.0	3.0							1	
C541	子宮内膜癌	有	18	63.6	9.8						7	10	1
C541	子宮内膜癌の疑い	有	6	63.3	3.0					1	7	21	6
C549	子宮癌肉腫	有	1	64.0	9.0							1	
C549	子宮体癌の疑い	有	5	64.2	3.0							5	
C549	子宮体部悪性腫瘍	有	3	61.3	3.3						2		1
C56	再発卵巣癌	有	1	78.0	8.0							1	
C56	卵巣悪性腫瘍	有	2	64.0	3.0							2	
C56	卵巣癌	無	2	67.0	3.5							2	
C56	卵巣肉腫	無	2	45.0	5.5						2		
C56	卵巣明細胞腺癌	有	22	61.6	9.7						13	7	2
C56	卵巣肉腫	無	74	64.2	5.3						29	39	6
C56	卵巣明細胞腺癌	無	3	53.0	3.0						3		
C56	卵巣明細胞腺癌	有	2	51.0	7.5						2		
C570	術後卵管癌	有	1	62.0	3.0							1	
C570	卵管癌	無	2	60.0	9.0						2		
C570	卵管癌術後再発	有	5	70.8	7.2						1	3	1
C570	卵管癌術後再発	無	8	73.9	6.1							8	
C61	去勢抵抗性前立腺癌	無	1	81.0	9.0								1
C61	前立腺癌	有	9	77.1	14.1							6	3
C61	前立腺癌	無	6	76.8	11.2							4	2
C61	前立腺癌の疑い	有	27	73.7	10.3						2	19	6
C61	前立腺癌の疑い	無	6	78.7	6.2							3	3
C629	精巣悪性腫瘍	無	80	72.5	2.0						7	58	15
C64	腎芽腫	有	1	79.0	6.0							1	
C64	腎癌	無	2	2.0	12.5	2							
C64	腎癌	有	21	68.2	10.0					1	4	12	4
C64	腎癌の疑い	無	8	74.6	7.1							6	2
C64	腎細胞癌	有	1	65.0	2.0							1	
C64	腎細胞癌	無	3	63.0	10.0						2		1
C65	腎盂癌	有	2	66.0	3.5						1		1
C65	腎盂癌	無	5	77.2	10.6							3	2
C65	腎盂尿路上皮癌	有	8	76.9	21.6							4	4
C66	尿管癌	有	1	68.0	44.0							1	
C66	尿管癌	無	5	76.8	11.2							2	3
C66	尿管癌の疑い	有	7	74.7	7.6							4	3
C66	尿管癌の疑い	無	1	89.0	4.0								1
C670	膀胱三角部膀胱癌	有	1	86.0	5.0								1
C670	膀胱三角部膀胱癌	無	5	76.8	6.8						1	2	2
C671	膀胱円蓋部膀胱癌	有	6	77.2	11.5							5	1
C671	膀胱円蓋部膀胱癌	無	2	78.0	8.0							2	
C672	膀胱側壁部膀胱癌	有	18	74.4	8.3						2	10	6
C672	膀胱側壁部膀胱癌	無	2	61.0	11.5						1	1	
C673	膀胱前壁部膀胱癌	有	4	71.0	29.8							4	
C673	膀胱前壁部膀胱癌	無	1	70.0	20.0							1	
C674	膀胱後壁部膀胱癌	有	20	73.9	11.5							14	6
C674	膀胱後壁部膀胱癌	無	3	65.3	10.0							3	
C675	膀胱頸部膀胱癌	有	5	79.8	10.6							3	2
C675	膀胱頸部膀胱癌	無	3	77.0	13.0							3	
C676	尿管口部膀胱癌	有	9	73.7	7.9						1	6	2
C676	尿管口部膀胱癌	無	1	79.0	12.0							1	
C679	膀胱癌	有	1	78.0	1.0							1	
C679	膀胱癌の疑い	有	1	57.0	4.0						1		
C679	膀胱癌の疑い	無	1	78.0	4.0							1	
C700	蝶形骨縁悪性髄膜腫	有	1	75.0	20.0							1	
C700	蝶形骨縁悪性髄膜腫	無	2	75.0	13.5							2	
C711	前頭葉悪性星状細胞腫	有	2	44.0	7.0						2		
C716	小脳毛様細胞性星状細胞腫	有	1	43.0	73.0						1		
C718	脳梁膠芽腫	有	1	82.0	66.0								1
C73	甲状腺髄様癌	有	1	87.0	4.0								1
C73	甲状腺髄様癌	無	1	87.0	9.0								1
C73	甲状腺乳頭癌	有	43	63.4	5.0					2	18	16	7
C73	甲状腺乳頭癌	無	5	74.6	7.6					1		1	3
C73	甲状腺未分化癌	有	2	74.5	5.0							2	
C753	松果体悪性腫瘍	有	1	10.0	14.0			1					
C770	鎖骨リンパ節転移	有	6	74.5	9.0							3	3
C770	鎖骨上リンパ節転移	有	1	72.0	2.0							1	
C772	胃周囲リンパ節転移	有	1	74.0	7.0							1	
C772	後腹膜リンパ節転移	有	1	52.0	8.0						1		
C772	大動脈周囲リンパ節転移	有	3	63.3	9.0							3	
C773	鎖骨下リンパ節転移	有	1	73.0	9.0							1	
C773	腋窩リンパ節転移	有	1	76.0	6.0							1	
C780	転移性肺腫瘍	有	33	67.9	7.6					3	1	23	6
C780	転移性肺腫瘍	無	1	73.0	4.0							1	
C782	癌性胸水	有	1	74.0	12.0							1	
C782	癌性胸膜炎	有	2	71.5	18.0							1	1
C782	癌性胸膜炎の疑い	有	1	69.0	5.0							1	
C785	転移性大腸癌	有	1	74.0	26.0							1	
C785	転移性大腸癌	無	1	74.0	11.0							1	
C786	癌性腹水	有	2	76.0	6.0							1	1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C786	癌性腹膜炎	有	1	53.0	8.0						1		
C786	癌性腹膜炎の疑い	有	2	74.0	6.5							1	1
C786	腹膜播種	有	1	75.0	4.0							1	
C786		無	1	67.0	10.0								
C786		無	1	80.0	5.0								1
C787	転移性肝癌	有	23	69.6	11.8						4	16	3
C787		無	4	72.0	8.0							3	1
C787	転移性肝腫瘍	有	12	69.0	14.6						1	10	1
C787		無	6	72.3	2.7						1	3	2
C787	転移性肝腫瘍の疑い	有	1	73.0	2.0							1	
C788	転移性膝癌	有	2	84.0	17.0								2
C788	転移性膝腫瘍	有	1	84.0	22.0								1
C793	癌性髄膜炎	有	1	73.0	2.0							1	
C793	癌性髄膜炎の疑い	有	1	72.0	47.0							1	
C793	多発転移性脳腫瘍	有	2	69.0	17.0							2	
C793		無	3	64.3	34.0						2	1	
C793		無	12	70.4	10.6						3	6	3
C795	遠位大腿骨転移性骨腫瘍	有	1	63.0	26.0							1	
C795	胸椎転移	有	1	62.0	17.0							1	
C795	頸椎転移	有	1	63.0	32.0							1	
C795	腰椎転移	有	1	82.0	14.0								1
C795		無	2	69.5	21.0							2	
C795	骨転移癌	有	1	85.0	9.0								1
C795	腫瘍性大腿骨病的骨折	有	1	57.0	17.0						1		
C795	食道癌骨転移	有	1	62.0	38.0							1	
C795	脊椎転移	有	3	81.0	29.3							1	2
C795	脊椎転移の疑い	有	1	70.0	2.0							1	
C795	前立腺癌骨転移	有	1	79.0	28.0							1	
C795	多発性脊椎転移	有	1	62.0	21.0							1	
C795	多発性転移性骨腫瘍	有	1	47.0	3.0						1		
C795	大腿骨転移性骨腫瘍	有	2	81.0	18.5								1
C795	転移性胸椎腫瘍	有	3	66.7	23.7							3	
C795	転移性腰椎腫瘍の疑い	有	1	73.0	2.0							1	
C795		無	3	73.7	20.0							2	1
C795	転移性骨腫瘍	有	1	61.0	24.0							1	
C796	転移性卵巣癌	有	1	70.0	9.0							1	
C797	副腎転移	有	1	71.0	8.0							1	
C798	転移性胸壁腫瘍	有	2	54.0	8.0						2		
C800	原発不明癌	有	2	72.5	7.0							2	
C800		無	1	68.0	7.0							1	
C800	原発不明癌の疑い	有	1	62.0	2.0							1	
C809	神経内分泌細胞癌	有	2	78.0	6.0							2	
C811	結節硬化型古典的ホジキンリンパ腫	有	5	54.4	21.0						5		
C811		無	1	49.0	6.0						1		
C811	再発結節硬化型ホジキン病	有	1	49.0	2.0						1		
C812	混合細胞型古典的ホジキンリンパ腫	有	5	74.8	30.6							5	
C812		無	1	68.0	22.0							1	
C817	古典的ホジキンリンパ腫	有	1	65.0	25.0							1	
C817		無	1	65.0	22.0							1	
C820	濾胞性リンパ腫・グレード1	有	5	69.2	17.4						2	2	1
C820		無	8	72.3	8.6						2	3	3
C821	濾胞性リンパ腫・グレード2	有	3	70.0	24.7						1	2	
C821		無	9	59.1	8.1						6	1	2
C823	濾胞性リンパ腫・グレード3 a	有	5	74.8	20.6							4	1
C823		無	10	79.5	5.7						1	4	5
C829	濾胞性リンパ腫の再発	有	1	72.0	4.0							1	
C830	リンパ形質細胞性リンパ腫	有	4	70.3	41.3							4	
C830		無	1	71.0	9.0							1	
C830	小リンパ球性リンパ腫	有	1	73.0	25.0							1	
C830		無	1	73.0	70.0							1	
C831	マンテル細胞リンパ腫	有	4	70.8	26.5							4	
C831		無	2	55.5	5.5						1	1	
C831	マンテル細胞リンパ腫の再発	有	2	69.5	17.5							2	
C831		無	3	68.0	5.7							3	
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	91	71.5	20.6						15	56	20
C833		無	102	74.3	9.1						16	49	37
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の再燃	有	6	65.0	18.2							6	
C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の再発	有	12	52.0	22.3						5	1	6
C833		無	1	29.0	19.0						1		
C833	甲状腺びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	87.0	18.0								1
C833		無	1	87.0	5.0								1
C833	高齢者EBV陽性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	7	78.1	15.1						2		5
C833		無	6	59.3	7.3						5	1	
C833	中枢神経系原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	1	80.0	55.0								1
C833	難治性びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	有	2	83.0	13.5								2
C833	皮膚原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫・下肢型	有	1	69.0	7.0							1	
C835	Tリンパ芽球性リンパ腫	有	1	11.0	11.0				1				
C837	バーキットリンパ腫	有	1	44.0	45.0						1		
C837		無	4	44.0	17.3						4		
C838	びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能B細胞性リンパ腫	有	1	67.0	9.0							1	
C838		無	4	58.0	27.0						4		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
C838	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	有	7	65.7	22.0						1	6	
		無	6	67.5	7.2						1	5	
C844	CCR4陽性末梢性T細胞リンパ腫	無	1	83.0	24.0								1
C844	末梢性T細胞リンパ腫	有	13	71.2	25.4							13	
		無	6	69.5	16.5							6	
C847	ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	有	1	74.0	31.0							1	
		無	1	71.0	5.0							1	
C851	CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	有	2	78.5	36.5							1	1
		無	5	85.0	12.8								5
C859	悪性リンパ腫	有	1	60.0	5.0						1		
		無	1	74.0	2.0							1	
C859	悪性リンパ腫の疑い	有	1	54.0	3.0						1		
C859	甲状腺悪性リンパ腫	無	1	76.0	3.0							1	
C859	小腸悪性リンパ腫	無	1	67.0	7.0							1	
C862	腸管症関連T細胞リンパ腫	有	8	73.3	22.8							8	
C865	血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	有	6	77.2	28.3							3	3
		無	2	70.0	17.5							2	
C884	MALTリンパ腫	有	2	69.0	12.5							2	
C884	直腸MALTリンパ腫	有	2	82.0	14.0								2
C900	ベンズジョーンズ型多発性骨髄腫	有	5	74.6	25.2							5	
		無	4	74.8	26.0							4	
C900	多発性骨髄腫	有	36	72.2	28.5							32	4
		無	34	74.0	18.1							24	10
C900	難治性多発性骨髄腫	有	2	73.5	22.5							2	
C902	骨外形質細胞腫	有	1	69.0	24.0							1	
C903	孤立性骨形質細胞腫	無	1	83.0	18.0								1
C910	E2A-PBX1陽性Bリンパ芽球性白血病	有	1	1.0	87.0	1							
		無	6	1.0	4.5	6							
C910	Ph陽性急性リンパ性白血病	有	8	42.4	36.0					5	3		
		無	9	43.6	19.0					5	4		
C910	Tリンパ芽球性白血病	無	1	8.0	39.0	1							
C910	Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫	無	1	32.0	5.0					1			
C910	急性リンパ性白血病	有	1	24.0	70.0					1			
		無	2	56.5	24.5						2		
C910	小児急性リンパ性白血病	有	1	8.0	93.0			1					
		無	5	8.0	4.8			5					
C911	慢性リンパ性白血病	有	1	83.0	17.0								1
		無	4	83.3	6.3								4
C915	CCR4陽性成人T細胞白血病リンパ腫	有	12	69.3	22.7							12	
		無	7	70.3	9.3							7	
C915	CD30陽性成人T細胞白血病リンパ腫・リンパ腫型	有	3	76.0	23.7							3	
		無	1	76.0	15.0							1	
C915	再発成人T細胞白血病リンパ腫	有	4	75.0	29.3							4	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫	有	4	63.0	79.3						2	2	
		無	2	76.5	9.0							2	
C915	成人T細胞白血病リンパ腫・急性型	有	3	70.3	16.7							3	
		無	1	70.0	22.0							1	
C920	FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病	有	1	74.0	27.0							1	
C920	急性骨髄性白血病	有	51	62.1	53.1		1	4	3	9	29	5	
		無	25	72.0	8.1				1	1	21	2	
C920	急性骨髄性白血病・最未分化型	有	2	86.0	26.0							2	
		無	1	86.0	21.0							1	
C920	急性骨髄性白血病の再発	有	7	86.7	17.1							7	
		無	1	86.0	12.0							1	
C920	難治性FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病	有	1	74.0	27.0							1	
C920	難治性急性骨髄性白血病	有	1	84.0	40.0								1
C920	分化型急性骨髄性白血病(M2)	有	4	62.3	140.5					1		3	
		無	4	62.5	12.5						2	2	
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)	有	2	47.5	85.0			1					1
		無	7	74.1	18.6			1					6
C920	未分化型急性骨髄性白血病(M1)の再発	有	1	9.0	148.0			1					
C921	慢性骨髄性白血病	無	2	74.0	15.0							2	
C921	慢性骨髄性白血病慢性期	有	4	66.5	10.3					1	1		2
C922	非定型慢性骨髄性白血病	有	1	65.0	26.0							1	
C923	顆粒球肉腫	無	10	67.4	5.6							10	
C924	急性前骨髄球性白血病	有	4	56.0	36.0						2	2	
		無	7	44.1	25.6			3				4	
C924	難治性急性前骨髄球性白血病	有	2	70.0	38.5							2	
		無	3	71.0	24.7							3	
C928	骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	有	26	72.3	29.9						1	22	3
		無	4	72.8	15.0						1	3	
C928	難治性骨髄異形成関連変化を伴う急性骨髄性白血病	有	4	74.8	71.5							4	
C930	再発性急性単球性白血病	有	2	88.0	32.0								2
D047	大腿ポージェン病	有	1	61.0	10.0							1	
D061	子宮腔部上皮内癌	有	1	63.0	3.0							1	
D069	子宮頸部上皮内癌	有	2	47.0	4.5						2		
D069	子宮頸部上皮内腫瘍・異型度3	有	44	41.3	3.6						27	14	2
D117	顎下腺多形腺腫	有	1	38.0	6.0						1		1
D122	上行結腸腺腫	有	1	40.0	11.0						1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D123	横行結腸腺腫	有	1	75.0	2.0								1	
D124	下行結腸腺腫	有	1	70.0	2.0								1	
D125	S状結腸腺腫	有	2	77.5	6.0								2	
D126	大腸腺腫	有	1	80.0	6.0									1
D128	直腸腺腫	有	2	74.5	8.0								1	1
D131	胃腺腫	有	11	66.4	5.7					2			8	1
D132	十二指腸腺腫	有	3	73.7	5.7						1		1	1
		有	1	75.0	8.0								1	
		無	1	85.0	3.0									1
D135	十二指腸乳頭部腺腫	有	1	69.0	4.0								1	
D135	胆のう腺筋腫	有	3	61.7	5.7						2		1	
		有	1	73.0	3.0								1	
D136	膵管内乳頭粘液性腺腫	有	2	74.5	25.0								1	1
D140	副鼻腔乳頭腫	有	1	71.0	4.0								1	
D141	喉頭乳頭腫	有	1	59.0	3.0						1			
D143	肺良性腫瘍	有	8	64.3	7.3						2		6	
		有	1	75.0	23.0								1	
		無	2	75.0	7.5								2	
D150	胸腺腫	有	1	80.0	23.0									1
D151	左心房粘液腫	有	1	0.0	26.0	1								
D151	心臓横紋筋腫	無	1	10.0	3.0			1						
D160	上腕骨近位部良性骨腫瘍	有	1	12.0	3.0			1						
D160	上腕骨骨幹部良性骨腫瘍	有	1	14.0	3.0			1						
D162	脛骨近位部良性骨腫瘍	有	1	18.0	5.0			1						
D162	脛骨骨幹部良性骨腫瘍	有	1	47.0	3.0						1			
D163	趾基節骨内軟骨腫	有	1	87.0	6.0									1
D164	上顎骨良性腫瘍	有	1	10.0	4.0			1						
D164	上顎歯牙腫	有	2	56.0	9.0					1				1
D165	下顎エナメル上皮腫	有	2	55.0	4.0						2			
D170	頸部脂肪腫	有	2	60.5	5.0						1		1	
D171	背部脂肪腫	有	1	29.0	4.0						1			
D171	腹部脂肪腫	有	1	57.0	5.0							1		
D172	上肢脂肪腫	有	2	71.0	4.5								2	
D172	大腿脂肪腫	有	1	45.0	4.0								1	
D174	胸腔内脂肪腫	有	1	41.0	21.0							1		
D180	海綿状血管腫	有	1	73.0	9.0								1	
D180	肝血管腫	有	1	79.0	11.0								1	
D180	肝硬化性血管腫	有	1	29.0	4.0					1				
D180	手関節海綿状血管腫	有	1	11.0	3.0			1						
D180	背部筋肉内血管腫	有	1	16.0	6.0				1					
D180	肘部海綿状血管腫	有	1	1.0	5.0	1								
D181	リンパ管腫の疑い	無	1	81.0	2.0	1								1
D181	頸部のう胞性リンパ管腫	無	1	1.0	3.0	1								
D181	頸部のう胞性リンパ管腫の疑い	有	1	54.0	3.0							1		
D211	上腕良性軟部腫瘍	有	1	34.0	3.0						1			
D212	下腿良性軟部腫瘍	有	1	42.0	4.0						1			
D212	大腿良性軟部腫瘍	有	1	69.0	2.0								1	
D212	膝部良性軟部腫瘍	有	1	77.0	16.0								1	
D213	肩甲下部弾性線維腫	有	1	72.0	4.0								1	
D215	骨盤部良性軟部腫瘍の疑い	有	2	39.5	6.0					1	1			
D215	殿部良性軟部腫瘍	有	1	10.0	3.0			1						
D223	顔面脂腺母斑	有	3	4.0	3.0	1	1	1						
D224	頭部脂腺母斑	有	1	1.0	3.0	1								
D226	前腕母斑細胞母斑	有	1	2.0	3.0	1								
D227	足趾母斑	有	1	7.0	3.0			1						
D233	頬部石灰化上皮腫	有	1	11.0	3.0			1						
D234	頸部皮膚良性腫瘍	有	1	73.0	6.0								1	
D235	殿部皮膚良性腫瘍	有	1	47.0	3.0								1	
D24	乳管内乳頭腫	有	16	44.4	4.5					8	7		1	
D250	子宮粘膜下筋腫	有	15	42.6	5.9					5	10			
D251	子宮筋層内筋腫	有	1	46.0	6.0						1			
		無	22	44.6	6.5					5	17			
D251	壁内子宮平滑筋腫	有	2	48.5	7.5						1			
D252	子宮漿膜下筋腫	有	1	40.0	7.0						2			
D252	有茎性漿膜下子宮筋腫	有	14	42.7	6.4					6	8			
		有	2	39.0	8.5					2				
D259	巨大子宮筋腫	有	1	68.0	8.0								1	
D259	子宮筋腫	有	3	40.7	5.7					2	1			
D259	子宮頸部筋腫	有	1	39.0	8.0					1				
D27	卵巣のう腫	有	18	42.9	5.5					9	8			1
		無	1	27.0	3.0					1				
D27	卵巣のう腫破裂	有	1	29.0	5.0					1				
D27	卵巣ブレンナー腫瘍	有	1	36.0	6.0					1				
D27	卵巣奇形腫	有	10	41.1	5.8					6	3		1	
D27	卵巣腫瘍茎捻転	有	1	17.0	5.0			1						
D27	卵巣成熟のう胞性奇形腫	有	5	26.8	5.0			1	1	3				
D27	卵巣成熟奇形腫	有	1	27.0	4.0					1				
D27	卵巣線維腫	有	1	74.0	7.0								1	
D27	卵巣粘液性腺腫	有	4	66.8	7.0								4	
D27	卵巣良性腫瘍	有	2	55.0	6.5						1		1	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D27	卵巣漿液性腺腫	有	2	67.0	5.0								2	
D27	卵巣茨膜細胞腫	有	1	79.0	7.0								1	
D320	小脳テント髄膜腫	有	1	83.0	47.0									1
D320	前頭髄膜腫	有	1	82.0	39.0									1
D320	大脳鎌髄膜腫	無	1	72.0	6.0								1	
D321	脊髄硬膜内髄外髄膜腫	有	1	76.0	15.0								1	
D350	副腎のう腫	無	1	0.0	14.0	1								
D350	副腎腺腫	有	1	73.0	7.0								1	
D352	下垂体腺腫	有	4	45.8	9.0					2			2	
D352	下垂体腺腫	無	1	75.0	6.0								1	
D352	非機能性下垂体腺腫	有	1	72.0	9.0								1	
D361	胸壁神経鞘腫	有	1	58.0	7.0						1			
D370	顎下腺腫瘍	有	2	60.5	5.5						1		1	
D370	耳下腺腫瘍	有	9	52.1	5.9		1			2	3	3		
D370	副咽頭間隙腫瘍	有	2	54.0	6.0					1			1	
D371	胃粘膜下腫瘍	有	6	70.3	8.8					1	1	1	1	3
D371	胃粘膜下腫瘍	無	2	60.5	2.0						1	1	1	
D372	小腸腫瘍	有	1	70.0	9.0								1	
D372	小腸腫瘍の疑い	無	1	61.0	3.0								1	
D373	虫垂腫瘍	有	8	69.5	6.3						2	5	1	
D374	横行結腸粘膜下腫瘍	有	1	50.0	2.0						1			
D374	盲腸腫瘍	有	1	44.0	8.0						1			
D375	直腸腫瘍	有	1	52.0	6.0						1			
D376	肝腫瘍	無	1	70.0	2.0								1	
D376	十二指腸乳頭部腫瘍	無	1	40.0	2.0					1				
D376	胆のう腫瘍	有	1	80.0	7.0									1
D376	胆管腫瘍	有	1	70.0	5.0								1	
D376	胆管内乳頭状腫瘍	有	2	74.0	23.5								2	
D376	胆管内乳頭状腫瘍	無	1	72.0	4.0								1	
D376	胆管内乳頭状腫瘍の疑い	無	1	78.0	3.0								1	
D377	インスリノーマ	有	1	78.0	35.0								1	
D377	インスリノーマ	無	1	78.0	3.0								1	
D377	インスリノーマの疑い	無	1	52.0	2.0						1			
D377	膵管内管状腫瘍	無	1	77.0	2.0								1	
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍	有	1	54.0	2.0						1			
D377	膵管内乳頭粘液性腫瘍	無	12	71.2	2.1						1	9	2	
D377	膵腫瘍	無	2	58.0	2.0						1	1	1	
D377	膵腫瘍の疑い	無	1	49.0	2.0						1			
D377	膵神経内分泌腫瘍	有	2	48.5	16.0						2			
D377	膵神経内分泌腫瘍の疑い	無	1	66.0	2.0								1	
D377	膵粘液性のう胞腫瘍	有	2	53.5	14.0						1	1	1	
D377	膵粘液性のう胞腫瘍	無	1	75.0	2.0								1	
D383	前縦隔腫瘍	無	1	59.0	2.0						1			
D385	中耳腫瘍	有	2	75.5	4.0								1	1
D390	子宮頸部腫瘍	有	1	46.0	3.0						1			
D391	のう胞性卵巣腫瘍	有	3	51.7	5.7					2		1		
D391	充実性卵巣腫瘍	有	3	62.7	7.7						1	2		
D391	充実性卵巣腫瘍	無	1	70.0	5.0							1		
D391	性卵巣腫瘍	有	1	46.0	6.0						1			
D391	卵巣境界悪性腫瘍	有	7	57.7	8.1					1	4	1	1	
D391	卵巣腫瘍	有	5	50.2	6.4					2	1	2		
D410	腎腫瘍の疑い	無	1	67.0	2.0								1	
D430	テント上脳腫瘍	有	1	72.0	17.0								1	
D430	テント上脳腫瘍の疑い	無	1	96.0	13.0									1
D432	脳腫瘍の疑い	無	2	25.5	5.0		1				1			
D434	脊髄腫瘍	無	1	82.0	3.0									1
D441	副腎腫瘍	有	1	37.0	7.0					1				
D460	1系統に異形成を伴う不応性血球減少症	有	1	90.0	14.0									1
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-1	有	1	39.0	86.0					1				
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2	有	22	74.1	18.2						1	10	11	
D462	芽球増加を伴う不応性貧血-2	無	3	80.0	9.3									3
D469	骨髄異形成症候群	有	28	69.8	26.3						4		13	11
D469	骨髄異形成症候群	無	24	67.3	8.5					1		22	1	
D475	好酸球性白血病	無	1	63.0	16.0								1	
D477	移植後リンパ増殖性疾患	有	1	52.0	155.0						1			
D477	特発性多中心性キャスルマン病	有	1	85.0	57.0									1
D480	下顎骨腫瘍	有	1	41.0	5.0						1			
D480	鎖骨腫瘍	有	1	7.0	3.0		1							
D480	上顎骨腫瘍	有	1	48.0	5.0						1			
D480	上腕骨近位部骨腫瘍	有	1	58.0	5.0						1			
D480	仙骨腫瘍	無	2	68.5	2.0						1			1
D480	大腿骨近位部骨腫瘍	有	1	7.0	3.0		1							
D480	脛骨近位部巨細胞腫	有	3	35.3	4.0						3			
D480	脛骨近位部巨細胞腫	無	1	39.0	3.0						1			
D480	脛骨骨幹部骨腫瘍	有	1	21.0	3.0						1			
D481	顔面皮下腫瘍	有	1	43.0	2.0							1		
D481	胸部軟部腫瘍	有	1	69.0	5.0								1	
D481	頸部軟部腫瘍	有	1	76.0	6.0								1	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
D481	肩軟部腫瘍	有	1	39.0	2.0					1				
D481	上腕皮下腫瘍	有	1	46.0	2.0						1			
D481	大腿軟部腫瘍	有	2	55.0	7.0					1		1		
D481	殿部軟部腫瘍	有	1	51.0	3.0						1			
D481	頭部皮下腫瘍	有	1	13.0	3.0			1						
D481	背部皮下腫瘍	有	1	6.0	3.0			1						
D481	腹壁デスマイド	有	1	31.0	6.0					1				
D483	後腹膜腫瘍	有	1	75.0	4.0								1	
		無	2	70.5	2.0								2	
D485	頬部皮膚腫瘍	有	1	1.0	3.0	1								
D486	乳腺腫瘍	有	1	41.0	5.0						1			
D487	胸壁腫瘍	有	1	49.0	5.0						1			
D487	頸部リンパ節腫瘍	有	1	66.0	3.0							1		
D487	項部腫瘍	有	1	8.0	3.0			1						
D500	出血性貧血	有	2	83.0	18.0									2
		無	1	28.0	3.0					1				
D508	小球性貧血	無	1	75.0	14.0							1		
D509	鉄欠乏性貧血	有	2	84.0	10.5									2
		無	1	41.0	6.0						1			
D521	薬剤性葉酸欠乏性貧血	有	1	88.0	11.0									1
D531	巨赤芽球性貧血	有	3	69.3	9.3						1	1	1	
D591	自己免疫性溶血性貧血	有	2	74.0	49.0							2		
		無	2	38.5	8.5		1					1		
D613	特発性再生不良性貧血	有	1	67.0	54.0							1		
D619	再生不良性貧血	有	1	81.0	19.0									1
D619	再生不良性貧血	無	1	36.0	4.0					1				
D619	再生不良性貧血の疑い	無	1	76.0	5.0								1	
D619	最重症再生不良性貧血	無	4	20.3	13.8				3	1				
D619	汎血球減少症	有	1	58.0	9.0						1			
		無	1	58.0	9.0						1			
D648	重症貧血	有	1	17.0	2.0				1					
D65	播種性血管内凝固	有	2	78.5	16.5							1	1	
		無	2	67.0	13.0						1			1
D680	フォン・ウィルブランド病	有	1	36.0	5.0					1				
D684	ビタミンK欠乏による凝固因子欠乏	無	1	5.0	4.0									
D690	I g A血管炎	無	1	4.0	3.0			1						
D690	I g A血管炎の疑い	無	1	27.0	4.0						1			
D693	特発性血小板減少性紫斑病	有	9	81.0	25.1							4	5	
		無	4	31.3	6.5	1		1		1				1
D693	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠	有	1	31.0	14.0					1				
D693	慢性特発性血小板減少性紫斑病	有	1	93.0	36.0									1
D695	薬剤性血小板減少性紫斑病	無	1	76.0	6.0								1	
D70	先天性好中球減少症	無	1	50.0	11.0						1			
D735	非外傷性脾臓破裂	無	1	69.0	3.0								1	
D735	脾梗塞	無	1	73.0	13.0								1	
D763	血球貪食症候群	有	1	79.0	88.0								1	
D763	自己免疫性リンパ増殖症候群	無	1	4.0	8.0			1						
D763	組織球形壊死性リンパ節炎	有	2	15.5	10.0				1	1				
		無	1	10.0	4.0				1					
D763	組織球形壊死性リンパ節炎の疑い	有	1	10.0	4.0				1					
		無	1	14.0	10.0				1					
D860	肺サルコイドーシス	無	1	66.0	2.0								1	
D860	肺サルコイドーシスの疑い	有	1	66.0	2.0								1	
D862	リンパ節サルコイドーシスを伴う肺サルコイドーシスの疑い	無	2	51.5	2.0							2		
D868	心サルコイドーシス	無	1	80.0	26.0									1
D898	TNF受容体関連周期性症候群の疑い	無	1	13.0	3.0				1					
E049	縦隔甲状腺腫	有	1	70.0	5.0								1	
E049	性腺腫様甲状腺腫	有	1	69.0	4.0								1	
E049	腺腫様甲状腺腫	有	55	65.4	4.7					3	18	28	6	
		無	1	74.0	1.0								1	
E050	バセドウ病	有	7	41.0	5.9					3	4			
		無	3	32.7	5.7				1	1	1			
E063	橋本病	有	1	60.0	12.0							1		
E100	1型糖尿病性低血糖性昏睡	無	1	12.0	2.0			1						
E101	1型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	80.0	12.0									1
E101	1型糖尿病性アシドーシス	無	3	50.0	11.0			1					2	
E101	1型糖尿病性ケトアシドーシス	無	1	67.0	16.0								1	
E102	1型糖尿病・腎合併症あり	無	1	65.0	10.0								1	
E102	緩徐進行1型糖尿病・腎合併症あり	無	1	22.0	14.0					1				
E111	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり	無	1	55.0	15.0							1		
E111	2型糖尿病性ケトアシドーシス	無	6	68.2	10.5						1	4	1	
E112	2型糖尿病・腎合併症あり	無	9	69.4	10.9						2	5	2	
E113	2型糖尿病・眼合併症あり	無	5	67.2	11.0						2	2	1	
E114	2型糖尿病・神経学的合併症あり	無	2	82.0	6.5								1	1
E116	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり	無	5	66.4	6.2						1	4		
E116	2型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群	無	4	79.8	18.8						1			3
E117	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり	無	1	76.0	10.0								1	
E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	有	1	62.0	9.0								1	
		無	16	54.2	8.9			1	1	2	5	6	1	
E139	膵性糖尿病・糖尿病性合併症なし	無	3	71.3	7.7								3	
E141	糖尿病性ケトアシドーシス	無	2	83.0	17.0								1	1

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
E15	低血糖昏睡	無	2	78.0	3.5								2	
E161	ケトン性低血糖症	無	3	4.7	3.0		2	1						
E161	低血糖性脳症	有	1	75.0	41.0								1	
E162	低血糖	無	1	75.0	5.0								1	
E162	低血糖発作	無	1	78.0	4.0								1	
E210	原発性副甲状腺機能亢進症	有	10	68.8	4.3						2	7	1	
E210	原発性副甲状腺機能亢進症の疑い	無	1	88.0	3.0									1
E211	続発性副甲状腺機能亢進症	有	2	71.0	7.5						1			1
E222	抗利尿ホルモン不適分泌症候群	無	2	83.5	11.0								1	1
E230	A C T H単独欠損症の疑い	無	1	69.0	3.0								1	
E230	下垂体機能低下症の疑い	無	4	55.0	3.8				1			1	1	1
E230	下垂体性男子性腺機能低下症の疑い	無	1	17.0	5.0			1						
E230	重症成人成長ホルモン分泌不全	無	1	70.0	3.0									1
E230	汎下垂体機能低下症	無	1	49.0	4.0									
E230	汎下垂体機能低下症の疑い	無	2	47.5	3.0					1	1			
E232	中枢性尿崩症の疑い	無	2	28.5	4.5					2				
E240	サブクリニカルクッシング病の疑い	無	1	43.0	2.0						1			
E248	サブクリニカルクッシング症候群の疑い	無	2	67.5	4.0							1	1	
E249	クッシング症候群の疑い	無	4	61.3	4.3					1	1	2		
E260	原発性アルドステロン症	有	2	47.5	7.0						2			
E260	原発性アルドステロン症の疑い	無	5	61.4	4.4						3	2		
E274	続発性副腎皮質機能低下症	無	3	60.3	4.0						1	2		
E274	続発性副腎皮質機能低下症の疑い	無	2	37.0	3.5					1	1			
E291	性腺機能低下症・男性	無	2	16.5	3.5				2					
E46	栄養失調	有	1	94.0	4.0									1
E46	経口摂取不良による栄養失調	有	1	69.0	19.0								1	
E46	低栄養	有	1	89.0	11.0									1
E512	ウェルニッケ脳症	無	1	52.0	19.0							1		
E550	ビタミンD欠乏性くる病	無	1	13.0	2.0			1						
E668	病的肥満症	有	7	45.7	19.3						2	5		
E668		無	6	46.7	13.2						1	4	1	
E722	高アンモニア血症	無	1	88.0	14.0									1
E748	グルコーストランスポーター1欠損症の疑い	無	1	1.0	3.0			1						
E835	高カルシウム血症	無	1	53.0	14.0							1		
E858	原発性全身性ALAアミロイドーシス	有	2	64.0	20.5								2	
E86	脱水症	無	12	66.1	7.8				2	1		1	1	7
E870	高ナトリウム血症	無	1	57.0	8.0							1		
E871	鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症	無	1	67.0	7.0								1	
E871	低ナトリウム血症	無	8	71.6	17.1							3	1	4
E872	ケトアシドーシス	無	1	11.0	68.0			1						
E875	高カリウム血症	無	2	90.5	14.0									2
E876	低カリウム血症	無	1	87.0	6.0									1
E877	水中毒	無	2	52.5	5.0							1	1	
E880	低アルブミン血症	無	1	86.0	41.0									1
F001	アルツハイマー型老年認知症	有	3	80.7	27.3								1	2
F001		無	2	83.0	64.5									2
F009	アルツハイマー型認知症	有	2	72.0	19.0							1		1
F019	血管性認知症	有	1	73.0	10.0								1	
F020	前頭側頭葉型認知症	無	1	57.0	34.0							1		
F028	レビー小体型認知症	無	1	71.0	56.0								1	
F03	老年期認知症	無	1	88.0	4.0									1
F051	認知症に重なったせん妄	無	1	71.0	119.0								1	
F058	急性脳症候群	無	2	9.0	5.0				2					
F069	高次脳機能障害	無	2	67.0	94.0							1		1
F072	脳振盪後症候群	無	1	2.0	2.0			1						
F100	急性アルコール中毒	無	1	54.0	1.0								1	
F102	アルコール依存症	無	3	54.3	34.3							2	1	
F104	アルコール離脱せん妄	無	1	50.0	64.0							1		
F107	アルコール性認知症	有	1	79.0	14.0								1	
F152a	カフェイン依存	無	1	15.0	2.0							1		
F200	妄想型統合失調症	有	1	62.0	23.0								1	
F200		無	7	35.4	52.1				1		2	4		
F201	破瓜型統合失調症	有	1	60.0	37.0							1		
F203	型分類困難な統合失調症	有	3	62.0	35.0							2		1
F203		無	9	51.9	40.6				1	1	3	4		
F205	残遺型統合失調症	有	1	69.0	9.0								1	
F208	統合失調症様状態	有	3	52.0	34.3				1				2	
F209	統合失調症	有	2	62.5	61.5					1				1
F21	統合失調症型障害	有	1	43.0	68.0							1		
F220	妄想性障害	無	2	79.5	43.0								1	1
F232	急性統合失調症	有	1	53.0	50.0							1		
F232		無	1	43.0	56.0							1		
F232	短期統合失調症様障害	無	1	30.0	44.0					1				
F239	急性一過性精神病性障害	無	1	78.0	30.0									1
F28	非定型精神病	無	1	51.0	113.0							1		
F310	双極性感情障害・軽躁病エピソード	無	1	15.0	15.0				1					
F313	双極性感情障害・中等症のうつ病エピソード	有	1	18.0	52.0				1					
F313		無	6	29.3	31.8						6			
F316	双極性感情障害・混合性エピソード	有	1	25.0	48.0						1			
F316		無	6	26.5	39.2				3		2	1		
F318	双極2型障害	無	1	18.0	33.0				1					

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
F319	躁うつ病	無	1	32.0	13.0					1				
F321	中等症うつ病エピソード	無	2	33.0	31.0				1		1			
F322	精神病症状を伴わない重症うつ病エピソード	有	1	53.0	162.0						1			
F323	精神病症状を伴う重症うつ病エピソード	有	1	63.0	35.0							1		
		無	1	80.0	95.0								1	
F331	中等症反復性うつ病性障害	無	1	58.0	25.0						1			
F341	気分変動症	無	2	14.0	58.0			2						
F402	歯科治療恐怖症	有	2	38.5	2.0					1	1			
F409	恐怖症性不安障害	無	1	9.0	26.0			1						
F421	強迫行為	無	2	59.5	43.0						2			
F421	強迫神経症	無	1	13.0	46.0			1						
F432	適応障害	有	1	22.0	37.0						1			
		無	1	13.0	130.0				1					
F440	解離性健忘	無	1	12.0	14.0			1						
F444	ヒステリー性運動失調症	無	1	19.0	5.0				1					
F444	解離性運動障害	無	1	10.0	8.0			1						
F447	混合性解離性障害	無	1	32.0	2.0					1				
F448	急性精神錯乱	無	1	51.0	39.0						1			
F453	過換気症候群	無	1	57.0	2.0						1			
F453	心因性多飲症	無	1	15.0	5.0			1						
F500	神経性食欲不振症	有	1	43.0	14.0						1			
		無	4	39.3	73.5			1		1	2			
F501	非定型神経性無食欲症	無	1	10.0	105.0			1						
F638	ゲーム症	無	4	12.0	17.5			4						
F638	間欠性爆発障害	無	1	13.0	38.0			1						
F721	重度知的障害・要治療の行動機能障害あり	無	1	42.0	60.0						1			
F840	小児自閉症	無	3	12.7	84.0			3						
F849	自閉症スペクトラム障害	有	1	51.0	57.0						1			
		無	1	51.0	49.0						1			
F900	注意欠陥多動障害	無	7	10.3	58.4			7						
F941	小児期反応性愛着障害	無	1	13.0	8.0			1						
G002	連鎖球菌性髄膜炎	無	1	0.0	24.0			1						
G009	急性細菌性髄膜炎	無	1	93.0	23.0									1
G061	脊髄硬膜外膿瘍	有	1	72.0	27.0							1		
G08	横静脈洞血栓症	無	1	54.0	16.0						1			
G08	矢状静脈洞血栓症	無	1	63.0	26.0							1		
G121	脊髄性筋萎縮症 I I I 型	無	1	45.0	38.0						1			
G121	脊髄性筋萎縮症 I I 型	無	2	4.5	2.0									
G122	筋萎縮性側索硬化症	有	3	67.3	36.0								3	
		無	1	65.0	17.0								1	
G122	脊髄性筋萎縮症	無	3	8.0	2.0			3						
G20	パーキンソン症候群	無	1	77.0	8.0							1		
G20	パーキンソン病	無	2	77.0	2.0							1	1	
G309	アルツハイマー型認知症	有	1	108.0	8.0									1
G35	多発性硬化症	無	2	11.0	13.5			2						
G401	焦点性てんかん	無	7	8.7	10.0	2		4		1				
G401	焦点性てんかんの疑い	無	1	11.0	2.0			1						
G402	てんかん複雑部分発作	無	1	82.0	2.0									1
G402	症候性部分てんかん	無	5	8.2	1.8			5						
G402	前頭葉てんかん	無	1	15.0	3.0			1						
G403	ミオクローヌステんかん	無	2	0.0	3.0	2								
G403	ミオクローヌステんかんの疑い	無	1	13.0	3.0			1						
G403	若年性ミオクローヌステんかんの疑い	無	1	12.0	2.0			1						
G404	ウェスト症候群	無	2	0.0	22.0	2								
G404	ウェスト症候群の疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G404	レフックス・ガストー症候群	無	2	6.5	29.0			1	1					
G404	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	無	1	13.0	2.0			1						
G404	症候性全般てんかん	無	2	82.5	10.5							1	1	
G404	点頭てんかん	無	2	5.0	26.0			1	1					
G404	点頭てんかんの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G407	てんかん小発作	無	1	87.0	4.0									1
G408	症候性てんかん	有	1	2.0	22.0	1		1						
		無	56	44.5	10.1	5	4	8	1	4	12	13	9	
G408	難治性てんかん	無	2	33.5	9.0			1			1			
G409	てんかん	無	2	37.0	5.0			1				1		
G409	てんかんの疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G419	てんかん重積状態	無	1	76.0	16.0							1		
G430	前兆のない片頭痛	無	1	12.0	2.0			1						
G431	片麻痺性片頭痛	無	1	40.0	11.0					1				
G459	一過性脳虚血発作	無	10	64.6	2.9			1			1	6	2	
G473	睡眠時無呼吸症候群	有	3	9.7	12.0				2		1			
		無	1	75.0	2.0							1		
G473	中枢性睡眠時無呼吸の疑い	無	1	0.0	2.0	1								
G473	閉塞性睡眠時無呼吸	有	2	17.5	10.5				1		1			
		無	1	53.0	5.0							1		
G510	顔面神経麻痺	有	7	56.0	8.9			1			3	2	1	
G510	特発性末梢性顔面神経麻痺	無	3	56.0	9.0						3			
G510	末梢性顔面神経麻痺	無	3	59.0	9.0						1	2		
G513	顔面痙攣	有	1	34.0	7.0					1				
G530	ハント症候群	無	1	65.0	9.0							1		
G530	帯状疱疹後神経痛	無	5	80.4	9.0							1	4	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
G573	腓骨神経麻痺	有	1	33.0	3.0					1			
G610	ギラン・バレー症候群	有	1	89.0	22.0								1
G618	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	無	2	52.0	17.0				1				1
G618	薬剤性慢性炎症性脱髄性多発神経炎	無	1	42.0	5.0				1				
G621	アルコール性多発ニューロパチー	無	1	48.0	11.0					1			
G700	重症筋無力症	無	1	66.0	9.0							1	
G723	周期性四肢麻痺の疑い	無	1	12.0	2.0				1				
G723	低カリウム血性周期性四肢麻痺	無	1	71.0	19.0								1
G809	脳性麻痺	有	1	61.0	7.0							1	
G903	多系統萎縮症	有	1	63.0	5.0							1	
G908	神経調節性失神	無	1	82.0	2.0								1
G908	体位性起立頻脈症候群	無	3	16.0	5.0				1	2			
G910	交通性水頭症	無	1	81.0	16.0								1
G912	正常圧水頭症	有	3	74.7	19.3								3
G912	正常圧水頭症	無	1	67.0	8.0								1
G912	正常圧水頭症の疑い	無	1	79.0	3.0								1
G913	外傷後水頭症	有	1	74.0	61.0								1
G913	外傷後水頭症	無	1	66.0	1.0								1
G931	低酸素性脳症	有	3	61.3	19.0						1	2	
G931	低酸素性脳症	無	2	65.0	19.5						1	1	
G931	低酸素性脳症の疑い	無	1	0.0	4.0	1							
G934	急性脳症	無	2	7.5	8.5	1		1					
G934	自己免疫介在性脳炎・脳症	無	2	28.0	7.5					2			
G934	痙攣重積型急性脳症	無	1	1.0	62.0	1							
G934	痙攣重積型二相性急性脳症	無	2	1.5	21.5	2							
G948	インフルエンザ脳症後遺症	無	1	4.0	10.0			1					
G948	グルコーストランスポーター1欠損症	無	1	1.0	15.0	1							
H000	眼瞼蜂巣炎	無	1	0.0	4.0	1							
H001	霰粒腫	有	2	6.0	3.0		1	1					
H020	眼瞼内反症	有	17	20.9	3.2		6	7		1		2	1
H020	上眼瞼内反症	有	1	10.0	3.0			1					
H024	眼瞼下垂症	有	2	83.0	3.0								2
H045	鼻涙管閉鎖症	有	1	61.0	4.0								1
H050	眼窩蜂巣炎	1	45.0	12.0						1			
H063	甲状腺眼症	無	1	48.0	21.0					1			
H102	カタル性結膜炎	無	1	3.0	3.0		1						
H110	翼状片	有	1	69.0	2.0								1
H210	前房出血	無	1	75.0	3.0								1
H250	後のう下白内障	有	1	35.0	3.0					1			
H250	老人性初発白内障	有	60	76.3	5.8						2	40	18
H250	老人性初発白内障	無	2	72.0	1.5								2
H258	成熟白内障	有	3	82.3	8.3								1
H262	併発白内障	有	1	43.0	6.0						1		
H263	ステロイド白内障	有	3	55.7	3.7						2	1	
H308	フォークト・小柳・原田病	有	1	58.0	15.0						1		
H341	網膜中心動脈閉塞症	無	1	74.0	4.0								1
H353	加齢黄斑変性	無	2	77.0	2.0								2
H402	急性閉塞隅角緑内障	有	1	78.0	3.0								1
H491	上斜筋麻痺	有	3	8.7	3.0			1	2				
H491	上斜筋麻痺	無	1	4.0	2.0			1					
H498	外眼筋麻痺	無	2	72.5	21.0								2
H500	内斜視	有	3	12.0	3.0				3				
H500	部分調節性内斜視	有	4	7.5	3.0				4				
H501	外斜視	有	2	9.5	3.0			1	1				
H502	下斜筋過動	有	2	7.0	3.0			1	1				
H503	間欠性外斜視	有	11	7.3	3.0			5	6				
H504	乳児内斜視	有	1	2.0	3.0	1							
H534	4分の1半盲	無	1	11.0	4.0				1				
H613	後天性外耳道狭窄	有	1	50.0	3.0							1	
H650	急性滲出性中耳炎	有	1	2.0	3.0	1							
H652	慢性滲出性中耳炎	有	3	10.3	4.3	1	1			1			
H652	慢性滲出性中耳炎	無	1	2.0	2.0	1							
H659	耳管鼓室炎	無	1	58.0	5.0						1		
H660	急性化膿性中耳炎	有	3	1.0	5.3	3							
H660	急性化膿性中耳炎	無	2	1.0	5.5	2							
H663	慢性化膿性穿孔性中耳炎	有	6	31.0	3.3			3		1	2		
H663	慢性化膿性中耳炎	有	1	48.0	3.0						1		
H669	慢性穿孔性中耳炎	有	2	8.0	3.0			2					
H71	真珠腫性中耳炎	有	10	42.6	5.5			1	2	6	1		
H810	メニエール症候群	無	1	60.0	11.0						1		
H810	遅発性内リンパ水腫	無	2	71.0	6.5								2
H810	内耳性めまい	無	2	55.0	2.5						2		
H811	良性発作性めまい	無	1	85.0	2.0								1
H811	良性発作性頭位めまい症	無	1	80.0	4.0								1
H812	前庭神経炎	無	5	60.6	6.0						3	2	
H813	耳性めまい	無	2	56.5	4.0					1		1	
H813	末梢性めまい症	有	1	71.0	3.0							1	
H813	末梢性めまい症	無	11	75.1	6.3						1	5	5
H903	性感音難聴	無	1	64.0	9.0							1	
H912	突発性難聴	無	10	54.6	8.7			1	1		3	4	1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I00	リウマチ熱	無	1	11.0	14.0			1						
I050	僧帽弁狭窄症	有	1	75.0	7.0							1		
I071	三尖弁閉鎖不全症	有	1	75.0	94.0							1		
I080	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁狭窄症	有	1	80.0	21.0									1
I081	僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	3	72.0	36.0							3		
I082	大動脈弁狭窄症兼三尖弁閉鎖不全症	有	1	80.0	16.0									1
I083	大動脈弁狭窄症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	2	73.5	82.0							2		
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	有	4	81.3	58.0							1		3
I083	大動脈弁閉鎖不全症兼僧帽弁閉鎖不全症兼三尖弁閉鎖不全症	無	1	84.0	8.0									1
I088	三尖弁閉鎖不全症兼肺動脈弁狭窄症	有	1	74.0	24.0							1		
I10	高血圧性緊急症	無	1	52.0	15.0						1			
I110	高血圧性うっ血性心不全	無	5	75.8	6.2							3		2
I200	不安定狭心症	有	38	75.7	7.4						4	19		15
I200	不安定狭心症の疑い	無	3	64.7	2.7						1	2		
I200	不安定狭心症の疑い	無	2	80.0	2.5							1		1
I201	異型狭心症	無	1	71.0	5.0							1		
I201	冠攣縮性狭心症	無	6	61.0	4.2					1	1	4		
I201	冠攣縮性狭心症の疑い	無	1	39.0	2.0					1				
I208	労作性狭心症	有	126	73.4	5.4						16	73		37
I208	労作性狭心症の疑い	無	228	71.2	3.0					1	37	139		51
I208	労作性狭心症の疑い	無	1	93.0	3.0									1
I209	安定狭心症の疑い	無	1	71.0	2.0							1		
I210	急性広範前壁心筋梗塞	有	4	69.8	16.0							4		
I210	急性前側壁心筋梗塞	有	4	86.8	20.5							1		3
I210	急性前壁心筋梗塞	有	21	75.1	18.5						3	11		7
I210	急性前壁中隔心筋梗塞	有	6	70.8	17.7						1	4		1
I211	急性下後壁心筋梗塞	有	3	76.0	15.0						1			2
I211	急性下側壁心筋梗塞	有	1	67.0	16.0							1		
I211	急性下壁心筋梗塞	有	24	73.8	15.5						5	10		9
I211	急性下壁心筋梗塞の疑い	無	1	55.0	2.0						1			
I212	急性後壁心筋梗塞	有	14	69.7	17.2					1	2	7		4
I212	急性後壁心筋梗塞	無	1	92.0	3.0									1
I212	急性側壁心筋梗塞	有	1	65.0	5.0							1		
I233	急性心筋梗塞後心破裂	有	1	79.0	68.0							1		
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	有	1	50.0	3.0						1			
I252	陳旧性下壁心筋梗塞	無	15	69.4	3.0						4	8		3
I252	陳旧性後壁心筋梗塞	無	1	66.0	3.0							1		
I252	陳旧性心筋梗塞	有	1	79.0	5.0							1		
I252	陳旧性心筋梗塞	無	30	69.6	3.0						4	24		2
I252	陳旧性前壁心筋梗塞	無	13	70.8	3.0						2	9		2
I252	陳旧性前壁中隔心筋梗塞	無	3	70.3	3.0							3		
I252	陳旧性側壁心筋梗塞	無	1	73.0	3.0							1		
I255	虚血性心筋症	有	11	80.2	13.0							6		5
I255	虚血性心筋症の疑い	無	9	65.2	3.0					1	2	5		1
I255	虚血性心筋症の疑い	無	2	69.0	3.0							2		
I255	心筋虚血	無	1	75.0	3.0							1		
I256	無症候性心筋虚血	有	5	67.6	3.8						1	4		
I256	無症候性心筋虚血	無	5	75.0	3.0						1	2		2
I256	無症候性心筋虚血の疑い	無	4	68.5	3.5						2	1		1
I269	肺血栓塞栓症	有	4	75.8	10.5							3		1
I269	肺血栓塞栓症	無	3	60.3	10.0					1		1		1
I269	肺塞栓症	無	1	63.0	35.0							1		
I269	肺動脈血栓塞栓症	無	1	80.0	11.0									1
I270	肺高血圧症	有	1	0.0	34.0	1								
I270	肺高血圧症	無	3	18.0	17.3	2					1			
I270	肺高血圧症の疑い	無	1	87.0	3.0									1
I270	肺動脈性肺高血圧症	無	5	16.4	13.6	4						1		
I272	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	無	2	83.5	14.5									2
I300	急性非特異性特発性心膜炎	無	2	83.0	13.5									2
I311	収縮性心膜炎	有	1	79.0	30.0							1		
I311	収縮性心膜炎	無	1	73.0	8.0							1		
I311	慢性収縮性心膜炎	有	1	69.0	26.0							1		
I319	心タンポナーデ	無	1	72.0	9.0							1		
I319	心膜液貯留	無	2	81.0	3.5							1		1
I330	MRSA感染性心内膜炎	有	1	52.0	48.0						1			
I330	感染性心内膜炎	有	1	73.0	187.0							1		
I330	感染性心内膜炎	無	5	69.4	25.6			1				1		3
I340	僧帽弁逆流症	有	1	67.0	11.0							1		
I340	僧帽弁逆流症	無	3	72.7	3.0							3		
I340	僧帽弁閉鎖不全症	有	23	73.0	20.4						6	7		10
I340	僧帽弁閉鎖不全症	無	9	69.0	5.6						4	1		4
I350	大動脈弁狭窄症	有	70	83.9	14.8							14		56
I350	大動脈弁狭窄症	無	44	84.7	3.4							6		38
I352	大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症	有	2	86.0	32.5									2
I408	劇症型心筋炎	有	1	84.0	21.0									1
I427	薬物性心筋症	無	1	74.0	14.0							1		
I431	心アミロイドーシス	無	1	80.0	14.0									1
I441	2対1房室ブロック	有	2	83.5	7.5							1		1
I441	2対1房室ブロック	無	1	97.0	4.0									1
I441	ウェンケバッハ型第2度房室ブロック	有	1	86.0	6.0									1
I441	ウェンケバッハ型第2度房室ブロック	無	1	86.0	6.0									1
I441	高度房室ブロック	有	4	78.5	10.3							2		2

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I441	高度房室ブロックの疑い	有	1	88.0	2.0									1
I441	第2度房室ブロック	有	1	83.0	6.0									1
I441		無	1	81.0	4.0									1
I442	完全房室ブロック	有	26	81.5	10.4						3	7	16	
I455	洞停止の疑い	有	1	80.0	2.0									1
I460	蘇生に成功した心停止	有	3	82.0	1.3							2	1	
I469	心肺停止	有	1	83.0	1.0									1
I469		無	2	74.5	1.0							1	1	
I469	来院時心肺停止	有	3	55.3	1.0					1		2		
I469		無	114	77.3	1.0					4	12	36	62	
I471	発作性上室頻拍	有	6	59.3	4.0						2	4		
I471		無	1	78.0	2.0							1		
I472	心室頻拍	有	3	68.7	14.3						1	1	1	
I472		無	1	63.0	2.0							1		
I472	非持続性心室頻拍	有	1	71.0	11.0							1		
I480	発作性心房細動	有	2	78.5	39.0							1	1	
I480		無	1	63.0	19.0							1		
I480	発作性心房細動の疑い	有	1	59.0	2.0						1			
I480	非弁膜症性発作性心房細動	有	1	63.0	5.0							1		
I481	持続性心房細動	有	1	88.0	17.0									1
I481	非弁膜症性持続性心房細動	有	2	83.0	6.5									2
I482	慢性心房細動	有	2	86.5	5.5									2
I489	一過性心房粗動	有	1	87.0	4.0									1
I489	持続性心房粗動	有	1	71.0	8.0							1		
I489	徐脈性心房細動	有	1	84.0	18.0									1
I489	心房粗動	有	1	61.0	4.0							1		
I489		無	1	59.0	2.0						1			
I489	非弁膜症性心房細動	有	9	80.4	15.4							3	6	
I489		無	2	88.0	26.0									2
I489	頻脈性心房細動	有	1	82.0	8.0									1
I490	トルサードドポアント	有	1	94.0	38.0									1
I490	心室細動	有	3	68.0	12.3						1	2		
I495	洞不全症候群	有	20	79.6	5.5						1	5	14	
I500	うっ血性心不全	有	22	77.8	32.6						2	9	11	
I500		無	116	79.9	13.6					2	11	30	73	
I500	右心不全	有	1	63.0	19.0								1	
I500		無	4	77.5	9.0							3	1	
I500	慢性うっ血性心不全	有	4	80.5	18.5							1	3	
I500		無	14	84.9	12.6							4	10	
I509	慢性心不全	有	1	94.0	1.0									1
I513	心室内血栓症	有	1	69.0	21.0								1	
I513	心内血栓症	有	3	75.3	41.0						1			2
I513		無	1	47.0	9.0						1			
I518	たこつぼ型心筋症	有	4	76.8	36.8							2	2	
I518		無	7	74.4	4.3						1	3	3	
I600	I C - P C 動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	4	80.3	25.0							3	1	
I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	54.0	16.3					1	1	1		
I600	破裂性内頸動脈解離によるくも膜下出血	有	1	30.0	14.0					1				
I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	60.0	43.0						1			
I601		無	2	90.5	5.0									2
I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	78.5	33.5							1	1	
I604	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	3	75.7	11.0						1	1	1	
I605	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	53.0	19.0						1			
I606	後大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	1	48.0	40.0						1			
I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	有	2	75.0	23.5							1	1	
I609	くも膜下出血	有	2	83.5	10.0							1	1	
I610	後頭葉脳皮質下出血	有	1	80.0	13.0							1	1	
I610	視床出血	有	4	81.3	18.0							1	3	
I610		無	26	72.4	19.6						4	12	10	
I610	前頭葉脳皮質下出血	有	1	86.0	19.0									1
I610	頭頂葉脳皮質下出血	有	1	83.0	16.0									1
I610	頭葉脳皮質下出血	有	1	67.0	24.0							1		
I610		無	1	75.0	12.0							1		
I610	脳皮質下出血	有	5	74.6	25.8						1	3	1	
I610		無	18	80.2	15.1						1	7	10	
I610	被殻出血	有	3	61.0	28.0						1	2		
I610		無	25	69.9	18.1						4	14	7	
I610	尾状核出血	有	1	64.0	9.0								1	
I613	橋出血	有	1	78.0	26.0								1	
I613		無	3	80.0	19.3								2	1
I613	脳幹部出血	有	2	66.0	17.5							2	2	
I613		無	5	68.6	15.8						2	2	1	
I614	小脳出血	有	1	75.0	9.0							1		
I614		無	7	71.0	20.0						2	2	3	
I615	脳室内出血	有	3	66.7	18.3						1	2		
I619	脳出血	有	1	79.0	12.0								1	
I633	アテローム血栓性脳梗塞	有	5	70.6	15.8								5	
I633		無	16	76.1	14.9						2	7	7	
I633	アテローム血栓性脳梗塞・急性期	有	15	74.5	25.7						2	8	5	
I633		無	84	75.2	13.1						11	36	37	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
I634	奇異性脳塞栓症	無	1	67.0	20.0								1	
I634	塞栓性脳梗塞・急性期	無	1	78.0	18.0								1	
I634	心原性脳塞栓症	有	34	81.7	19.6						1	9	24	
		無	56	84.9	14.5						2	9	45	
I635	延髄梗塞・急性期	無	1	81.0	15.0									1
I635	小脳梗塞	無	3	58.3	10.0		1					1	1	
I635	脳幹梗塞	無	1	85.0	8.0									1
I635	脳幹梗塞・急性期	有	1	7.0	16.0			1						
I638	ラクナ梗塞	有	1	81.0	15.0									1
		無	26	77.3	13.5						3	10	13	
I638	多発性ラクナ梗塞	無	4	85.8	9.3								1	3
I638	多発性脳梗塞	有	1	77.0	20.0								1	
		無	4	76.5	29.8						1	1	2	
I638	無症候性ラクナ梗塞	無	1	92.0	20.0									1
I638	無症候性多発性脳梗塞	無	1	69.0	9.0								1	
I639	トルソー症候群による脳梗塞	有	1	79.0	25.0								1	
		無	6	69.3	14.7						2	3	1	
I639	脳梗塞	無	1	79.0	6.0								1	
I651	脳底動脈狭窄症	無	2	8.0	8.0			2						
I652	頸部内頸動脈狭窄症	有	3	71.3	8.0								3	
		無	1	82.0	2.0									1
I652	内頸動脈狭窄症	有	7	77.1	9.7								5	2
		無	12	75.6	2.9						1	7	4	
I669	脳塞栓症	有	1	77.0	14.0								1	
I671	硬膜動静脈瘻	無	1	56.0	2.0						1			
I671	硬膜動静脈瘻の疑い	無	1	69.0	5.0								1	
I671	前交通動脈瘤	有	2	64.0	9.5						1	1		
		無	4	56.3	2.0						4			
I671	中大脳動脈瘤	有	2	64.5	13.5						1	1		
		無	4	63.5	2.0						2	2		
I671	内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤	無	1	54.0	2.0						1			
I671	未破裂脳動脈瘤	有	2	60.0	8.0						1	1		
		無	2	63.5	2.0							2		
I674	高血圧性脳症	無	1	94.0	3.0									1
I675	成人もやもや病	無	1	47.0	12.0						1			
I678	虚血性脳血管障害	有	1	87.0	5.0									1
I690	くも膜下出血後遺症	有	1	70.0	5.0								1	
I691	脳出血後遺症	有	3	63.3	4.7						1	2		
I693	脳梗塞後遺症	有	6	76.2	5.2						1	1	4	
I7010	腎動脈狭窄症	有	1	77.0	29.0								1	
		無	1	57.0	3.0						1			
I7020	下肢閉塞性動脈硬化症	有	42	74.6	9.6						3	24	15	
		無	7	74.9	4.7						1	3	3	
I7021	下肢閉塞性動脈硬化症・壊疽あり	有	4	76.5	53.0								3	1
		無	1	95.0	11.0									1
I710	解離性胸部大動脈瘤	有	11	60.7	20.0					1	3	7		
		無	1	65.0	8.0								1	
I710	解離性大動脈瘤	有	2	74.5	20.0								2	
I710	解離性大動脈瘤StanfordB	無	1	56.0	21.0						1			
I710	急性大動脈解離	有	4	77.0	19.8								3	1
I710	急性大動脈解離DeBakeyI	有	1	57.0	31.0						1			
I710	急性大動脈解離StanfordA	有	12	73.8	40.8						2	5	5	
		無	4	89.8	8.0								1	3
I710	急性大動脈解離StanfordB	有	3	75.7	26.7								2	1
		無	9	80.7	13.1								3	6
I710	慢性大動脈解離	有	1	33.0	16.0					1				
		無	1	33.0	3.0					1				
I711	胸部大動脈瘤破裂	有	1	85.0	21.0									1
		無	1	80.0	1.0									1
I712	下行胸部大動脈瘤	有	1	79.0	14.0								1	
		無	1	79.0	4.0								1	
I712	胸部大動脈瘤	有	17	77.1	52.9								11	6
		無	3	77.7	5.7								1	2
I713	破裂性腹部大動脈瘤	有	1	60.0	16.0						1			
I713	腹部大動脈瘤破裂	有	4	74.0	30.8								3	1
I714	腹部大動脈瘤	有	47	78.2	12.2						1	25	21	
		無	2	91.5	11.5									2
I716	胸腹部大動脈瘤	有	4	68.5	37.3						1	3		
		無	2	70.0	3.0							2		
I720	内頸動脈瘤	有	1	41.0	4.0						1			
		無	2	55.5	2.0						1	1		
I721	上腕動脈瘤	有	1	63.0	13.0								1	
I723	総腸骨動脈瘤	有	6	74.5	11.5								4	2
I723	腸骨動脈瘤	有	2	59.0	3.0						2			
		無	1	89.0	5.0									1
I724	大腿動脈瘤	有	1	64.0	10.0								1	
I724	膝窩動脈瘤	有	2	79.0	11.5								1	1
I725	脳底動脈瘤	有	1	78.0	8.0								1	
		無	5	59.2	2.0						2	3		
I726	椎骨動脈瘤	有	1	73.0	5.0								1	
		無	2	67.5	4.0						1	1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
I729	感染性動脈瘤	無	1	79.0	59.0							1	
I729	胸部偽性動脈瘤	無	1	89.0	3.0								1
I729	膝偽性動脈瘤	有	1	26.0	8.0					1			
I740	ルリッシュ症候群	有	1	68.0	12.0							1	
I740	腹部大動脈閉塞症	有	1	90.0	12.0								1
I742	上腕動脈血栓塞栓症	無	1	87.0	3.0								1
I743	下肢急性動脈閉塞症	有	5	77.2	16.8							2	3
I743	重症虚血肢	無	2	85.0	9.0							1	1
I743	鎖骨下動脈狭窄症	無	1	57.0	2.0						1		
I771	鎖骨下動脈狭窄症	有	1	69.0	8.0							1	
I771	総腸骨動脈狭窄症	有	1	59.0	3.0						1		
I771	大腿動脈狭窄症	有	1	88.0	17.0								1
I780	オスラー病	有	1	68.0	5.0							1	
I802	下肢静脈血栓症	有	6	70.8	2.3							6	
I802	深部静脈血栓症	有	1	74.0	5.0							1	
I81	門脈血栓症	無	1	62.0	8.0							1	
I830	下肢静脈瘤性潰瘍	有	1	94.0	121.0								1
I831	下腿うっ滞性皮膚炎	有	1	73.0	31.0							1	
I831	静脈瘤性皮膚炎	有	2	75.0	2.5							1	1
I832	潰瘍を伴う下肢静脈瘤性皮膚炎	有	1	77.0	6.0							1	
I839	下肢血栓性静脈瘤	有	1	74.0	3.0							1	
I839	下肢静脈瘤	有	8	69.1	3.3						2	4	2
I850	食道静脈瘤破裂	有	5	61.2	16.2						3	1	1
I859	食道胃静脈瘤	有	1	70.0	16.0							1	
I861	精索静脈瘤	有	1	17.0	3.0				1				
I864	胃静脈瘤出血	有	1	66.0	10.0							1	
I871	鎖骨下静脈狭窄	有	1	72.0	3.0							1	
I880	腸間膜リンパ節炎	無	1	5.0	8.0			1					
I951	起立性調節障害	無	1	12.0	2.0			1					
I971	フォンタン術後症候群	無	1	12.0	6.0			1					
I982	アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤	有	4	69.8	17.0						1	3	
I982	肝硬変に伴う食道静脈瘤	無	1	74.0	11.0							1	
I983	アルコール性肝硬変に伴う食道静脈瘤出血	有	2	40.0	24.0					1	1		
J019	急性副鼻腔炎	有	1	14.0	31.0			1					
J019	急性副鼻腔炎	無	1	26.0	5.0					1			
J028	アデノウイルス咽頭炎	無	2	1.0	3.5	2							
J029	急性咽頭炎	無	1	24.0	5.0					1			
J029	急性化膿性咽頭炎	無	1	78.0	7.0							1	
J039	急性化膿性扁桃炎	無	1	35.0	15.0					1			
J039	急性扁桃炎	無	2	28.0	8.5			1		1			
J039	習慣性扁桃炎	有	1	24.0	9.0					1			
J040	急性声門下喉頭炎	無	1	1.0	7.0	1							
J051	急性喉頭蓋炎	有	1	38.0	9.0					1			
J051	急性喉頭蓋炎	無	3	55.0	6.3					1		2	
J060	急性咽頭喉頭炎	無	1	20.0	4.0			1					
J068	急性咽頭扁桃炎	無	1	30.0	9.0					1			
J069	急性上気道炎	無	16	0.9	4.3	15	1						
J101	インフルエンザA型	無	9	3.9	3.3	3	4	2					
J121	RSウイルス肺炎	無	9	1.3	6.1	8	1						
J123	ヒトメタニューモウイルス肺炎	無	11	1.9	7.6	8	3						
J13	肺炎球菌肺炎	有	2	79.0	26.5							1	1
J13	肺炎球菌肺炎	無	5	83.0	6.8							1	4
J151	緑膿菌肺炎	無	1	19.0	13.0			1					
J152	MRSA肺炎	有	1	79.0	91.0							1	
J152	MRSA肺炎	無	1	90.0	12.0								1
J159	細菌性肺炎	有	13	79.8	26.0					1	7	5	
J159	細菌性肺炎	無	75	75.6	12.0	2			2	4	36	31	
J159	細菌性肺炎の疑い	無	1	77.0	3.0							1	
J178	肺癌による閉塞性肺炎	無	1	79.0	9.0							1	
J180	びまん性肺炎	無	1	50.0	8.0						1		
J180	気管支肺炎	無	5	70.2	7.8						1	4	
J181	下葉大葉性肺炎	無	1	75.0	18.0							1	
J189	急性肺炎	無	2	2.0	4.0	1	1						
J189	小児肺炎	無	1	1.0	3.0	1							
J205	RSウイルス気管支炎	無	17	1.2	6.2	12	5						
J208	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	無	18	1.6	6.9	14	4						
J209	クループ性気管支炎	無	1	2.0	2.0	1							
J209	急性気管支炎	無	36	5.3	6.0	23	8	3		1			1
J210	RSウイルス細気管支炎	無	6	0.3	6.0	6							
J219	急性細気管支炎	無	1	0.0	6.0	1							
J304	アレルギー性鼻炎	有	6	40.3	5.8			1	3	2			
J310	肥厚性鼻炎	有	1	60.0	5.0						1		
J320	口腔上顎洞瘻	有	1	58.0	9.0						1		
J324	汎副鼻腔炎	有	11	56.5	5.3			1	2	2	6		
J328	複数洞慢性副鼻腔炎	有	18	52.9	5.2					4	8	6	
J329	慢性副鼻腔炎急性増悪	有	1	59.0	9.0						1		
J330	後鼻孔ポリープ	有	1	19.0	4.0			1					
J341	術後性上顎のう胞	有	1	64.0	6.0							1	
J341	副鼻腔のう胞	有	2	74.5	5.0							1	1
J342	鼻中隔彎曲症	有	2	44.5	5.0						2		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
J350	慢性扁桃炎	有	17	26.9	10.5		1	1	3	10	2		
J350	扁桃病巣感染症	無	3	22.0	2.3		1			1	1		
J351	扁桃肥大	有	10	41.0	13.0						1		
J36	扁桃周囲炎	有	10	4.7	11.6	2	6	2					
J36	扁桃周囲膿瘍	無	1	52.0	6.0						1		
J36	扁桃周囲膿瘍	有	3	21.3	4.3			1	1	1			
J36	扁桃周囲膿瘍	無	3	63.3	7.0					1		1	1
J381	声帯ポリープ	有	2	59.0	9.5						1	1	
J383	声帯白斑症	有	1	64.0	4.0							1	
J387	喉頭蓋のう胞	有	2	50.5	4.5					1		1	
J387	喉頭蓋のう胞	無	1	35.0	6.0					1			
J390	深頸部膿瘍	有	1	41.0	7.0						1		
J390	深頸部膿瘍	無	1	74.0	8.0							1	
J432	中心小葉性肺気腫	無	1	80.0	3.0								1
J439	巨大気腫性肺のう胞	有	1	52.0	9.0						1		
J439	肺気腫	無	1	71.0	23.0							1	
J440	下気道感染を伴う慢性閉塞性肺疾患	無	2	71.0	14.5							2	
J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	有	2	84.5	21.0								2
J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	無	3	81.0	17.7							1	2
J448	気腫型慢性閉塞性肺疾患	無	1	86.0	3.0								1
J449	慢性閉塞性肺疾患	無	1	72.0	2.0							1	
J450	小児喘息	無	4	5.0	4.0	2	1	1					
J450	小児喘息性気管支炎	無	3	0.7	5.7	3							
J459	気管支喘息	無	5	4.2	5.6		4	1					
J459	喘息性気管支炎	無	2	1.0	5.0	2							
J46	気管支喘息発作	無	37	8.8	4.9	14	15	4			3	1	
J47	気管支拡張症	有	1	69.0	7.0							1	
J47	気管支拡張症	無	1	84.0	20.0								1
J47	限局性気管支拡張症	有	1	73.0	10.0							1	
J678	夏型過敏性肺炎	無	1	47.0	10.0						1		
J680	化学性肺炎	無	1	5.0	66.0		1						
J690	誤嚥性肺炎	有	36	76.6	30.8					1	5	12	18
J690	誤嚥性肺炎	無	80	78.2	12.3	3	1	1	1	1	1	19	53
J700	放射線肺炎	有	1	81.0	35.0								1
J700	放射線肺炎	無	2	81.5	27.5							1	1
J703	慢性薬物誘発性間質性肺障害	無	1	76.0	12.0							1	
J80	急性呼吸窮迫症候群	有	1	78.0	3.0							1	
J80	急性呼吸窮迫症候群	無	1	72.0	4.0							1	
J841	びまん性間質性肺炎	無	24	72.9	8.6						4	14	6
J841	びまん性間質性肺炎の疑い	無	3	76.3	2.0							2	1
J841	急性間質性肺炎	有	1	87.0	43.0								1
J841	急性間質性肺炎	無	5	76.0	16.6							2	3
J841	特発性器質化肺炎	無	1	77.0	36.0							1	
J841	特発性肺線維症	無	1	88.0	2.0								1
J848	器質化肺炎	無	3	67.0	7.7							3	
J852	肺化膿症	無	2	90.0	18.5								2
J869	急性膿胸	有	1	87.0	31.0								1
J869	急性膿胸	無	6	81.3	28.7							2	4
J869	膿胸	無	1	86.0	8.0								1
J90	胸水貯留	有	4	73.0	8.0						1	1	2
J90	細菌性胸膜炎	無	1	75.0	28.0							1	
J90	細菌性胸膜炎	有	2	59.5	11.5						1	1	
J90	滲出性胸水	無	1	78.0	8.0							1	
J931	自然気胸	有	8	29.9	7.4				3	3	1	1	
J931	自然気胸	無	7	65.1	9.4				1		1	3	2
J938	続発性気胸	有	6	71.8	13.0						1	4	1
J938	続発性気胸	無	6	41.3	21.8					4		1	1
J9600	急性1型呼吸不全	無	1	101.0	6.0								1
J9611	慢性2型呼吸不全	有	1	91.0	2.0								1
J9611	慢性2型呼吸不全	無	1	78.0	10.0							1	
J9691	2型呼吸不全	有	1	76.0	105.0							1	
J982	縦隔気腫	無	1	16.0	3.0			1					
J988	気道狭窄	有	2	62.0	15.0							2	
J988	気道狭窄	無	2	73.5	2.0							2	
J998	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	無	1	70.0	6.0							1	
J998	肺アミロイドーシス	無	1	91.0	30.0								1
K011	上顎過剰埋伏歯	有	1	7.0	3.0			1					
K011	上顎正中過剰埋伏歯	有	2	7.5	3.5			2					
K011	正中過剰埋伏歯	有	4	9.0	3.3			4					
K045	根尖性歯周炎	有	5	68.4	5.2						1	3	1
K045	慢性根尖性歯周炎	有	1	79.0	3.0							1	
K048	歯根のう胞	有	14	45.6	5.0			2		3	7	2	
K073	下顎水平埋伏智歯	有	3	52.7	3.0				1			2	
K079	顎変形症	有	8	25.6	10.6				1	6	1		
K090	含歯性のう胞	有	7	52.4	5.3			1			4	2	
K091	鼻口蓋管のう胞	有	1	37.0	5.0					1			
K092	顎骨のう胞	有	1	45.0	5.0						1		
K098	口腔頬皮のう胞	有	1	15.0	8.0			1					
K100	下顎隆起	有	1	45.0	5.0						1		
K102	下顎骨髄炎	有	8	72.5	8.6						1	4	3

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
K102	下顎骨周囲膿瘍	有	1	92.0	9.0									1
		無	1	8.0	5.0			1						
K102	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	有	9	84.2	11.3								2	7
		無	2	84.0	22.5								1	1
K102	放射線性下顎骨骨髓炎	有	1	74.0	12.0								1	
K102	頬部膿瘍	有	1	66.0	8.0								1	
K115	顎下腺唾石症	有	2	52.5	7.0					1			1	
K115	唾石症	有	2	73.5	6.0								1	1
K120	アフタ性口内炎	無	1	57.0	16.0						1			
K121	ウイルス性口内炎	無	1	75.0	8.0							1		
K210	逆流性食道炎	無	3	72.7	4.3						1			2
K210	難治性逆流性食道炎	無	1	98.0	3.0									1
K219	胃食道逆流症の疑い	無	1	0.0	3.0	1								
K220	食道アカラシア	無	1	98.0	13.0									1
K221	食道潰瘍	有	1	95.0	5.0									1
K222	食道狭窄	有	2	50.0	2.0							2		
		無	2	64.0	3.0						1		1	
K225	後天性食道憩室	有	1	62.0	12.0								1	
K226	マロリ・ワイス症候群	有	4	69.5	6.3								4	
K250	急性胃粘膜病変	有	1	86.0	6.0									1
K250	急性出血性胃潰瘍	有	25	74.0	9.3						5	10		10
K251	急性胃潰瘍穿孔	有	4	78.0	11.8								2	2
		有	1	81.0	7.0									1
		無	1	69.0	11.0								1	
K254	出血性胃潰瘍	無	1	73.0	4.0								1	
K254	多発性出血性胃潰瘍	無	1	83.0	4.0									1
K260	急性出血性十二指腸潰瘍	有	13	77.4	10.2					1			7	5
		無	3	53.7	14.3				1				2	
K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	有	3	65.0	9.3						1		2	
K262	急性出血性十二指腸潰瘍穿孔	有	1	89.0	9.0									1
K263	急性十二指腸潰瘍	有	2	80.0	13.0								1	1
		無	1	65.0	4.0								1	
K264	出血性十二指腸潰瘍	有	1	86.0	33.0									1
K280	急性出血性吻合部潰瘍	有	1	72.0	13.0								1	
K294	萎縮性胃炎	有	1	14.0	2.0			1						
K296	びらん性胃炎	無	1	79.0	7.0								1	
K311	幽門狭窄症	有	1	75.0	22.0								1	
K315	十二指腸狭窄症	有	1	81.0	9.0									1
K315	上腸間膜動脈症候群	有	3	73.7	7.7						1		1	1
K317	胃ポリープ	有	2	70.5	3.5								2	
K317	胃過形成ポリープ	有	8	80.4	6.6								3	5
K318	胃狭窄	有	1	34.0	5.0						1			
K318	胃軸捻症	有	2	33.5	39.0						2			
		無	2	16.5	8.5	1					1			
K318	胃軸捻症の疑い	無	1	0.0	4.0	1								
K318	胃前庭部毛細血管拡張症	有	4	80.8	8.0								2	2
K319	胃運動機能障害	有	1	65.0	2.0								1	
K352	虫垂炎性汎発性腹膜炎	有	1	51.0	7.0						1			
K353	急性穿孔性虫垂炎	有	3	19.3	9.7			2		1				
K353	虫垂炎性腹膜炎	有	5	61.6	9.8			1					2	2
K353	虫垂周囲膿瘍	有	15	59.2	9.5				1	2	4	5	3	
K358	急性壊死性虫垂炎	有	1	95.0	13.0									1
K358	急性壊疽性虫垂炎	有	1	64.0	5.0								1	
K358	急性虫垂炎	有	34	43.8	5.6			6	2	6	12	6	2	
		無	4	25.5	6.0			3					1	
K402	両側外単径ヘルニア	有	1	3.0	3.0			1						
K402	両側単径ヘルニア	有	12	41.0	3.8	1		2			2	4	1	
		有	2	42.5	3.5	1								1
K403	単径ヘルニア嵌頓	有	3	40.0	2.3	1								1
K409	外単径ヘルニア	有	13	73.2	4.0						1	10	2	
K409	内単径ヘルニア	有	2	81.0	4.0								1	1
K409	単径ヘルニア	有	74	47.6	3.7	8	13	5		3	5	29	11	
		無	5	27.6	2.0	1	1			2				1
K413	大腿ヘルニア嵌頓	有	1	71.0	7.0								1	
K414	壊疽性大腿ヘルニア	有	1	79.0	21.0								1	
K420	絞扼性臍ヘルニア	有	1	80.0	7.0									1
K420	臍ヘルニア嵌頓	有	3	85.7	7.7									3
		無	1	81.0	6.0									1
K429	臍ヘルニア	有	14	16.5	3.6	8	1	1			4			
		無	1	1.0	2.0	1								
K430	非還納性腹壁癒痕ヘルニア	有	1	73.0	9.0								1	
K430	嵌頓性腹壁癒痕ヘルニア	有	2	60.5	6.0						1		1	
		無	2	60.5	6.5						1		1	
K432	腹壁癒痕ヘルニア	有	15	73.1	6.9						1	10	4	
		無	2	76.5	6.0								2	
K435	傍ストーマヘルニア	有	3	81.7	11.7								1	2
K436	嵌頓性腹壁ヘルニア	有	1	87.0	3.0									1
K449	術後食道裂孔ヘルニア	有	1	67.0	12.0								1	
K449	食道裂孔ヘルニア	有	2	69.0	12.0								2	
K450	閉鎖孔ヘルニア嵌頓	有	1	88.0	8.0									1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層									
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~		
K458	会陰ヘルニア	有	1	76.0	10.0								1		
K458	上膀胱窩ヘルニア	有	1	75.0	4.0								1		
K469	内ヘルニア	有	4	77.5	8.8								2	2	
K500	回腸クローン病	有	2	45.5	10.0							2			
		無	3	32.3	11.0							2			
K501	大腸クローン病	無	1	14.0	5.0			1							
K508	小腸大腸クローン病	無	1	44.0	11.0							1			
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	有	4	38.8	30.8						3	1			
		無	6	45.7	10.7						2	4			
K510	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型の疑い	無	1	10.0	3.0			1							
K521	薬剤性腸炎	無	1	46.0	5.0							1			
K522	食物蛋白誘発胃腸炎	無	2	2.5	1.0	1	1								
K528	閉塞性大腸炎	有	1	39.0	31.0					1					
		無	1	87.0	8.0									1	
K550	亜急性虚血性大腸炎	無	2	75.5	9.0								1	1	
K550	急性虚血性大腸炎	有	3	66.7	15.3							2		1	
		無	19	71.5	11.5							5	9	5	
K550	急性小腸虚血	無	1	85.0	8.0									1	
K550	小腸壊死	有	1	86.0	10.0									1	
K550	腸壊死	有	1	86.0	11.0									1	
K550	非閉塞性腸間膜虚血	有	5	82.4	20.6								1	4	
K552	大腸血管形成異常	有	1	82.0	5.0									1	
K559	虚血性腸炎	無	1	83.0	3.0									1	
K560	麻痺性イレウス	有	1	67.0	10.0								1		
		無	8	40.3	6.9				3	2	1			2	
K560	麻痺性イレウスの再燃	無	1	20.0	2.0				1						
K561	腸重積症	有	5	13.0	5.0								1		
		無	1	0.0	3.0										
K562	S状結腸軸捻転	有	6	77.8	20.5								3	3	
		無	5	75.4	5.8								4	1	
K562	絞扼性イレウス	有	17	78.0	17.7							2	5	10	
		無	1	79.0	6.0								1		
K563	胆石性イレウス	有	1	43.0	10.0							1			
K564	糞便性イレウス	有	2	78.5	23.0									2	3
		無	5	82.4	9.4									2	3
K565	癒着性イレウス	有	13	74.2	17.9							3	6	4	
		無	21	64.5	9.1							3	9	6	
K566	小腸イレウス	無	2	63.0	9.0							1	1		
K566	閉塞性イレウス	無	2	58.5	8.5							2			
K571	レンメル症候群	有	1	71.0	4.0								1		
K571	回腸憩室症	有	1	76.0	10.0								1		
K571	十二指腸憩室出血	有	1	82.0	9.0									1	
K571	小腸憩室炎	有	1	73.0	13.0								1		
K572	S状結腸憩室穿孔	有	4	65.3	15.8							1	3		
K572	上行結腸憩室穿孔	有	2	73.5	10.0								2		
K573	S状結腸憩室炎	有	7	65.7	11.4							3	3	1	
		無	3	71.0	11.0							1		2	
K573	S状結腸憩室出血	有	9	80.9	13.6								3	6	
		無	5	79.8	7.8								3	2	
K573	S状結腸憩室出血の疑い	無	1	94.0	3.0									1	
K573	横行結腸憩室炎の疑い	無	1	77.0	6.0								1		
K573	横行結腸憩室出血	有	4	77.8	9.0								2	2	
		無	1	93.0	6.0									1	
K573	下行結腸憩室炎	無	2	68.0	6.5							1		1	
K573	下行結腸憩室出血	有	1	77.0	8.0								1		
K573	回盲部憩室炎	無	1	70.0	7.0								1		
K573	結腸憩室炎	無	1	68.0	8.0								1		
K573	上行結腸憩室炎	有	1	47.0	10.0								1		
		無	7	45.1	7.0						4	1	1	1	
K573	上行結腸憩室出血	有	15	67.9	8.5							4	8	3	
		無	3	64.7	7.0							1	2		
K573	大腸憩室出血	有	5	71.6	6.8							2	1	2	
		無	3	68.3	5.3								3		
K573	大腸憩室出血の疑い	有	3	54.3	5.0						1	1		1	
		無	3	80.7	7.3								2	1	
K573	盲腸憩室炎	有	1	60.0	6.0							1			
K590	便秘症	有	1	76.0	2.0								1		
K593	巨大結腸	有	1	77.0	29.0								1		
K603	痔瘻	有	1	61.0	8.0								1		
K621	直腸ポリープ	有	2	39.0	5.0								1		
K623	直腸脱	有	16	77.6	9.3							3	3	10	
K625	直腸出血	有	2	76.0	8.0								2		
K626	出血性直腸潰瘍	有	4	86.3	10.8								1	3	
		有	2	81.5	10.0								1	1	
K626	直腸潰瘍	有	1	87.0	17.0									1	
		無	1	87.0	17.0									1	
K628	肛門部痛	有	1	66.0	16.0								1		
K631	S状結腸穿孔	有	6	67.7	16.7							3	2	1	
K631	小腸穿孔	有	3	77.3	20.7								2	1	
K633	小腸潰瘍	有	2	50.0	8.0						1		1		
K633	非特異性多発性小腸潰瘍症	有	1	86.0	37.0									1	
K635	横行結腸ポリープ	有	1	74.0	2.0								1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K635	上行結腸ポリープ	有	1	72.0	2.0							1	
K635	大腸ポリープ	有	20	68.1	3.1						4	11	4
K638	腸管気腫症	有	1	83.0	17.0			1					1
K645	血栓性外痔核	無	1	83.0	6.0								1
K650	急性汎発性腹膜炎	有	9	73.1	34.3						2	4	3
K650	急性汎発性腹膜炎の疑い	有	1	84.0	2.0								1
K650	急性腹膜炎	有	1	82.0	12.0								1
K650	急性腹膜炎	無	1	88.0	59.0								1
K650	急性腹膜炎	有	1	86.0	3.0								1
K650	限局性腹膜炎	有	1	81.0	10.0								1
K650	限局性腹膜炎	無	1	81.0	8.0								1
K650	後腹膜膿瘍	有	2	80.0	53.5							1	1
K650	骨盤膿瘍(男性)	有	1	72.0	12.0							1	
K650	十二指腸穿孔腹膜炎	有	1	55.0	9.0						1		
K650	穿孔性腹腔内膿瘍	有	3	62.0	14.3			1					2
K650	穿孔性腹膜炎	有	1	83.0	16.0								1
K650	腸腰筋膿瘍	有	4	85.8	21.3							1	3
K650	腸腰筋膿瘍	無	1	78.0	24.0							1	
K650	腹腔骨盤部膿瘍	有	1	44.0	19.0						1		
K650	腹腔内膿瘍	有	2	68.5	27.0							2	
K650	腹腔内膿瘍	無	2	40.0	8.0				1	1			
K658	細菌性腹膜炎	無	1	77.0	9.0							1	
K658	腸間膜脂肪織炎	無	2	72.0	11.5							2	
K668	腹膜垂炎	有	1	26.0	7.0					1			
K701	アルコール性肝炎	無	2	58.0	11.5					1	1		
K703	アルコール性肝硬変	無	4	61.3	14.8					3	1		
K703	非代償性アルコール性肝硬変	有	1	50.0	8.0					1			
K703	非代償性アルコール性肝硬変	無	1	51.0	19.0					1	1		
K704	アルコール性肝不全	有	1	48.0	60.0					1			
K704	アルコール性肝不全	無	1	50.0	3.0					1			
K704	急性アルコール性肝不全	有	1	72.0	15.0							1	
K709	アルコール性肝障害	有	1	53.0	6.0					1			
K710	肝内閉塞性黄疸	無	1	71.0	33.0							1	
K719	薬物性肝障害	無	1	60.0	5.0					1			
K719	薬物性肝障害の疑い	有	1	72.0	5.0							1	
K720	急性肝不全	無	1	48.0	2.0					1			
K721	慢性肝不全	有	1	77.0	37.0							1	
K721	慢性肝不全	無	1	77.0	34.0							1	
K729	肝性脳症	有	1	86.0	25.0								1
K729	肝性脳症	無	6	79.2	9.5							4	2
K743	原発性胆汁性肝硬変	無	1	88.0	12.0								1
K746	B型肝硬変	有	2	77.0	9.0							2	
K746	B型非代償性肝硬変	有	1	42.0	24.0					1			
K746	肝硬変症	無	1	64.0	25.0							1	
K746	非代償性肝硬変	有	1	90.0	5.0								1
K746	非代償性肝硬変	無	1	73.0	7.0							1	
K750	化膿性肝膿瘍	有	2	68.0	21.0							2	
K750	化膿性肝膿瘍	無	1	77.0	7.0							1	
K750	肝膿瘍	有	2	59.0	13.0					1	1		
K750	肝膿瘍	無	1	66.0	12.0						1		
K750	細菌性肝膿瘍	有	5	71.6	35.6					1	3	1	
K750	多発性肝膿瘍	有	2	72.0	19.5						2		
K750	多発性肝膿瘍	無	1	76.0	4.0						1		
K754	自己免疫性肝炎の疑い	無	1	67.0	3.0							1	
K758	非アルコール性脂肪性肝炎	有	1	64.0	19.0							1	
K760	脂肪肝	無	1	12.0	2.0								
K760	非アルコール性脂肪肝	無	1	6.0	6.0			1					
K766	門脈圧亢進症性胃症	有	1	66.0	5.0							1	
K768	感染性肝のう胞	有	1	81.0	17.0								1
K768	感染性肝のう胞	無	1	71.0	11.0							1	
K768	肝のう胞	有	1	73.0	9.0							1	
K768	肝のう胞	無	3	77.3	5.0							2	1
K768	類洞閉塞症候群	有	1	66.0	32.0							1	
K769	肝障害	有	1	93.0	20.0								1
K800	胆石を伴う壊瘍性胆のう炎	有	1	69.0	8.0							1	
K800	胆石性急性胆のう炎	有	29	70.2	7.8			1			4	16	8
K801	胆石性胆のう炎	有	17	66.0	5.7						8	6	3
K802	胆のう管結石症	有	1	64.0	6.0							1	
K802	胆のう結石症	有	51	64.9	5.4					4	11	29	7
K803	肝内結石性胆管炎	有	5	76.4	7.2							3	2
K803	総胆管結石を伴う急性化膿性胆管炎	有	2	86.0	39.5								2
K803	総胆管結石を伴う急性閉塞性化膿性胆管炎	有	1	69.0	6.0							1	
K803	総胆管結石性胆管炎	有	136	78.9	8.6			2		2	14	41	77
K803	総胆管結石性胆管炎	無	6	75.5	8.0						1	3	2
K803	総胆管結石性胆管炎の疑い	無	1	90.0	4.0								1
K803	胆管結石性胆管炎	有	1	57.0	6.0						1		
K804	総胆管結石性胆のう炎	有	6	78.8	15.8						1	2	3
K805	肝内結石症	無	4	78.3	2.8							3	1
K805	総胆管結石	有	37	71.7	4.2						4	24	9
K805	総胆管結石	無	3	79.7	2.7							1	2
K808	胆石性膝炎	有	1	31.0	11.0					1			

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
K810	壊疽性胆のう炎	有	5	77.0	16.6							3	2
K810	急性胆のう炎	有	8	55.3	6.4					1	4	3	
K810	急性胆のう炎の疑い	無	2	78.0	6.5							2	
K811	慢性胆のう炎	有	1	83.0	4.0								1
K828	多発性胆のうポリープ	有	1	34.0	3.0					1			
K828	胆のうコレステロールポリープ	有	2	61.0	5.0						1	1	
K828	胆のうポリープ	有	1	52.0	5.0						1		
K828	胆のう捻転	有	1	93.0	6.0								1
K830	逆行性胆管炎	有	2	79.5	32.0							1	1
K830	急性化膿性胆管炎	無	12	16.3	6.3		5	5				1	1
K830	急性胆管炎	有	2	66.0	6.5						1	1	
K830	急性胆管炎	無	1	75.0	7.0							1	
K830	急性胆管炎	有	19	73.6	12.2						4	8	7
K830	急性胆管炎	無	12	76.5	5.0							7	5
K830	急性胆管炎の疑い	無	1	86.0	3.0								1
K830	急性閉塞性化膿性胆管炎	有	6	85.7	12.0							1	5
K830	原発性硬化性胆管炎	有	1	70.0	2.0							1	
K830	術後胆管炎	無	1	65.0	4.0							1	
K831	肝内胆管狭窄	無	1	66.0	2.0							1	
K831	総胆管狭窄症	有	1	70.0	2.0							1	
K831	胆管狭窄症	有	8	60.5	2.8						5	3	
K831	胆管閉塞症	有	1	50.0	2.0						1		
K831	胆道閉塞	有	1	50.0	4.0						1		
K831	閉塞性黄疸	有	9	71.9	5.4						2	5	2
K831	閉塞性黄疸	無	1	89.0	8.0								1
K838	肝外閉塞性黄疸	有	7	71.3	8.4						2	4	1
K838	総胆管拡張症	有	2	73.5	2.0							1	1
K838	胆管拡張症	無	1	2.0	11.0	1							
K850	特発性急性膵炎	有	1	71.0	14.0							1	
K850	特発性急性膵炎	無	10	59.4	13.0					1	5	3	1
K851	胆石性膵炎	有	5	79.4	11.6						1	1	3
K852	アルコール性急性膵炎	有	2	81.5	11.0							1	1
K852	アルコール性急性膵炎	無	9	52.0	12.4						7	2	
K853	薬剤性膵炎	無	1	73.0	11.0							1	
K858	術後膵炎	無	2	43.5	6.5				1			1	
K859	急性膵炎	無	1	21.0	5.0					1			
K860	アルコール性慢性膵炎	有	3	65.3	5.0							3	
K860	アルコール性慢性膵炎	無	8	63.5	12.3						5	3	
K860	アルコール性慢性膵炎の疑い	無	1	64.0	3.0							1	
K861	1型自己免疫性膵炎	有	1	74.0	30.0							1	
K861	慢性膵炎	有	8	52.9	3.9						5	3	
K861	慢性膵炎	無	4	60.8	6.0						2	1	1
K862	膵のう胞	有	1	35.0	13.0					1			
K862	膵のう胞	無	5	63.4	2.0						1	4	
K863	仮性膵のう胞	有	2	69.0	18.5							2	
K868	腫瘍形成性膵炎	有	1	66.0	9.0							1	
K868	膵液瘻	無	1	92.0	11.0								1
K868	膵管拡張	無	1	73.0	4.0							1	
K868	膵管狭窄	有	1	65.0	2.0							1	
K904	蛋白漏出性胃腸症	無	1	12.0	18.0			1					
K911	早期ダンピング症候群	無	1	40.0	9.0					1			
K913	術後イレウス	有	4	71.0	9.3						1	3	
K913	術後癒着性イレウス	無	9	75.3	7.6							5	4
K913	術後癒着性イレウス	有	14	65.0	18.5				1	1	1	10	1
K913	術後癒着性イレウス	無	22	72.5	8.6					1	1	15	5
K914	人工肛門部腸管脱出	無	1	80.0	5.0								1
K918	術後食道狭窄	有	59	67.4	3.3						17	28	14
K918	術後食道狭窄	無	2	66.0	6.5							2	
K918	術後胆管炎	無	1	52.0	5.0						1		
K918	術後胆管狭窄	有	1	76.0	3.0							1	
K918	術後胆管狭窄	無	1	75.0	4.0							1	
K918	術後嚥下障害	有	1	73.0	5.0							1	
K918	胆管空腸吻合部狭窄	有	2	79.5	16.5							1	1
K918	内視鏡処置後胃潰瘍	有	2	75.0	7.0							2	
K918	輸入脚症候群の疑い	無	1	65.0	2.0							1	
K922	下部消化管出血	有	2	63.0	8.5					1			1
K922	下部消化管出血	無	3	84.0	10.0							1	2
K922	下部消化管出血の疑い	有	1	87.0	8.0								1
K922	下部消化管出血の疑い	無	1	90.0	4.0								1
K922	小腸出血の疑い	無	1	68.0	3.0							1	
K922	消化管出血	有	1	64.0	5.0							1	
K922	消化管出血	無	1	73.0	6.0							1	
K922	消化管出血の疑い	無	1	86.0	5.0								1
K922	上部消化管出血	有	2	86.0	7.5							1	1
K922	上部消化管出血の疑い	無	1	80.0	9.0								1
L010	全身伝染性膿痂疹	無	1	0.0	4.0	1							
L010	足膿痂疹	無	1	68.0	21.0							1	
L020	頬部膿瘍	有	3	65.7	10.0						1	2	
L022	下腹部膿瘍	有	2	57.0	7.5						2		
L022	会陰部膿瘍	無	1	76.0	11.0							1	

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
L022	腹部膿瘍	有	1	72.0	37.0								1	
L022	腹壁膿瘍	有	1	73.0	29.0								1	
L022	臍部膿瘍	無	1	30.0	2.0					1				
L023	殿部膿瘍	有	1	63.0	48.0								1	
L024	大腿部膿瘍	有	1	48.0	27.0							1		
L029	頭筋膿瘍	有	1	49.0	58.0							1		
L029	頭部膿瘍	無	1	98.0	9.0									1
L031	下肢蜂巣炎	無	1	96.0	32.0									1
L031	下腿蜂巣炎	有	3	65.3	21.0							1	2	
L031	上腕蜂巣炎	無	6	65.7	15.5							1	2	3
L031	足蜂巣炎	無	1	1.0	4.0	1								
L031	足蜂巣炎	有	3	70.7	38.3								3	
L031	足蜂巣炎	無	1	86.0	17.0									1
L032	頬部蜂巣炎	無	1	83.0	6.0									1
L033	体幹蜂巣炎	有	1	65.0	13.0								1	
L033	背部蜂巣炎	有	1	88.0	13.0									1
L039	顎下部蜂窩織炎	有	1	45.0	10.0							1		
L039	顎下部蜂窩織炎	無	1	79.0	3.0								1	
L040	頸部リンパ節炎	無	4	29.5	5.0			2		1			1	
L040	頸部化膿性リンパ節炎	無	2	2.5	7.0	1	1							
L059	仙骨部毛巣洞	有	1	24.0	7.0					1				
L100	尋常性天疱瘡	無	1	36.0	23.0					1				
L120	水疱性類天疱瘡	有	1	87.0	32.0									1
L120	水疱性類天疱瘡	無	2	84.0	77.0									2
L138	線状 I g A 水疱性皮膚症	無	1	79.0	59.0								1	
L270	全身薬疹	無	2	43.5	10.0	1								1
L270	薬剤性過敏症症候群	無	1	21.0	9.0					1				
L500	アレルギー性じんま疹	無	1	0.0	2.0	1								
L518	多形滲出性紅斑	無	3	23.0	5.0	2							1	
L52	結節性紅斑	無	1	14.0	12.0			1						
L530	特発性中毒疹	無	1	51.0	17.0									
L539	湿疹続発性紅皮膚症	無	1	63.0	12.0							1		
L570	頭部光線角化症	無	1	86.0	8.0									1
L600	陥入爪	有	1	49.0	8.0							1		
L600	母趾陥入爪	有	1	57.0	7.0							1		
L608	爪変形	有	1	64.0	8.0								1	
L750	腋臭症	有	5	19.6	5.8			2	2	1				
L88	下腿壞疽性膿皮症	有	1	53.0	28.0							1		
L893	仙骨部褥瘡・ステージ I V	有	1	82.0	56.0									1
L893	多発褥瘡・ステージ I V	有	1	88.0	38.0									1
L893	頬部褥瘡・ステージ I V	有	1	77.0	80.0								1	
L893	褥瘡・ステージ I V	有	1	84.0	46.0									1
L905	下眼瞼癒痕拘縮	有	3	75.3	7.0								2	1
L905	下腹部癒痕拘縮	有	1	65.0	8.0								1	
L905	眼瞼癒痕拘縮	有	1	40.0	5.0					1				
L905	胸部癒痕拘縮	有	6	49.3	7.0							6		
L905	胸部腋窩癒痕拘縮	有	1	46.0	6.0							1		
L905	頸部癒痕拘縮	有	1	54.0	11.0							1		
L905	上眼瞼癒痕拘縮	有	2	77.5	6.0								2	
L905	腹壁癒痕拘縮	有	1	43.0	4.0							1		
L905	腋窩癒痕拘縮	有	3	56.7	9.3							2	1	
L905	臍癒痕拘縮	有	1	40.0	7.0					1				
L905	踵潰瘍癒痕	有	1	77.0	9.0								1	
L910	手掌熱傷後癒痕ケロイド拘縮	有	1	2.0	6.0	1								
L910	熱傷後癒痕ケロイド	有	1	73.0	18.0								1	
L928	臍肉芽腫	有	1	0.0	3.0	1								
L97	下腿難治性皮膚潰瘍	有	2	79.0	33.5								1	1
L97	下腿皮膚潰瘍	有	6	66.7	36.7					1			4	1
L97	足関節難治性皮膚潰瘍	有	1	55.0	25.0							1		
L97	足部難治性皮膚潰瘍	有	1	72.0	52.0								1	
L97	母趾難治性皮膚潰瘍	有	1	44.0	11.0							1		
L984	2型糖尿病性潰瘍	無	1	50.0	19.0							1		
L984	難治性皮膚潰瘍	有	2	70.5	51.5								2	
L984	背部難治性皮膚潰瘍	有	2	61.0	38.5								2	
L984	皮膚潰瘍	有	2	64.5	23.5							1	1	
M0005	ぶどう球菌性股関節炎	無	1	50.0	15.0							1		
M0091	化膿性関節炎・肩関節	有	1	86.0	11.0									1
M0095	化膿性関節炎・股関節	有	2	69.0	24.5								2	
M0096	化膿性関節炎・膝関節	有	1	70.0	18.0								1	
M0096	化膿性関節炎・膝関節	無	1	98.0	44.0									1
M0239	反応性関節炎	無	1	86.0	11.0									1
M0600	R S 3 P E 症候群	無	1	78.0	15.0								1	
M0695	関節リウマチ・股関節	有	1	70.0	17.0								1	
M0696	関節リウマチ・膝関節	有	1	72.0	17.0								1	
M1122	肘関節偽痛風	無	1	83.0	2.0									1
M1128	頸椎偽痛風	無	1	82.0	9.0									1
M1226	膝色素性絨毛結節性滑膜炎	有	1	44.0	4.0							1		
M1315	股関節炎	無	1	5.0	2.0									
M160	両側性原発性股関節症	有	2	74.0	14.5								1	1
M160	両側性原発性変形性股関節症	有	1	92.0	21.0									1
M161	一側性原発性股関節症	有	5	75.4	16.6								3	2

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
M161	原発性股関節症	有	2	77.0	11.5							1	1
M162	両側性形成不全性股関節症	有	3	65.3	19.7						1	2	
M163	一側性形成不全性股関節症	有	1	74.0	22.0							1	
		無	1	70.0	4.0							1	
M165	外傷性変形性股関節症	有	1	63.0	12.0							1	
M166	両側性続発性股関節症	有	1	66.0	16.0							1	
M167	一側性続発性変形性股関節症	有	1	69.0	12.0							1	
M170	両側性原発性膝関節症	有	15	76.8	15.8							10	5
M170	両側性変形性膝関節症	有	16	75.9	15.6						2	8	6
		無	1	87.0	7.0								1
M171	一側性原発性膝関節症	有	4	73.8	14.3							3	1
M171	一側性変形性膝関節症	有	3	77.3	13.3							2	1
M173	一側性外傷後膝関節症	有	1	70.0	15.0							1	
M173	外傷後変形性膝関節症	有	1	76.0	15.0							1	
M175	一側性続発性膝関節症	有	1	78.0	18.0							1	
M175	続発性変形性膝関節症	有	1	77.0	14.0							1	
M2316	円板状外側半月板	有	2	34.5	11.0			1			1		
M2452	肘関節拘縮	有	1	58.0	5.0						1		
M2550	多発性関節痛	無	1	88.0	12.0								1
M303	急性熱性皮膚リンパ節症候群	無	1	3.0	6.0								
M303	川崎病	無	18	1.6	9.7	13		5					
M303	川崎病の疑い	無	1	2.0	4.0	1							
M303	川崎病性冠動脈瘤	無	1	4.0	16.0			1					
M303	不全型川崎病	無	3	1.0	10.0	3							
M311	血栓性血小板減少性紫斑病	有	1	76.0	2.0							1	
		無	1	60.0	23.0						1		
M311	後天性血栓性血小板減少性紫斑病	無	1	57.0	1.0						1		
M316	巨細胞動脈炎	有	1	65.0	31.0							1	
M317	顕微鏡的多発血管炎	有	1	78.0	108.0							1	
		無	2	72.0	58.0							2	
M318	ANCA関連血管炎	無	1	72.0	39.0							1	
M331	無筋症性皮膚筋炎	無	1	48.0	24.0						1		
M351	抗ARS抗体症候群	無	1	79.0	9.0							1	
M359	IgG4関連疾患	無	1	52.0	9.0						1		
M4185	胸腰椎変性側弯症	無	1	81.0	2.0								1
M4186	変性側弯症	有	1	77.0	28.0							1	
		無	1	80.0	2.0								1
M4316	腰椎すべり症	有	14	77.0	15.0							8	6
		無	1	66.0	2.0							1	
M4316	腰椎分離すべり症	有	4	62.5	16.3						1	3	
		無	1	74.0	2.0							1	
M4316	腰椎変性すべり症	有	3	63.3	17.3						1	2	
		無	2	64.0	2.0						1	1	
M4342	非外傷性環軸関節亜脱臼	無	1	73.0	2.0							1	
M4634	胸椎化膿性椎間板炎	有	1	67.0	46.0							1	
M4635	胸腰椎化膿性椎間板炎	無	1	91.0	19.0								1
M4636	腰椎化膿性椎間板炎	有	1	83.0	40.0								1
M4652	頸椎化膿性脊椎炎	有	1	59.0	51.0						1		
M4654	胸椎化膿性脊椎炎	有	2	71.0	25.0							2	
M4656	腰椎化膿性脊椎炎	有	5	79.6	41.2							3	2
		無	3	71.0	17.7							3	
M4712	頸椎症性脊髄症	有	22	70.7	17.1						4	12	6
		無	9	64.6	2.2						3	6	
M4712	頸椎症性脊髄症の疑い	無	1	80.0	2.0								1
M4714	胸椎症性脊髄症	有	1	50.0	11.0						1		
		無	2	63.5	2.0						1	1	
M4722	頸椎症性神経根症	有	4	54.5	13.5						3	1	
		無	7	52.4	2.0						6		1
M4782	頸椎症	無	1	57.0	2.0						1		
M4800	広範脊柱管狭窄症	有	2	45.5	31.5					1	1		
M4806	腰部脊柱管狭窄症	有	94	71.6	15.0						10	63	21
		無	59	70.1	2.3						13	35	11
M4819	びまん性特発性骨増殖症	無	1	91.0	8.0								1
M4854	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	1	83.0	14.0								1
M4856	偽関節による遅発性麻痺	有	1	80.0	22.0								1
M4856	胸椎圧迫骨折後偽関節による遅発性麻痺	有	2	83.0	16.5							1	1
		無	8	76.4	14.6						1	2	5
M4882	頸椎後縦靭帯骨化症	有	7	72.3	2.0						1	4	2
		無	5	69.8	15.8						2		3
M4884	胸椎黄色靭帯骨化症	有	2	51.0	2.0						2		
M4885	胸腰椎黄色靭帯骨化症	有	1	82.0	28.0								1
M502	頸椎椎間板ヘルニア	有	5	54.0	13.8						3	2	
		無	1	63.0	2.0							1	
M512	胸椎椎間板ヘルニア	有	1	61.0	14.0							1	
M512	腰椎椎間板ヘルニア	有	44	52.3	10.7				1	14	12	13	4
		無	14	52.9	2.2					2	8	3	1
M512	第4・5腰椎椎間板ヘルニア	有	1	28.0	12.0					1			
M5446	腰痛坐骨神経痛症候群	有	1	51.0	6.0						1		
M5456	急性腰痛症	無	1	69.0	3.0							1	
M5456	慢性腰痛症	無	1	44.0	8.0						1		
M6289	横紋筋融解	無	5	80.0	13.8							3	2

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
M6504	手化膿性腱鞘炎	有	1	73.0	25.0								1	
M6504	小指化膿性腱鞘炎	有	1	82.0	8.0									1
M6504	中指化膿性腱鞘炎	有	1	81.0	10.0									1
M6594	環指腱鞘炎	有	2	63.5	2.0								2	
M6596	膝関節滑膜炎	有	5	49.4	3.8					2	1	2		
M674	手関節掌側ガングリオン	有	1	45.0	4.0						1			
M674	手関節背側ガングリオン	有	1	56.0	4.0						1			
M7065	大転子部滑液包炎	有	1	30.0	19.0					1				
M7075	化膿性股関節滑液包炎	有	1	39.0	16.0					1				
M7126	膝窩部ペーカークのう腫	有	1	67.0	6.0								1	
M7197	足関節滑液包炎	有	1	58.0	7.0						1			
M7265	会陰部フルニエ壊疽	有	1	63.0	17.0								1	
M7266	下腿壊死性筋膜炎	有	4	67.3	38.3						1	3		
M7269	頸部壊死性筋膜炎	有	1	53.0	34.0						1			
M7269	背部壊死性筋膜炎	有	1	89.0	17.0									1
M755	肩滑液包炎	無	1	80.0	9.0									1
M7955	殿部異物・残留	有	1	57.0	6.0						1			
M8085	老年性骨粗鬆症・骨盤部病的骨折あり	有	1	82.0	10.0									1
M8088	老年性骨粗鬆症・脊椎病的骨折あり	無	1	75.0	12.0								1	
M8415	大腿骨偽関節	有	1	75.0	18.0								1	
M8417	距骨偽関節	有	1	71.0	9.0								1	
M8418	胸椎偽関節	有	2	77.0	31.5							1	1	
M8425	大腿骨骨折の遷延癒合	有	1	61.0	6.0								1	
M8616	急性下腿骨髄炎	有	1	53.0	33.0						1			
M8616	急性脛骨骨髄炎	有	2	32.0	8.5					2				
M8655	慢性血行性大腿骨骨髄炎	有	1	27.0	15.0					1				
M8666	下腿骨慢性骨髄炎	有	1	76.0	55.0								1	
M8694	指骨髄炎	有	3	57.7	4.3							2	1	
M8696	下腿骨骨髄炎	有	1	54.0	24.0						1			
M8697	足部骨髄炎	有	1	72.0	23.0								1	
M8697	趾骨髄炎	有	2	70.0	43.5							1		1
M8697	踵骨骨髄炎	有	1	74.0	123.0								1	
M8697	踵骨骨髄炎	無	1	75.0	12.0								1	
M8698	肋骨骨髄炎	有	1	67.0	11.0								1	
M8699	脛骨MRSA骨髄炎	有	1	32.0	10.0					1				
M8705	特発性大腿骨頭壊死	有	1	61.0	11.0								1	
M8715	ステロイド性大腿骨頭壊死	有	1	69.0	18.0								1	
M8725	外傷性大腿骨頭壊死	有	1	92.0	16.0									1
M8795	大腿骨頭壊死	有	1	83.0	15.0									1
M8795	大腿骨内顆骨壊死	有	2	80.5	15.0								1	1
M930	大腿骨頭すべり症	有	1	12.0	15.0			1						
M9410	再発性多発軟骨炎	有	1	60.0	12.0						1			
M960	大腿骨骨癒合術後偽関節	有	1	56.0	13.0						1			
M966	人工股関節周囲骨折	有	4	87.3	17.3								1	3
M966	人工膝関節周囲骨折	有	1	77.0	17.0								1	
M966	大腿骨人工関節周囲骨折	無	1	90.0	2.0									1
N028	IgA腎症	有	5	45.2	11.4					2	2	1		
N028	IgA腎症	無	15	49.5	3.0					7	2	6		
N028	IgA腎症の疑い	無	1	10.0	4.0			1						
N039	慢性糸球体腎炎	無	2	37.0	4.0				1					
N039	慢性糸球体腎炎の疑い	無	4	49.5	3.5			1			1	2		
N040	微小変化型ネフローゼ症候群	有	1	81.0	11.0									1
N049	ネフローゼ症候群	無	3	36.7	26.0			1			2			
N052	膜性腎症	無	3	69.0	14.7								3	
N052	膜性腎症	有	1	66.0	21.0								1	
N052	膜性腎症	無	2	63.0	15.5						1	1		
N052	膜性腎症の疑い	無	1	50.0	4.0						1			
N083	1型糖尿病性腎症第5期	有	1	70.0	29.0								1	
N083	2型糖尿病性腎症第4期	有	1	60.0	2.0						1			
N083	2型糖尿病性腎症第5期	無	1	60.0	6.0						1			
N085	ループス腎炎	無	1	44.0	4.0						1			
N10	急性腎盂腎炎	有	3	69.0	8.0						1	1	1	
N10	急性腎盂腎炎	無	57	62.7	9.9	4	4			1	9	24	15	
N10	急性巣状細菌性腎炎	無	2	62.5	10.0						1	1		
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	有	1	80.0	10.0									1
N12	水腎症を伴う腎盂腎炎	無	3	80.0	17.0								2	1
N12	尿細管間質性腎炎	無	2	65.0	13.5								2	
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	有	34	62.4	2.7						15	15	4	
N131	尿管狭窄を伴う水腎症	無	1	69.0	2.0								1	
N132	尿管結石性閉塞を伴う水腎症	有	7	84.1	6.6						1	1	5	
N133	水腎症	有	1	54.0	3.0						1			
N135	後腹膜線維症	有	1	52.0	12.0						1			
N135	後腹膜線維症	無	1	52.0	6.0						1			
N135	後腹膜線維症の疑い	無	1	66.0	2.0								1	
N137	膀胱尿管逆流	有	4	21.3	4.0			2	1				1	
N151	腎膿瘍	有	1	22.0	18.0					1				
N170	急性腎性腎不全	有	1	80.0	86.0									1
N170	急性腎性腎不全	無	1	16.0	5.0				1					
N178	急性腎後性腎不全	有	2	84.5	34.0									2
N178	急性腎後性腎不全	無	2	83.5	24.0								1	1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N178	急性腎前性腎不全	有	3	79.3	11.7							2	1
		無	11	74.6	11.8						2	5	4
N179	急性腎不全	有	1	92.0	12.0								1
		無	1	85.0	30.0								1
N182	慢性腎臓病ステージG 2	無	1	50.0	2.0						1		
N183	慢性腎臓病ステージG 3	有	1	54.0	2.0						1		
		無	1	60.0	2.0						1		
N183	慢性腎臓病ステージG 3 a	有	1	69.0	5.0							1	
N183	慢性腎臓病ステージG 3 b	無	4	53.8	7.5				1	1		2	
N184	慢性腎臓病ステージG 4	有	2	59.0	103.5						1	1	
		無	1	91.0	6.0								1
N185	末期腎不全	有	4	70.3	41.3						1	2	1
		無	4	70.3	10.3				1			1	2
N185	慢性腎臓病ステージG 5	有	34	66.9	23.4			1		10	17	6	
		無	14	70.0	19.4					1	2	8	3
N185	慢性腎臓病ステージG 5 D	有	34	66.9	15.0				1	13	11	9	
		無	14	62.9	11.9					6	7	1	
N189	慢性腎臓病	無	1	65.0	2.0							1	
N189	慢性腎不全	無	3	79.7	15.7							2	1
N200	腎結石症	有	17	66.2	5.5					4	11	2	
		無	22	72.9	6.0					5	9	8	
N201	尿管結石症	有	3	83.0	3.7								3
N202	腎尿管結石	有	7	64.1	5.1					1	1	4	1
N209	結石性腎盂腎炎	有	9	73.3	11.6					3	3	2	4
		無	9	61.6	8.3					3		4	2
N210	膀胱結石症	有	4	57.3	6.8				1	1	1	2	
N281	腎のう胞	有	1	72.0	2.0							1	
N288	急性腎障害	有	1	90.0	30.0								1
		無	1	66.0	12.0							1	
N288	特発性腎出血	有	1	60.0	4.0					1			
N289	腎機能低下	有	1	65.0	16.0							1	
N300	急性出血性膀胱炎	有	1	93.0	7.0								1
		無	4	59.5	7.8		1				1	1	1
N300	急性膀胱炎	無	1	1.0	5.0	1							
N301	間質性膀胱炎	有	1	76.0	5.0							1	
N301	間質性膀胱炎(ハンナ型)	有	1	73.0	4.0							1	
N308	尿管膿瘍	有	2	61.0	8.5					1			1
N312	弛緩性神経因性膀胱	有	1	72.0	30.0							1	
N319	神経因性膀胱	有	2	79.0	11.0							1	1
N320	膀胱頸部狭窄	有	4	75.8	10.8							3	1
N328	過活動膀胱	有	1	67.0	5.0							1	
N328	膀胱出血	有	1	63.0	6.0							1	
N359	尿道狭窄症	無	3	72.0	7.7							3	
N390	急性尿路感染の疑い	無	1	0.0	3.0	1							
N390	単純性尿路感染症	無	1	95.0	12.0								1
N390	尿路感染症	無	31	73.3	13.5	3	1			1	6	20	
N390	複雑性尿路感染症	無	5	73.0	13.2					1	2	2	
N390	慢性尿路感染症	無	1	76.0	6.0						1		
N40	前立腺肥大症	有	74	74.2	7.1					4	47	23	
		無	1	74.0	2.0							1	
N410	急性細菌性前立腺炎	無	2	72.0	6.0						2		
N412	前立腺膿瘍	有	1	84.0	13.0								1
N421	前立腺出血	有	2	64.5	13.5					1	1		
		無	2	80.0	5.5						1	1	1
N432	交通性陰のう水腫	有	8	3.8	3.0	2	5	1					
		無	1	5.0	2.0		1						
N433	陰のう水腫	有	2	35.0	3.5	1						1	
N433	陰嚢水腫	有	6	18.3	3.2	3	1				2		
		無	1	3.0	1.0		1						
N433	精索水腫	有	4	3.8	3.0	1	2	1					
N44	精巣垂捻転	有	1	11.0	3.0			1					
N44	精巣捻転症	有	3	21.3	4.0			2		1			
N46	男性不妊症	有	2	33.0	1.0					2			
N47	嵌頓包茎	有	1	17.0	4.0				1				
N500	精巣萎縮	有	1	4.0	3.0		1						
N509	陰のう内腫瘍	有	1	69.0	6.0							1	
N61	乳腺膿瘍	有	1	37.0	12.0					1			
N649	乳腺症	有	1	46.0	3.0						1		
N700	急性卵管卵巣膿瘍	有	1	50.0	13.0						1		
N701	卵管留水症	有	1	45.0	5.0						1		
N710	急性子宮留膿症	有	1	83.0	27.0								1
N711	慢性子宮内膜炎	有	1	42.0	3.0					1			
N72	子宮頸管炎	無	1	73.0	13.0							1	
N733	急性骨盤腹膜炎	有	2	56.0	9.0						1	1	
		無	4	38.3	5.0					3	1		
N735	骨盤腹膜炎	無	1	58.0	5.0						1		
N750	バルトリン腺のう胞	有	1	48.0	3.0						1		
N800	子宮腺筋症	有	5	44.8	5.2					1	4		
		無	2	49.5	4.0						2		
N801	チョコレート嚢胞	有	1	28.0	5.0					1			
		無	1	43.0	4.0						1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
N801	卵巣子宮内膜症	有	1	42.0	5.0						1		
N801	卵巣子宮内膜症のう胞	有	9	38.6	5.8					4	5		
N803	骨盤子宮内膜症	有	3	46.3	6.3						3		
N811	膀胱瘤	有	8	70.4	5.5							8	
N812	子宮下垂	有	1	71.0	8.0							1	
N812	子宮脱1度	有	2	56.5	6.0						1	1	
N812	子宮脱2度	有	3	76.7	6.0							2	1
N812	子宮脱2度	無	1	67.0	6.0							1	
N813	完全子宮脱	有	5	77.4	5.4							3	2
N813	子宮脱3度	無	1	74.0	6.0							1	
N813	子宮脱3度	有	1	52.0	7.0						1		
N813	全子宮脱	有	1	73.0	13.0							1	
N835	卵管捻転	有	1	11.0	3.0			1					
N835	卵巣捻転	有	6	46.8	4.8				3	1	2		
N835	卵巣捻転	有	1	75.0	5.0							1	
N838	卵巣出血	無	1	39.0	7.0					1			
N840	子宮内膜ポリープ	有	17	45.8	3.1					8	5	3	1
N850	子宮内膜増殖症	有	3	63.0	3.0						2		1
N851	子宮内膜異型増殖症	有	8	51.6	6.4						6	2	
N857	子宮留血症	無	1	80.0	8.0								1
N870	子宮頸部軽度異形成	有	1	28.0	2.0					1			
N871	子宮頸部中等度異形成	有	20	40.1	3.4					8	12		
N872	子宮頸部高度異形成	有	4	47.3	3.0						4		
N872	子宮頸部高度異形成	無	1	40.0	6.0					1			
N888	分葉状内頸部膜過形成	有	1	48.0	6.0						1		
N981	卵巣過剰刺激症候群	有	1	27.0	4.0					1			
N981	卵巣過剰刺激症候群	無	1	34.0	4.0					1			
N993	子宮切除後膣壁脱	有	1	70.0	6.0							1	
O001	卵管妊娠	有	1	37.0	5.0					1			
O001	卵管妊娠破裂	有	1	32.0	6.0					1			
O001	卵管膨大部妊娠	有	1	29.0	5.0					1			
O002	卵巣妊娠	有	1	33.0	5.0					1			
O021	稽留流産	有	5	34.6	3.0					4	1		
O034	不全流産	有	1	39.0	5.0					1			
O039	完全流産	有	1	40.0	2.0					1			
O049	人工妊娠中絶	有	1	23.0	5.0					1			
O049	人工妊娠中絶	無	2	31.5	4.0					2			
O13	妊娠高血圧症	有	1	43.0	24.0						1		
O13	妊娠高血圧症	無	1	43.0	7.0						1		
O140	軽症妊娠高血圧症候群	有	5	33.4	12.0					5			
O140	軽症妊娠高血圧症候群	無	7	34.0	7.7					6	1		
O140	軽症妊娠高血圧腎症	有	1	37.0	7.0					1			
O141	重症妊娠高血圧症候群	有	11	33.8	7.8					10	1		
O141	重症妊娠高血圧症候群	無	1	39.0	7.0					1			
O141	重症妊娠高血圧腎症	有	9	32.0	8.1					9			
O142	HELLP症候群	有	1	31.0	7.0					1			
O149	妊娠高血圧症候群	無	1	32.0	2.0					1			
O200	切迫流産	無	4	32.5	5.3					4			
O208	絨毛膜下血腫	無	2	30.0	40.0					2			
O211	重症妊娠悪阻	無	6	29.2	8.7					6			
O211	脱水を伴う妊娠悪阻	無	3	42.3	10.3						3		
O235	子宮内感染症	無	1	25.0	11.0					1			
O244	妊娠糖尿病	無	11	37.1	8.2					7	4		
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	有	3	32.7	20.3					3			
O300	一絨毛膜二羊膜性双胎	無	1	21.0	10.0					1			
O300	二絨毛膜二羊膜性双胎	有	11	31.5	20.5					10	1		
O321	骨盤位	有	5	31.6	6.8					5			
O321	骨盤位のための母体管理	有	5	39.0	8.2					4	1		
O321	不全足位	有	1	24.0	6.0					1			
O322	横位	有	1	30.0	7.0					1			
O331	比較的狭骨盤	有	2	29.0	10.0					1			
O335	巨大児による骨盤不均衡	有	6	35.5	8.0			1		5	1		
O342	既往子宮術後妊娠	有	3	36.7	7.0					3			
O342	既往帝王切後妊娠	有	91	34.9	7.0					81	10		
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	有	13	33.7	7.9					11	2		
O343	子宮頸管無力症のための母体管理	無	3	32.0	25.0					3			
O344	頸管熟化不全	有	9	31.2	9.2					9			
O344	頸管熟化不全	無	21	31.8	6.4					20	1		
O351	胎児染色体異常	無	1	34.0	4.0					1			
O358	胎児心疾患のための母体管理	無	1	36.0	1.0					1			
O364	子宮内胎児死亡	有	1	40.0	3.0					1			
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	無	1	36.0	4.0					1			
O364	子宮内胎児死亡のための母体管理	有	5	34.6	5.4					4	1		
O365	胎児発育不全のための母体管理	有	5	31.4	13.6					5			
O365	胎児発育不全のための母体管理	無	2	28.5	12.5					2			
O365	胎盤機能不全	有	4	34.5	7.8					3	1		
O368	潜在胎児機能不全	無	1	24.0	2.0					1			
O40	胎児因子による羊水過多症	無	1	38.0	1.0					1			
O411	絨毛膜羊膜炎	有	3	31.7	8.0					3			
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	有	3	32.3	6.7					3			
O420	前期破水・分娩開始が破水後24時間未満	無	10	31.9	6.2					9	1		

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
O421	前期破水・分娩開始が破水後24時間以降	有	3	32.7	8.3					3			
		無	5	30.0	5.4					5			
O429	高位破水	無	1	35.0	17.0					1			
O441	出血を伴う前置胎盤	有	2	33.5	37.0					2			
O441	全前置胎盤	有	3	33.0	32.3					3			
O441	部分前置胎盤	有	1	33.0	21.0					1			
O459	常位胎盤早期剥離の疑い	無	3	25.7	2.3					3			
O470	妊娠満37週未満の偽陣痛	無	2	40.0	1.5					1	1		
O471	妊娠満37週以後の偽陣痛	無	2	37.5	1.0					1	1		
O471	妊娠満37週以後の前陣痛	無	2	27.5	1.5					2			
O48	分娩予定日超過	無	1	22.0	7.0					1			
O600	切迫早産	有	9	33.8	19.7					8	1		
		無	48	32.3	21.1					41	7		
O601	自然早産	無	3	30.7	3.7					3			
O620	原発性陣痛微弱	有	3	37.0	6.0					2	1		
		無	10	34.0	7.1					8	2		
O621	続発性陣痛微弱	有	5	35.2	6.4					4	1		
		無	15	34.9	6.3					13	2		
O622	微弱陣痛	有	1	32.0	6.0					1			
		無	1	34.0	6.0					1			
O624	切迫子宮破裂	有	12	34.4	6.0					11	1		
O624	切迫子宮破裂の疑い	無	1	38.0	2.0					1			
O640	後方後頭位による分娩停止	有	1	32.0	7.0					1			
O640	児頭回旋異常	有	1	24.0	6.0					1			
O640	児頭回旋異常による分娩停止	有	7	34.3	7.0					6	1		
O640	不正軸廻入による分娩停止	有	3	34.0	7.7					3			
O651	児型骨盤による分娩停止	有	2	35.0	7.0					2			
O651	単純狭骨盤による分娩停止	有	4	35.3	8.3					3	1		
O651	侏小骨盤による分娩停止	有	3	32.7	7.3					3			
O654	胎児骨盤不均衡による分娩停止	有	1	35.0	11.0					1			
O655	軟産道強靱症による分娩停止	有	4	35.0	9.8					4			
O680	胎児機能不全	有	37	32.4	7.4					35	2		
O680	胎児機能不全の疑い	有	1	33.0	2.0					1			
O680	胎児心拍異常	有	3	33.7	7.0					3			
O694	前置血管	有	1	30.0	47.0					1			
O717	産科的腫血腫	有	2	30.5	8.5					2			
O720	全癒着胎盤	有	1	43.0	25.0						1		
O721	弛緩出血	無	1	26.0	6.0					1			
O800	自然頭位分娩	有	9	31.6	5.7					8	1		
		無	215	31.9	5.6					207	8		
O85	産褥子宮内膜炎	無	1	36.0	2.0					1			
O85	産褥熱	無	1	24.0	5.0					1			
O862	分娩後尿路感染症	無	1	34.0	9.0					1			
O908	産褥子宮退縮不全	無	3	27.7	2.7					3			
O991	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠	有	1	27.0	8.0					1			
P002	B群溶連菌感染母体より出生した児	無	1	0.0	4.0	1							
P002	COVID-19感染母体より出生した児	無	14	0.0	9.1	14							
P070	超低出生体重児	有	8	0.0	111.5	8							
		無	1	0.0	1.0	1							
P071a	極低出生体重児	有	1	0.0	81.0	1							
		無	12	0.0	73.1	12							
P071b	低出生体重児	有	1	0.0	56.0	1							
		無	42	0.0	27.3	42							
P073	早産児	無	1	0.0	24.0	1							
P210	重症新生児仮死	有	3	0.0	7.7	3							
		無	1	0.0	5.0	1							
P211	軽度新生児仮死	有	2	0.0	7.5	2							
		無	2	0.0	7.0	2							
P221	新生児一過性多呼吸	有	2	0.0	6.5	2							
		無	18	0.0	8.1	18							
P228	新生児呼吸障害	有	4	0.0	6.8	4							
		無	78	0.0	8.3	78							
P240	胎便吸引症候群	無	3	0.0	6.3	3							
P284	新生児無呼吸発作	無	13	0.0	10.5	13							
P285	新生児呼吸不全	無	1	0.0	1.0	1							
P364	新生児大腸菌敗血症	有	1	0.0	21.0	1							
P38	新生児膣炎	無	1	0.0	3.0	1							
P393	新生児尿路感染症	無	2	0.0	10.0	2							
P399	新生児感染症	無	3	0.0	6.0	3							
P523	新生児脳室内出血	無	1	0.0	11.0	1							
P540	新生児吐血	無	1	0.0	3.0	1							
P541	新生児メレナ	無	7	0.0	5.0	7							
P545	新生児点状出血	無	1	0.0	17.0	1							
P559	新生児溶血性貧血	無	1	0.0	22.0	1							
P599	新生児黄疸	無	34	0.0	4.2	34							
P599	新生児遷延性黄疸	無	1	0.0	4.0	1							
P704	新生児低血糖	無	6	0.0	6.3	6							
P808	新生児低体温症	無	1	0.0	19.0	1							
P819	新生児発熱	無	2	0.0	5.0	2							
P920	新生児嘔吐	無	9	0.0	4.3	9							

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
P922	哺乳障害	無	1	0.0	3.0	1								
P922	哺乳不全	無	5	0.0	6.8	5								
Q100	先天性眼瞼下垂	有	3	4.3	4.7									
Q170	副耳	有	3	2.0	3.0	2	1							
Q180	頰のう胞	有	1	49.0	5.0						1			
Q180	頰瘻	有	1	9.0	11.0			1						
Q180	側頰のう胞	有	2	70.5	5.0							2		
Q181	先天性耳瘻孔	有	7	13.4	3.0		3	3		1				
Q204	右室型単心室症	無	1	1.0	18.0	1								
Q273	巨大動静脈奇形	無	1	57.0	2.0						1			
Q369	片側性不完全唇裂	有	1	0.0	3.0	1								
Q370	性唇顎硬口蓋裂	無	1	0.0	23.0	1								
Q383	舌小帯付着位置異常	有	2	4.0	3.0		2							
Q400	肥厚性歯門狭窄症	有	1	0.0	7.0	1								
Q400	肥厚性歯門狭窄症の疑い	無	1	0.0	4.0	1								
Q410c	先天性十二指腸狭窄症	有	1	0.0	29.0	1								
Q431	ヒルシュスブルング病	有	2	4.0	8.5		2							
Q433a	腸回転異常	有	2	0.0	14.5	2								
Q446	多発性肝のう胞	有	1	60.0	10.0						1			
Q531	停留精巣	有	10	3.0	3.0	5	3	2						
Q532	両側性停留精巣	有	1	1.0	2.0	1								
Q539	停留精巣	有	2	3.5	3.0	1		1						
Q539	停留精巣	有	2	2.0	3.0	1	1							
Q541	陰茎部尿道下裂	有	1	5.0	17.0		1							
Q552	遊走精巣	有	3	4.0	3.0	2		1						
Q620	先天性水腎症	無	1	0.0	9.0	1								
Q621	先天性腎盂尿管移行部狭窄	有	2	1.0	6.0	2								
Q621	先天性腎盂尿管移行部狭窄	無	1	1.0	3.0	1								
Q644	尿管遺残	有	1	30.0	6.0					1				
Q676	漏斗胸の術後	有	1	14.0	4.0			1						
Q704	多合趾症	有	2	0.5	4.5	2								
Q796	エーラス・ダンロス症候群	無	1	23.0	2.0					1				
Q850	神経線維腫症	無	1	20.0	4.0				1					
Q892	正中頰のう胞	有	2	10.5	3.0		2							
Q913	トリソミー18	無	3	0.3	22.0	3								
Q999	染色体異常の疑い	無	1	0.0	6.0	1								
R040	特発性鼻出血	有	2	75.0	5.5							2		
R040	鼻出血症	有	2	83.0	5.5							1	1	
R040	鼻出血症	無	1	83.0	2.0								1	
R048	肺出血	無	1	71.0	10.0							1		
R068	CO2ナルコーシス	無	2	91.5	10.5								2	
R100	急性腹症	無	2	79.0	4.5							1	1	
R11	アセトン血性嘔吐症	無	2	6.0	3.5			1	1					
R13	嚥下困難	有	1	53.0	8.0						1			
R18	難治性腹水	無	1	87.0	22.0								1	
R18	腹水症	無	1	81.0	16.0									1
R198	摂食嚥下機能障害	有	1	96.0	22.0									1
R402	意識障害	有	1	62.0	1.0								1	
R402	一過性意識障害	無	1	77.0	2.0								1	
R402	急性意識障害	無	1	2.0	2.0	1								
R402	遷延性意識障害	無	1	66.0	7.0								1	
R509	不明熱	無	1	13.0	12.0			1						
R560	熱性痙攣	無	8	3.8	3.4	6		2						
R568	痙攣重積発作	無	3	3.3	3.0	1	1	1						
R571	出血性ショック	有	1	49.0	10.0						1			
R58	腫瘍性舌出血	有	1	81.0	3.0									1
R633	経口摂取困難	有	1	89.0	5.0									1
R739	高血糖症	無	1	60.0	3.0							1		
R798	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	有	1	42.0	5.0						1			
S000	頭部打撲	無	3	9.3	2.0	1		1	1					
S000	頭部打撲傷	無	1	3.0	2.0			1						
S002	眼外部傷性皮下異物	有	1	2.0	3.0	1								
S008	顔面打撲傷	無	1	6.0	2.0			1						
S010	頭部挫創	有	1	85.0	1.0									1
S010	頭部裂創	有	1	85.0	16.0									1
S011	前額部挫創	有	1	75.0	2.0								1	
S0210	頭蓋底骨折	有	1	37.0	8.0					1				
S0210	頭骨骨折	無	3	36.7	7.3			1		1			1	
S0211	頭蓋底開放骨折	無	1	77.0	21.0								1	
S0220	鼻骨骨折	有	3	8.0	3.0			3						
S0230	眼窩吹き抜け骨折	有	1	78.0	2.0									1
S0230	眼窩底骨折	有	3	47.0	7.0					1	1	1	1	
S0230	眼窩底骨折	無	1	67.0	9.0								1	
S0240	上顎骨骨折	有	1	77.0	20.0									1
S0240	頬骨弓骨折	有	1	70.0	2.0									1
S0240	頬骨骨折	有	9	38.2	6.1			1	2		2	3		1
S0260	下顎関節突起骨折	有	3	54.3	7.0					1	1			1
S0260	下顎骨骨折	有	1	51.0	14.0							1		
S0260	下顎体部骨折	有	2	28.5	12.5				1	1				
S0280	眼窩骨折	有	1	58.0	10.0							1		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S0290	頭蓋骨骨折	無	1	58.0	2.0						1			
S032	歯牙重脱臼	無	1	12.0	6.0			1						
S040	外傷性視神経損傷	無	1	14.0	6.0			1						
S051	外傷性前房出血	有	1	16.0	8.0				1					
S0600	脳振盪・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	2	64.5	2.0						1		1	
		無	6	40.0	3.3						1			
S0620	びまん性脳損傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	68.0	11.0							1		
		有	1	90.0	31.0								1	
		無	2	88.0	17.5								2	
S0630	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	1	80.0	5.0								1	
		無	3	53.3	4.3							2		
S0631	局所性脳挫傷・頭蓋内に達する開放創合併あり	有	1	73.0	12.0							1		
S0640	急性硬膜外血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	4	62.8	30.5					1		3		
		無	3	68.3	3.7					1			2	
S0650	外傷性慢性硬膜下血腫	有	21	82.1	15.3					1		5	15	
		無	1	83.0	33.0								1	
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	14	77.1	20.3						1	7	6	
		無	14	76.9	7.4			1				5	8	
S0650	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なしの疑い	無	1	99.0	1.0								1	
S0660	外傷性くも膜下出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	有	4	74.8	11.5						1	1	2	
		無	9	59.3	7.3							5	2	
S0680	外傷性脳室内出血・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	66.0	26.0							1		
S0690	後頭部外傷・頭蓋内に達する開放創合併なし	無	1	79.0	2.0							1		
S1200	環椎骨折	有	2	70.0	16.5							2		
S1200	環椎破裂骨折	無	1	73.0	13.0							1		
S1210	軸椎骨折	有	3	80.7	17.7							2	1	
S1220	第3頸椎骨折	無	1	66.0	4.0							1		
S1220	第5頸椎脱臼骨折	有	1	57.0	34.0						1			
S1220	第5頸椎棘突起骨折	無	1	79.0	2.0							1		
S1220	第6頸椎骨折	有	2	80.0	18.0							1	1	
		無	1	79.0	26.0							1		
S1220	第6頸椎椎体骨折	有	1	79.0	2.0							1		
S1290	頸椎骨折	有	3	53.7	15.0							2	1	
S1290	頸椎椎体骨折	有	1	34.0	6.0						1			
S134	外傷性頸部症候群	無	1	44.0	13.0						1			
S134	外傷性頸部症候群の疑い	無	1	18.0	2.0			1						
S134	頸椎捻挫	無	1	65.0	2.0							1		
S141	外傷性頸髄損傷	有	1	74.0	2.0							1		
S141	頸髄損傷	有	10	67.8	33.9						3	5	2	
		無	6	73.5	16.5						2	1	3	
S141	中心性頸髄損傷	有	4	59.0	9.0					1		3		
S141	非骨傷性頸髄損傷	無	4	73.3	10.0							3	1	
S199	頸部外傷	無	1	37.0	23.0					1				
S202	胸部打撲傷	無	1	20.0	3.0			1						
S2200	胸椎圧迫骨折	有	1	86.0	18.0								1	
		無	3	91.3	18.7								3	
S2200	胸椎骨折	有	5	79.2	19.6							4	1	
		無	1	67.0	17.0							1		
S2200	胸椎椎体骨折	有	5	82.2	19.4							2	3	
		無	1	75.0	13.0							1		
S2200	胸椎破裂骨折	有	5	57.8	9.2					1	2	1	1	
		無	1	88.0	5.0								1	
S2200	多発胸椎椎体骨折	有	1	91.0	30.0								1	
S2210	胸椎多発圧迫骨折	有	1	52.0	15.0						1			
S2210	胸椎多発骨折	有	2	75.0	12.0							1	1	
		無	1	71.0	12.0							1		
S2220	胸骨骨折	無	1	83.0	2.0								1	
S2230	肋骨骨折	無	1	66.0	2.0							1		
S2240	肋骨多発骨折	無	3	44.7	10.3						1	1		
S2700	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし	有	1	56.0	6.0						1			
		無	4	55.3	4.5			1				2	1	
S2710	外傷性血胸・胸腔に達する開放創合併なし	有	2	85.0	43.5								2	
		無	2	75.0	11.0							1	1	
S2720	外傷性血気胸・胸腔に達する開放創合併なし	有	3	78.7	20.3							2	1	
		無	4	74.0	14.8						1	1	2	
S2730	肺挫傷・胸腔に達する開放創合併なし	有	1	97.0	8.0								1	
		無	1	81.0	8.0								1	
S302	外傷性外陰血腫	有	1	40.0	3.0						1			
S302	精巣打撲傷	無	1	33.0	1.0						1			
S3200	腰椎圧迫骨折	有	6	72.7	15.2						1	3	2	
		無	7	72.0	11.6						1	4	2	
S3200	腰椎横突起骨折	有	1	80.0	4.0								1	
S3200	腰椎脱臼骨折	有	1	83.0	29.0								1	
S3200	腰椎椎体骨折	有	4	64.8	19.0						1	2	1	
		無	2	80.0	14.5							1	1	
S3200	腰椎破裂骨折	有	18	60.8	15.9						4	3	7	4
		無	1	49.0	12.0						1			
S3200	腰椎棘突起骨折	無	1	31.0	2.0						1			
S3210	仙骨骨折	無	1	80.0	9.0									1
S3230	腸骨骨折	有	1	67.0	14.0								1	
		無	1	18.0	5.0				1					

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
S3240	寛骨臼骨折	有	4	75.3	38.0						1	2	1
		無	1	56.0	13.0						1		
S3250	恥骨骨折	無	2	88.5	12.0								2
S3280	骨盤骨折	有	6	78.2	17.2						1	2	3
		無	5	84.8	9.4							1	4
S3280	骨盤輪骨折	有	5	77.2	18.8							3	2
		無	4	81.0	20.8							2	2
S3281	骨盤開放骨折	有	2	70.5	29.5							2	
S341	腰椎硬膜外血腫	有	1	77.0	8.0							1	
S352	腸間膜動脈損傷	有	1	64.0	10.0							1	
S355	内腸骨動脈損傷	有	2	89.0	14.5								2
S358	腰動脈損傷	有	1	80.0	29.0								1
S3600	外傷性脾破裂・腹腔に達する開放創合併なし	有	2	59.5	28.0					1			1
		有	3	65.3	21.3						2		1
		無	1	63.0	2.0							1	
S3610	肝損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	50.0	9.0								
S3660	直腸損傷・腹腔に達する開放創合併なし	有	1	97.0	5.0						1		1
S3680	外傷性腹腔内出血	有	1	11.0	6.0			1					
S3700	閉鎖性腎損傷	無	2	8.5	4.5			1	1				
S4200	鎖骨遠位端骨折	有	14	52.3	4.9				2	3	3	4	2
S4200	鎖骨骨幹部骨折	有	14	44.1	6.4				2	4	6	1	1
		無	1	18.0	16.0				1				
S4200	鎖骨骨折	有	6	56.2	7.5				1		2	3	
		無	2	76.5	10.5							1	1
S4201	鎖骨遠位端開放骨折	有	1	54.0	3.0						1		
S4210	肩関節脱臼骨折	有	5	62.2	17.6						3	2	
S4210	肩甲骨関節窩骨折	有	2	71.0	7.5							2	
S4210	肩甲骨肩峰骨折	有	1	73.0	2.0							1	
S4210	肩甲骨骨折	有	2	61.0	15.5						1	1	
S4220	上腕骨外科頸骨折	有	1	87.0	3.0								1
S4220	上腕骨近位端骨折	有	27	73.0	8.4						6	15	6
		無	1	90.0	15.0								1
S4230	上腕骨骨幹部骨折	有	5	77.4	12.2							4	1
S4231	上腕骨開放骨折	有	1	60.0	27.0						1		
S4231	上腕骨骨幹部開放骨折	有	1	70.0	6.0							1	
S4240	上腕骨遠位端骨折	有	3	72.0	8.3							2	1
S4240	上腕骨外顆骨折	有	3	4.0	3.0			3					
S4240	上腕骨通顆骨折	有	1	73.0	9.0							1	
S4240	上腕骨内上顆骨折	有	5	9.4	3.0				5				
S4240	上腕骨顆上骨折	有	10	6.4	2.5			5	5				
S431	肩鎖関節脱臼	有	3	46.0	3.0						3		
S469	上腕筋肉内血腫	無	1	79.0	3.0							1	
S5200	尺骨近位端骨折	有	1	8.0	3.0			1					
S5200	肘関節脱臼骨折	有	1	41.0	3.0						1		
S5200	肘関節内骨折	有	1	18.0	7.0			1					
S5200	肘頭骨折	有	4	55.5	7.3					1	1	2	
		無	1	7.0	2.0			1					
S5201	尺骨肘頭開放骨折	有	2	84.5	9.5							1	1
S5201	肘関節開放性脱臼骨折	有	1	87.0	48.0								1
S5210	橈骨頸部骨折	有	1	14.0	2.0			1					
S5220	尺骨骨幹部骨折	有	1	57.0	19.0						1		
S5230	橈骨骨幹部骨折	有	3	36.7	3.0			1	1				1
S5240	橈骨尺骨骨幹部骨折	有	2	11.0	2.5				2				
S5241	橈骨尺骨骨幹部開放骨折	有	2	49.5	18.0						2		
S5250	橈骨遠位骨端線損傷	有	2	10.5	3.0			2					
S5250	橈骨遠位端関節内骨折	有	1	69.0	2.0							1	
S5250	橈骨遠位端骨折	有	15	66.3	4.2						6	5	4
S5250	橈骨遠位端粉碎骨折	有	1	50.0	3.0						1		
S5251	橈骨遠位端開放骨折	有	4	77.3	6.5							3	1
S5260	橈骨尺骨遠位端骨折	有	3	10.3	2.7			3					
S5261	開放性橈骨尺骨遠位端骨折	有	3	73.0	16.3							2	1
S530	橈骨頭脱臼	有	1	34.0	3.0					1			
S541	正中神経断裂	有	1	54.0	18.0						1		
S561	環指屈筋腱断裂	有	1	59.0	3.0						1		
S561	中指屈筋腱断裂	有	1	53.0	2.0						1		
S579	前腕挫減創	有	1	61.0	3.0							1	
S608	母指皮下異物	有	1	60.0	3.0						1		
S610	手指皮膚欠損創	有	1	51.0	22.0						1		
S6200	手舟状骨骨折	有	1	31.0	3.0					1			
S6241	中手骨多発開放骨折	有	1	48.0	7.0						1		
S6261	示指基節骨開放骨折	有	1	71.0	8.0							1	
S6261	示指中節骨開放骨折	有	1	68.0	2.0							1	
S6261	示指末節骨開放骨折	有	2	36.5	6.0					1	1		
S6281	手関節開放骨折	有	1	90.0	19.0								1
S631	D I P関節脱臼	有	1	26.0	3.0					1			
S663	示指伸筋腱断裂・手部	有	1	57.0	2.0						1		
S681	環指切断	有	1	37.0	17.0					1			
S681	示指切断	有	1	33.0	25.0					1			
S7200	大腿骨頸部骨折	有	94	84.5	13.4					1	2	16	75
		無	1	89.0	8.0								1
S7200	大腿骨頸部骨折の疑い	無	1	93.0	4.0								1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
S7200	大腿骨骨頭骨折	無	1	74.0	10.0								1	
S7210	大腿骨転子部骨折	有	83	85.5	15.8					1		14	68	
		無	2	93.0	3.5									2
S7210	大転子骨折	有	1	87.0	8.0									1
		無	2	86.0	13.5									2
S7220	大腿骨転子下骨折	有	3	66.3	20.7						1	1	1	
S7220	転子下骨折	有	2	87.5	33.5									2
S7230	大腿骨骨幹部骨折	有	13	72.0	15.9					1	3	4	5	
S7231	大腿骨骨幹部開放骨折	有	2	61.0	46.5						1	1		
S7240	大腿骨遠位端骨折	有	2	79.0	15.0							1	1	1
S730	股関節脱臼	有	3	61.0	13.7					1		1	1	1
S731	股関節捻挫	無	1	82.0	6.0									1
S761	大腿四頭筋筋肉内血腫	有	1	94.0	4.0									1
S764	大腿筋肉内血腫	無	2	52.5	7.0		1							1
S800	膝関節血腫	有	1	87.0	9.0									1
S800	膝部打撲傷	無	1	69.0	3.0								1	
S801	下腿打撲傷	無	1	49.0	3.0						1			
S801	下腿部皮下血腫	無	1	54.0	3.0						1			
S810	膝関節部挫創	有	1	32.0	3.0					1				
S8200	膝蓋骨骨折	有	14	66.7	9.1				1		2	9	2	
		無	1	66.0	2.0								1	
S8201	膝蓋骨開放骨折	有	2	47.0	8.5				1				1	
S8210	膝後十字靭帯付着部剥離骨折	有	1	81.0	2.0									1
S8210	脛骨近位端骨折	有	7	58.3	9.9			1	1	1	3	1	1	
S8210	脛骨結節部剥離骨折	有	1	80.0	9.0									1
S8210	脛骨高原骨折	有	7	63.0	17.6						4	2	1	
S8210	脛骨腓骨近位端骨折	有	1	95.0	31.0									1
S8211	脛骨近位端開放骨折	有	1	91.0	57.0									1
S8220	脛骨骨幹部骨折	有	7	57.1	21.1		1	1		1	1	3		
S8220	脛骨腓骨骨幹部骨折	有	1	52.0	10.0						1			
S8221	脛骨骨幹部開放骨折	有	1	41.0	38.0						1			
S8221	脛骨腓骨開放骨折	有	1	38.0	5.0					1				
S8221	脛骨腓骨骨幹部開放骨折	有	2	51.0	14.5					1		1		
S8230	脛骨遠位骨端線損傷	有	1	14.0	3.0		1							
S8230	脛骨遠位端骨折	有	2	71.0	33.0								2	
S8230	脛骨腓骨遠位端骨折	有	3	46.3	12.7					2	1			
S8240	腓骨遠位端骨折	有	2	36.5	7.5					1	1			
S8241	腓骨開放骨折	有	2	71.0	19.0								2	
S8250	足関節後果骨折	有	1	59.0	7.0						1			
S8260	足関節外果骨折	有	4	52.8	5.8						4			
S8280	三果骨折	有	1	75.0	14.0								1	
S8280	足関節果部骨折	有	1	16.0	9.0			1						
S8280	足関節骨折	有	1	82.0	27.0									1
S8280	足関節三果骨折	有	3	53.7	10.7					1	1	1	1	
S8280	足関節脱臼骨折	有	5	77.4	17.2							2	3	
S8281	足関節開放骨折	有	1	59.0	27.0						1			
S8281	足関節開放性脱臼骨折	有	1	54.0	20.0						1			
S832	外側半月板損傷	有	1	65.0	9.0								1	
S832	外側半月板断裂	有	4	59.0	15.3						2	1	1	
S832	内側半月板損傷	有	6	47.0	7.8		1				4	1	1	
S832	内側半月板断裂	有	11	59.4	10.7					1	5	4	1	
S835	前十字靭帯断裂	有	4	40.3	12.0					2	1	1		
S860	アキレス腱断裂	有	6	55.8	10.2					1	2	3		
S869	下腿筋肉内血腫	無	1	45.0	2.0						1			
S870	膝挫減創	有	1	20.0	5.0			1						
S878	下腿挫減創	有	3	27.3	35.0		1	1			1			
S9200	踵骨骨折	有	8	59.8	11.6					1	3	3	1	
S9201	踵骨開放骨折	有	1	64.0	4.0								1	
S9210	距骨骨折	有	1	67.0	8.0								1	
S9230	リスフラン関節脱臼骨折	有	3	59.0	12.0					1		2		
S9230	中足骨骨折	有	1	45.0	20.0						1			
S9231	中足骨開放骨折	有	2	64.0	9.0								2	
T009	全身打撲	無	1	22.0	2.0					1				
T0210	胸腰椎圧迫骨折	有	1	82.0	13.0									1
		無	1	86.0	3.0									1
T0220	一側上肢多発骨折	有	1	71.0	6.0								1	
T0240	両側上肢多発骨折	有	2	82.5	13.0									2
T0241	上肢多発開放骨折	有	1	69.0	23.0								1	
T0260	一側上肢多発骨折・下肢骨折合併	有	1	84.0	15.0									1
T0260	上肢多発骨折・下肢骨折合併	有	1	80.0	14.0									1
T0280	多部位骨折	有	1	56.0	13.0							1		
T0280	複合部位の骨折	有	10	48.8	33.0			2	1	1	2	2	2	
T0281	複合部位の開放骨折	有	2	36.5	56.5					1	1			
T08-0	腰椎チャンス骨折	有	1	50.0	22.0							1		
T148	高エネルギー外傷	無	2	44.0	2.0							2		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層							
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~
T174	気管内異物による窒息	有	1	3.0	6.0		1						
T181	食道異物	有	3	26.0	2.7		2					1	
T182	胃石症	有	1	78.0	4.0							1	
		無	1	73.0	5.0							1	
T182	胃内異物	有	2	6.0	2.0		1	1					
T182	柿胃石	有	1	72.0	2.0							1	
T185	直腸内異物	有	1	67.0	6.0							1	
T189	異物残留	有	1	58.0	4.0						1		
T193	子宮内異物	有	1	69.0	3.0							1	
		無	1	65.0	3.0							1	
T212	前胸部第2度熱傷	無	1	1.0	8.0	1							
T212	体幹第2度熱傷	無	1	0.0	8.0	1							
T213	体幹第3度熱傷	有	1	95.0	52.0								1
T213	腹部第3度熱傷	有	1	59.0	32.0						1		
T222	前腕第2度熱傷	有	1	68.0	24.0							1	
T232	手背第2度熱傷	有	1	84.0	28.0								1
T242	下腿部第2度熱傷	無	1	2.0	10.0	1							
T242	大腿部第2度熱傷	無	1	61.0	26.0							1	
T243	下肢第3度熱傷	有	1	59.0	49.0						1		
T243	大腿部第3度熱傷	有	1	71.0	28.0							1	
		無	1	80.0	30.0								1
T273	気道熱傷	無	4	63.8	3.8						2	2	
T273	気道熱傷の疑い	無	1	54.0	2.0						1		
T302	顔第2度熱傷	無	1	54.0	8.0						1		
T391	アセトアミノフェン中毒	無	2	20.0	3.5			1	1				
T421	カルバマゼピン中毒	無	1	32.0	3.0				1				
T424	ベンゾジアゼピン中毒	無	7	36.6	5.7				4	3			
T426	バルプロ酸中毒	無	1	22.0	2.0				1				
T427	睡眠剤中毒	無	3	80.0	7.7							2	1
T435	抗精神病薬中毒	無	4	42.5	2.5				1	2	1		
T450	ジフェンヒドラミン中毒	無	1	37.0	2.0				1				
T509	医薬品中毒	無	4	59.8	4.0				1	1	1	1	
T509	急性薬物中毒	無	5	48.8	7.2				3		1	1	
T509	薬物中毒症	無	1	28.0	4.0				1				
T58	一酸化炭素中毒	無	2	58.5	3.5					1	1		
T603	除草剤中毒	無	1	88.0	7.0								1
T630	マムシ咬傷	有	1	9.0	5.0			1					
		無	4	63.5	5.5				1			3	
T630	下肢へび咬傷	無	1	8.0	2.0			1					
T634	蜂刺によるアナフィラキシーショック	無	3	53.0	2.0				1			2	
T678	熱中症	無	3	74.7	4.0							2	1
T68	低体温	有	1	74.0	67.0							1	
		無	2	50.0	2.0	1							1
T751	溺水	無	2	10.0	2.5			2					
T780	ピーナッツによるアナフィラキシー	無	1	6.0	2.0			1					
T780	食物によるアナフィラキシー	無	9	19.0	2.1	3	1	3				2	
T780	食物によるアナフィラキシーショック	無	4	37.8	1.8			1		1	1	1	
T780	卵によるアナフィラキシー	無	3	0.7	2.0	3							
T781	食物アレルギー	無	4	1.0	2.0	4							
T782	アナフィラキシー	無	8	44.9	1.9		1		1	1	2	3	
T782	アナフィラキシーショック	無	3	57.0	1.7						2	1	
T782	アナフィラキシーショックの疑い	無	1	54.0	4.0						1		
T782	薬剤性アナフィラキシーショック	無	1	79.0	2.0							1	
T794	外傷性ショック	有	1	77.0	4.0							1	
T794	外傷性出血性ショック	有	1	89.0	5.0								1
T810	後出血	有	3	64.0	5.7						1	2	
T810	生検後出血	有	1	87.0	11.0								1
T810	創部出血	有	1	34.0	3.0				1				
T810	大腸ポリープ切除後出血	有	1	87.0	5.0								1
T810	抜歯後出血	無	1	75.0	7.0							1	
T812	術後乳び胸	無	1	87.0	19.0								1
T812	術中損傷	有	1	87.0	10.0								1

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

退院患者数

ICD-10	小分類	手術の有無	総数(人)	平均年齢(才)	在院日数の平均(日)	年齢階層								
						0~2才	3~5才	6~15才	16~20才	21~40才	41~60才	61~79才	80才~	
T813	縫合不全	有	1	71.0	22.0								1	
		無	1	72.0	9.0								1	
T814	カテーテル感染症	有	1	90.0	7.0									1
T814	カテーテル敗血症の疑い	無	1	1.0	4.0	1								
T814	下腿術後感染症	有	1	62.0	43.0								1	
T814	骨盤死腔炎	無	2	69.0	18.0								2	
T814	術後創部感染	有	4	81.3	20.8								1	3
		無	3	60.0	13.7						1		2	
T814	術後腹腔内膿瘍	有	7	66.0	15.1				1				5	1
		無	2	71.5	5.5								2	
T814	人工肛門周囲術後腹壁膿瘍	有	1	72.0	7.0								1	
		無	1	72.0	2.0								1	
T818	術後瘻孔形成	有	1	75.0	20.0								1	
T818	吻合部狭窄の疑い	無	1	94.0	9.0									1
T821	ペースメーカーリード感染	有	4	80.0	25.5								1	3
T821	ペースメーカーリード断線	有	4	62.5	13.3					1	1			2
		無	1	52.0	10.0						1			
T821	ペースメーカー電池消耗	有	27	78.2	6.2					1	3	10	13	
T821	ペースメーカー不全	有	1	71.0	14.0								1	
T821	植込型除細動器電池消耗	有	5	53.8	6.6					1	2	2		
T821	植込型除細動器不全	有	1	45.0	9.0						1			
		無	1	45.0	5.0						1			
T827	ペースメーカー植え込み後感染症	有	4	71.3	27.8						1	2	1	
T827	移植人工血管感染	有	1	80.0	34.0									1
		無	1	47.0	8.0						1			
T827	移植人工血管感染の疑い	無	1	66.0	9.0								1	
T827	中心静脈カテーテル感染症	有	1	60.0	8.0						1			
T838	回腸導管出口部狭窄	有	1	64.0	8.0								1	
T838	尿管回腸導管吻合部狭窄	有	1	24.0	21.0					1				
T840	人工股関節脱臼	有	2	71.5	17.5						1			1
T842	ワイヤーによる胸骨周囲炎	有	3	63.7	10.7						1	1	1	1
T843	顎骨内異物	有	1	21.0	5.0					1				
T860	GVHD・骨髄移植後	有	1	64.0	301.0								1	
T860	慢性移植片対宿主病	有	1	72.0	16.0								1	
T861	腎移植急性拒絶反応の疑い	無	1	29.0	2.0					1				
T861	腎移植拒絶反応	無	1	21.0	5.0					1				
T861	腎移植拒絶反応の疑い	無	1	70.0	2.0								1	
T861	腎移植慢性拒絶反応の疑い	無	1	42.0	2.0						1			
T886	造影剤ショック	無	2	47.5	2.0						2			
T886	薬物性ショック	無	1	86.0	2.0									1
T887	造影剤アレルギー	無	2	21.5	2.0				1	1				
T905	外傷性てんかん	無	1	52.0	4.0							1		
T905	脳挫傷後遺症	有	1	55.0	6.0							1		
U071	COVID-19	有	62	78.0	18.1					5	2	17	38	
		無	377	51.6	10.7	34	10	25	9	67	60	73	99	
U071	COVID-19・ウイルス同定	無	5	1.0	3.4	4	1							
U071	COVID-19の疑い	無	2	61.5	4.5					1				1
U071	COVID-19合併妊娠	有	9	36.4	9.7					7	2			
		無	11	33.2	10.5					11				
U071	COVID-19肺炎	有	1	49.0	76.0						1			
		無	5	32.0	18.8	2		1					2	
Z520	末梢血幹細胞移植ドナー	有	8	41.6	3.0					5	1	2		
		無	1	34.0	2.0					1				
Z523	骨髄移植ドナー	有	4	41.5	4.0					2	1	1		
Z524	腎移植ドナー	有	13	63.7	10.4						5	8		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

2 外来患者数 (前年度対比)

上段： 令和3年度
下段： 令和4年度

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	375	355	364	377	397	374	419	380	381	367	359	368	4,516
	320	299	343	295	359	319	340	319	296	269	308	348	3,815
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	86	90	86	103	95	111	105	105	112	106	89	100	1,188
	106	107	114	100	118	96	114	76	94	81	104	118	1,228
地域医療科	6	7	7	7	5	7	4	6	5	5	5	5	69
	5	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	50
血液内科・輸血科	761	726	806	804	757	790	764	813	788	775	762	922	9,468
	795	802	843	771	850	855	821	817	866	749	722	859	9,750
糖尿病・内分泌内科	445	424	462	490	443	479	459	456	534	497	485	504	5,678
	546	499	549	494	484	484	486	482	475	459	369	416	5,743
放射線療法科	271	242	410	344	361	333	342	293	292	253	280	337	3,758
	278	344	383	415	364	249	278	299	218	189	183	367	3,567
感染症科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
腫瘍内科	386	342	399	405	372	385	388	395	465	468	429	514	4,948
	436	401	450	455	414	409	390	443	389	458	393	481	5,119
ペインクリニック科	293	256	319	328	337	327	336	341	323	320	308	346	3,834
	331	385	382	370	399	395	405	384	355	382	371	391	4,550
放射線科	39	29	39	35	35	30	38	42	49	55	37	44	472
	38	57	66	54	55	44	53	46	37	52	60	78	640
神経内科	89	63	87	82	83	77	86	85	77	81	74	82	966
	79	96	82	80	72	106	88	98	82	85	71	84	1,023
脳神経外科	217	175	197	216	200	204	241	226	215	205	196	222	2,514
	223	217	243	215	217	183	224	214	213	193	185	227	2,554
眼科	568	496	591	599	560	589	656	548	683	583	537	666	7,076
	616	584	714	670	593	643	626	584	627	606	534	640	7,437
耳鼻咽喉科	733	626	762	754	725	609	779	735	833	696	639	765	8,656
	796	752	806	806	748	711	782	801	829	786	768	846	9,431
歯科口腔外科	1,410	1,325	1,497	1,493	1,413	1,273	1,350	1,426	1,273	1,187	1,150	1,509	16,306
	1,228	1,219	1,416	1,362	1,262	1,139	1,372	1,305	1,220	1,225	1,111	1,275	15,134
呼吸器内科	329	276	301	322	322	284	344	302	300	297	279	354	3,710
	267	292	337	345	354	371	326	352	329	349	361	382	4,065
呼吸器外科	282	272	269	281	275	328	308	325	343	289	301	338	3,611
	269	261	316	265	256	308	245	281	316	289	258	315	3,379
循環器内科	466	436	466	390	411	427	471	473	478	429	396	432	5,275
	424	436	481	429	419	422	467	438	454	388	433	436	5,227
心臓血管外科	276	262	313	291	288	228	266	217	276	278	250	278	3,223
	229	245	250	234	265	228	223	226	253	235	230	228	2,846
乳腺・甲状腺外科	405	426	455	491	472	427	529	483	559	486	444	504	5,681
	506	542	499	500	456	493	453	447	463	466	439	549	5,813
消化器内科	428	388	431	425	441	419	469	491	490	388	376	526	5,272
	480	504	576	449	517	543	531	490	542	499	531	633	6,295
消化器外科・一般外科	970	891	973	1,071	993	1,014	1,015	1,039	1,043	1,032	958	1,029	12,028
	1,028	1,075	1,193	1,126	1,069	1,105	1,094	1,113	1,072	989	989	1,107	12,960
泌尿器科	418	373	413	461	447	406	438	451	425	379	400	422	5,033
	387	424	472	383	416	440	440	421	445	393	403	476	5,100
腎臓内科・膠原病科	298	273	317	302	269	320	305	320	363	315	288	423	3,793
	310	299	316	280	305	279	311	331	348	316	295	358	3,748
婦人科	652	524	658	644	597	611	665	623	669	609	513	684	7,449
	602	570	664	573	575	575	654	648	604	564	573	626	7,228
生殖医療科	266	233	281	269	266	228	270	248	263	218	231	300	3,073
	323	294	342	314	306	318	305	294	254	260	260	300	3,570
移植外科	189	185	236	219	210	179	215	224	209	184	185	253	2,488
	212	220	199	198	256	196	194	228	221	225	221	251	2,621
救命救急科	488	604	505	620	503	436	477	500	544	592	559	539	6,367
	580	707	586	688	651	570	657	625	628	680	578	614	7,564
集中治療科	3	1	2	0	2	2	1	1	2	0	0	3	18
	5	0	0	2	1	2	1	1	0	0	0	0	12
麻酔科	3	3	1	2	2	3	2	2	1	4	4	4	31
	0	0	1	3	1	2	0	0	1	1	0	1	10
小児科	1,129	1,019	1,214	1,295	1,308	1,067	1,111	1,203	1,293	1,085	915	1,278	13,917
	1,053	968	1,105	1,082	1,353	1,101	1,141	1,228	1,280	1,135	1,045	1,366	13,857
小児外科	181	165	182	186	246	159	171	151	197	191	161	204	2,194
	200	139	184	162	248	163	190	149	186	165	158	225	2,169
産科	770	651	741	711	740	684	715	715	687	633	613	688	8,348
	648	654	687	698	728	705	688	728	682	689	640	665	8,212
皮膚科	480	376	498	425	409	432	426	410	439	373	307	349	4,924
	367	343	452	451	419	443	419	394	425	366	386	460	4,925
整形外科	631	550	683	671	648	620	651	652	738	671	579	838	7,932
	711	694	792	747	660	622	720	696	747	779	671	828	8,667
形成外科	192	158	210	204	213	191	219	217	189	184	166	280	2,423
	188	215	207	228	293	229	221	239	224	204	197	240	2,685
緩和ケア内科	152	137	153	147	113	83	87	90	100	113	90	116	1,381
	94	82	86	80	72	60	58	73	62	65	40	40	812
児童精神科	190	180	183	216	224	199	199	203	215	191	177	235	2,412
	159	171	211	183	222	197	202	188	214	203	177	238	2,365
令和3年度合計	14,879	13,539	15,511	15,680	15,182	14,385	15,321	15,191	15,853	14,540	13,545	16,459	180,035
令和4年度合計	14,839	14,903	16,361	15,511	15,781	15,009	15,523	15,462	15,466	14,799	14,068	16,471	184,172
令和3年度検診等合計	427	378	384	352	415	319	362	368	341	318	315	351	4,390
令和4年度検診等合計	365	363	361	371	401	363	352	387	369	356	369	390	4,447
増減数	-40	1,364	840	-169	599	674	202	271	-397	258	523	12	4,137
増減率	-0.3%	10.1%	5.4%	-1.1%	3.9%	4.7%	1.3%	1.8%	-2.5%	1.8%	3.9%	0.1%	2.3%
増減数...令和4年度合計-令和3年度合計													
増減率...増減数/令和3年度合計													

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

3 全科疾病分類別上位頻度表

I	感染症及び寄生虫症	ICDコード	件数	%
1	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	49	26.6%
2	その他の敗血症	A41	35	19.0%
3	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	22	12.0%
4	その他の細菌性腸管感染症	A04	10	5.4%
5	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	B08	10	5.4%
6	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	B02	8	4.3%
7	部位不明の細菌感染症	A49	5	2.7%
8	その他のサルモネラ感染症	A02	5	2.7%
9	その他の非結核性抗酸菌による感染症	A31	5	2.7%
10	伝染性単核症	B27	4	2.2%
11	その他		31	16.8%
	合計		184	100.0%

II	新生物<腫瘍>	ICDコード	件数	%
1	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	383	10.2%
2	非濾胞性リンパ腫	C83	273	7.3%
3	食道の悪性新生物<腫瘍>	C15	236	6.3%
4	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	204	5.5%
5	骨髄性白血病	C92	175	4.7%
6	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	C25	156	4.2%
7	結腸の悪性新生物<腫瘍>	C18	152	4.1%
8	直腸の悪性新生物<腫瘍>	C20	144	3.9%
9	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	128	3.4%
10	卵巣の悪性新生物<腫瘍>	C56	108	2.9%
11	その他		1,778	47.6%
	合計		3,737	100.0%

III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	ICDコード	件数	%
1	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	18	27.3%
2	その他の無形成性貧血	D61	10	15.2%
3	鉄欠乏性貧血	D50	7	10.6%
4	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	D76	7	10.6%
5	サルコイドーシス	D86	5	7.6%
6	後天性溶血性貧血	D59	4	6.1%
7	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	D65	4	6.1%
8	その他の栄養性貧血	D53	3	4.5%
9	脾疾患	D73	2	3.0%
10	その他の凝固障害	D68	2	3.0%
11	その他		4	6.1%
	合計		66	100.0%

IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	ICDコード	件数	%
1	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	58	24.2%
2	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	E11	50	20.8%
3	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	E87	16	6.7%
4	肥満(症)	E66	13	5.4%
5	副甲状腺<上皮小体>機能亢進症及びその他の副甲状腺<上皮小体>障害	E21	13	5.4%
6	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	12	5.0%
7	体液量減少(症)	E86	12	5.0%
8	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	E05	10	4.2%
9	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	E10	8	3.3%
10	アルドステロン症	E26	7	2.9%
11	その他		41	17.1%
	合計		240	100.0%

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

V 精神及び行動の障害		ICDコード	件数	%
1	統合失調症	F20	27	21.8%
2	双極性感情障害<躁うつ病>	F31	17	13.7%
3	多動性障害	F90	7	5.6%
4	アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症(G30. -)	F00	7	5.6%
5	摂食障害	F50	6	4.8%
6	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	F10	6	4.8%
7	広汎性発達障害	F84	5	4.0%
8	解離性[転換性]障害	F44	5	4.0%
9	習慣及び衝動の障害	F63	5	4.0%
10	うつ病エピソード	F32	5	4.0%
11	その他		34	27.4%
合計			124	100.0%

VI 神経系の疾患		ICDコード	件数	%
1	てんかん	G40	93	47.7%
2	顔面神経障害	G51	15	7.7%
3	脳のその他の障害	G93	13	6.7%
4	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	10	5.1%
5	一過性脳虚血発作及び関連症候群	G45	10	5.1%
6	水頭症	G91	8	4.1%
7	睡眠障害	G47	7	3.6%
8	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>-	G61	6	3.1%
9	他に分類される疾患における脳神経障害	G53	6	3.1%
10	自律神経系の障害	G90	5	2.6%
11	その他		22	11.3%
合計			195	100.0%

VII 眼及び付属器の疾患		ICDコード	件数	%
1	老人性白内障	H25	66	49.3%
2	その他の斜視	H50	23	17.2%
3	眼瞼のその他の障害	H02	20	14.9%
4	麻痺性斜視	H49	6	4.5%
5	その他の白内障	H26	4	3.0%
6	麦粒腫及びさん<霰>粒腫	H00	3	2.2%
7	その他の網膜障害	H35	2	1.5%
8	涙器の障害	H04	1	0.7%
9	網膜血管閉塞症	H34	1	0.7%
10	網脈絡膜の炎症	H30	1	0.7%
11	その他		7	5.2%
合計			134	100.0%

VIII 耳及び乳様突起の疾患		ICDコード	件数	%
1	前庭機能障害	H81	26	38.2%
2	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	14	20.6%
3	中耳真珠腫	H71	10	14.7%
4	その他の難聴	H91	10	14.7%
5	非化膿性中耳炎	H65	6	8.8%
6	伝音及び感音難聴	H90	1	1.5%
7	その他の外耳障害	H61	1	1.5%
合計			68	100.0%

疾病分類別統計

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

IX	循環器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	狭心症	I20	407	21.1%
2	脳梗塞	I63	264	13.7%
3	心不全	I50	162	8.4%
4	大動脈瘤及び解離	I71	134	6.9%
5	心停止	I46	123	6.4%
6	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	116	6.0%
7	脳内出血	I61	110	5.7%
8	慢性虚血性心疾患	I25	102	5.3%
9	急性心筋梗塞	I21	80	4.1%
10	アテローム<粥状>硬化(症)	I70	56	2.9%
11	その他		379	19.6%
	合計		1,933	100.0%

X	呼吸器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	116	18.6%
2	細菌性肺炎、他に分類されないもの	J15	92	14.7%
3	急性気管支炎	J20	72	11.5%
4	その他の間質性肺疾患	J84	38	6.1%
5	喘息発作重積状態	J46	37	5.9%
6	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	J35	31	5.0%
7	慢性副鼻腔炎	J32	31	5.0%
8	気胸	J93	27	4.3%
9	ウイルス肺炎、他に分類されないもの	J12	20	3.2%
10	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	J06	18	2.9%
11	その他		143	22.9%
	合計		625	100.0%

XI	消化器系の疾患	ICDコード	件数	%
1	胆石症	K80	302	21.1%
2	消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	K91	121	8.5%
3	そけい<単径>ヘルニア	K40	112	7.8%
4	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	K56	91	6.4%
5	胆道のその他の疾患	K83	89	6.2%
6	腸の憩室性疾患	K57	87	6.1%
7	急性虫垂炎	K35	64	4.5%
8	その他の膵疾患	K86	37	2.6%
9	腹膜炎	K65	36	2.5%
10	腸のその他の疾患	K63	35	2.4%
11	その他		457	31.9%
	合計		1,431	100.0%

XII	皮膚及び皮下組織の疾患	ICDコード	件数	%
1	皮膚の萎縮性障害	L90	21	18.6%
2	蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	20	17.7%
3	皮膚膿瘍、せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	L02	13	11.5%
4	下肢の潰瘍、他に分類されないもの	L97	11	9.7%
5	皮膚及び皮下組織のその他の障害、他に分類されないもの	L98	7	6.2%
6	急性リンパ節炎	L04	6	5.3%
7	アポクリン汗腺の障害	L75	5	4.4%
8	褥瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	4	3.5%
9	摂取物質による皮膚炎	L27	3	2.7%
10	多形紅斑	L51	3	2.7%
11	その他		20	17.7%
	合計		113	100.0%

X III 筋骨格系及び結合組織の疾患		ICDコード	件数	%
1	その他の脊椎障害	M48	183	34.9%
2	その他の椎間板障害	M51	60	11.5%
3	脊椎症	M47	47	9.0%
4	膝関節症[膝の関節症]	M17	43	8.2%
5	その他の変形性脊柱障害	M43	26	5.0%
6	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	24	4.6%
7	股関節症[股関節部の関節症]	M16	18	3.4%
8	骨髄炎	M86	16	3.1%
9	その他の炎症性脊椎障害	M46	14	2.7%
10	滑膜炎及び腱鞘炎	M65	10	1.9%
11	その他		83	15.8%
	合計		524	100.0%

X IV 腎尿路生殖器系の疾患		ICDコード	件数	%
1	慢性腎不全	N18	119	17.5%
2	前立腺肥大(症)	N40	75	11.0%
3	腎結石及び尿管結石	N20	67	9.9%
4	急性尿細管間質性腎炎	N10	62	9.1%
5	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	N13	50	7.4%
6	尿路系のその他の障害	N39	39	5.7%
7	子宮頸(部)の異形成	N87	26	3.8%
8	女性性器脱	N81	23	3.4%
9	急性腎不全	N17	22	3.2%
10	精巣<睾丸>水腫及び精液瘤	N43	22	3.2%
11	その他		175	25.7%
	合計		680	100.0%

X V 妊娠, 分娩及び産褥		ICDコード	件数	%
1	単胎自然分娩	O80	224	30.8%
2	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	140	19.2%
3	切迫早産及び早産	O60	60	8.2%
4	娩出力の異常	O62	48	6.6%
5	胎児ストレス[仮死<ジストレス>]を合併する分娩	O68	41	5.6%
6	子癇前症	O14	36	4.9%
7	前期破水	O42	22	3.0%
8	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	O36	19	2.6%
9	多胎妊娠	O30	15	2.1%
10	母体の骨盤異常による分娩停止	O65	14	1.9%
11	その他		109	15.0%
	合計		728	100.0%

X VI 周産期に発生した病態		ICDコード	件数	%
1	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	102	35.8%
2	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	P07	66	23.2%
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	35	12.3%
4	新生児の哺乳上の問題	P92	15	5.3%
5	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	P00	15	5.3%
6	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	14	4.9%
7	その他の新生児出血	P54	9	3.2%
8	出生時仮死	P21	8	2.8%
9	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	6	2.1%
10	周産期に特異的なその他の感染症	P39	5	1.8%
11	その他		10	3.5%
	合計		285	100.0%

疾病分類別統計

XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常		ICDコード	件数	%
1	停留精巣<睾丸>	Q53	15	22.4%
2	顔面及び顔部のその他の先天奇形	Q18	11	16.4%
3	腸のその他の先天奇形	Q43	5	7.5%
4	腎盂の先天性閉塞性欠損及び尿管の先天奇形	Q62	4	6.0%
5	眼瞼、涙器及び眼窩の先天奇形	Q10	3	4.5%
6	男性生殖器のその他の先天奇形	Q55	3	4.5%
7	耳のその他の先天奇形	Q17	3	4.5%
8	エドワーズ<Edwards>症候群及びパトー<Patau>症候群	Q91	3	4.5%
9	舌、口(腔)及び咽頭のその他の先天奇形	Q38	2	3.0%
10	合指<趾>(症)	Q70	2	3.0%
11	その他		16	23.9%
	合計		67	100.0%

XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		ICDコード	件数	%
1	けいれん<痙攣>、他に分類されないもの	R56	11	29.7%
2	気道からの出血	R04	6	16.2%
3	傾眠、昏迷及び昏睡	R40	4	10.8%
4	呼吸の異常	R06	2	5.4%
5	腹水	R18	2	5.4%
6	悪心及び嘔吐	R11	2	5.4%
7	腹痛及び骨盤痛	R10	2	5.4%
8	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	1	2.7%
9	不明熱	R50	1	2.7%
10	えん<嚔>下障害	R13	1	1.5%
11	その他		5	7.5%
	合計		37	100.0%

XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		ICDコード	件数	%
1	大腿骨骨折	S72	207	18.9%
2	肩及び上腕の骨折	S42	106	9.7%
3	頭蓋内損傷	S06	90	8.2%
4	下腿の骨折、足首を含む	S82	75	6.8%
5	腰椎及び骨盤の骨折	S32	73	6.7%
6	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	T82	52	4.7%
7	前腕の骨折	S52	49	4.5%
8	処置の合併症、他に分類されないもの	T81	36	3.3%
9	有害作用、他に分類されないもの	T78	34	3.1%
10	肋骨、胸骨及び胸椎骨折	S22	32	2.9%
11	その他		341	31.1%
	合計		1,095	100.0%

XXI 健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用		ICDコード	件数	%
1	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	26	100.0%
	合計		26	100.0%

XXII その他		ICDコード	件数	%
1	新型コロナウイルス感染症	U07	472	100.0%
	合計		472	100.0%

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

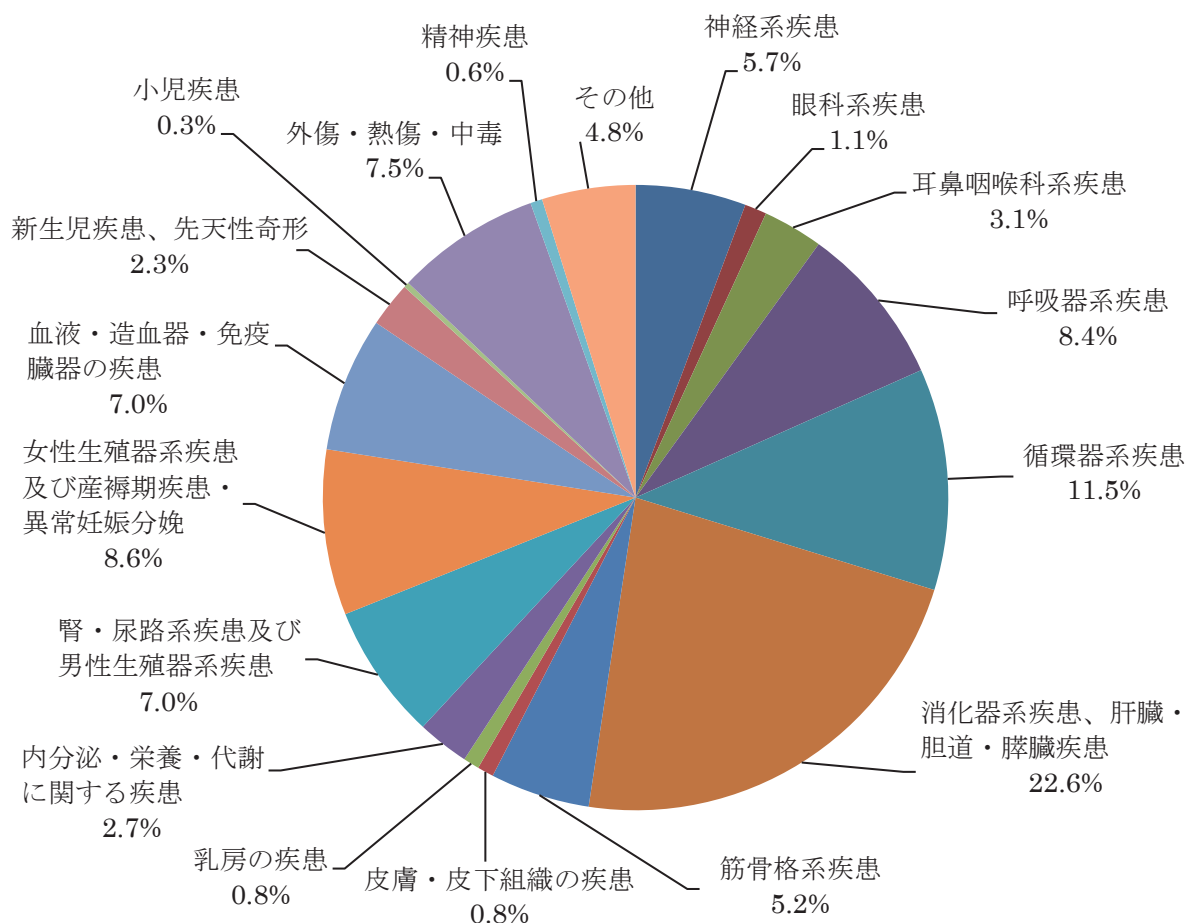
4 DPC統計

(1) MDC別退院患者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日退院患者
(自費を除く)

MDC 番号	MDC 名称	件数
MDC01	神経系疾患	683
MDC02	眼科系疾患	136
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	372
MDC04	呼吸器系疾患	1,000
MDC05	循環器系疾患	1,370
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,706
MDC07	筋骨格系疾患	616
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	101
MDC09	乳房の疾患	99
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	321
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	839
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,023
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	833
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	278
MDC15	小児疾患	34
MDC16	外傷・熱傷・中毒	897
MDC17	精神疾患	74
MDC18	その他	578
合 計		11,960

MDC別退院患者割合



(2) 在院期間別退院患者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日退院患者
(自費を除く)

	在院期間									合計	平均在院 日数 (日)
	1～10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61～ 90日	91～ 180日	181日～		
MDC01 神経系疾患	307	246	72	26	15	8	9			683	14.3
MDC02 眼科系疾患	130	4	2							136	5.1
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	268	59	10	8	8	7	12			372	11.7
MDC04 呼吸器系疾患	696	173	69	26	20	7	6	3		1,000	10.7
MDC05 循環器系疾患	928	253	92	49	16	7	19	5	1	1,370	10.8
MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆 道・膵臓疾患	1,798	592	177	71	31	22	10	5		2,706	10.8
MDC07 筋骨格系疾患	273	262	50	16	5	6	2	2		616	12.6
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	60	17	8	7	5	2	1	1		101	15.5
MDC09 乳房の疾患	88	8	1	2						99	7.7
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関 する疾患	241	52	8	8	4	2	4	2		321	10.0
MDC11 腎・尿路系疾患及び男性 生殖器系疾患	613	141	46	20	7	5	4	2	1	839	9.8
MDC12 女性生殖器系疾患及び産 褥期疾患・異常妊娠分娩	908	72	21	10	3	3	5	1		1,023	7.7
MDC13 血液・造血器・免疫臓器 の疾患	308	243	155	52	18	16	19	17	5	833	21.4
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	196	42	14	7	5	6	2	6		278	12.8
MDC15 小児疾患	24	10								34	8.0
MDC16 外傷・熱傷・中毒	464	289	89	27	8	10	7	3		897	12.8
MDC17 精神疾患	16	10	12	7	8	7	6	8		74	39.0
MDC18 その他	352	150	42	16	4	4	8	1	1	578	12.1
合計	7,670	2,623	868	352	157	112	114	56	8	11,960	12.9

(3) MDC別年齢別・性別退院患者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日退院患者
(自費を除く)

	性別	年齢階層											合計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～99	100～109	
MDC01 神経系疾患	男	39	10	4	1	18	30	56	102	87	22		369
	女	15	16	3	1	13	31	42	67	84	39	3	314
MDC02 眼科系疾患	男	15	7		1	3		3	21	8	2		60
	女	23	4		1	1	5	3	26	11	2		76
MDC03 耳鼻咽喉科系疾患	男	28	9	8	17	32	26	45	46	25	2		238
	女	20	5	10	10	19	21	13	23	10	3		134
MDC04 呼吸器系疾患	男	94	6	6	4	18	34	101	219	112	35		629
	女	74	4	7	4	6	33	56	91	60	30	6	371
MDC05 循環器系疾患	男		1	4	9	30	82	176	321	222	47		892
	女	1	1		2	12	20	34	123	200	81	4	478
MDC06 消化器系疾患、 肝臓・胆道・膵臓疾患	男	64	16	11	33	86	122	402	592	282	42		1,650
	女	53	10	16	22	57	104	168	286	235	102	3	1,056
MDC07 筋骨格系疾患	男	7	8	6	8	28	42	88	103	54	5		349
	女	2	4	5	15	26	32	41	78	55	9		267
MDC08 皮膚・皮下組織の疾患	男	10	4	1	2	3	8	9	7	7	1		52
	女	7	4	4	2		2	7	10	11	2		49
MDC09 乳房の疾患	男												0
	女				5	18	24	25	21	4	2		99
MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	男	4	12	2	3	11	19	31	35	17			134
	女	4	4	8	11	25	29	28	45	24	9		187
MDC11 腎・尿路系疾患及び 男性生殖器系疾患	男	32	8	6	5	14	52	115	210	124	16		582
	女	9	1	4	6	15	34	44	76	48	20		257
MDC12 女性生殖器系疾患 及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	男												0
	女		4	158	368	208	77	80	94	31	3		1,023
MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	男	8	3	10	8	16	42	114	139	101	2	1	444
	女	14	9	10	11	5	30	66	168	71	5		389
MDC14 新生児疾患、先天性奇形	男	144	2		1	2			1				150
	女	121	3	1			1	2					128
MDC15 小児疾患	男	17	1										18
	女	15						1					16
MDC16 外傷・熱傷・中毒	男	38	30	14	13	28	50	58	100	70	18		419
	女	12	17	15	14	15	32	44	83	152	90	4	478
MDC17 精神疾患	男	6	14	1		3	4	1	1	1			31
	女	1	18	7	3	4	6	2	2				43
MDC18 その他	男	41	12	14	8	19	24	28	54	45	23	2	270
	女	33	9	26	49	34	7	21	36	59	34		308
合計		951	256	361	637	769	1,023	1,904	3,180	2,210	646	23	11,960

病院の概要

各局資料

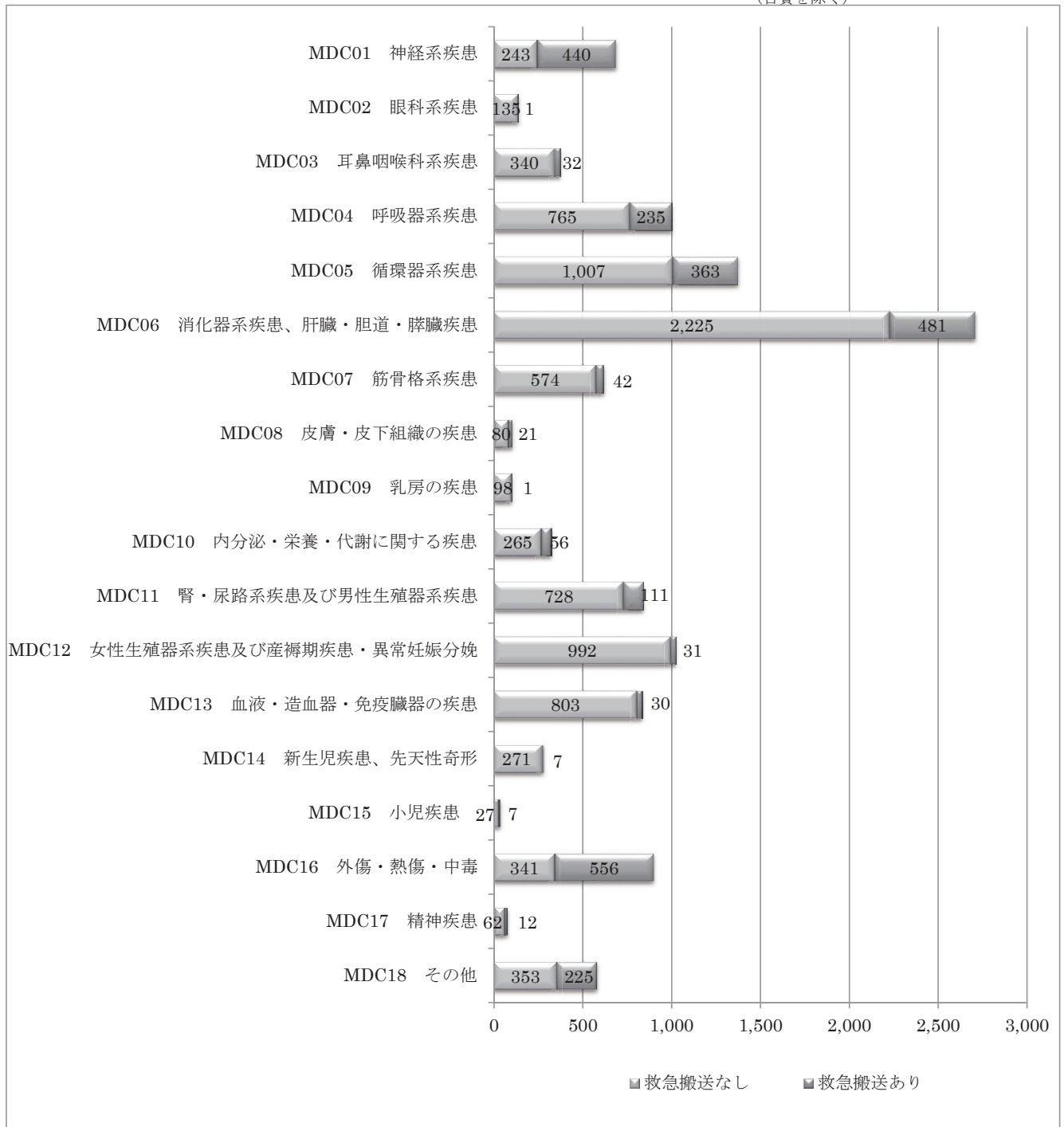
各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

(4) MDC別退院患者・救急搬送数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 退院患者
(自費を除く)



※ 退院患者総数 11,960
救急搬送総数 2,651

(5) 科別診断群分類 (DPC) 上位頻度表

対象：令和4年4月1日～令和5年3月31日退院患者

総合診療科

総件数 549件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	271
2	180030xxxxxx1x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病あり	57
3	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	18
4	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	18
5	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	9
6	180010x0xxx0xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 なし	6
7	050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	6
8	100380xxxxxxxx	体液量減少症	6
9	010110xxxxxx4xx	免疫介在性・炎症性ニューロパチー 手術・処置等2 4あり	6
10	040081xx97x0xx	誤嚥性肺炎 手術あり 手術・処置等2 なし	5

精神科

総件数 93件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170040xxxxxxxx	気分〔感情〕障害	16
2	170030xxxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	12
3	161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	4
4	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	4
5	01021xxxxx0xxx	認知症 手術・処置等1 なし	4
6	160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指（手、足）その他等	3
7	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	3
8	170010xxxxxxxx	アルコール依存症候群	3
9	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	2
10	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	2

血液内科・輸血科

総件数 870件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	130030xx97x50x	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし	83
2	130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 4あり	69
3	130010xx97x9xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 9あり	47
4	130030xx99x5xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 5あり	38
5	130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし	36
6	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 3あり	35
7	130030xx97x9xx	非ホジキンリンパ腫 手術あり 手術・処置等2 9あり	32
8	130010xx99x5xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等2 5あり	22
9	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・処置等2 4あり	22
10	130010xx99x9xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等2 9あり	19

糖尿病・内分泌内科

総件数 113件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	24
2	10007xxxxxx0xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 なし	13
3	120200xx99xxxx	妊娠中の糖尿病 手術なし	10
4	100180xx990x0x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1 なし 定義副傷病なし	10
5	100250xx99x20x	下垂体機能低下症 手術なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病なし	7
6	100202xxxxxx0x	その他の副腎皮質機能低下症 定義副傷病なし	6
7	100120xx99xxxx	肥満症 手術なし	5
8	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	4
9	100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	3
10	100210xxxxxxxx	低血糖症	3

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

DPC 統計

腫瘍内科

総件数 3件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
2	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	1
3	060060xx9710xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2 なし	1

ペインクリニック科

総件数 9件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010111xxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2 なし	4
2	070350xx97xxxx	椎間板変性、ヘルニア その他の手術あり	3
3	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	1
4	071030xx97xxxx	その他の筋骨格系・結合組織の疾患 手術あり	1

脳神経外科

総件数 631件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	62
2	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	44
3	010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上） 手術なし 手術・処置等2 なし	40
4	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	36
5	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	33
6	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	28
7	010060x2990201	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 2あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	19
8	010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2 なし	19
9	010060x2990501	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 5あり 定義副傷病なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	12
10	010020x102x1xx	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤（JCS10以上） 脳血管内手術 手術・処置等2 あり	11

眼科

総件数 125件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	46
2	020150xx97xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術あり	26
3	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	19
4	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	18
5	020340xx97xxxx	虹彩・毛様体の障害 手術あり	2
6	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2 なし	2
7	020320xx99xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術なし	2
8	020200xx99x1xx	黄斑、後極変性 手術なし 手術・処置等2 あり	2
9	020150xx99xxxx	斜視（外傷性・癒着性を除く。） 手術なし	2
10	160250xxxx0xxx	眼損傷 手術・処置等1なし	1

耳鼻咽喉科

総件数 347件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	030230xxxxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	35
2	030350xxxxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	31
3	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	19
4	030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	18
5	03001xxx97x3xx	頭頸部悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2 3あり	15
6	030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	12
7	03001xxx99x0xx	頭頸部悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 なし	11
8	03001xxx0200xx	頭頸部悪性腫瘍 頸部悪性腫瘍手術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2 なし	11
9	030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術	11
10	030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	10

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

呼吸器内科

総件数 373件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx99100x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	57
2	040040xx99200x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 2あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	38
3	040110xxxx0xx	間質性肺炎 手術・処置等 2 なし	37
4	040040xx9909xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 9あり	21
5	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	17
6	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	16
7	040040xx99041x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病あり	10
8	040040xx97x9xx	肺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 9あり	9
9	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	8
10	040040xx97x5xx	肺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 5あり	8

呼吸器外科

総件数 310件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	040040xx97x00x	肺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	136
2	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	17
3	040040xx99200x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 2あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	15
4	040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	12
5	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	12
6	040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	11
7	040030xx01xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 肺切除術 気管支形成を伴う肺切除術	8
8	040010xx01x0xx	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍 縦隔悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	8
9	040040xx97x10x	肺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病なし	6
10	160450xx99x10x	肺・胸部気管・気管支損傷 手術なし 手術・処置等 2 あり 定義副傷病なし	6

循環器内科

総件数 1067件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050050xx9910x0	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	293
2	050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1, 2あり 手術・処置等 2 なし	173
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1 なし、1, 3あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	84
4	050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	64
5	050080xx99100x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	49
6	050030xx97000x	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	46
7	050080xx97010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病なし	45
8	050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	26
9	050050xx9920x0	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 2あり 手術・処置等 2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	20
10	050070xx9701xx	頻脈性不整脈 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1, 3あり 手術・処置等 2 1あり	18

心臓血管外科

総件数 310件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	050163xx03x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 スtentグラフト内挿術 手術・処置等 2 1あり	33
2	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの（観血的なもの）等 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	25
3	050080xx0101xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	23
4	050161xx97x1xx	大動脈解離 その他の手術あり 手術・処置等 2 1あり	22
5	050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 腹部大動脈（分枝血管の再建を伴うもの）等 手術・処置等 2 1あり	22
6	050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	13
7	050163xx01x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手術・処置等 2 1あり	9
8	050163xx97x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	9
9	050080xx0111xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 1あり	8
10	050170xx02010x	閉塞性動脈疾患 動脈形成術、吻合術 指（手、足）の動脈等 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 1あり 定義副傷病なし	8

DPC 統計

乳腺・甲状腺外科

総件数 229件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	100130xx97x0xx	甲状腺の良性結節 手術あり 手術・処置等 2 なし	56
2	100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）等 手術・処置等 1 なし	36
3	090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等 1 なし	33
4	090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	26
5	100220xx01xxxx	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍 副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術 副甲状腺（上皮小体）摘出術等	10
6	03001xxx0200xx	頭頸部悪性腫瘍 頭部悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	10
7	100140xx97xxxx	甲状腺機能亢進症 手術あり	7
8	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	5
9	090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	3
10	090010xx99x2xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2あり	3

消化器内科

総件数 1090件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	220
2	060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	69
3	060140xx97x0xx	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	33
4	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	32
5	06007xxx97x0xx	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	31
6	06007xxx9900xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	28
7	060060xx9710xx	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2 なし	28
8	060010xx04xx0x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。） 内視鏡的食道粘膜切除術等 定義副傷病なし	26
9	060340xx99x0xx	胆管（肝内外）結石、胆管炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	25
10	060090xx02xxxx	胃の良性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術等	22

消化器外科・一般外科

総件数 1660件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060035xx010x0x	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 定義副傷病なし	90
2	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	72
3	060020xx02xxxx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等	57
4	060335xx02000x	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	52
5	060050xx02xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） 肝切除術 部分切除等	51
6	060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	50
7	060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。） 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病なし	50
8	060040xx04xx0x	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む。）等 定義副傷病なし	45
9	060040xx0210xx	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 肛門悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等 1あり 手術・処置等 2 なし	42
10	06007xxx97x0xx	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	39

泌尿器科

総件数 531件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1あり	86
2	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	75
3	11012xxx02xx0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 定義副傷病なし	48
4	110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2 なし	48
5	110420xx02xxxx	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等	35
6	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	22
7	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	21
8	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	17
9	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病なし	11
10	110070xx97x2xx	膀胱腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 2あり	10

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

腎臓内科・膠原病科

総件数 94件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	26
2	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	10
3	110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり	9
4	110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり	9
5	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1 あり	8
6	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等 2 なし	5
7	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等 2 なし	4
8	110280xx97x01x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病あり	3
9	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	2
10	110290xx99x1xx	急性腎不全 手術なし 手術・処置等 2 1 あり	2

婦人科

総件数 549件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等 手術・処置等 2 なし	58
2	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	51
3	120010xx99x50x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 5 あり 定義副傷病なし	48
4	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	47
5	12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	37
6	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4 あり 定義副傷病なし	34
7	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	23
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 手術あり	21
9	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	15
10	120010xx01x0xx	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）等 手術・処置等 2 なし	14

生殖医療科

総件数 2件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120300xxxxxxxx	人工授精に関する合併症	2

移植外科

総件数 96件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等 2 なし	14
2	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	14
3	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	11
4	110280xx97x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等 2 1 あり	10
5	110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	6
6	180041xxxxxxxx	移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	5
7	110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり	5
8	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1 あり	4
9	060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2 なし	3
10	060391xxxxx00x	偽膜性腸炎 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	2

DPC 統計

救命救急科

総件数 150件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	161070xxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	26
2	161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等 2 なし	10
3	180010x0xxx2xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等 2 2あり	5
4	040081xx99x1xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 あり	4
5	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	4
6	040081xx97x0xx	誤嚥性肺炎 手術あり 手術・処置等 2 なし	4
7	010310xx97x1xx	脳の障害（その他） 手術あり 手術・処置等 2 あり	4
8	100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	3
9	180010x0xxx3xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等 2 3あり	3
10	160995xxxxx0xx	気道熱傷 手術・処置等 2 なし	3

小児科

総件数 809件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（2500g以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	123
2	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	86
3	040090xxxxxxxx	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	77
4	040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	46
5	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	44
6	060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2 なし	34
7	040070xxxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等 2 なし	28
8	140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（1500g以上2500g未満） 手術なし 手術・処置等 2 なし	28
9	140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（2500g以上） 手術なし 手術・処置等 2 1あり	22
10	030270xxxxxxxx	上気道炎	18

小児外科

総件数 124件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	060160x101xxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	33
2	11022xxx01xxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	21
3	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	17
4	060170xx02xx0x	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁癒着ヘルニア等 定義副傷病なし	10
5	060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの等	3
6	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	3
7	060160x199xxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） 手術なし	3
8	160500xx01xxxx	食道・胃損傷 食道異物摘出術等	3
9	14056xxx97xxxx	先天性水腎症、先天性上部尿路疾患 手術あり	2
10	140420xx01xxxx	腸重積 腸重積症整復術 非観血的なもの	2

産科

総件数 493件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	135
2	120260x001xxxx	分娩の異常（分娩時出血量2000ml未満） 子宮破裂手術等	65
3	120180xx99xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 手術なし	51
4	120170x199xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 手術なし	40
5	120260x099xxxx	分娩の異常（分娩時出血量2000ml未満） 手術なし	30
6	120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等	28
7	120260x002xxxx	分娩の異常（分娩時出血量2000ml未満） 骨盤位娩出術等	23
8	120180xx02xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 骨盤位娩出術等	19
9	180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	15
10	120170x001xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週以上） 子宮破裂手術等	14

皮膚科 総件数 23件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	080110xxxxx0xx	水疱症 手術・処置等2 なし	4
2	080020xxxxxxxx	帯状疱疹	3
3	080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1 なし	3
4	080090xxxxxxxx	紅斑症	2
5	161000x199x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷 (Burn Index10未満) 手術なし 手術・処置等2 なし	2
6	180010x0xxx0xx	敗血症 (1歳以上) 手術・処置等2 なし	1
7	161070xxxx01x	薬物中毒 (その他の中毒) 手術・処置等2 なし 定義副傷病あり	1
8	070560xx97xxxx	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術あり	1
9	010111xxxx0xx	遺伝性ニューロパチー 手術・処置等2 なし	1
10	100100xx97x1xx	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2 あり	1

整形外科 総件数 1122件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	189
2	070343xx01x0xx	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等2 なし	68
3	070230xx01xxxx	膝関節症 (変形性を含む。) 人工関節再置換術等	40
4	070343xx97x0xx	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	37
5	070343xx99x1xx	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 手術なし 手術・処置等2 1あり	33
6	160720xx01xxxx	肩関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿等	30
7	160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 定義副傷病なし	28
8	070341xx020xxx	脊柱管狭窄 (脊椎症を含む。) 頸部 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処置等1 なし	27
9	160690xx01xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷 (胸・腰髄損傷を含む。) 脊椎、骨盤脱臼観血的手術等	26
10	160620xx01xxxx	肘、膝の外傷 (スポーツ障害等を含む。) 腱縫合術等	23

形成外科 総件数 161件

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	070570xx010xxx	癬痕拘縮 癬痕拘縮形成手術 手術・処置等1 なし	14
2	160200xx02000x	顔面損傷 (口腔、咽頭損傷を含む。) 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	13
3	080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部) 等 手術・処置等1 なし	10
4	070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍 (脊椎脊髄を除く。) その他の手術あり 手術・処置等1 なし	9
5	100100xx97x1xx	糖尿病足病変 手術あり 手術・処置等2 あり	9
6	080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍 (黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2 なし	7
7	070570xx012xxx	癬痕拘縮 癬痕拘縮形成手術 手術・処置等1 2あり	6
8	090010xx05xxxx	乳房の悪性腫瘍 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)	6
9	080220xx97xxxx	エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害 手術あり	5
10	161000x101x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷 (Burn Index10未満) 分層植皮術 200平方センチメートル以上等 手術・処置等2 なし	4

児童精神科 総件数 27件

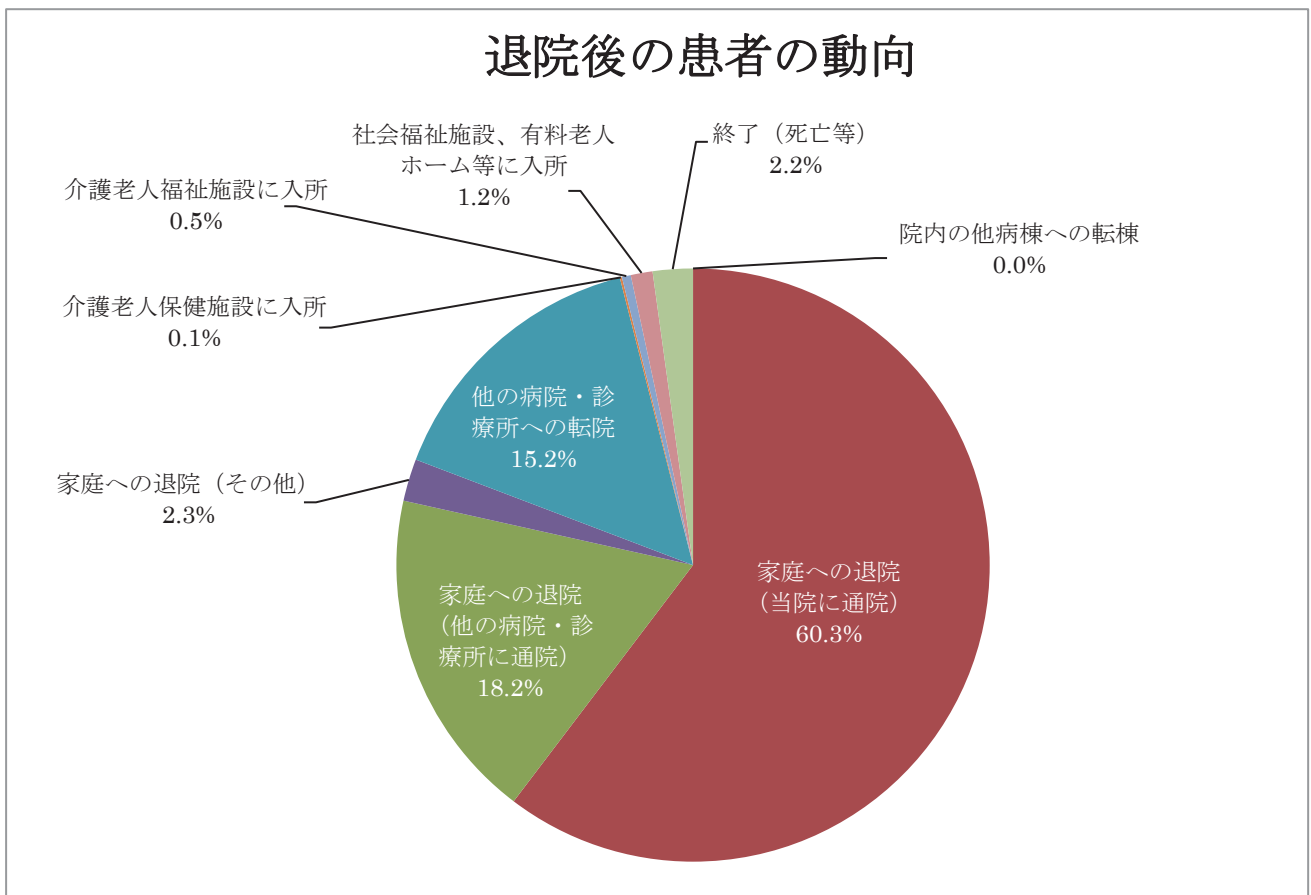
順位	診断群分類番号	診断群分類名称	件数
1	170060xxxxxxxx	その他の精神及び行動の障害	18
2	170040xxxxxxxx	気分 [感情] 障害	3
3	170050xxxxxxxx	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	3
4	100270xxxx0xx	間脳下垂体疾患 (その他) 手術・処置等2 なし	1
5	161070xxxx00x	薬物中毒 (その他の中毒) 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	1
6	170030xxxxxxxx	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1

(6) 退院後の患者の動向

対象：令和4年4月1日～令和5年3月31日退院患者

退院先	件数
院内の他病棟への転棟	0
家庭への退院（当院に通院）	7,216
家庭への退院（他の病院・診療所に通院）	2,171
家庭への退院（その他）	275
他の病院・診療所への転院	1,823
介護老人保健施設に入所	14
介護老人福祉施設に入所	58
社会福祉施設、有料老人ホーム等に入所	142
終了（死亡等）	261
合計	11,960

退院後の患者の動向



5 悪性新生物統計

(1) 悪性新生物 主な手術・処置件数

令和4年度

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C00-C14	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>			
C01 ~C06	舌、舌根<基底>部、口腔、 歯肉	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	25.8
		舌悪性腫瘍手術 亜全摘	3	35.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	2	38.0
		口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術	2	31.5
		舌悪性腫瘍手術 切除	2	15.0
		口腔底悪性腫瘍手術	1	15.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 止血術	1	13.0
		ペムプロリズマブ	1	13.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	3.0
セツキシマブ	1	3.0		
C07~C08	耳下腺、唾液腺	顎下腺悪性腫瘍手術	3	17.7
		セツキシマブ	1	3.0
C10	中咽頭	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	9	55.8
		ペムプロリズマブ	3	7.3
		胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	2	57.0
		鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	2	10.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	8.0
		咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	1	62.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	55.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	46.0
C12	梨状陥凹<洞>	中咽頭腫瘍摘出術 経口腔によるもの	1	6.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	3	6.3
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	2	47.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	79.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	17.0
C13	下咽頭	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	1	15.0
		セツキシマブ	1	3.0
		鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	4	11.8
		ペムプロリズマブ	3	4.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	1	66.0
C15-C26	消化器の悪性新生物<腫瘍>	喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	1	35.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	7.0
		喉頭形成手術 人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術	1	4.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	67	8.9
C15	食道	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	27	17.4
		化学療法ありかつ放射線療法あり	22	15.7
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	22	7.7
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの	17	29.6
		食道ステント留置術	9	14.4
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	5	54.4
		ニボルマブ	5	13.8
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	5	13.6
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	4	18.8
		ペムプロリズマブ	4	8.0
		食道空置バイパス作成術	3	67.0
		縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	3	55.0
		胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	3	36.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	12.3
		食道悪性腫瘍手術（単に切除のみのもの） 胸部食道の場合	2	47.0
		放射線療法	2	9.0
		胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 胸部、腹部の操作によるもの	1	57.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	1	55.0
		食道切除後2次の再建術 消化管利用によるもの	1	26.0
		気管・気管支ステント留置術 軟性鏡によるもの	1	9.0
		気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術	1	6.0
		内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	1	6.0

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C16 ~C17	胃・小腸	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	33	6.8
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	32	7.3
		腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	23	14.6
		胃切除術 悪性腫瘍手術	15	17.3
		胃全摘術 悪性腫瘍手術	13	19.5
		小腸切除術 複雑なもの	7	23.7
		腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	7	11.3
		内視鏡的消化管止血術	6	8.7
		腹腔鏡下噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	5	28.8
		腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	5	13.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	5	6.2
		胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	3	16.0
		噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術	3	12.7
		腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	3	12.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	3	11.0
		腹腔鏡下試験開腹術	3	4.3
		内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	2	43.0
		頸頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存頸頭切除術の場合	2	28.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	19.0
		中心静脈注射	2	14.0
		胃局所切除術	2	12.0
		腹腔鏡下胃腸吻合術	2	11.5
		腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	1	9.0
		オキサリプラチン	1	8.0
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術	1	6.0
腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	1	6.0		
C18 ~C21	結腸、直腸、肛門	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	113	14.7
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの その他のもの	42	9.5
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	39	17.4
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術	31	13.8
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 超低位前方切除術	24	18.0
		腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	16	19.7
		腹腔鏡下人工肛門造設術	9	20.7
		人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの	5	10.0
		内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	5	6.6
		早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	5	6.2
		内視鏡的胆道ステント留置術	5	6.0
		化学療法ありかつ放射線療法あり	4	42.5
		結腸切除術 全切除、重全切除又は悪性腫瘍手術	3	24.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	3	21.0
		回腸（結腸）導管造設術	2	38.0
		直腸切除・切断術 超低位前方切除術	2	19.5
		放射線療法	2	18.5
		直腸切除・切断術 切除術	2	14.5
		中心静脈注射	2	14.5
		経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1	25.0
		人工肛門造設術	1	24.0
		試験開腹術	1	20.0
		下部消化管ステント留置術	1	15.0
		大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸切除を伴わないもの	1	8.0
		腹腔鏡下試験切除術	1	6.0
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	1	2.0		
オキサリプラチン	1	2.0		
C22	肝及び肝内胆管	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 選択的動脈化学塞栓術	31	3.2
		肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	11	10.3
		肝切除術 亜区域切除	6	10.3
		肝切除術 2区域切除	4	20.8
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	3	10.0
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として） 2センチメートル以内のもの その他のもの	3	3.7
		肝切除術 外側区域切除	2	13.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	18.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	1	16.0
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	1	8.0
		経皮的肝膿瘍ドレナージ術	1	4.0
内視鏡的胆道ステント留置術	1	3.0		

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C23 ~C24	胆のう<囊>、胆道	内視鏡的胆道ステント留置術	38	6.9
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	13	52.4
		胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除（亜区域切除以上）を伴うもの	3	26.3
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	3	3.7
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	2	32.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	2	25.0
		胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む。）	2	21.5
		経皮的胆管ドレナージ術	2	19.5
		胃・十二指腸ファイバースコープ胆管・膵管造影法	2	3.0
		肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり	1	51.0
		胆管悪性腫瘍手術 膵頭十二指腸切除及び血行再建を伴うもの	1	36.0
		肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの	1	22.0
		血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 止血術	1	15.0
		胆管悪性腫瘍手術 肝外胆道切除術によるもの	1	13.0
		試験開腹術	1	9.0
		中心静脈注射	1	5.0
腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	5.0		
C25	膵	内視鏡的胆道ステント留置術	55	5.8
		膵頭部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	14	26.0
		膵体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	14	20.7
		膵頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	13	27.2
		超音波内視鏡下穿刺吸引生検法	7	2.4
		膵全摘術	4	16.8
		中心静脈注射	3	15.7
		胃・十二指腸ファイバースコープ胆管・膵管造影法	3	2.3
		膵体尾部腫瘍切除術 周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	2	34.0
		経皮的胆管ドレナージ術	2	18.5
		内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	2	17.5
		胃瘻抜去術	2	4.0
		膵体尾部腫瘍切除術 血行再建を伴う腫瘍切除術の場合	1	28.0
		膵中央切除術	1	16.0
		膵頭部腫瘍切除術 膵頭十二指腸切除術の場合	1	15.0
		内視鏡的膵管ステント留置術	1	5.0
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	2.0		
C30-C39 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>				
C30 ~C31	鼻腔及び中耳、副鼻腔	動注化学療法	1	46.0
		鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 全摘	1	28.0
		鼻甲介切除術 その他のもの	1	3.0
		セツキシマブ	1	3.0
C32	喉頭	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	45.0
		喉頭悪性腫瘍手術 全摘	2	32.5
		化学療法ありかつ放射線療法あり	2	21.5
		喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術（頭部、胸部、腹部等の操作による再建を含む。）	1	22.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	17.0
C33 ~C34	気管、気管支及び肺	気管支ファイバースコープ	65	3.0
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	41	8.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	41	5.5
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	37	8.8
		経気管肺生検法	37	3.1
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	26	8.2
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	20	26.7
		経皮的針生検法	14	2.4
		アテゾリズマブ	11	8.8
		カルボプラチン+バクリタキセルあり	6	35.0
		デュルバルマブ	6	9.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	6	9.3
		超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法（EBUS-TBNA）	6	8.7
		ペムブロリズマブ	5	11.2
		ラムシルマブ	5	8.6
		オシメルチニブメシル酸塩	3	22.3
		化学療法ありかつ放射線療法あり	2	22.0
		ニボルマブ	2	8.0
		胸腔鏡下試験切除術	2	7.5
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	52.0
気管・気管支ステント留置術 軟性鏡によるもの	1	51.0		
気管・気管支ステント留置術 硬性鏡によるもの	1	30.0		

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C33 ~C34	気管、気管支及び肺	テポチニブ塩酸塩	1	26.0
		ブリグチニブ	1	20.0
		セルベルカチニブ	1	16.0
		肺悪性腫瘍手術 隣接臓器合併切除を伴う肺切除	1	15.0
		肺悪性腫瘍手術 区域切除	1	12.0
		胸腔鏡下肺切除術 部分切除	1	9.0
		アフアチニブマレイン酸塩	1	8.0
		気管支腫瘍摘出術（気管支鏡又は気管支ファイバースコープによるもの） ペバシズマブ	1 1	4.0 4.0
C37	胸腺	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	3	7.0
		放射線療法	2	20.0
		縦隔悪性腫瘍手術 広汎摘出	2	16.5
		化学療法ありかつ放射線療法なし	2	5.0
		胸腔鏡下試験切除術	1	8.0
C38	心臓、縦隔及び胸膜	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	4	4.8
C40-C41	骨及び関節軟骨の悪性新生物<腫瘍>			
C41	その他の骨及び関節軟骨	化学療法	4	6.3
C43-C44	皮膚の悪性新生物<腫瘍>			
C43~C44	皮膚及びその他の皮膚	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	9	10.9
		皮膚悪性腫瘍切除術 広汎切除	1	30.0
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	1	10.0
		皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 2.5平方センチメートル未満	1	4.0
C45-C49	中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>			
C45	中皮腫	化学療法ありかつ放射線療法なし	1	5.0
		ベメトレキセドナトリウム	1	5.0
C48	後腹膜及び腹膜	後腹膜悪性腫瘍手術	2	8.5
		カルボプラチン+パクリタキセルあり	1	4.0
C49	その他の結合組織及び軟部組織	化学療法ありかつ放射線療法なし	16	4.2
		四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、軀幹	9	13.6
		トラベクテジン	2	3.0
		肩甲帯離断術	1	36.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	8.0
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>			
C50	乳房	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	26	5.3
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	20	8.1
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの	9	9.2
		ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	6	10.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	5	4.8
		放射線療法	4	23.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	10.5
		乳腺悪性腫瘍手術 単純乳房切除術（乳腺全摘術）	2	10.5
		乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））	2	8.5
		ペルツズマブ	2	3.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	23.0
		組織拡張器による再建手術（一連につき） 乳房（再建手術）の場合	1	16.0
		中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	1	10.0
		エリブリンメシル酸塩	1	8.0
		複合組織移植術	1	8.0
		パクリタキセル	1	6.0
		ドセタキセル	1	4.0
		乳腺腫瘍摘出術 長径5センチメートル以上	1	3.0
		ペバシズマブ	1	3.0
		トラスツズマブ	1	3.0
シクロホスファミド+塩酸エピルピシシンあり	1	3.0		
C51-C58	女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>			
C51	外陰（部）	化学療法ありかつ放射線療法なし	5	5.0
C53	子宮頸（部）	子宮悪性腫瘍手術	3	10.7
		ペバシズマブ	2	4.0
		子宮頸部（膣部）切除術	2	3.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	1	10.0
		子宮全摘術	1	7.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	1	7.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	5.0
		腹腔鏡下試験開腹術	1	4.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C54	子宮体部	化学療法ありかつ放射線療法なし	34	5.5
		子宮悪性腫瘍手術	12	9.7
		子宮内膜掻爬術	11	3.0
		化学療法なしかつ放射線療法あり	2	15.5
		ペムプロリズマブ	2	11.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	15.0
		子宮全摘術	1	9.0
C56	卵巣	カルボプラチン+パクリタキセルあり	42	5.3
		子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	14	10.9
		ベバシズマブ	13	4.6
		ドキシソルピシン塩酸塩 リポソーム製剤	11	5.2
		化学療法ありかつ放射線療法なし	9	3.1
		カルボプラチン+ドセタキセルあり	6	5.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	5	5.4
		試験開腹術	1	10.0
		腹腔鏡下試験開腹術	1	6.0
				胸水・腹水濾過濃縮再静注法
C57	その他の女性生殖器	カルボプラチン+パクリタキセルあり	3	3.0
		腹腔鏡下試験開腹術	2	8.0
		子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	1	12.0
		ドキシソルピシン塩酸塩 リポソーム製剤	1	4.0
C60-C63	男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>			
C61	前立腺	前立腺針生検法 その他のもの	86	2.0
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	13	12.3
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	9	12.3
		精巣摘出術	7	3.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	8.3
		カバジタキセル アセトン付加物	3	7.7
		膀胱瘻造設術	1	43.0
		エンザルタミド	1	28.0
		尿道狭窄内視鏡手術	1	21.0
		経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの	1	8.0
C62	精巣<睾丸>	精巣悪性腫瘍手術	1	6.0
C64-C68	腎尿路の悪性新生物<腫瘍>			
C64	腎盂を除く腎	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	24	10.0
		ペムプロリズマブ	5	6.2
		ニボルマブ	3	8.7
		化学療法	2	12.5
		パゾパニブ塩酸塩	1	6.0
		経皮的腎生検法	1	2.0
C65	腎盂	化学療法	6	18.3
		ペムプロリズマブ	3	35.7
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	3	10.0
		腹腔鏡下試験切除術	1	14.0
		腎摘出術	1	9.0
C66	尿管	化学療法	5	7.8
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	3	10.7
		経尿道的尿管ステント留置術	2	3.5
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	21.0
		ペムプロリズマブ	1	5.0
C67	膀胱	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの	50	6.8
		化学療法	9	15.7
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	7	21.6
		腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 全摘（回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの）	3	23.0
		腹腔鏡下人工肛門造設術	2	59.5
		膀胱内凝血除去術	1	8.0
		経皮的腎（腎盂）瘻造設術	1	8.0
		ペムプロリズマブ	1	5.0
		膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	1	4.0
		膀胱水圧拡張術	1	4.0
		アベルマブ	1	4.0

病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデキータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C69-C72	眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物<腫瘍>			
C70	髄膜	化学療法なしかつ放射線療法あり	1	25.0
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	1	20.0
		造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合	1	2.0
C71	脳	頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	29.0
		定位脳腫瘍生検術	1	66.0
C73-C75	甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>			
C73	甲状腺	甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	17	4.6
		頸部郭清術 片側	9	3.9
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（片側頸部外側区域郭清を伴うもの）	6	5.8
		甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部外側区域郭清を伴うもの）	5	6.2
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（頸部外側区域郭清を伴わないもの）	4	5.3
		化学療法	2	10.5
		甲状腺悪性腫瘍手術 全摘及び亜全摘（両側頸部外側区域郭清を伴うもの）	2	7.0
		甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術 片葉のみの場合	2	5.5
		レンパチニブメシル酸塩	1	11.0
		放射線療法	1	5.0
C75	その他の内分泌腺及び関連組織	頸部郭清術 両側	1	4.0
		試験開頭術	1	14.0
C76-C80	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>			
C77	リンパ節の続発性及び部位不明	リンパ節群郭清術 後腹膜	4	8.5
		リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	2	7.5
		頸部郭清術 片側	2	6.5
		リンパ節群郭清術 頸部（深在性）	1	8.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	6.0
C78	呼吸器及び消化器の続発性	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	20	6.8
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除	11	9.0
		肝切除術 部分切除 単回の切除によるもの	9	12.2
		肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	7	16.0
		肝切除術 亜区域切除	7	8.9
		内視鏡的胆道ステント留置術	4	12.3
		肝切除術 1区域切除（外側区域切除を除く。）	3	9.0
		急性汎発性腹膜炎手術	2	45.0
		胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	6.0
		頸頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存頸頭切除術の場合	1	30.0
		結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	1	26.0
		胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	1	22.0
		経皮的胆管ドレナージ術	1	13.0
		腸吻合術	1	10.0
		肝切除術 2区域切除	1	9.0
		肝切除術 外側区域切除	1	8.0
		胸腔鏡下肺切除術 部分切除	1	8.0
		試験的開胸開腹術	1	8.0
腹腔・静脈シャントバルブ設置術	1	8.0		
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの	1	7.0		
腹腔鏡下肝切除術 部分切除 複数回の切除を要するもの	1	7.0		
腹腔鏡下試験切除術	1	4.0		
C79	その他の部位の続発性	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 後方又は後方固定	9	26.7
		放射線療法	7	18.3
		化学療法なしかつ放射線療法あり	5	11.4
		頭蓋内腫瘍摘出術 その他のもの	3	34.0
		骨悪性腫瘍手術 肩甲骨、上腕、大腿	2	22.0
		骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	2	18.0
		食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	1	38.0
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 椎弓切除	1	23.0
		経皮的椎体形成術	1	15.0
		子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	1	9.0
		胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	1	8.0
		腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	8.0
		胸壁悪性腫瘍摘出術 胸壁形成手術を併施するもの	1	8.0
C80	部位の明示なし	内視鏡的胆道ステント留置術	2	6.0
		頸部郭清術 片側	1	10.0
		化学療法	1	7.0
		腹腔鏡下試験切除術	1	4.0

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの			
C81	ホジキン<Hodgkin>リンパ腫	ブレンツキシマブ ベドチン	7	25.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	4	22.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	3	23.3
C82	濾胞性 [結節性] 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫	リツキシマブ	10	11.4
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	7	18.9
		化学療法ありかつ放射線療法なし	6	8.8
		ベンダムスチン塩酸塩	4	8.5
		オビヌツズマブ	4	6.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	1	24.0
		放射線療法	1	22.0
		リツキシマブ+フィルグラスチムあり	1	19.0
C83	非濾胞性リンパ腫	リツキシマブ	100	11.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	34	18.4
		化学療法ありかつ放射線療法なし	27	12.9
		リツキシマブ+フィルグラスチムあり	22	20.0
		ボラツズマブ ベドチン	16	12.5
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	11	15.5
		ベンダムスチン塩酸塩	7	13.7
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	6	37.7
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	6	25.5
		中心静脈注射	4	15.8
		放射線療法	3	26.7
		脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 後方又は後側方固定	2	23.5
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	65.0
		エルトロンボパグ オラミン	1	40.0
		アカラブルチニブ	1	25.0
リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	21.0		
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	化学療法ありかつ放射線療法なし	11	16.7
		中心静脈注射	2	25.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	17.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	1	99.0
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	1	34.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	30.0
		モガムリズマブ	1	24.0
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	1	5.0
C85	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他の型	リツキシマブ	4	7.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	36.5
		放射線療法	1	36.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル以上	1	5.0
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	3.0
		化学療法ありかつ放射線療法なし	9	24.6
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	24.5
C88	悪性免疫増殖性疾患	ダリナパルシン	1	27.0
		ブレンツキシマブ ベドチン	1	17.0
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	14.0
		ドラツムマブ/ボルヒアルロニダーゼ アルファ	11	22.3
		化学療法ありかつ放射線療法なし	10	17.6
		ボマリドミド	6	52.2
		ボルテゾミブ	6	34.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	6	25.2
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（自家移植）	5	28.2
		放射線療法	4	32.8
		造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）（自家移植）	4	6.0
		イサツキシマブ	3	31.3
		レナリドミド	3	14.7
		エロツズマブ	2	31.5
		鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	2	22.5
		中心静脈注射	2	20.5
		カルフィルゾミブ	1	37.0
イキサゾミブクエン酸エステル	1	16.0		
ドラツムマブ	1	3.0		

病院の概要

各局資料

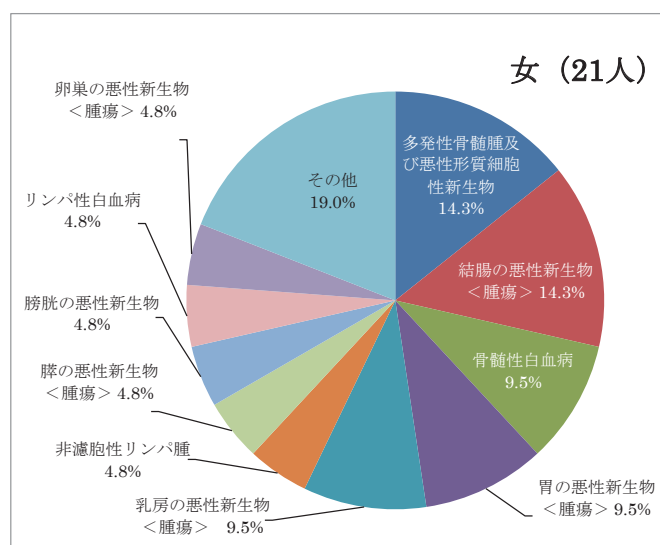
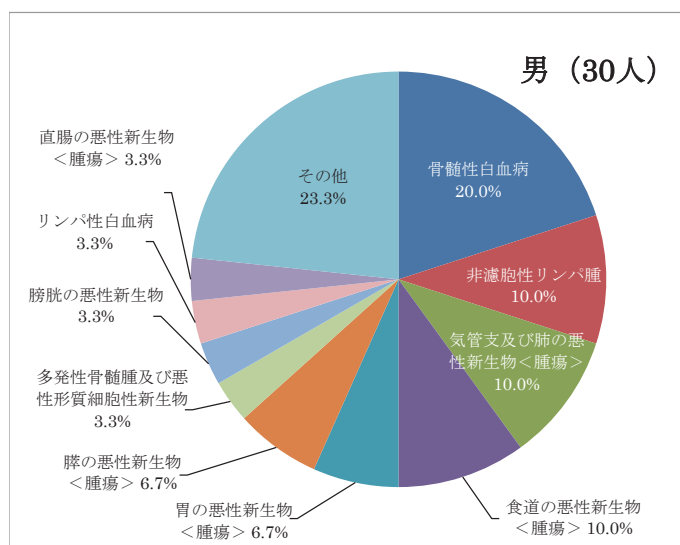
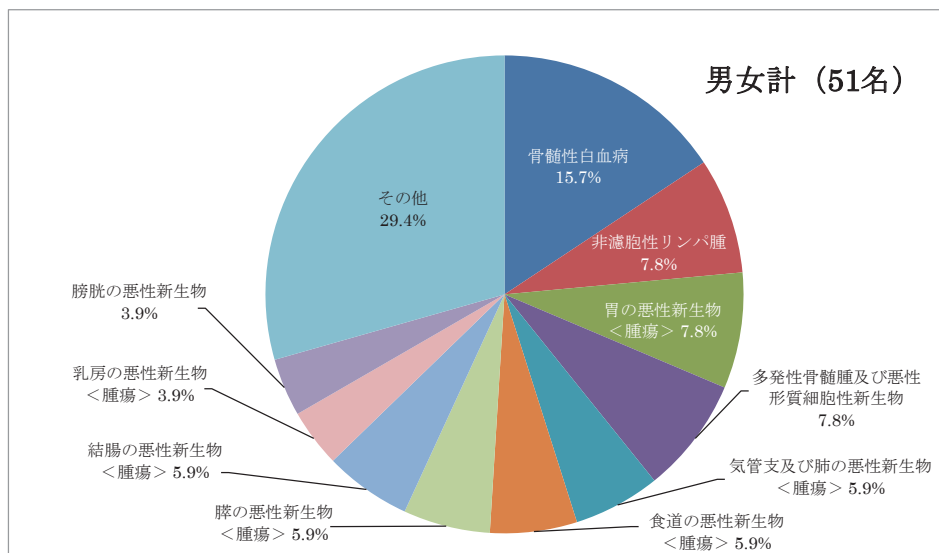
各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインデイクータ

コード	部位	主な手術・処置（1入院に対して主な手術・処置を1つ選択）	件数	在院日数の平均（日）
C91	リンパ性白血病	化学療法ありかつ放射線療法なし	14	18.4
		化学療法	9	8.8
		ダサチニブ	7	24.4
		ボナチニブ塩酸塩	7	19.9
		モガムリズマブ	6	9.0
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	4	25.8
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	3	73.7
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	3	72.0
		プレントキシマブ ベドチン	3	19.0
		中心静脈注射	2	38.5
		創傷処理 筋肉、臓器に達するもの（長径5センチメートル未満）	2	31.5
		ベンダムスチン塩酸塩	2	8.0
		リツキシマブ	2	6.5
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	1	195.0
C92	骨髄性白血病	レナリドミド	1	12.0
		アザシチジン+ベネトクラクスあり	57	24.0
		アザシチジン	31	11.3
		化学療法	14	52.4
		三酸化ヒ素製剤	10	27.3
		抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	8	30.3
		造血幹細胞移植（臍帯血移植）	5	104.4
		造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）（同種移植）	3	162.7
		ベネトクラクス	3	11.3
		造血幹細胞移植（骨髄移植）（同種移植）	2	174.5
		鼻腔粘膜焼灼術	2	77.5
		中心静脈注射	2	34.0
		経尿道的電気凝固術	2	29.5
		ボスチニブ	2	13.0
		ニロチニブ塩酸塩	2	13.0
		リンパ節摘出術 長径3センチメートル未満	1	119.0
		ゲムツズマブ オゾガマイシン	1	34.0
ギルテリチニブフマル酸塩	1	27.0		
アシミニブ塩酸塩	1	17.0		
C93	単球性白血病	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	1	60.0
D00-D09	上皮内新生物<腫瘍>			
D04	皮膚の上皮内癌	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	1	10.0
D06	子宮頸（部）の上皮内癌	子宮頸部（腔部）切除術	28	3.0
		腹腔鏡下腔式子宮全摘術	11	5.8
		子宮頸部異形成上皮又は上皮内癌レーザー照射治療	8	2.8

(2) 悪性新生物による死亡患者数



病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

6 死亡患者統計

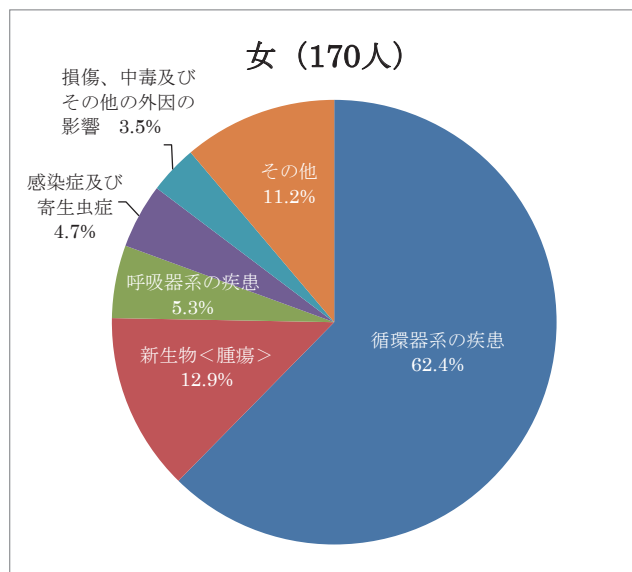
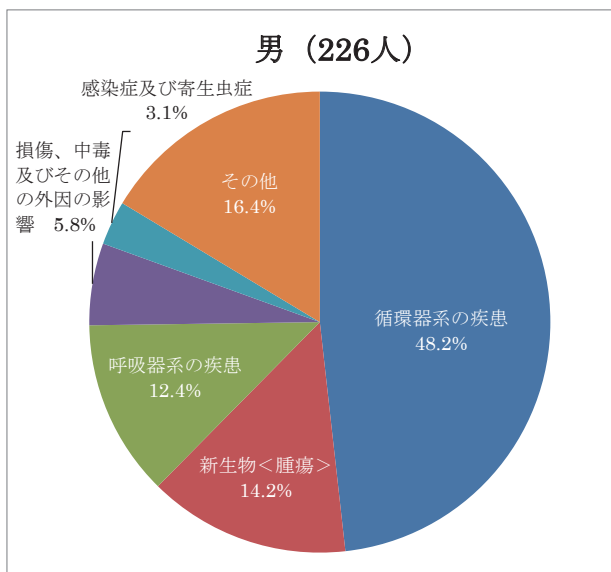
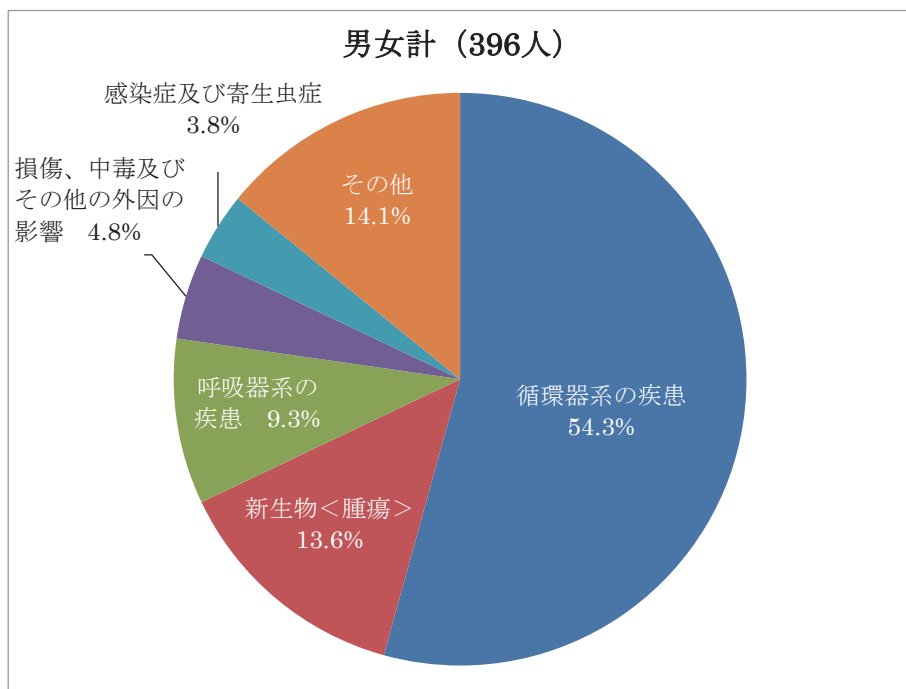
(1) 科別死亡率

診療科	退院患者数			死亡患者数			死亡率 (%)	平均年齢 (才)
	男	女	計	男	女	計		
総合診療科	255	311	566	14	7	21	3.7%	76.8
精神科	49	49	98	1	0	1	1.0%	60.0
血液内科・輸血科	502	391	893	17	8	25	2.8%	73.8
糖尿病・内分泌内科	52	61	113	0	1	1	0.9%	79.0
腫瘍内科	2	1	3	0	0	0	-	-
ペインクリニック科	7	4	11	0	0	0	-	-
脳神経外科	353	298	651	26	35	61	9.4%	79.7
眼科	57	70	127	0	0	0	-	-
耳鼻咽喉科	233	117	350	3	1	4	1.1%	63.0
歯科口腔外科	67	66	133	0	1	1	0.8%	98.0
呼吸器内科	244	132	376	16	7	23	6.1%	80.3
呼吸器外科	192	121	313	3	0	3	1.0%	59.0
循環器内科	703	365	1,068	13	11	24	2.2%	78.0
心臓血管外科	217	96	313	8	5	13	4.2%	80.5
乳腺・甲状腺外科	42	187	229	0	2	2	0.9%	60.0
消化器内科	661	434	1,095	13	13	26	2.4%	81.7
消化器外科・一般外科	1,026	645	1,671	14	5	19	1.1%	76.3
泌尿器科	404	130	534	2	1	3	0.6%	82.3
腎臓内科・膠原病科	55	40	95	1	0	1	1.1%	81.0
婦人科	0	552	552	0	2	2	0.4%	80.0
生殖医療科	0	2	2	0	0	0	-	-
移植外科	60	49	109	1	0	1	0.9%	66.0
救命救急科	154	121	275	85	64	149	54.2%	76.4
小児科	505	389	894	4	4	8	0.9%	2.6
小児外科	85	43	128	0	0	0	-	-
産科	2	731	733	2	0	2	0.3%	0.0
皮膚科	14	9	23	1	0	1	4.3%	84.0
整形外科	595	615	1,210	2	3	5	0.4%	83.2
形成外科	86	86	172	0	0	0	-	-
児童精神科	13	14	27	0	0	0	-	-
合計	6,635	6,129	12,764	226	170	396	3.1%	75.5

(2) 死亡患者数

疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	計	%
I	感染症及び寄生虫症	7	8	15	3.8%
II	新生物<腫瘍>	32	22	54	13.6%
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の傷害	0	1	1	0.3%
IV	内分泌, 栄養及び代謝疾患	0	1	1	0.3%
V	精神及び行動の障害	1	0	1	0.3%
VI	神経系の疾患	1	2	3	0.8%
VII	眼及び付属器の疾患	0	0	0	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	-
IX	循環器系の疾患	109	106	215	54.3%
X	呼吸器系の疾患	28	9	37	9.3%
X I	消化器系の疾患	7	4	11	2.8%
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	1	2	3	0.8%
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	1	2	3	0.8%
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	4	2	6	1.5%
X V	妊娠, 分娩及び産褥	0	0	0	-
X VI	周産期に発生した病態	4	0	4	1.0%
X VII	先天奇形, 変形及び染色体異常	1	0	1	0.3%
X VIII	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	2	3	0.8%
X IX	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13	6	19	4.8%
X X	傷病及び死亡の外因	0	0	0	-
X X II	その他	16	3	19	4.8%
合 計		226	170	396	100.0%

(3) 死亡患者数の割合



病院の概要

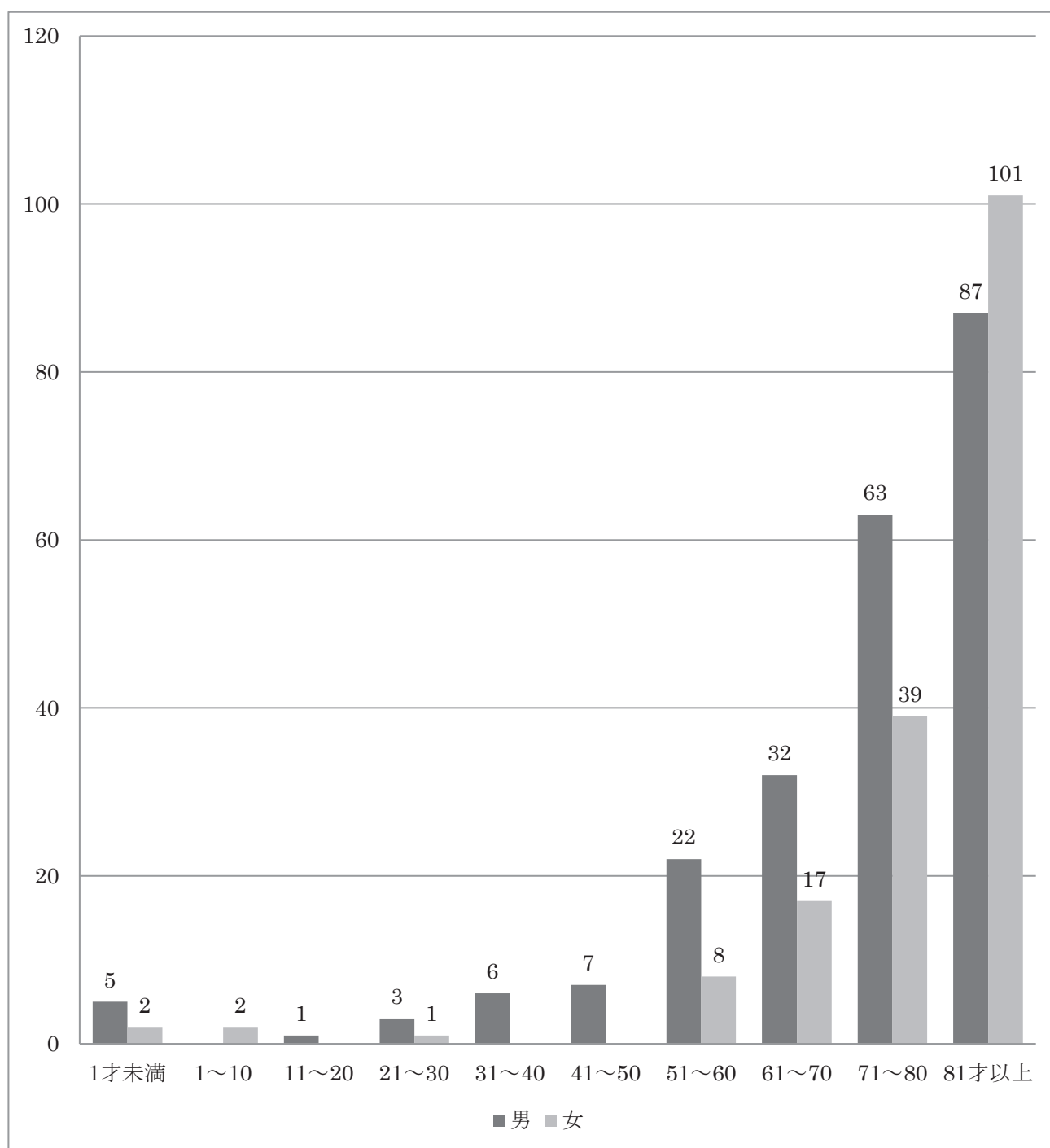
各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケーター

(4) 年齢別死亡患者数



病院の概要

各局資料

各診療科資料

各委員会資料

クリニカルインディケータ

令和4年度
高知医療センター年報

発行 高知医療センター 広報委員会

〒781-8555 高知市池2125番地1

電話 088-837-3000(代)

